

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 2-001-07改04
提出年月日	2023年1月26日

VI-2-1-7 設計用床応答スペクトルの作成方針

S2 補 VI-2-1-7 R0

2023年1月

中国電力株式会社

目 次

1. 概要	1
2. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度作成に係る基本方針及び作成方法	1
2.1 基本方針	1
2.1.1 設計用床応答スペクトル	1
2.1.2 設計用震度	1
2.2 作成方法	5
2.2.1 応答スペクトルの作成方法	5
2.2.2 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成方法	6
2.2.3 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成位置	8
2.2.4 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の適用方法	8
3. 地震応答解析モデル	12
4. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度	77
4.1 弾性設計用地震動 S_d	77
4.2 基準地震動 S_s	79
4.3 余震荷重を算定するための地震動	81

1. 概要

本資料は、VI-2-1-1「耐震設計の基本方針」のうち「4. 設計用地震力」に基づき、機器・配管系の動的解析に用いる設計用床応答スペクトルの作成方針及びその方針に基づき作成した設計用床応答スペクトルに関して説明するものである。

また、機器・配管系の静的解析に用いる設計用震度及び静的震度についても併せて説明する。

2. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度作成に係る基本方針及び作成方法

2.1 基本方針

2.1.1 設計用床応答スペクトル

(1) VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」のうち「2. 地震応答解析の方針」に基づき策定した各原子炉施設の解析モデルに対して、入力地震動を用いた基本ケース*の時刻歴応答解析を行い、各質点位置における加速度応答時刻歴を求める。

入力地震動は、

VI-2-1-2「基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の策定概要」に基づくものとして、表2-1及び表2-2に示す。

注記*：各施設の地震応答計算書に記載する解析ケースのうち「基本ケース」を示す。

(2) (1)で求めた各質点の加速度応答時刻歴を入力として、減衰付1自由度系の応答スペクトルを必要な減衰定数の値に対して求め、床応答スペクトルを作成する。

(3) (2)で求めた床応答スペクトルに対し、各施設の固有周期のシフトを考慮し、周期方向に±10%の拡幅を行う。

(4) (3)で求めた床応答スペクトルに対し、材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮した時刻歴応答解析から得られる加速度応答時刻歴を用いて作成した床応答スペクトルを包絡させたものを、設計用床応答スペクトルⅠとする。

(5) (3)で求めた床応答スペクトルの震度に対して、すべての固有周期にわたって一律に1.5以上の係数を乗じて設定した条件を設計用床応答スペクトルⅡとする。適用する係数は設計用床応答スペクトルⅡのすべての固有周期における震度が設計用床応答スペクトルⅠ以上となるように設定する。

(6) 評価作業の合理化や保守的な条件で評価を行うことを目的として(4)及び(5)以外の条件を適用する場合、すべての固有周期における震度が設計用床応答スペクトルⅠ（又は設計用床応答スペクトルⅡ）を上回る床応答スペクトルを適用する。

(7) 設計用床応答スペクトルⅠ及びⅡ並びに設計用床応答スペクトルⅠ（又は設計用床応答スペクトルⅡ）を上回る床応答スペクトルを総称して、設計用床応答スペクトルという。

2.1.2 設計用震度

- (1) 2.1.1(1)で求めた各質点の加速度応答時刻歴の最大値（最大応答加速度）に対し，材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮して求めた各質点の加速度応答時刻歴の最大値を包絡させたものを，設計用震度Ⅰとする。
- (2) 2.1.1(1)で求めた最大応答加速度に1.5以上の係数を乗じて設定した条件を設計用震度Ⅱとする。適用する係数は設計用震度Ⅱが設計用震度Ⅰ以上となるように設定する。
- (3) 評価作業の合理化や保守的な条件で評価を行うことを目的として(1)及び(2)以外の条件を適用する場合，設計用震度Ⅰ（又は設計用震度Ⅱ）を上回る震度を適用する。
- (4) 設計用震度Ⅰ及びⅡ並びに設計用震度Ⅰ（又は設計用震度Ⅱ）を上回る震度を総称して，設計用震度という。

表 2-1 入力地震動（基準地震動 S s）

基準地震動 S s			最大加速度 (cm/s ²)		
			水平方向	鉛直方向	
Ss-D		応答スペクトル手法による基準地震動		820	547
Ss-F1	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動	断層モデル手法による基準地震動	宍道断層による地震の中越沖地震の短周期レベルの不確かさ 破壊開始点 5	549 (NS) 560 (EW)	337
Ss-F2			宍道断層による地震の中越沖地震の短周期レベルの不確かさ 破壊開始点 6	522 (NS) 777 (EW)	
Ss-N1	震源を特定せず策定する地震動による基準地震動	2004年北海道留萌支庁南部地震 (K-NET 港町) の検討結果に保守性を考慮した地震動		620	320
Ss-N2	震源を特定せず策定する地震動による基準地震動	2000年鳥取県西部地震の賀祥ダム (監査廊) の観測記録		528 (NS) 531 (EW)	485

S2 補 VI-2-1-7 R0

表 2-2 入力地震動（弾性設計用地震動 S d）

弾性設計用地震動 S d	最大加速度 (cm/s ²)	
	水平方向	鉛直方向
Sd-D	410	274
Sd-F1	274 (NS) 280 (EW)	169
Sd-F2	261 (NS) 389 (EW)	213
Sd-N1	310	160
Sd-N2	264 (NS) 266 (EW)	243
Sd-1	320	214

2.2 作成方法

2.2.1 応答スペクトルの作成方法

(1) 解析方法

2.1.1(1)で述べた方針で時刻歴応答解析を行い、各モデルの各質点における加速度応答時刻歴を求める。この加速度応答時刻歴を入力波として応答スペクトルを作成する。すなわち、入力波の絶対加速度を \ddot{Y}_i とおけば、質点系の振動方程式は、

$$\ddot{Z}_i + 2 \cdot h \cdot \omega \cdot \dot{Z}_i + \omega^2 \cdot Z_i = -\ddot{Y}_i \quad \dots\dots\dots (2. 1)$$

ただし、

ω : 質点系の固有円振動数

Z_i : i 質点上の質点の相対変位

h : 減衰定数

地震の間の $\ddot{Y}_i + \ddot{Z}_i$ の最大値を ω 及び h をパラメータとして求め、応答スペクトルを作成する。応答スペクトルの作成には、「S e i s m i c A n a l y s i s S y s t e m (S A S)」を使用し、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

(2) 減衰定数

応答スペクトルは、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」の機器・配管系の減衰定数を用いて作成する。

(3) 数値計算用諸元

固有周期作成幅	0.05～1.0s
固有周期計算間隔	
0.05 ～ 0.1 s	$\Delta \omega = 4.0(\text{rad/s})$
0.1 ～ 0.15s	$\Delta \omega = 1.5(\text{rad/s})$
0.15 ～ 0.3 s	$\Delta \omega = 0.8(\text{rad/s})$
0.3 ～ 0.6 s	$\Delta \omega = 0.6(\text{rad/s})$
0.6 ～ 1.0 s	$\Delta \omega = 0.5(\text{rad/s})$

2.2.2 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成方法

(1) 設計用床応答スペクトル

設計用床応答スペクトルⅠは、基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d による各原子炉施設の基本ケースの時刻歴応答解析から得られる応答波を用いて作成した応答スペクトルに対し、固有周期の多少のずれにより応答に大幅な変化が生じないように周期軸方向に±10%の拡幅を行うとともに、材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮した時刻歴応答解析から得られる応答波を用いて作成した床応答スペクトルを包絡させたものである。

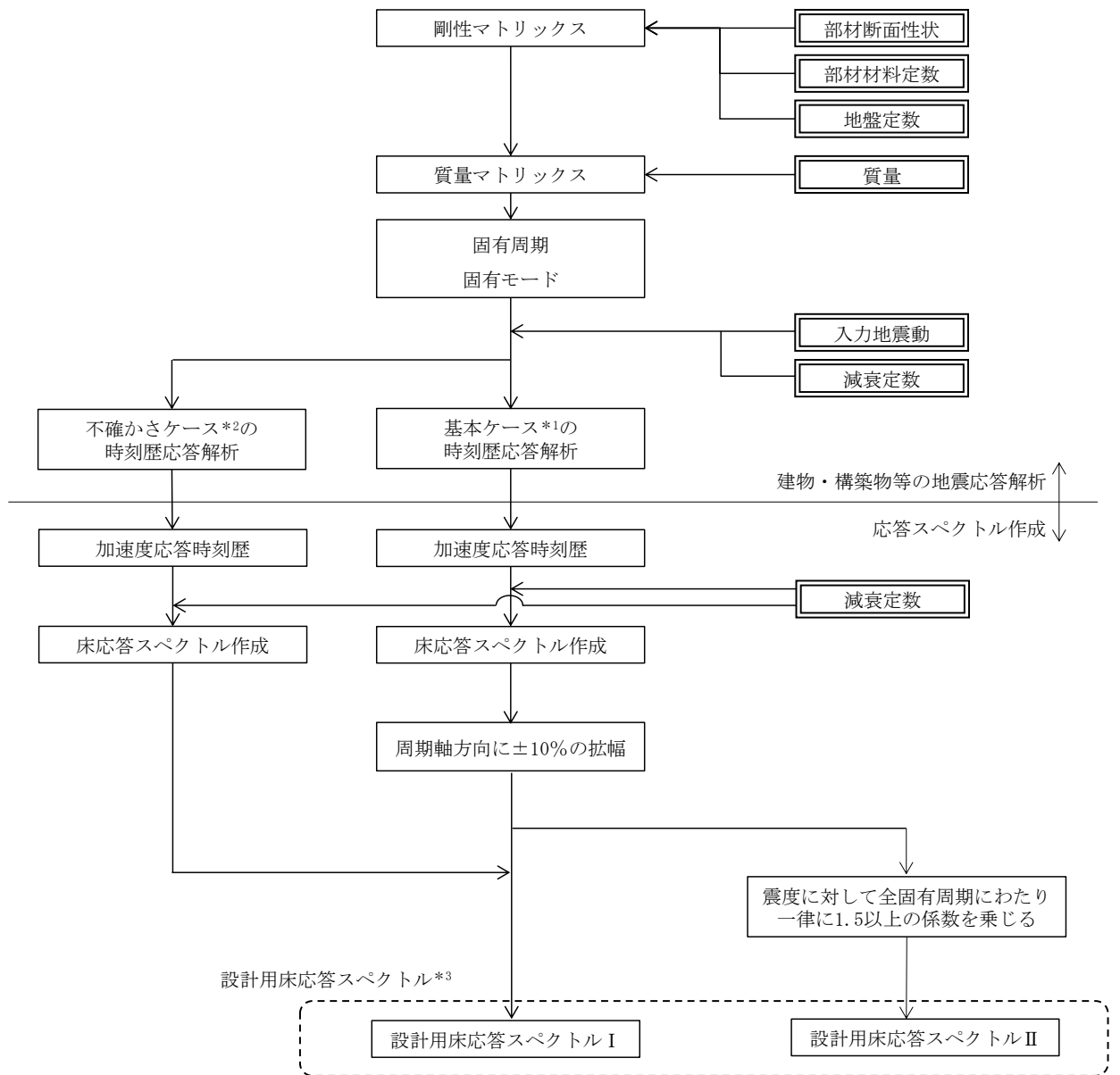
設計用床応答スペクトルⅡは、設計用床応答スペクトルⅠに対して余裕のある条件により機器・配管系の耐震設計を行うことを目的として作成した床応答スペクトルであり、2.1.1(3)の床応答スペクトルの震度に対して、すべての固有周期にわたって一律に1.5の係数を乗じて作成したものである。ただし、係数1.5 を乗じて作成した床応答スペクトルが設計用床応答スペクトルⅠを包絡しない場合には、設計用床応答スペクトルⅡが設計用床応答スペクトルⅠを包絡するように1.5を上回る係数を設定する。

設計用床応答スペクトルの作成方法を図2-1に示す。

(2) 設計用震度

設計用震度Ⅰは、基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d による各原子炉施設の基本ケースの時刻歴応答解析から得られる応答波の最大値（最大応答加速度）に対し、材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮した時刻歴応答解析の応答波の最大値を包絡させたものである。

設計用震度Ⅱは、設計用震度Ⅰに対して余裕のある条件により機器・配管系の耐震設計を行うことを目的として作成した震度であり、2.1.1(1)の最大応答加速度に1.5の係数を乗じて作成したものである。ただし、係数1.5 を乗じて作成した震度が設計用震度Ⅰを包絡しない場合には、設計用震度Ⅱが設計用震度Ⅰを包絡するように1.5を上回る係数を設定する。



注記*1：各施設の地震応答計算書に記載する解析ケースのうち「基本ケース」を示す。
 *2：各施設の地震応答計算書に記載する解析ケースのうち「不確かさケース」（地盤物性 $\pm\sigma$ ）を示す。
 *3：設計用床応答スペクトル I（又は設計用床応答スペクトル II）を上回る床応答スペクトルを含む。

: インプット

図 2-1 設計用床応答スペクトルの作成方法

2.2.3 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成位置

図3-1～図3-14の解析モデルについて設計用床応答スペクトル及び設計用震度を作成する。

2.2.4 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の適用方法

(1) 概要

機器・配管系の動的地震力を求める場合は、それぞれの据付位置における設計用床応答スペクトル又は設計用震度を使用して適用震度を定める。この場合、以下の運用方法に従う。

(2) 運用方法

a. 設計用床応答スペクトル

- (a) 設計用床応答スペクトルⅠ，設計用床応答スペクトルⅡ，設計用床応答スペクトルⅠを上回る床応答スペクトル，又は設計用床応答スペクトルⅡを上回る床応答スペクトルを用いる。
- (b) 振動方向に合わせ水平方向及び鉛直方向の各方向の設計用床応答スペクトルを使用する。
- (c) 建物・構築物等床より自立する機器・配管系については，設置階の設計用床応答スペクトルを用い，建物・構築物等壁より支持される機器・配管系及び建物・構築物等中間階に設置される機器・配管系については，上下階の設計用床応答スペクトルのうち安全側のものを用いるものとする。また，建物・構築物等上下階を貫通する配管系及び異なる建物・構築物等を渡る配管系については，それぞれの据付位置の設計用床応答スペクトルのうち安全側のものを用いるものとする。ただし，設計用床応答スペクトルの運用において合理性が示される場合には，その方法を採用できるものとする。

- (d) 設計用床応答スペクトルを用いて動的解析を行う場合（弁の動的機能維持評価を除く）には、より保守的な評価を行うため、20Hz 超の領域の入力震度を図 2-2②の方法にて設定し、1～50Hz の範囲で解析を実施する。また、弁の動的機能維持評価には、図 2-2③に示す通り、50Hz まで計算した床応答スペクトルを適用する。さらに、動的解析の実施にあたっては、図 2-3 に示す方法によりモード合成を行うものとする。

- ①設計用床応答スペクトル（1～20Hzの範囲で作成）
- - - ②設計用床応答スペクトルに対して高振動数領域（20～50Hz）を考慮した入力震度
- ③弁の動的機能維持評価用床応答スペクトル（1～50Hzの範囲で作成）

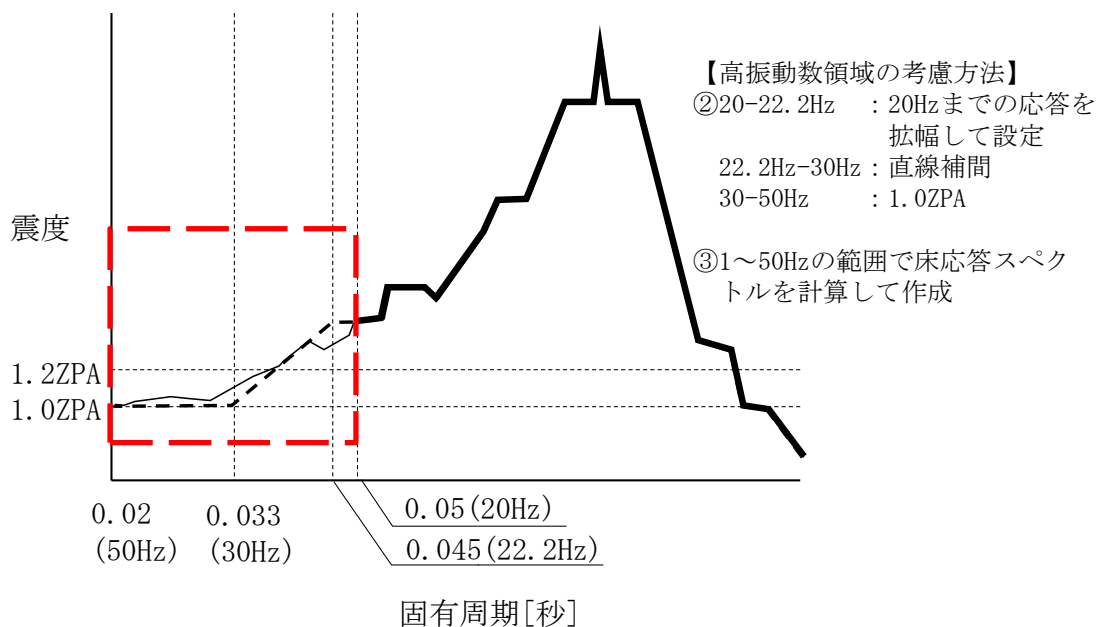
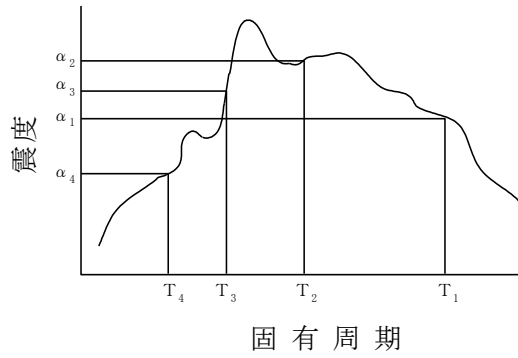


図 2-2 20Hz 超の領域における入力震度の設定方法



T_s : S 次の固有周期

α_s : T_s に対応する震度

ϕ_{si} : i 質点における S 次の固有
ベクトルの成分

β_s : S 次の刺激係数

A_i : i 質点の設計震度

$$A_i = \sqrt{\sum_{S=1}^n (\beta_s \cdot \phi_{si} \cdot \alpha_s)^2}$$

図 2-3 動的解析におけるモード合成方法

b. 設計用震度

- (a) 設計用震度Ⅰ，設計用震度Ⅱ，設計用震度Ⅰを上回る震度又は設計用震度Ⅱを上回る震度を用いる。
- (b) 振動方向に合わせ水平方向及び鉛直方向の各方向の設計用震度を使用する。
- (c) 建物・構築物等床より自立する機器・配管系については，設置階の設計用震度を用い，建物・構築物等壁より支持される機器・配管系及び建物・構築物等中間階に設置される機器・配管系については，上下階の設計用震度のうち安全側のものを用いるものとする。また，建物・構築物等上下階を貫通する配管系及び異なる建物・構築物等を渡る配管系については，それぞれの据付位置の設計用震度のうち安全側のものを用いるものとする。ただし，設計用震度の運用において合理性が示される場合には，その方法を採用できるものとする。

3. 地震応答解析モデル

(1) 原子炉建物

原子炉建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-2「原子炉建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-1(1)及び図3-1(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-1(3)に示す。

(2) 炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎

炉心，原子炉圧力容器，原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉圧力容器ペDESTAL等の地震応答解析モデルにはVI-2-2-1「炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体の基礎の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-2(1)及び図3-2(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-2(3)に示す。

(3) 制御室建物

制御室建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-5「制御室建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-3(1)及び図3-3(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-3(3)に示す。

(4) タービン建物

タービン建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-7「タービン建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-4(1)及び図3-4(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-4(3)に示す。

(5) 廃棄物処理建物

廃棄物処理建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-9「廃棄物処理建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。基準地震動 S_s の評価に用いる地震応答解析モデルについて、水平方向の解析モデルを図3-5(1)及び図3-5(2)に、鉛直方向の解析モデルを図3-5(3)に示す。また、弾性設計用地震動 S_d の評価に用いる地震応答解析モデルについて、水平方向の解析モデルを図3-5(4)に、鉛直方向の解析モデルを図3-5(5)に示す。

(6) 排気筒

排気筒の地震応答解析モデルにはVI-2-2-13「排気筒の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向及び鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-6に示す。

(7) 取水槽

取水槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-18「取水槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面の地震応答解析モデルを図3-7(1)に、加速度応答算出位置を図3-7(2)に示し、EW断面（海水ポンプエリア）の地震応答解析モデルを図3-7(3)に、加速度応答算出位置を図3-7(4)に示す。また、EW断面（除じん機エリア）の地震応答解析モデルを図3-7(5)に、加速度応答算出位置を図3-7(6)に示す。

(8) 屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）

屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）の地震応答解析モデルにはVI-2-2-20「屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。地震応答解析モデルを図3-8(1)に、加速度応答算出位置を図3-8(2)に示す。

(9) B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽

B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-22「B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面の地震応答解析モデルを図3-9(1)に、加速度応答算出位置を図3-9(2)に示し、EW断面の地震応答解析モデルを図3-9(3)に、加速度応答算出位置を図3-9(4)に示す。

(10) 屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）

屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）の地震応答解析モデルにはVI-2-2-24「屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。復水貯蔵タンク連絡ダクト（F）の地震応答解析モデルを図3-10(1)に、加速度応答算出位置を図3-10(2)に示し、復水貯蔵タンク連絡ダクト（G）の地震応答解析モデルを図3-10(3)に、加速度応答算出位置を図3-10(4)に示す。また、燃料移送系配管ダクトの地震応答解析モデルを図3-10(5)に、加速度応答算出位置を図3-10(6)に示す。

(11) 屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）

屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）の地震応答解析モデルにはVI-2-2-26「屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面（立坑部）の地震応答解析モデルを図3-11(1)に、加速度応答算出位置を図3-11(2)に示し、NS断面の地震応答解析モデルを図3-11(3)に、加速度応答算出位置を図3-11(4)に示す。また、EW断面の地震応答解析モデルを図3-11(5)に、加速度応答算出位置を図3-11(6)に示す。

(12) 緊急時対策所

緊急時対策所の地震応答解析モデルにはVI-2-2-11「緊急時対策所の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-12(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-12(2)に示す。

(13) ガスタービン発電機建物

ガスタービン発電機建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-16「ガスタービン発電機建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-13(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-13(2)に示す。

(14) 第1ベントフィルタ格納槽

第1ベントフィルタ格納槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-30「第1ベントフィルタ格納槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面（銀ゼオライト容器エリア）の地震応答解析モデルを図3-14(1)に、加速度応答算出位置を図3-14(2)に示し、NS断面（スクラバ容器エリア）の地震応答解析モデルを図3-14(3)に、加速度応答算出位置を図3-14(4)に示す。また、EW断面の地震応答解析モデルを図3-14(5)に、加速度応答算出位置を図3-14(6)に示す。

(15) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽

低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-32「低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面（水室）の地震応答解析モデルを図3-15(1)に、加速度応答算出位置を図3-15(2)に示し、NS断面（ポンプ室）の地震応答解析モデルを図3-15(3)に、加速度応答算出位置を図3-15(4)に示す。また、EW断面の地震応答解析モデルを図3-15(5)に、加速度応答算出位置を図3-15(6)に示す。

(16) ガスタービン発電機用軽油タンク基礎

ガスタービン発電機用軽油タンク基礎の地震応答解析モデルにはVI-2-2-35「ガスタービン発電機用軽油タンク基礎の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-16(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-16(2)に示す。

(17) 屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）

屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）の地震応答解析モデルにはVI-2-2-37「屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。地震応答解

析モデルを図 3-17(1)に，加速度応答算出位置を図 3-17(2)に示す。

(18) 防波壁（波返重力擁壁）

防波壁（波返重力擁壁）の地震応答解析モデルにはVI-2-10-2-2-1「防波壁（波返重力擁壁）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。改良地盤部の地震応答解析モデルを図 3-18(1)に，輪谷部の地震応答解析モデルを図 3-18(2)に示す。

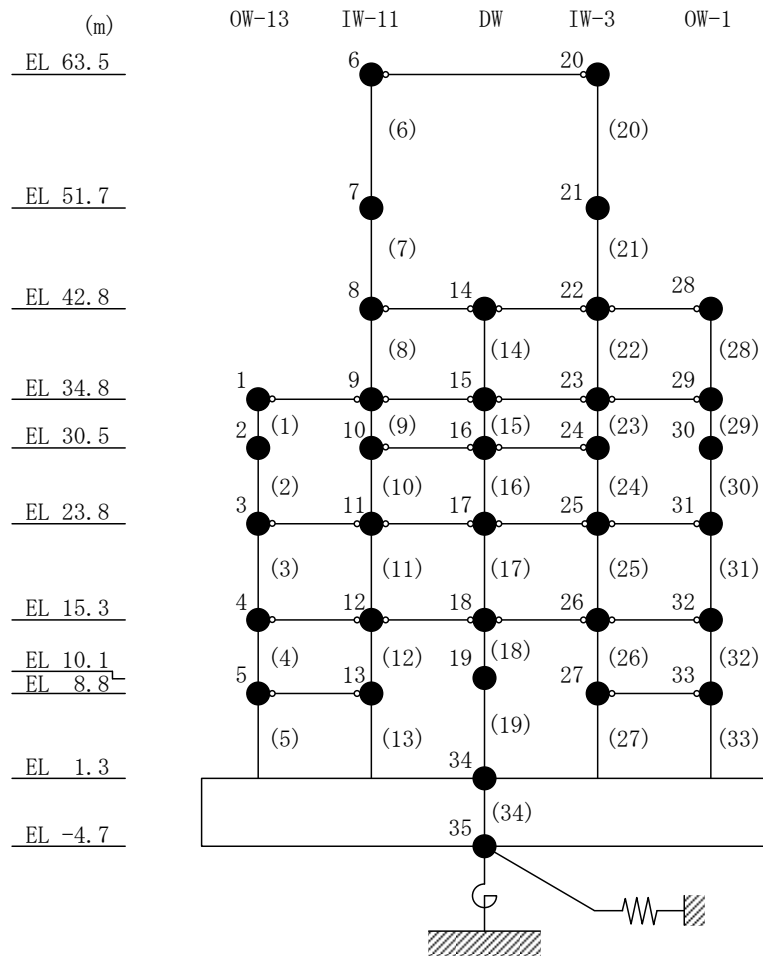


図 3-1(1) 原子炉建物地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向))

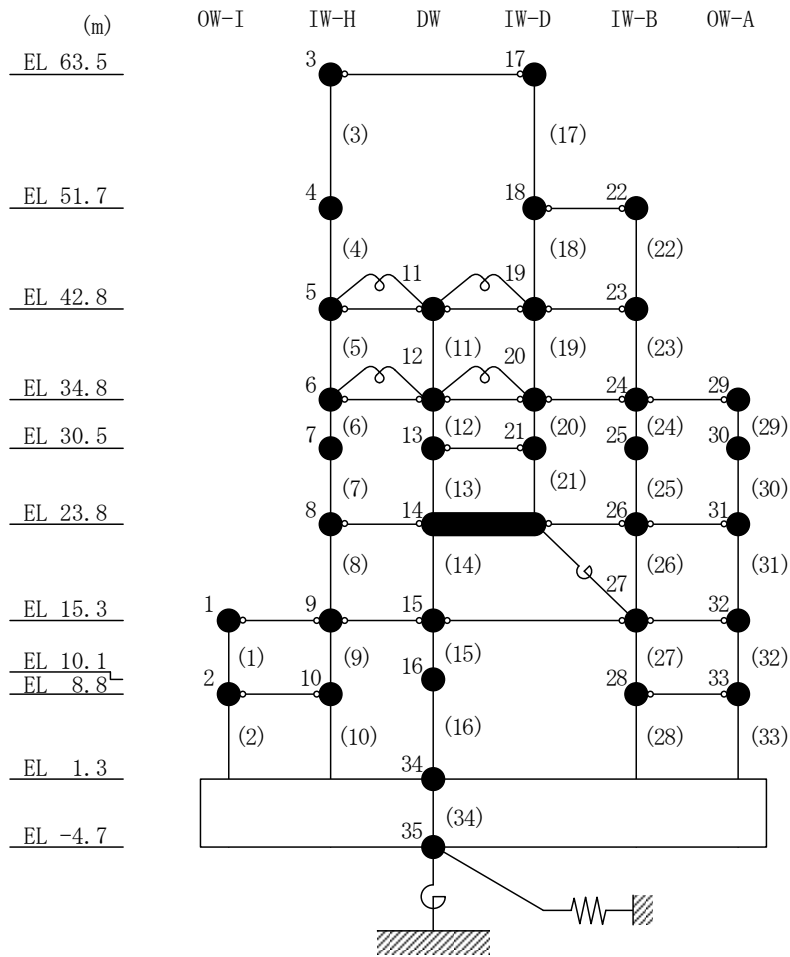


図 3-1(2) 原子炉建物地震応答解析モデル (水平方向 (EW方向))

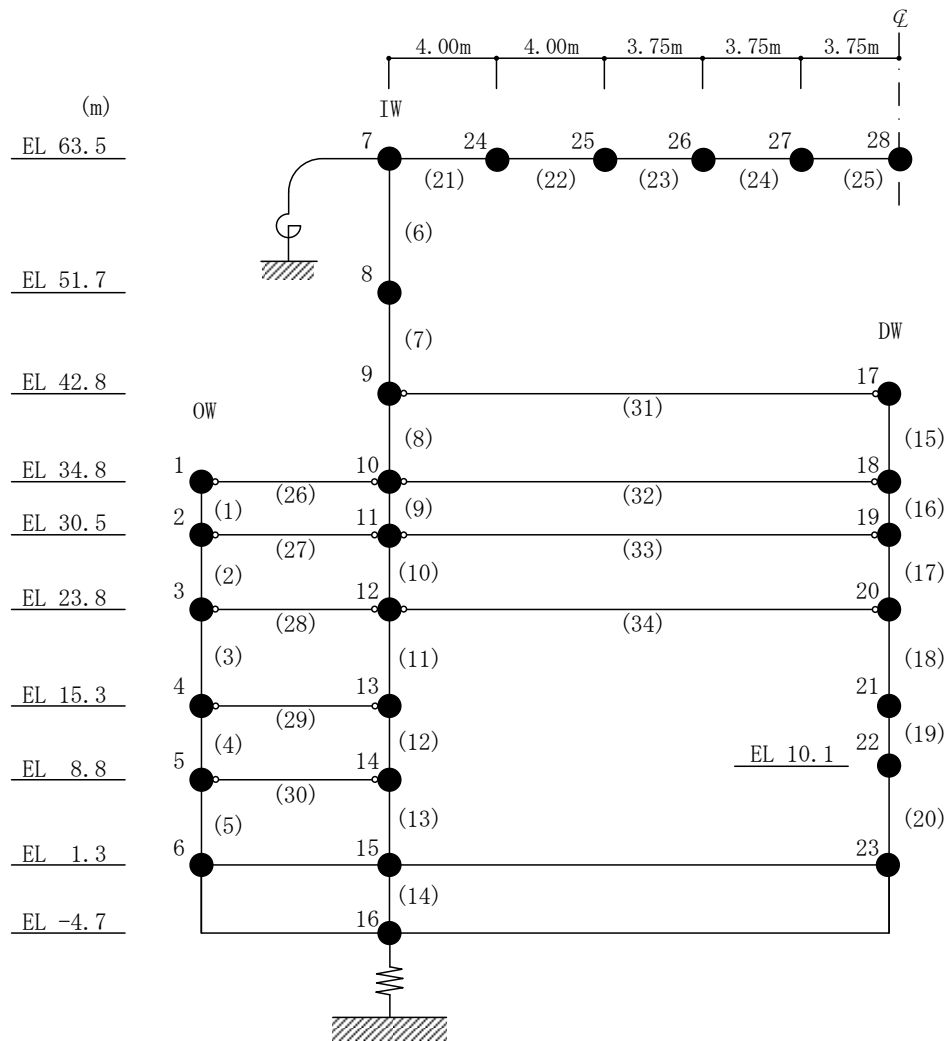


図 3-1(3) 原子炉建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

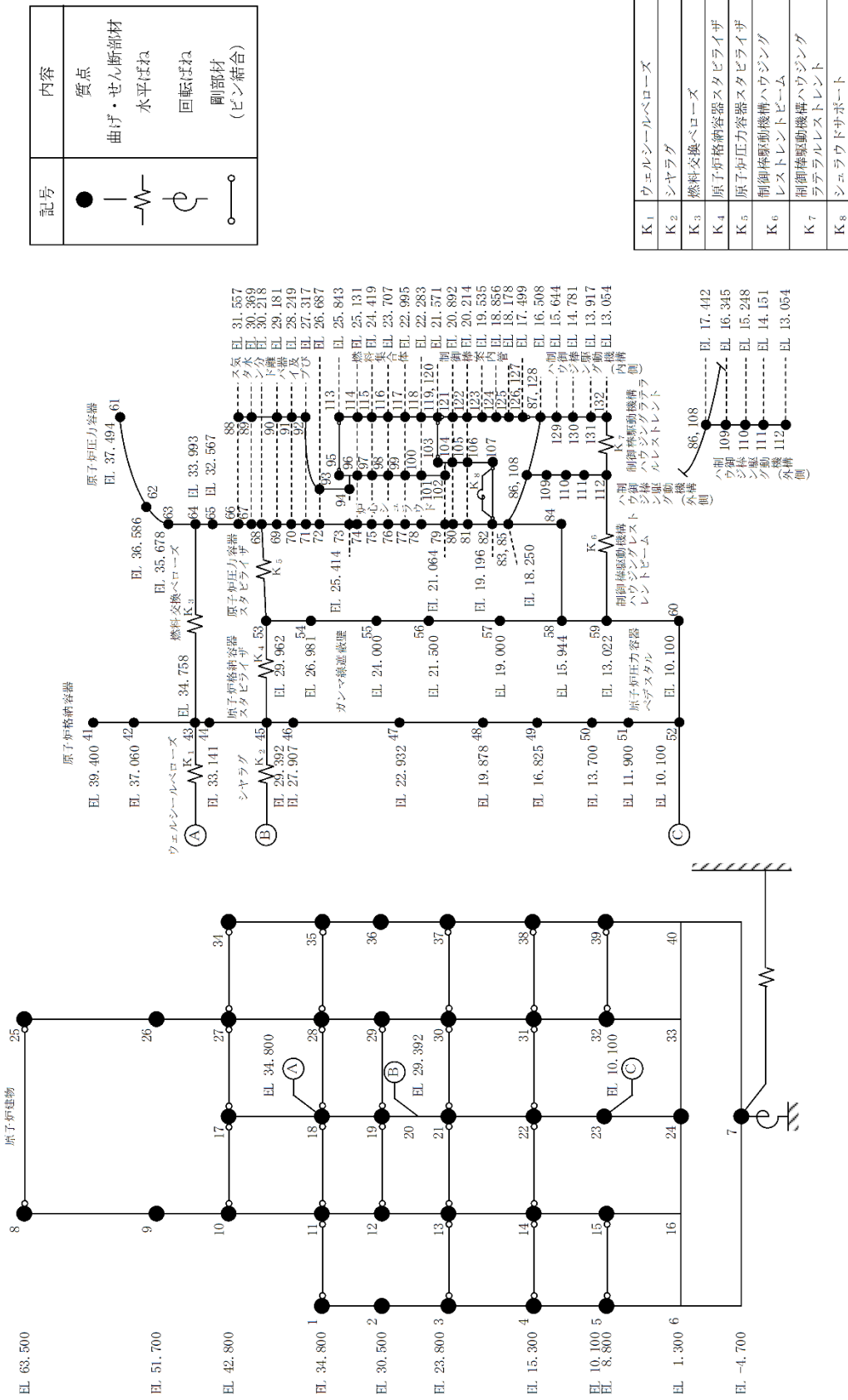


図 3-2(1) 原子炉本体地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向)) (単位 : m)

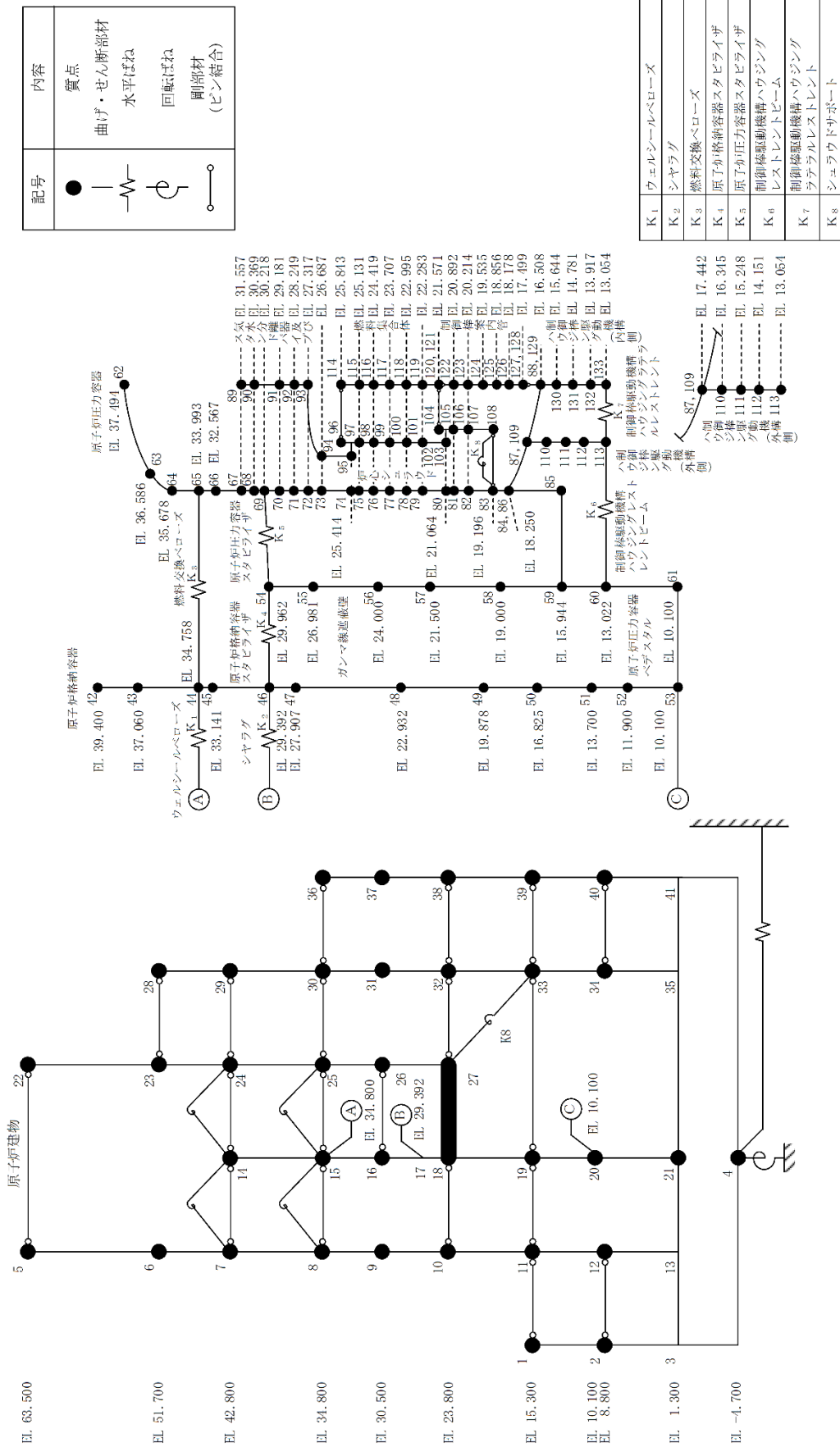
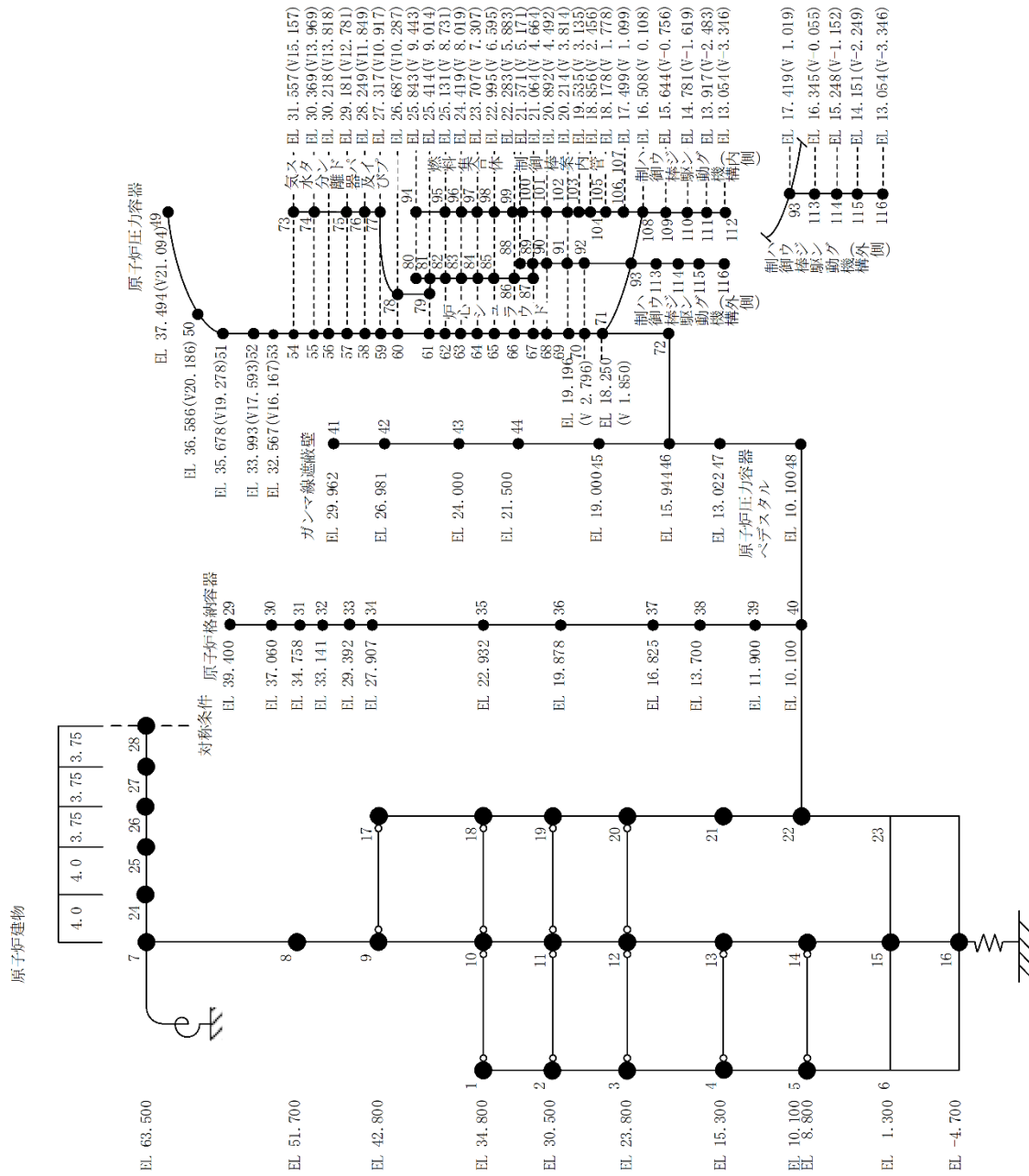


図 3-2(2) 原子炉本体地震応答解析モデル (水平方向 (E-W方向)) (単位: m)



記号	内容
	質点
	軸ばね
	せん断ばね
	回転ばね
	鉛直ばね
	はり
	(屋根トラス部)

図 3-2 (3) 原子炉本体地震応答解析モデル (鉛直方向) (単位: m)

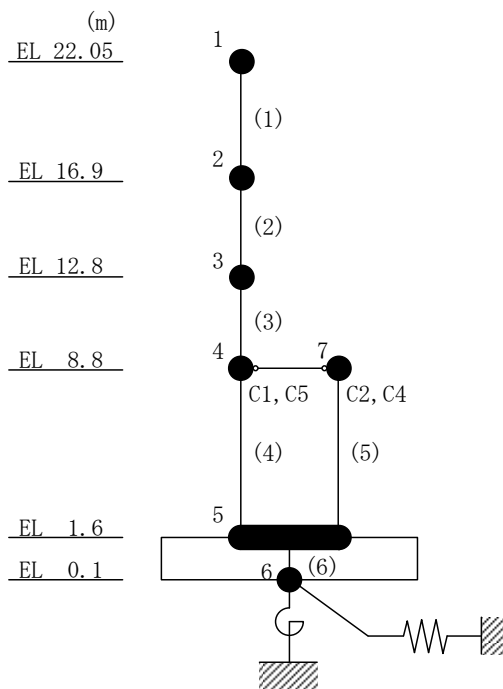


図 3-3(1) 制御室建物地震応答解析モデル（水平方向（N S 方向））

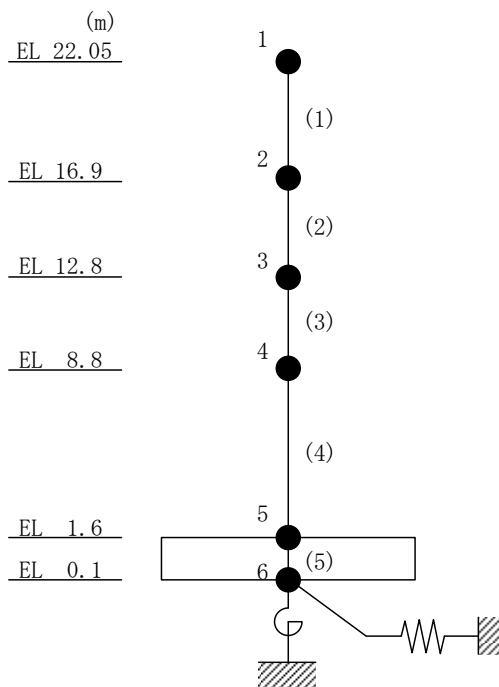


図 3-3(2) 制御室建物地震応答解析モデル（水平方向（E W 方向））

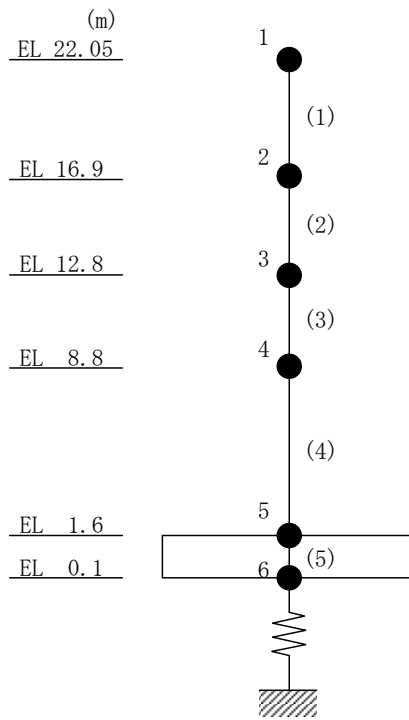


図 3-3(3) 制御室建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

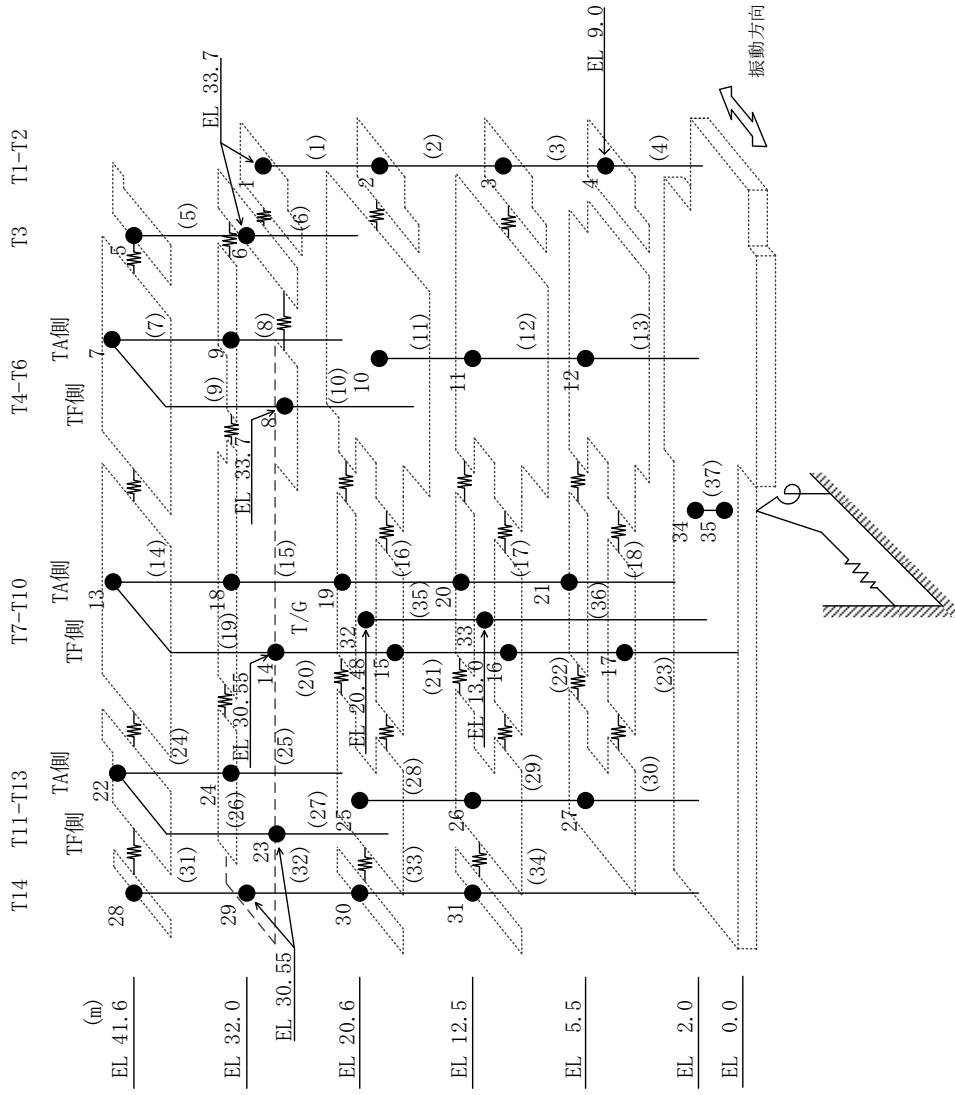


図 3-4(1) タービン建物地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向))

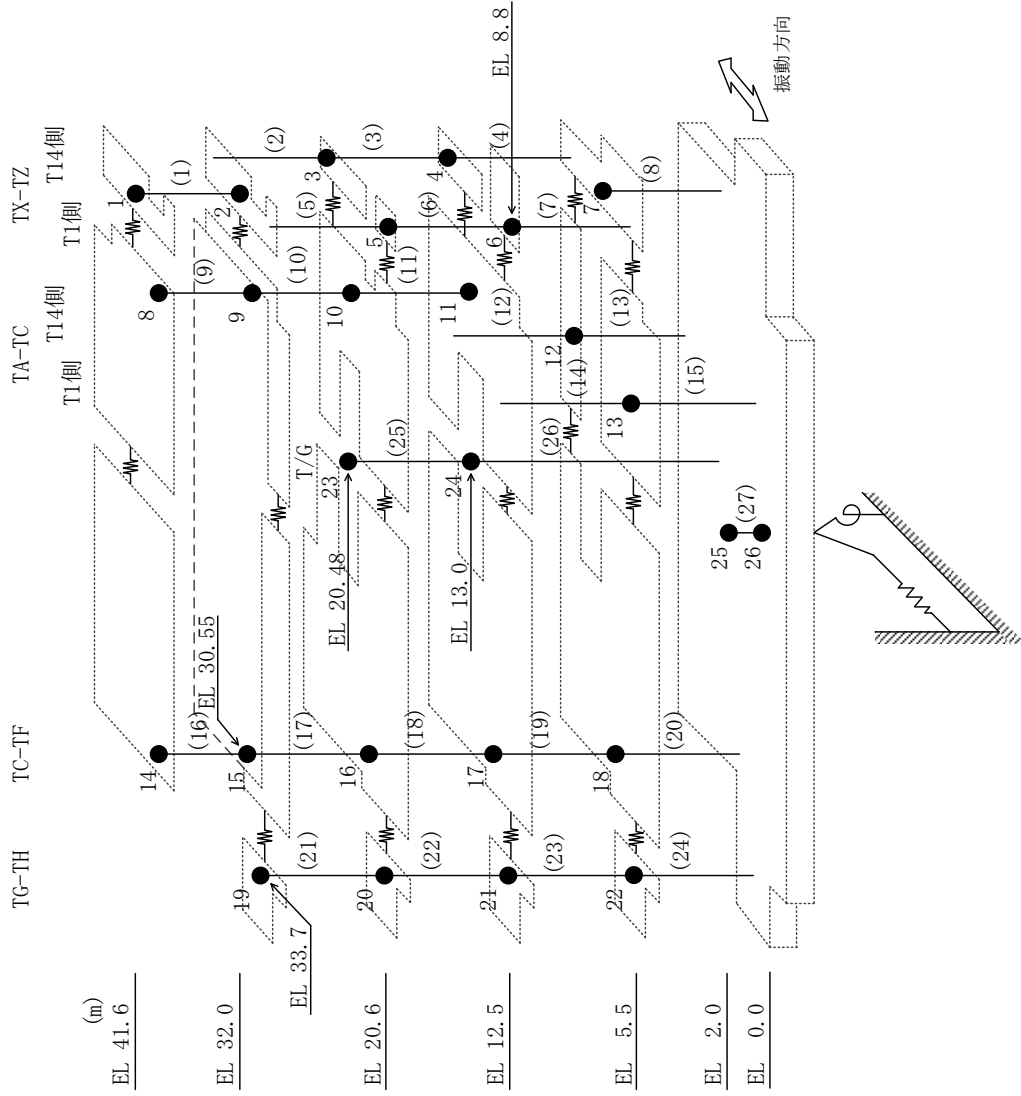


図 3-4 (2) タービン建物地震応答解析モデル (水平方向 (E-W方向))

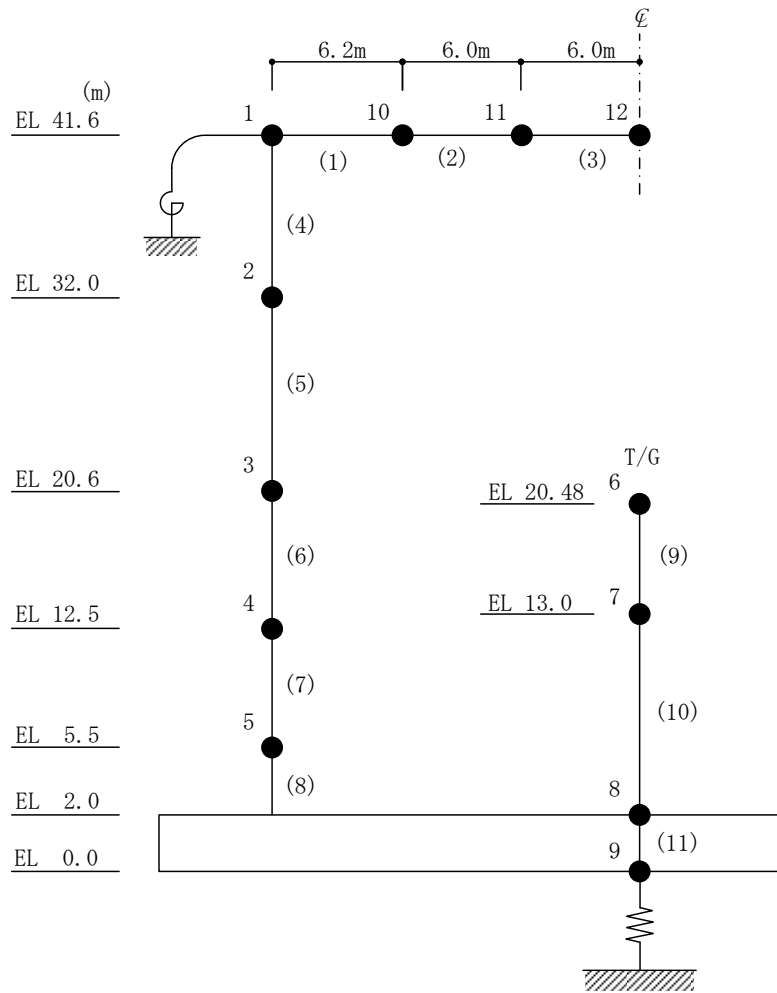


図 3-4(3) タービン建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

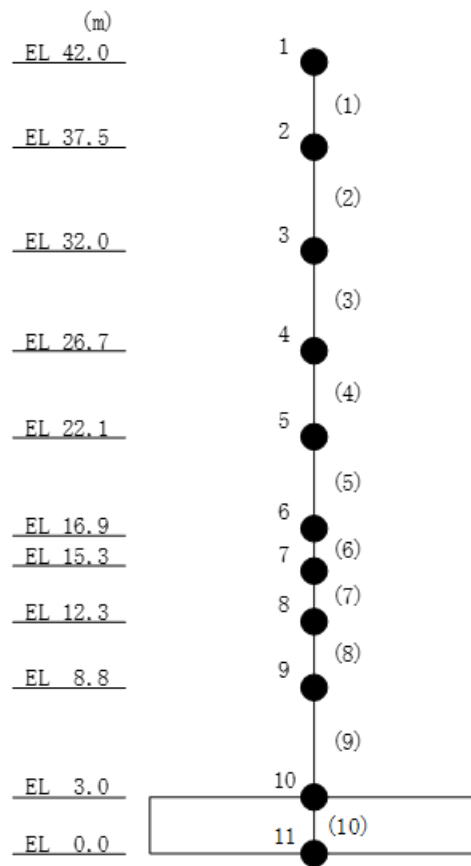
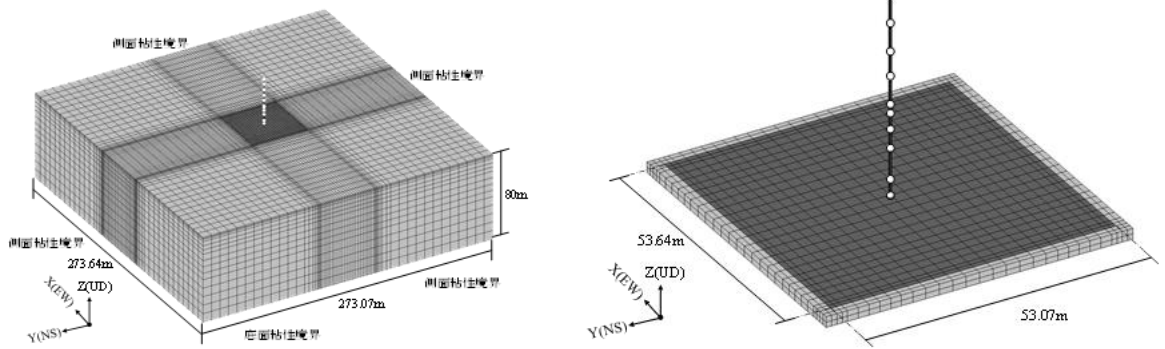


図 3-5(1) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
(基準地震動 S_s , 水平方向 (NS 方向))

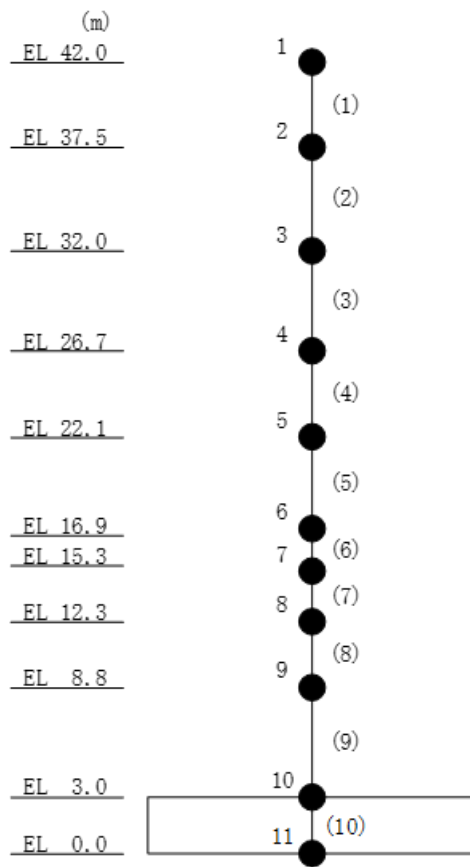
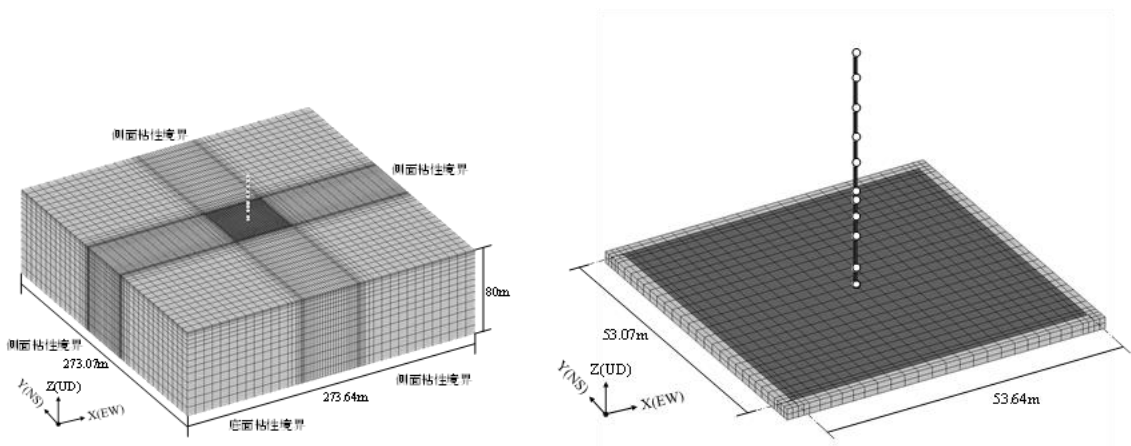


図 3-5(2) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
(基準地震動 S_s , 水平方向 (E W方向))

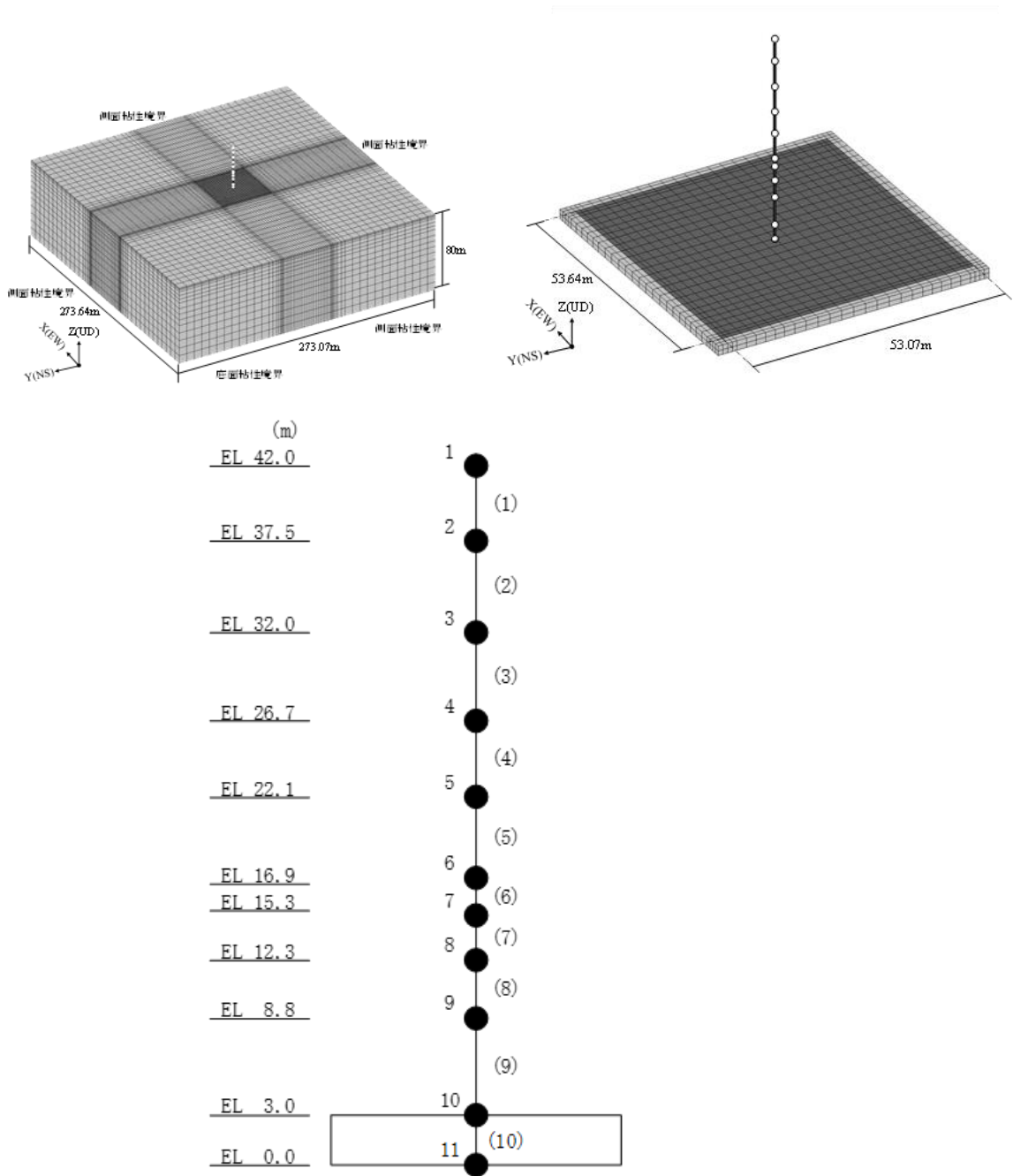


図 3-5(3) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
(基準地震動 S_s , 鉛直方向)

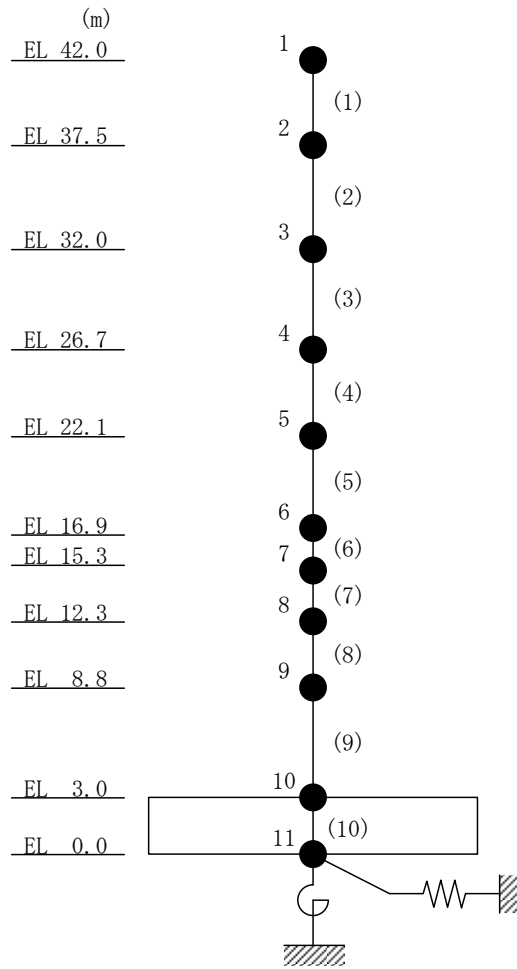


図 3-5(4) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
 (弾性設計用地震動 S d , 水平方向 (N S 方向, E W 方向))

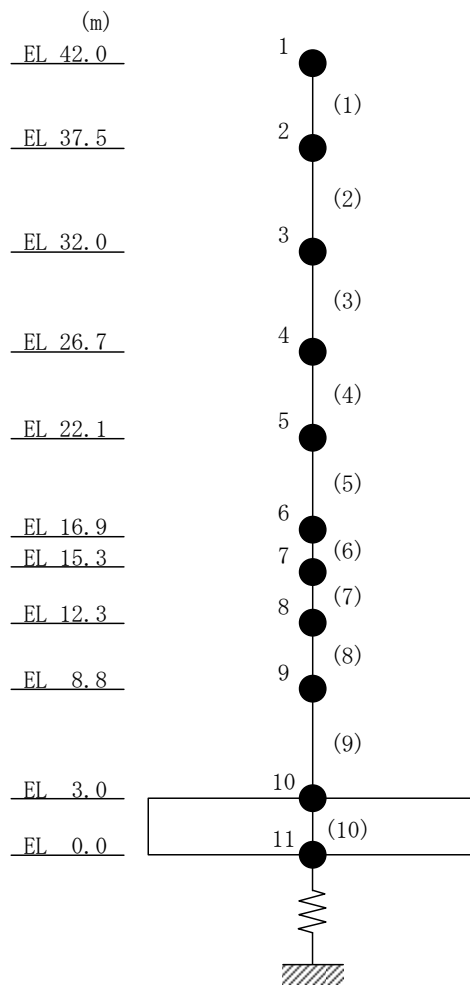


図 3-5(5) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
(弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

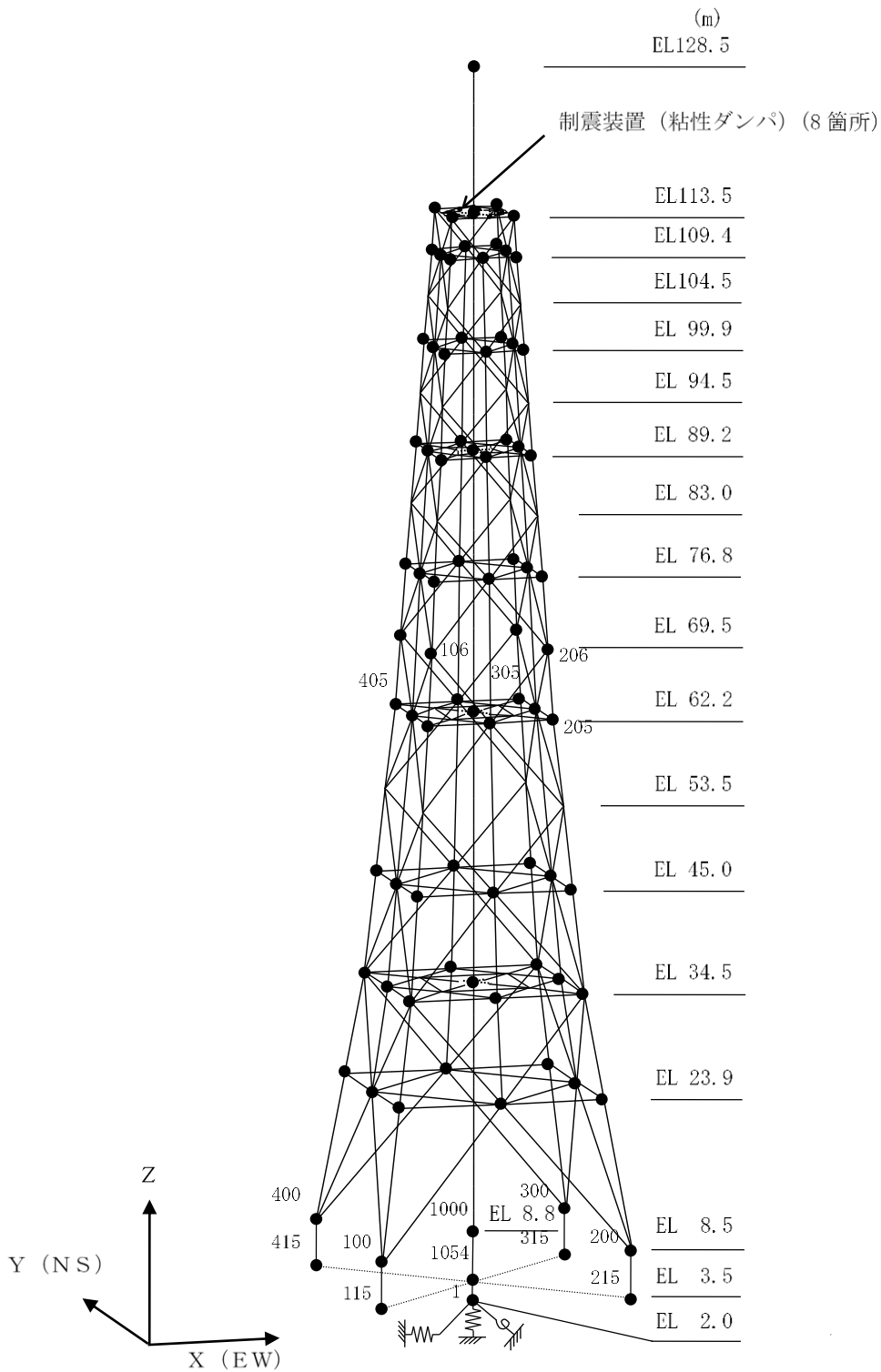


図 3-6 排気筒地震応答解析モデル（水平方向及び鉛直方向）

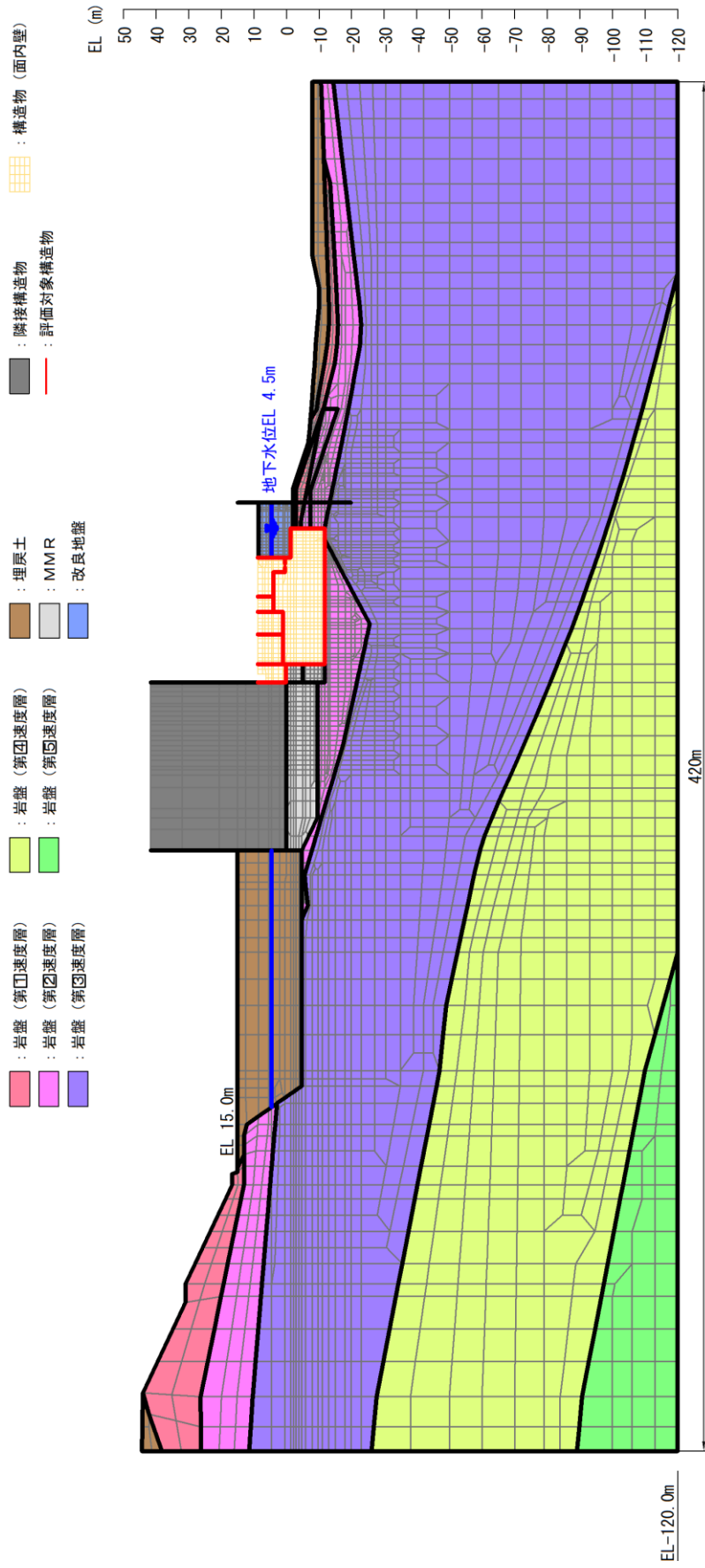


図 3-7(1) 取水槽地震応答解析モデル (NS 断面 (D-D 断面))

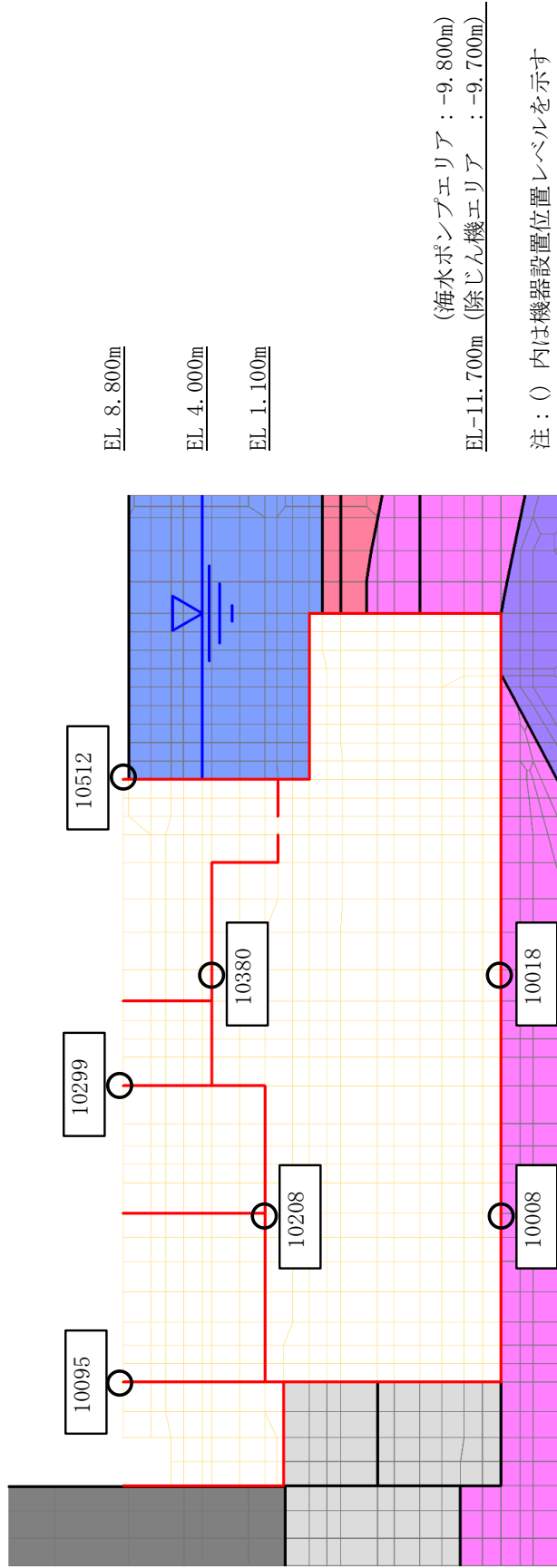


図 3-7(2) 取水槽の加速度応答算出位置 (地震応答解析モデル (NS 断面 (D-D 断面)) の拡大図)

- : 岩盤 (第②速度層)
: 埋戻土
: 評価対象構造物
- : 岩盤 (第③速度層)
: 埋戻コンクリート
: 構造物 (面内壁)
- : 改良地盤

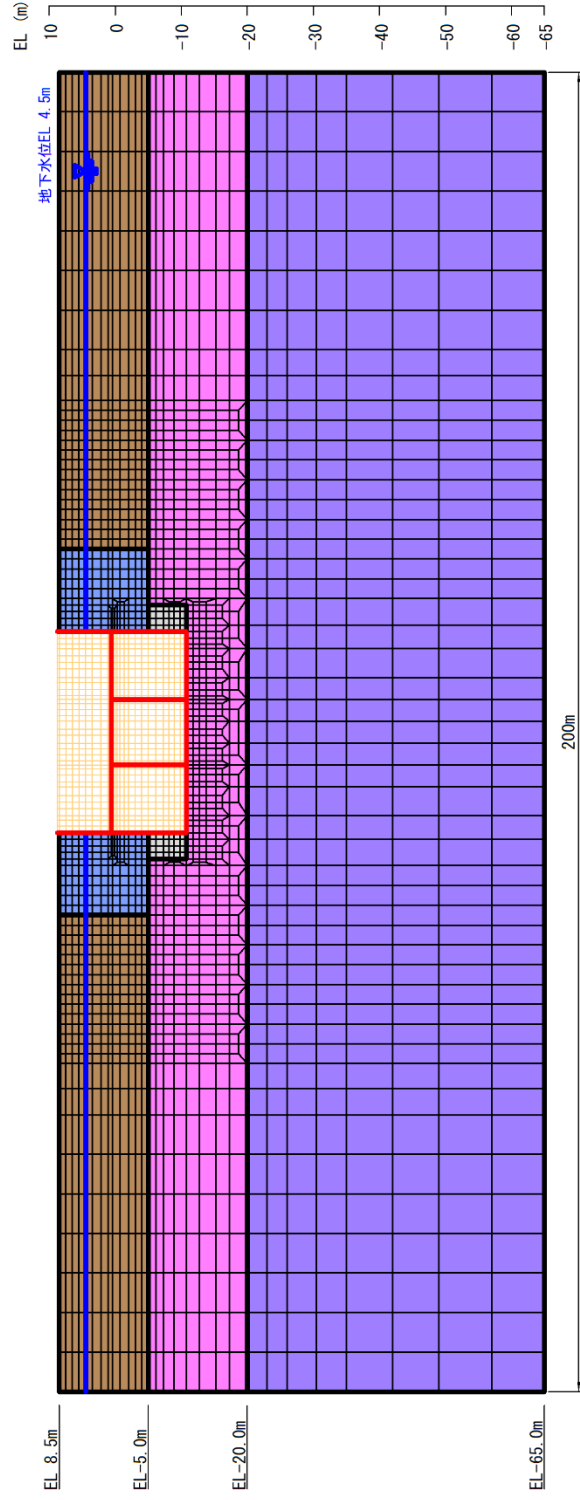


図 3-7(3) 取水槽地震応答解析モデル (E-W断面 (海水ポンプエリア) (B-B断面))

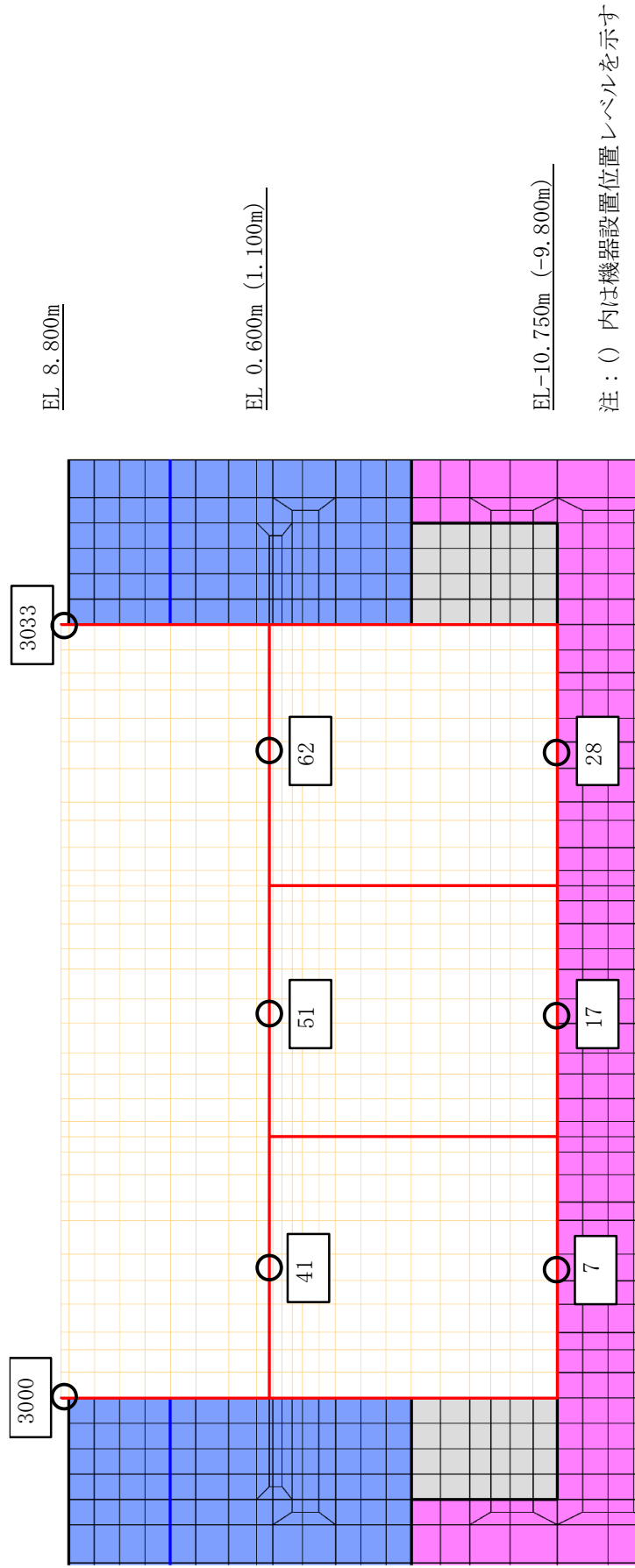


図3-7(4) 取水槽の加速度応答算出位置（地震応答解析モデル（E-W断面（海水ポンプエリア）（B-B断面）の拡大図）

- : 岩盤 (第②速度層)
- : 埋戻土
- : 評価対象構造物
- : 埋戻コンクリート
- : 構造物 (面内壁)
- : 改良地盤

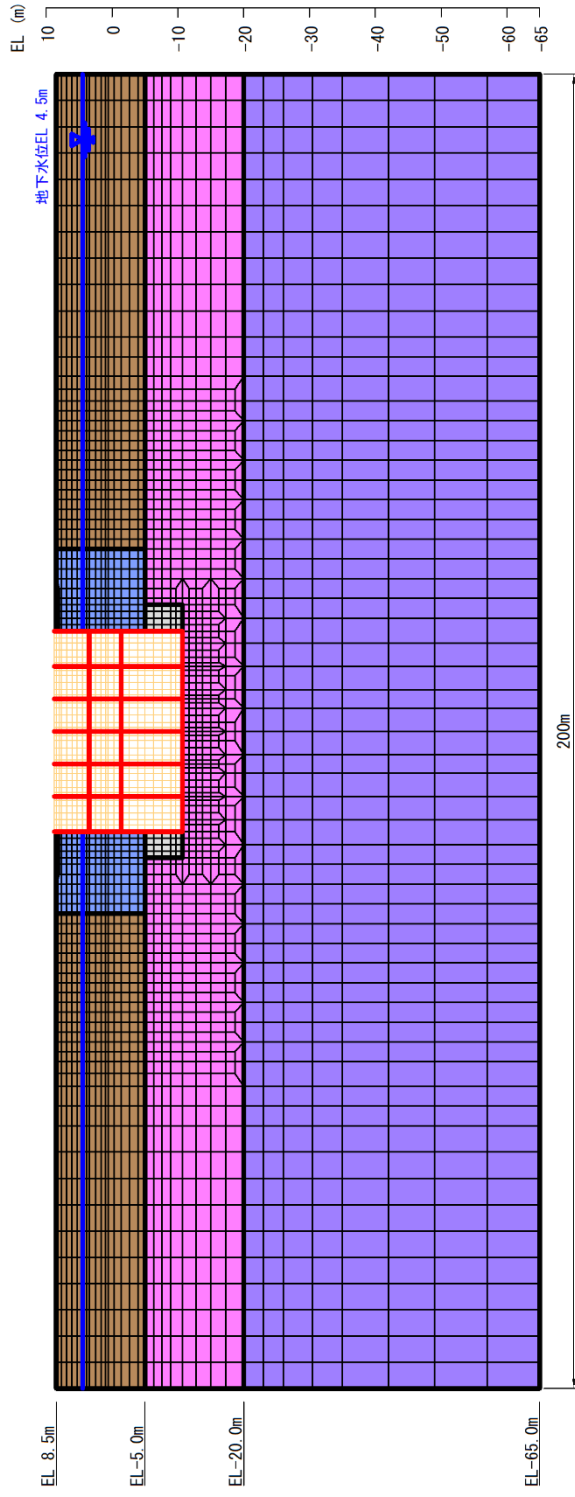


図 3-7 (5) 取水槽地震応答解析モデル (E-W断面 (除じん機エリア) (A-A断面))

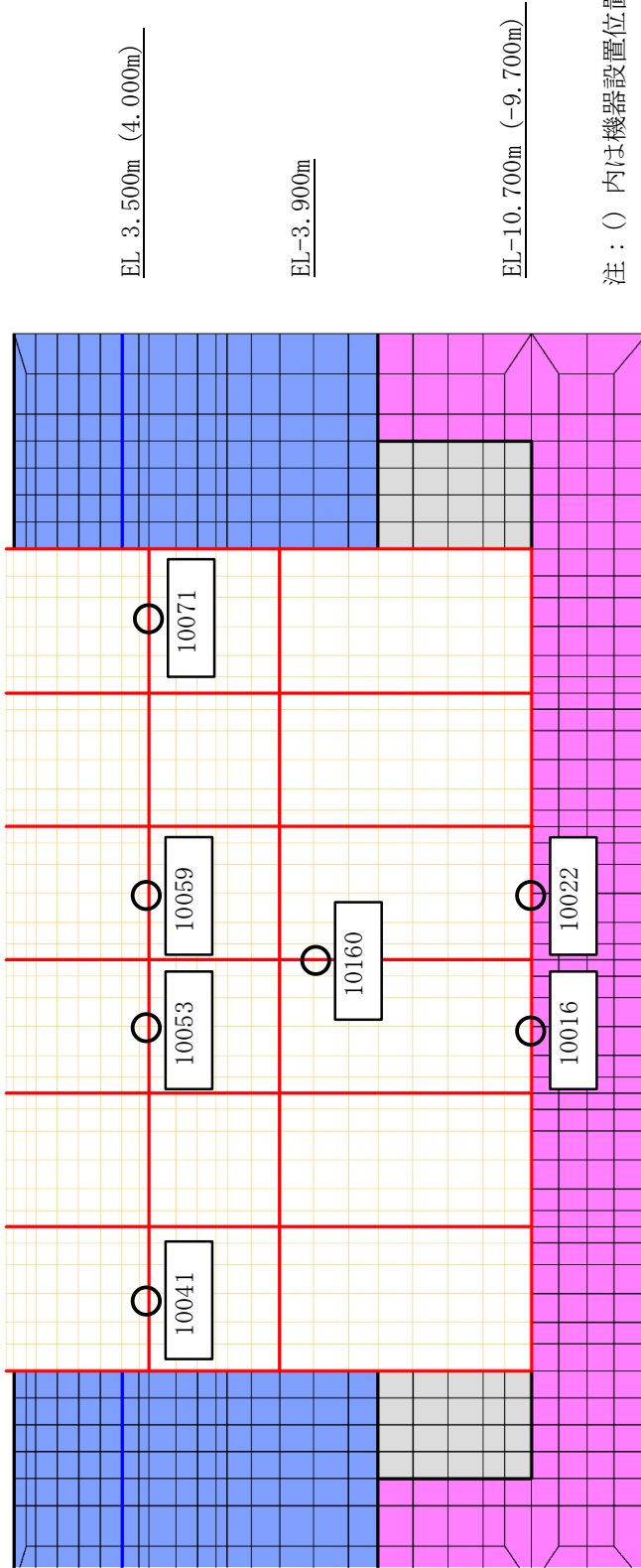


図 3-7(6) 取水槽の加速度応答算出位置（地震応答解析モデル（E-W断面（除じん機エリア）（A-A断面））の拡大図）

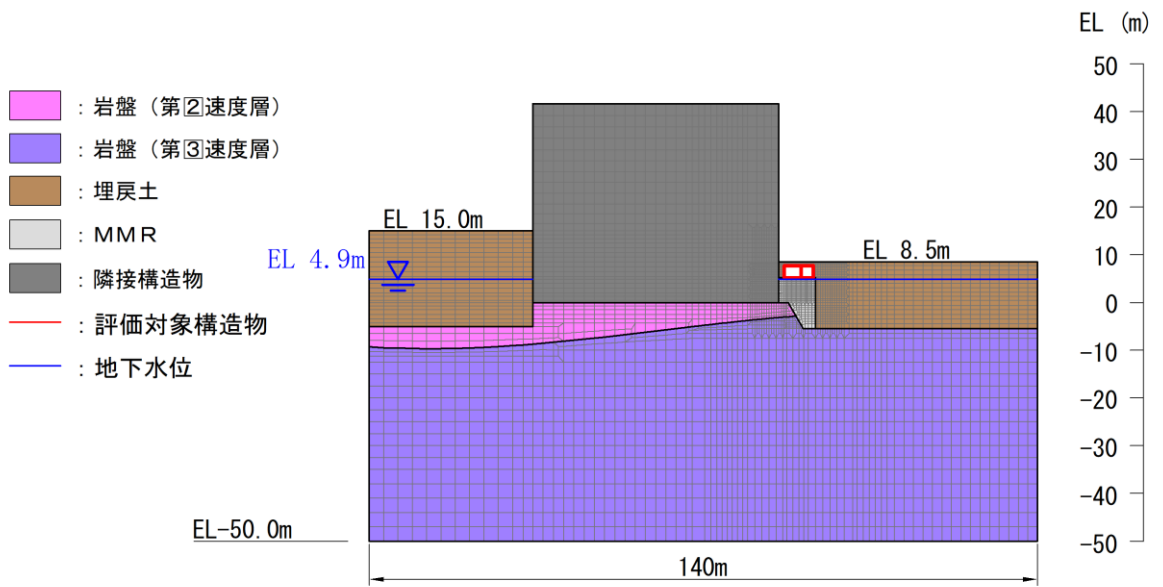
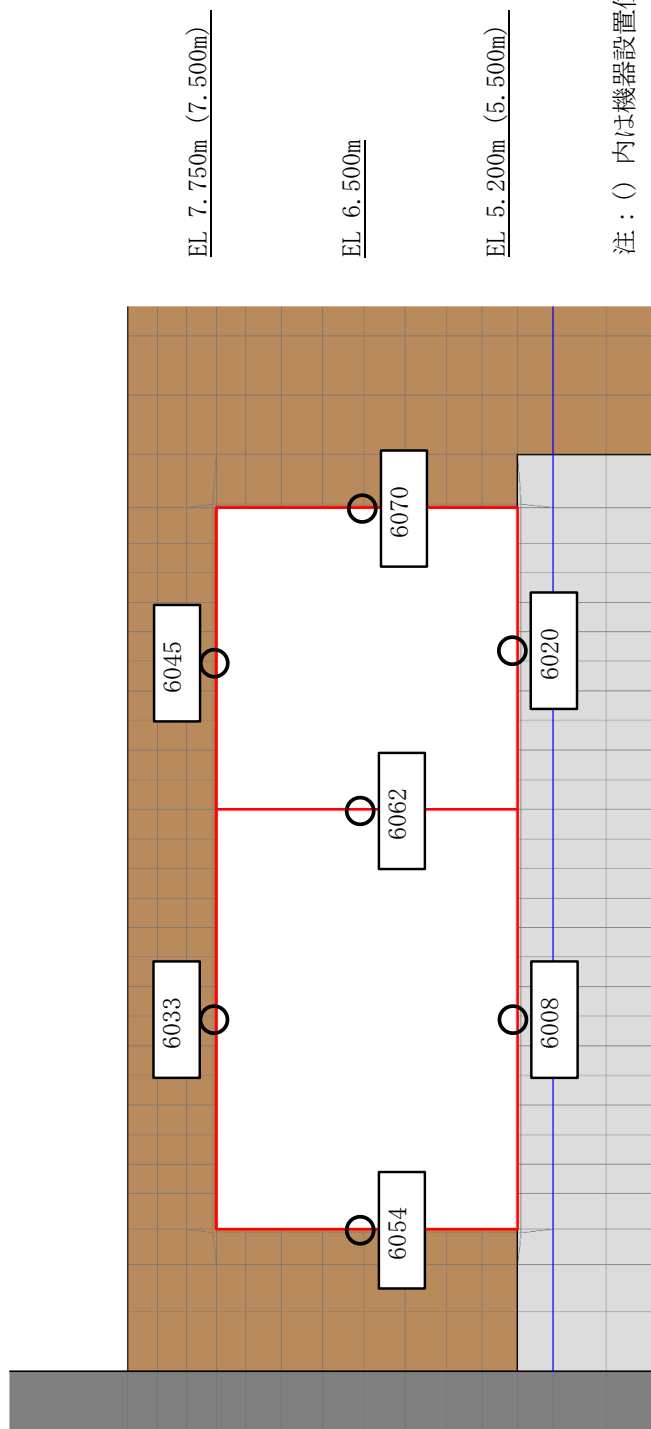


図 3-8(1) 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒) 地震応答解析モデル (A-A断面)



注：() 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-8 (2) 屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）の加速度応答算出位置
（地震応答解析モデル（A-A断面）の拡大図）

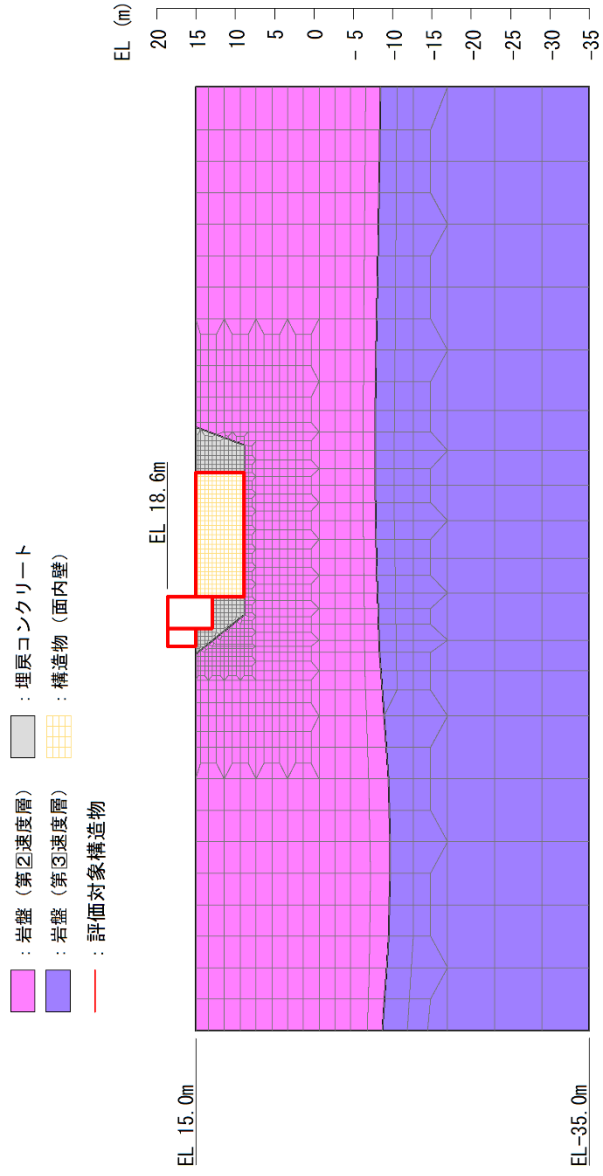


図 3-9(1) B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽地震応答解析モデル
(NS断面 (B-B断面))

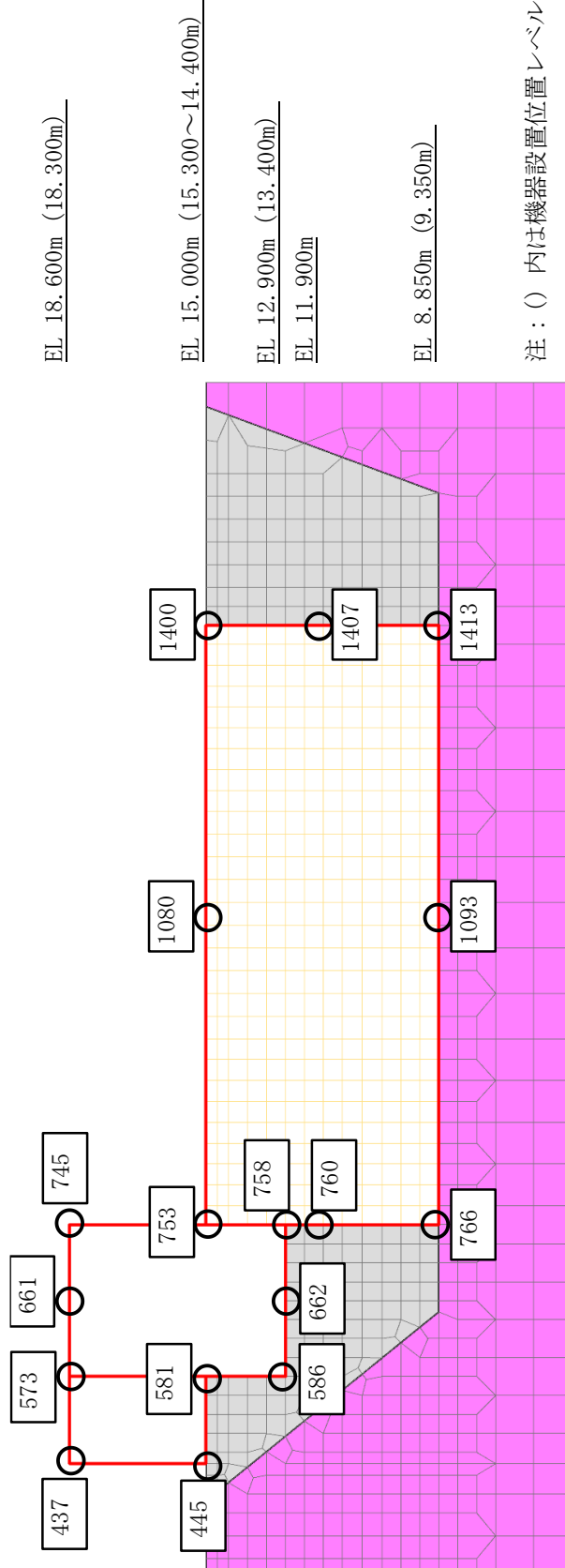


図 3-9(2) B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の加速度応答算出位置
(地震応答解析モデル (N-S 断面 (B-B 断面)) の拡大図)

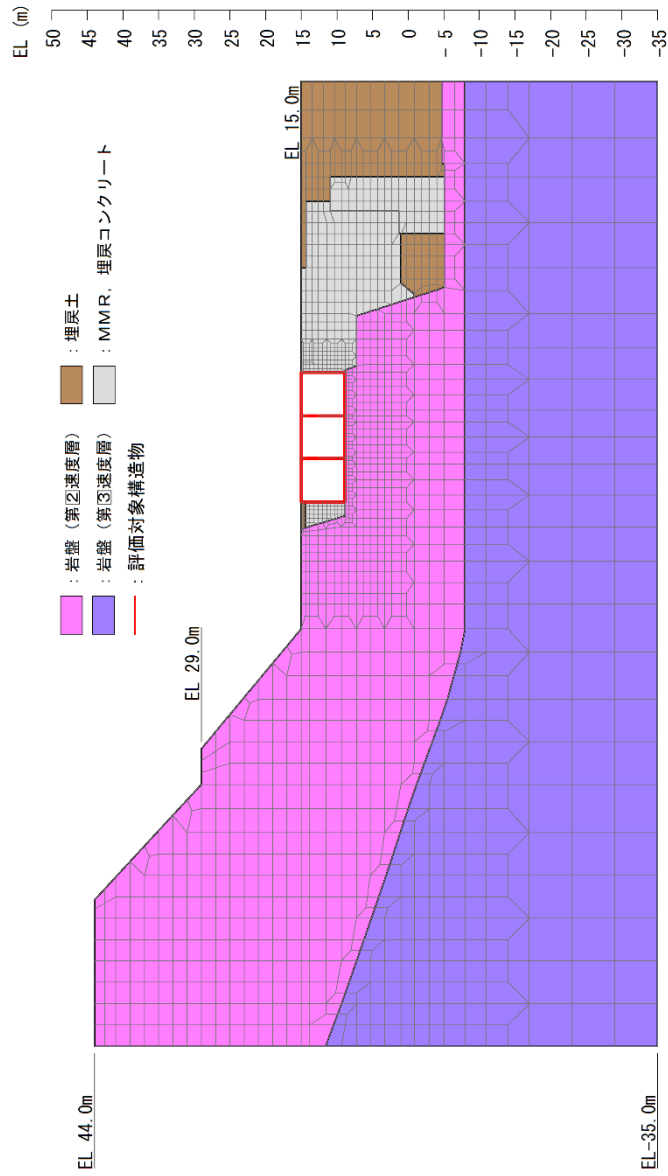
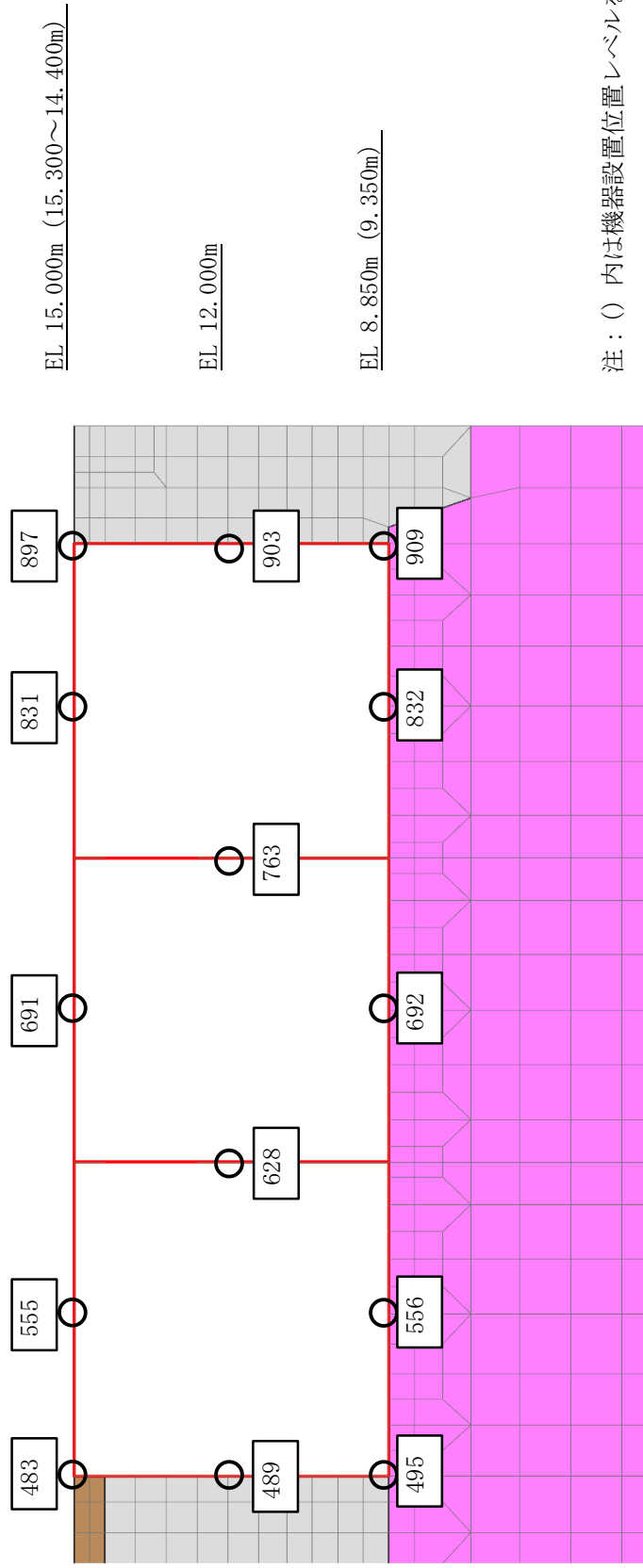


図3-9(3) B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽地震応答解析モデル
(EW断面 (A-A断面))



注：() 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-9(4) B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の加速度応答算出位置
(地震応答解析モデル (E-W断面 (A-A断面)) の拡大図)

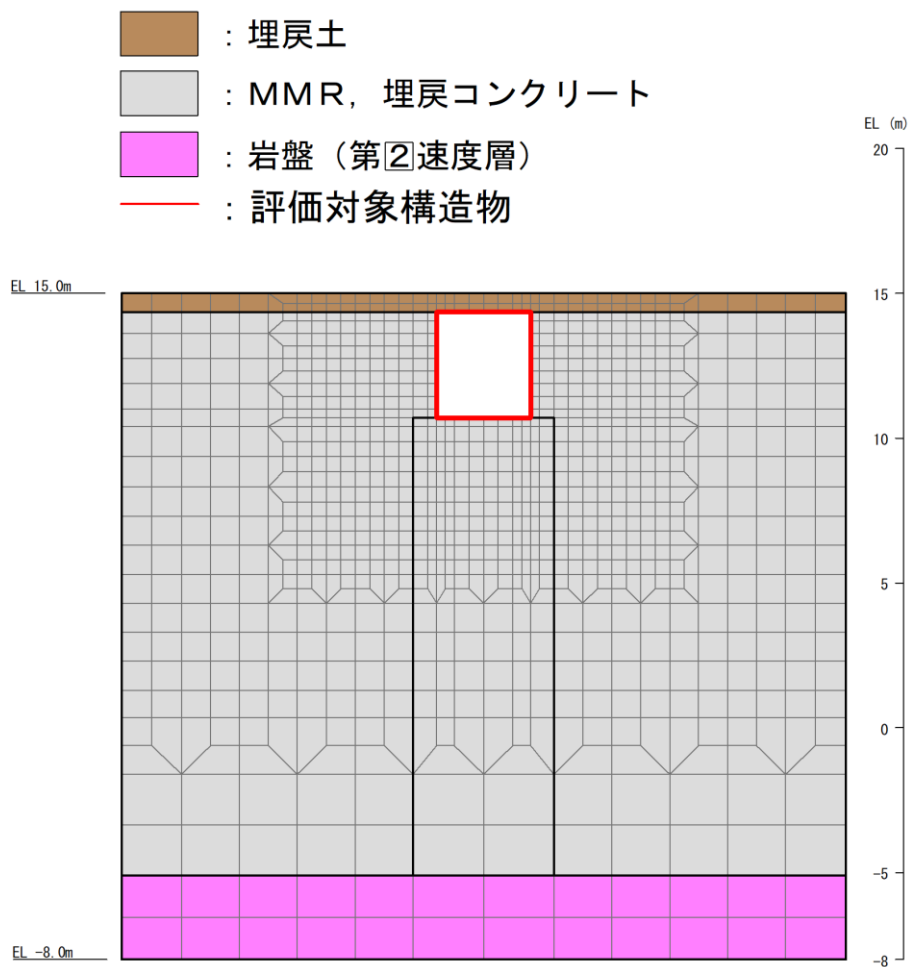


図 3-10(1) 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)
地震応答解析モデル (復水貯蔵タンク連絡ダクト (F) (B-B 断面))

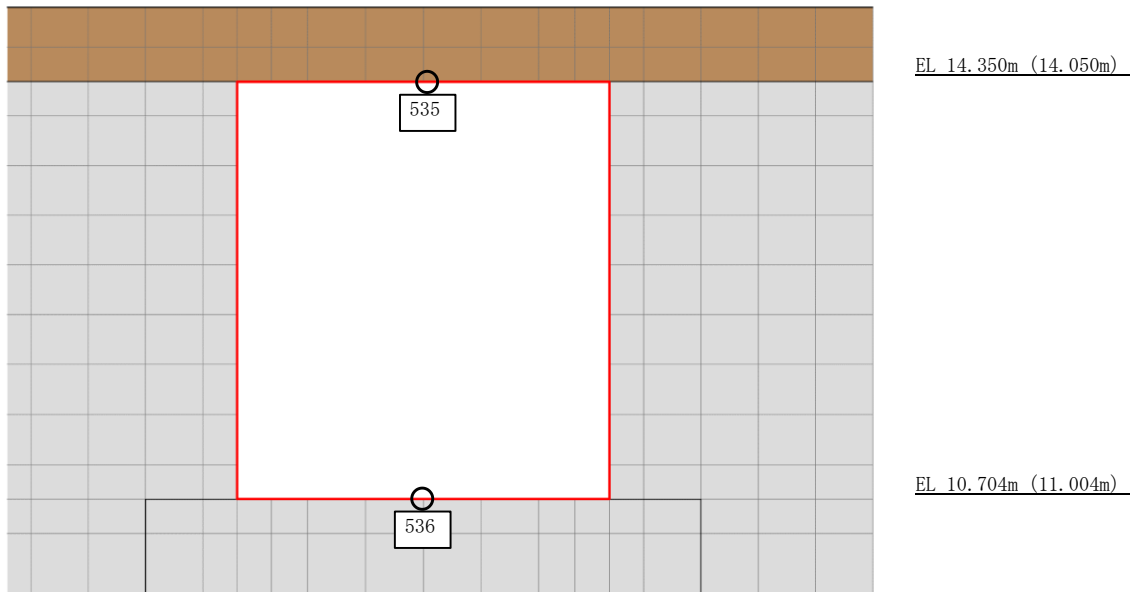


図 3-10(2) 屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）の
加速度応答算出位置（地震応答解析モデル
（復水貯蔵タンク連絡ダクト（F）（B-B断面））の拡大図）

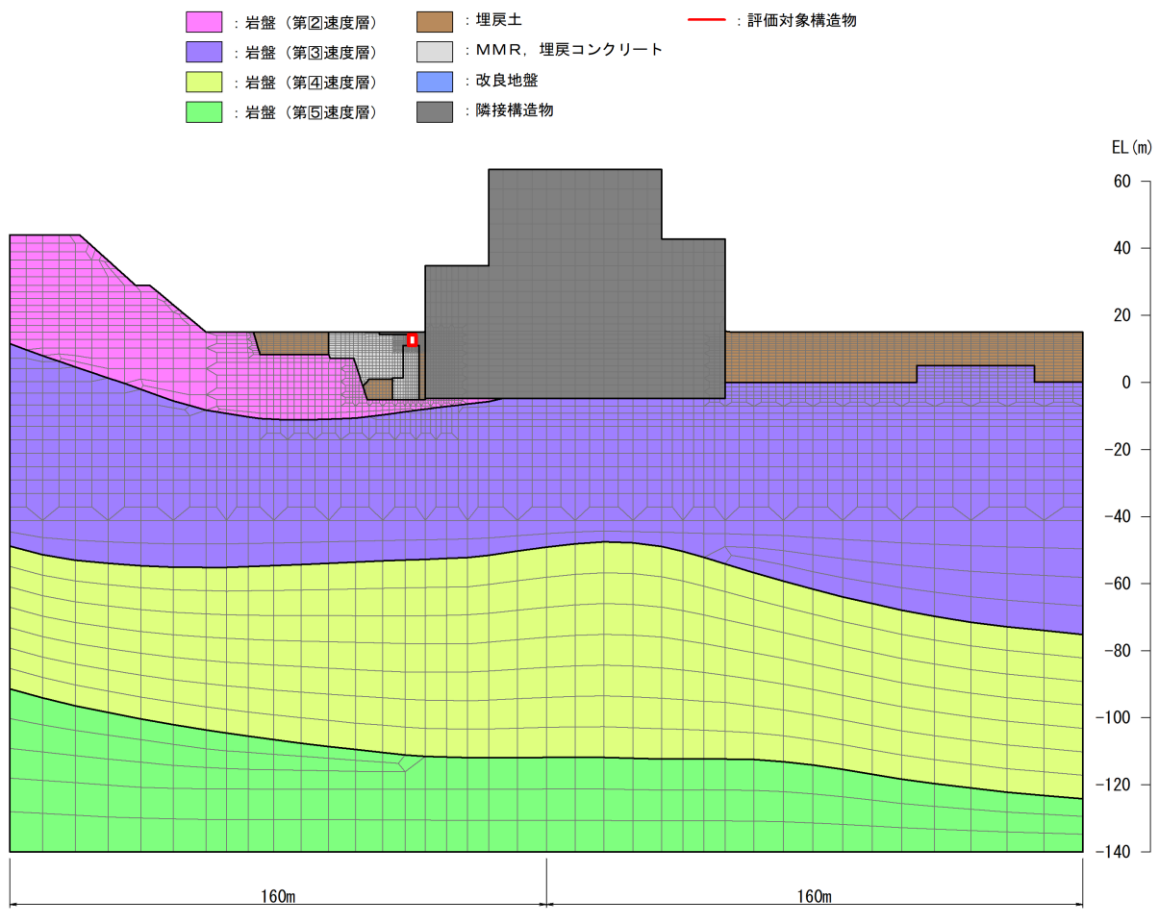


図 3-10(3) 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)
地震応答解析モデル (復水貯蔵タンク連絡ダクト (G) (C-C 断面))

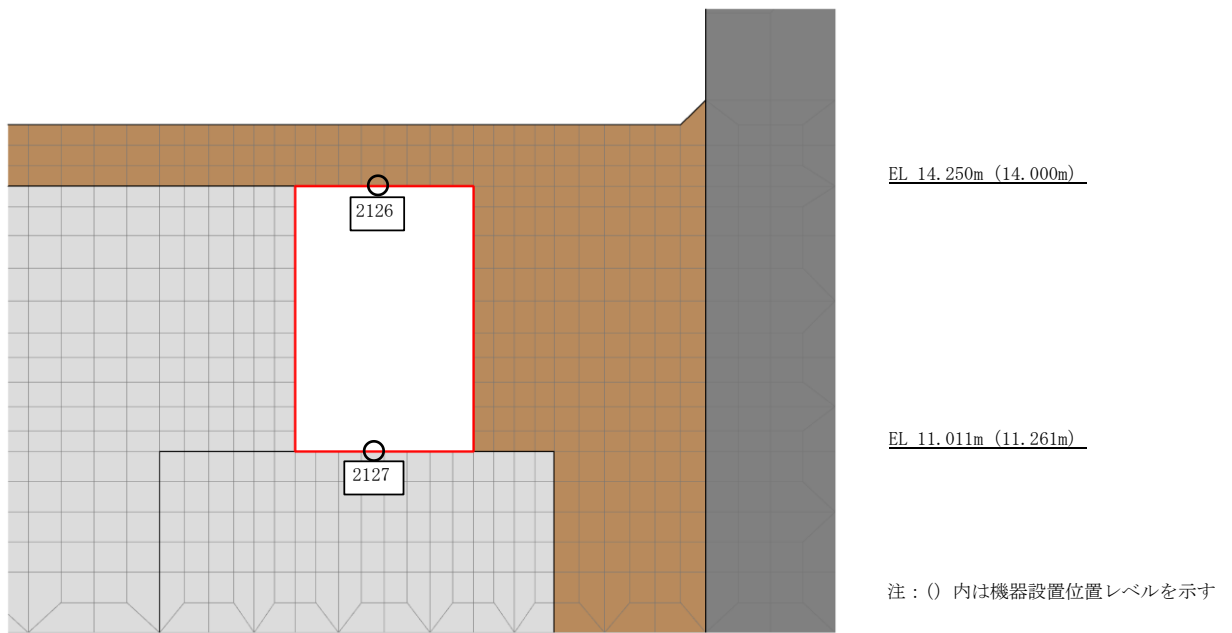


図 3-10(4) 屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）の
加速度応答算出位置（地震応答解析モデル
（復水貯蔵タンク連絡ダクト（G）（C-C断面））の拡大図）

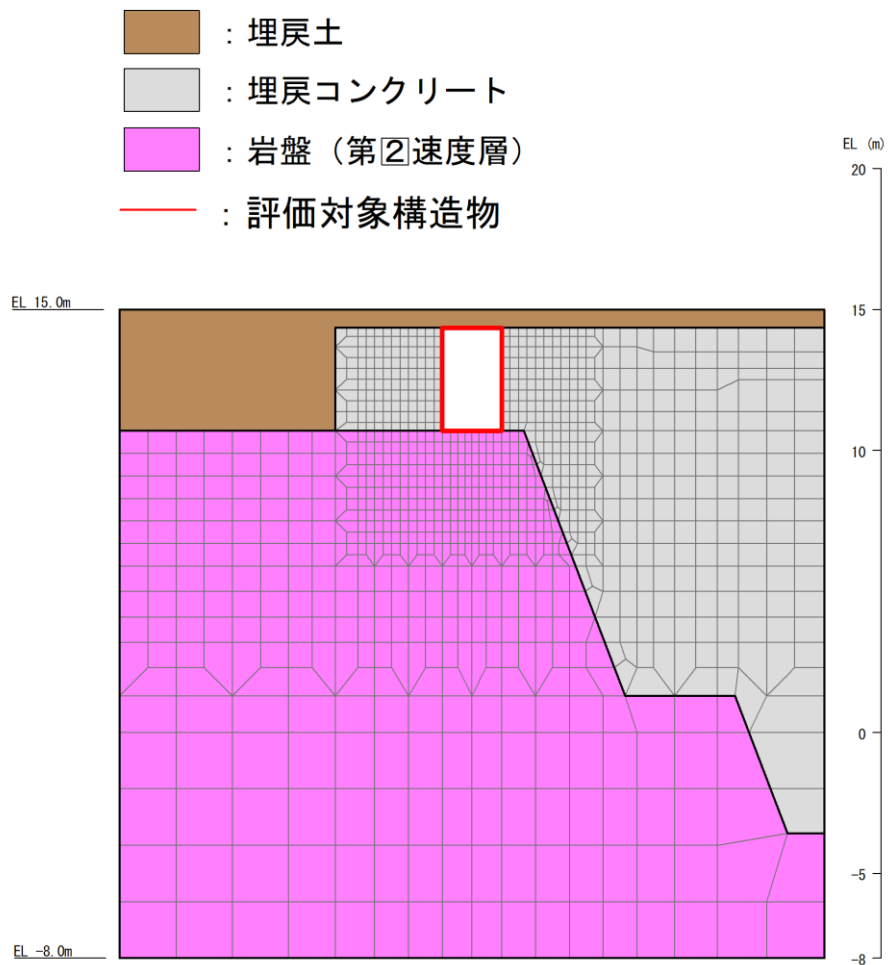


図 3-10(5) 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)
地震応答解析モデル (燃料移送系配管ダクト (A-A断面))

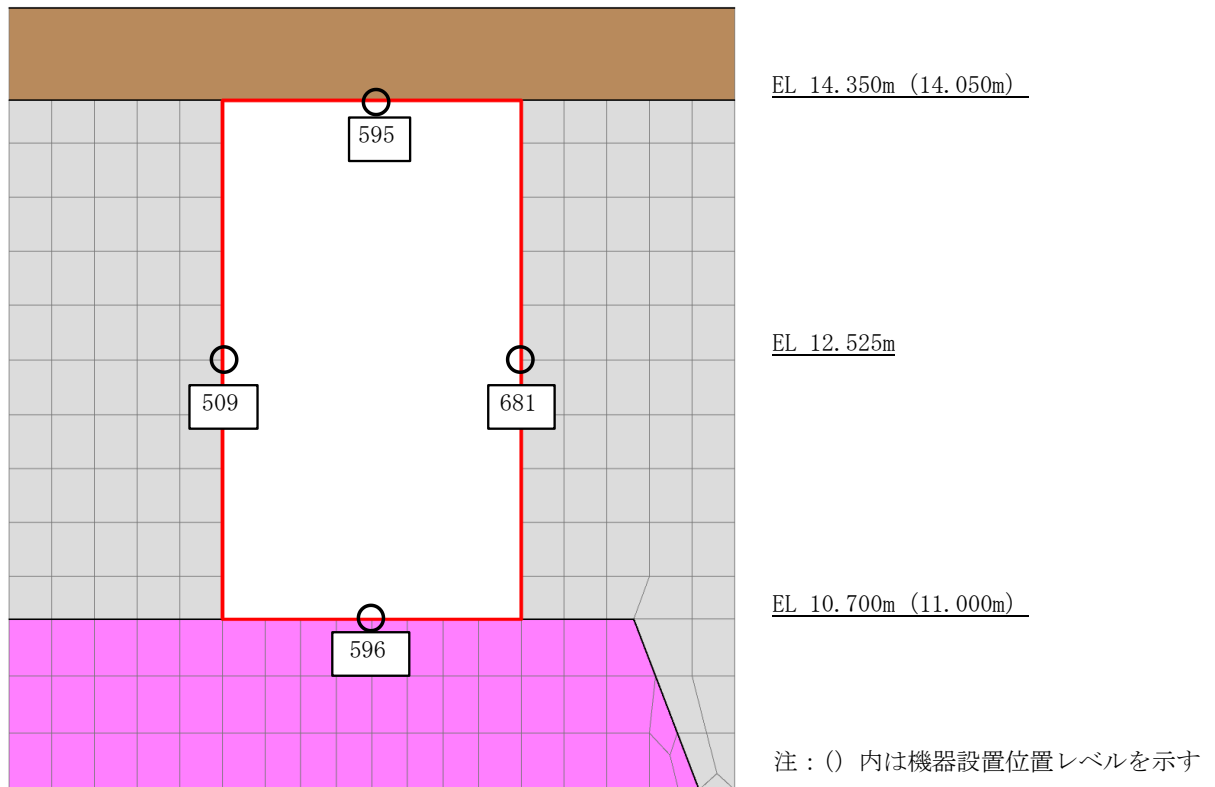


図 3-10(6) 屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）の
 加速度応答算出位置（地震応答解析モデル
 （燃料移送系配管ダクト（A-A断面））の拡大図）

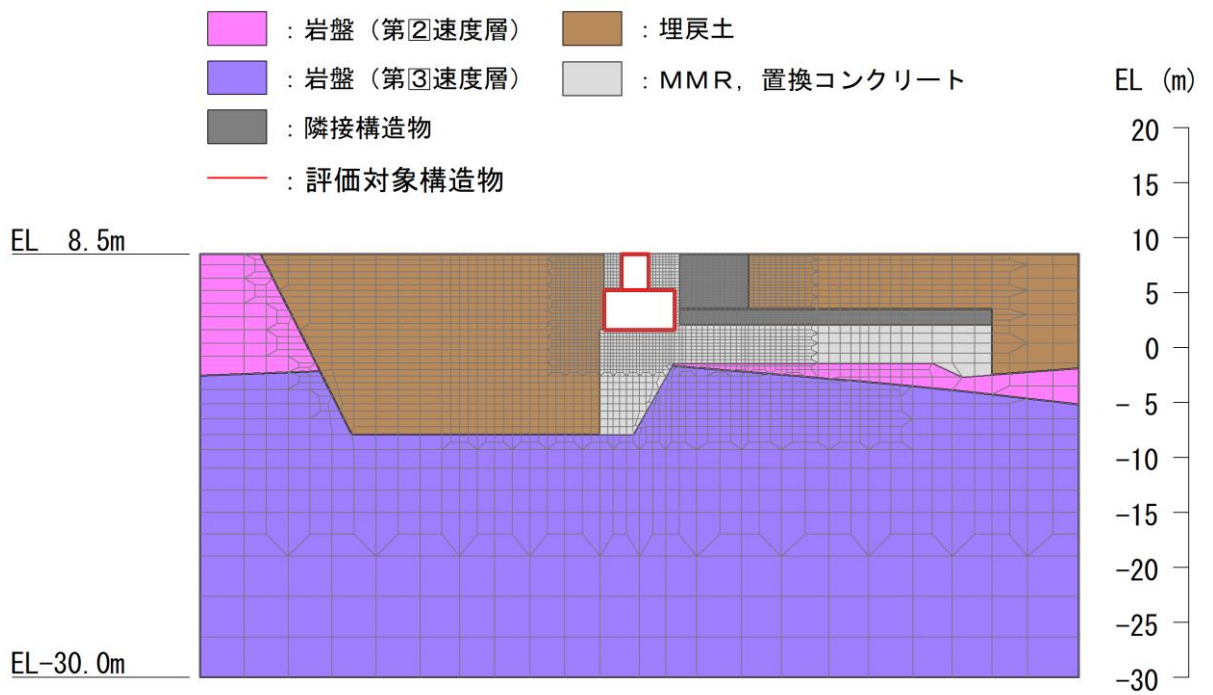


図 3-11(1) 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)
地震応答解析モデル (NS 断面 (立坑部) (B-B 断面))

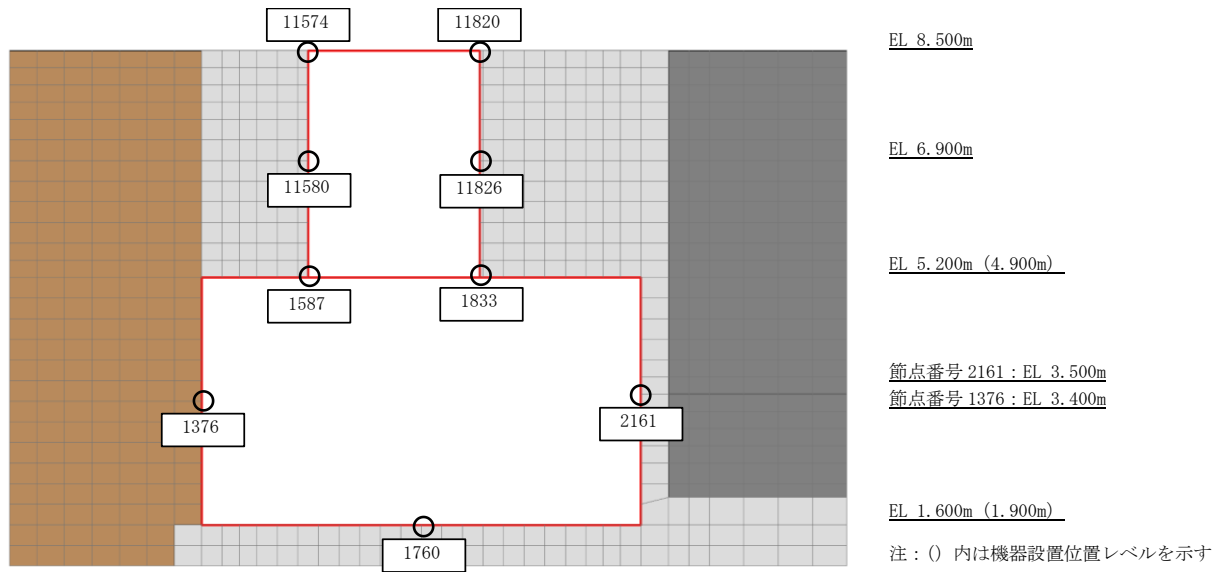


図 3-11(2) 屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）の加速度応答算出位置
（地震応答解析モデル（NS断面（立坑部）（B-B断面））の拡大図）

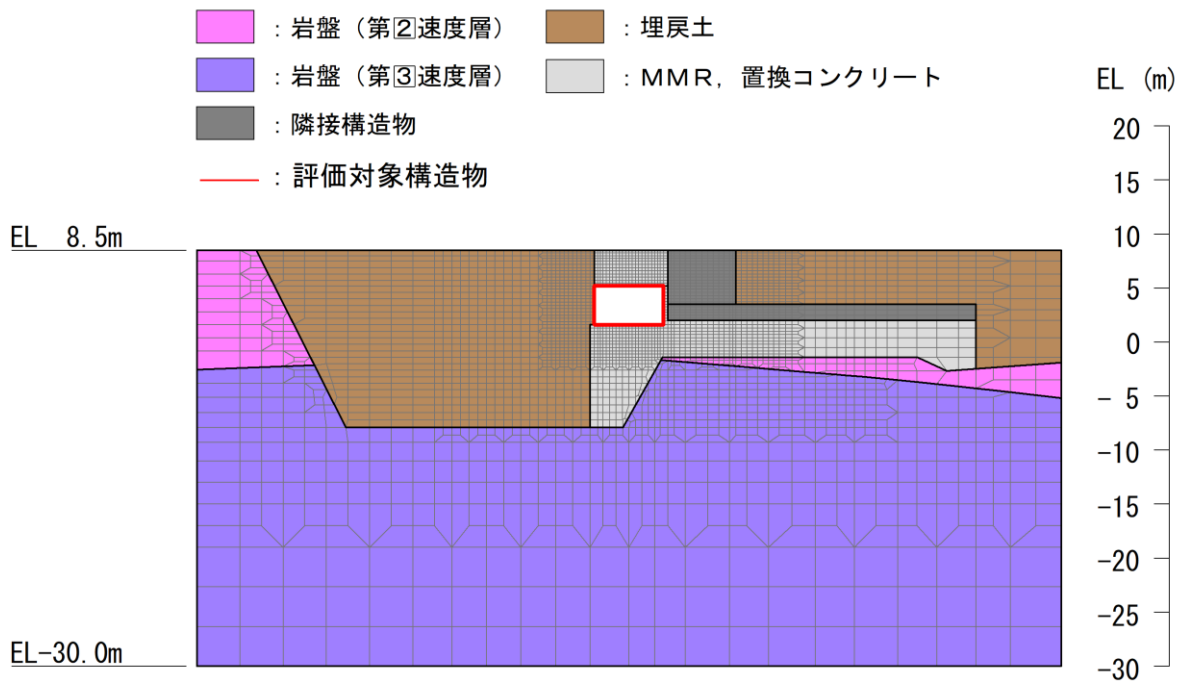


図 3-11(3) 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)
地震応答解析モデル (NS 断面 (A-A 断面))

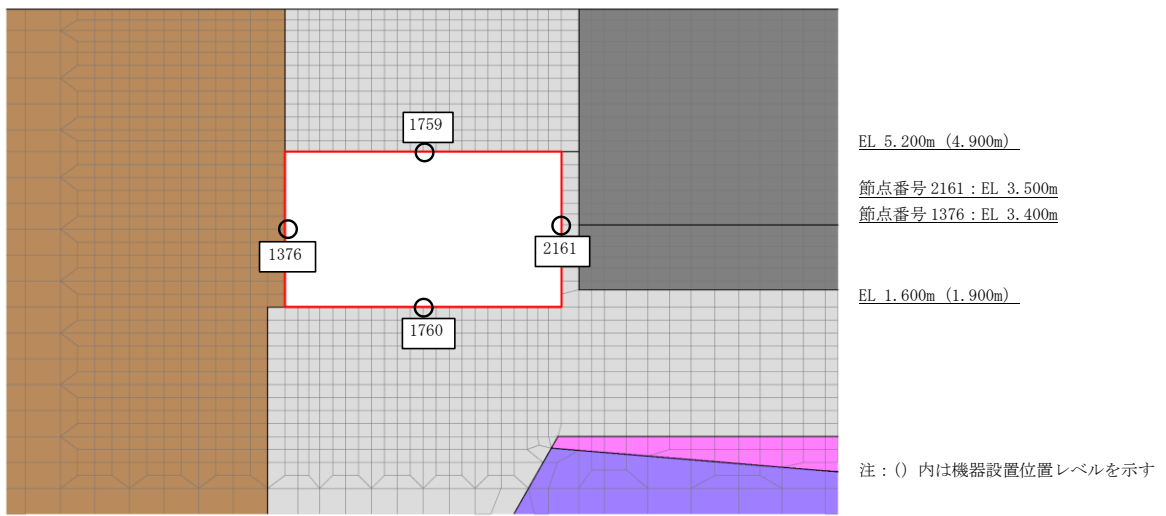


図 3-11(4) 屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）の加速度応答算出位置
（地震応答解析モデル（NS断面（A-A断面））の拡大図）

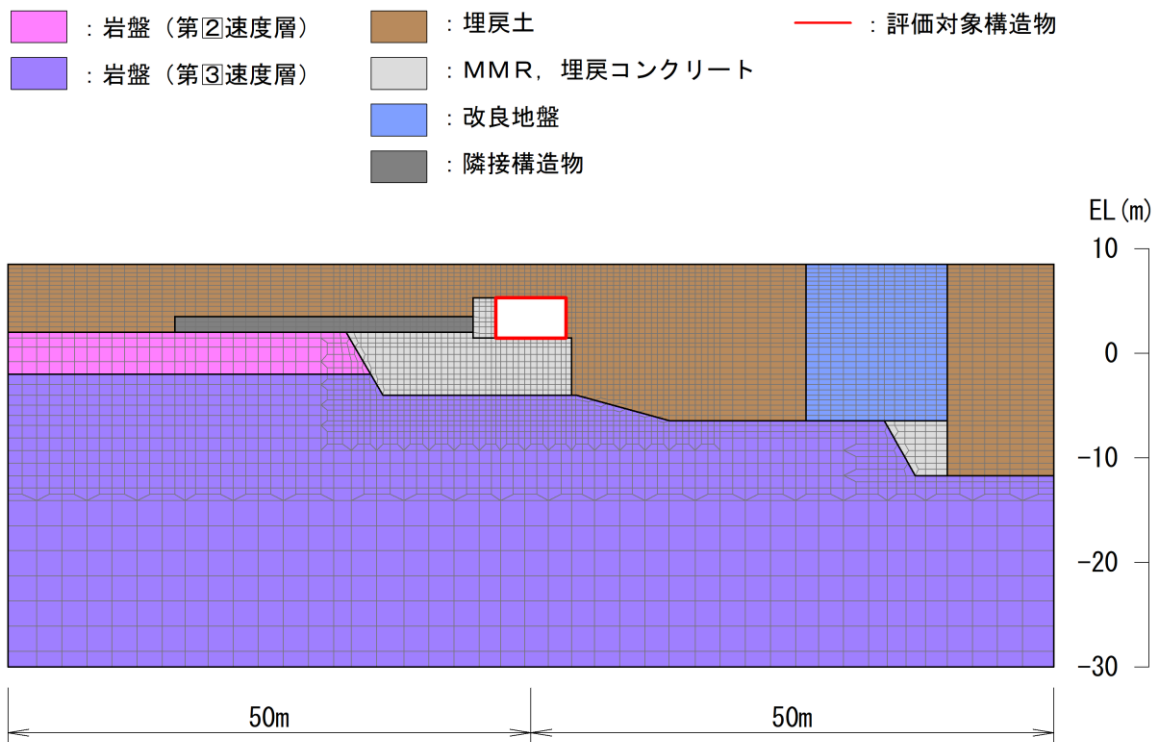


図 3-11(5) 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)
地震応答解析モデル (E W断面 (C-C断面))

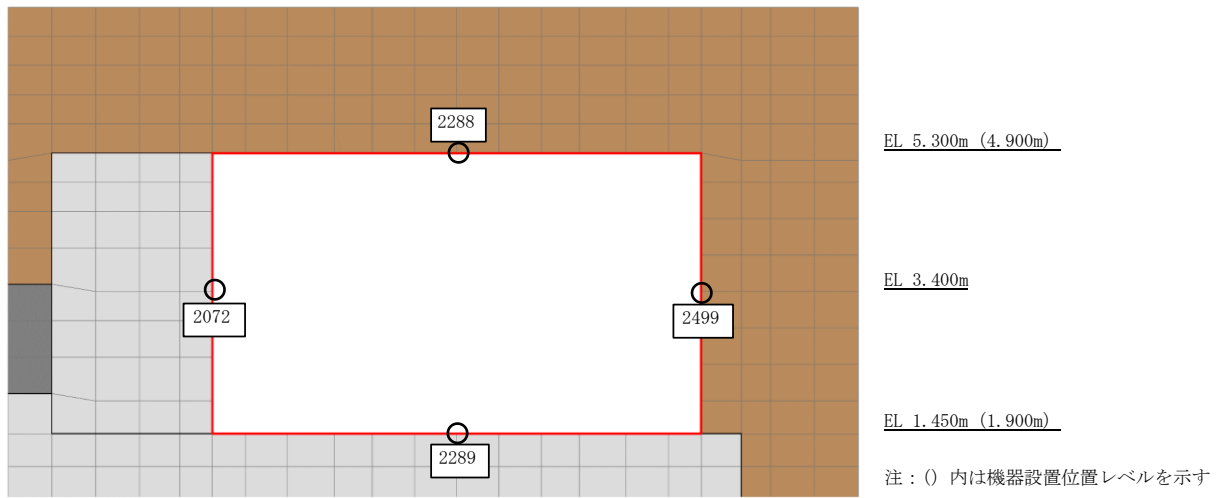


図 3-11(6) 屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）の加速度応答算出位置
 （地震応答解析モデル（EW断面（C-C断面））の拡大図）

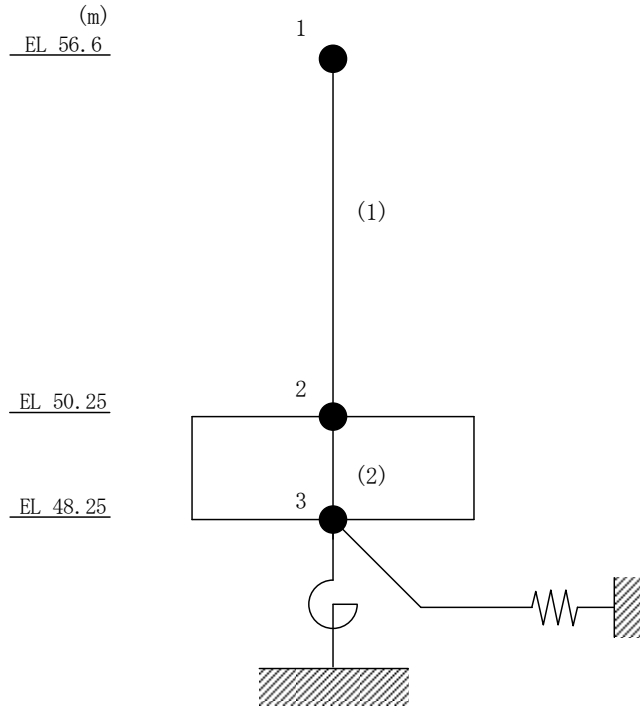


図 3-12(1) 緊急時対策所地震応答解析モデル (水平方向 (N S 方向, E W 方向))

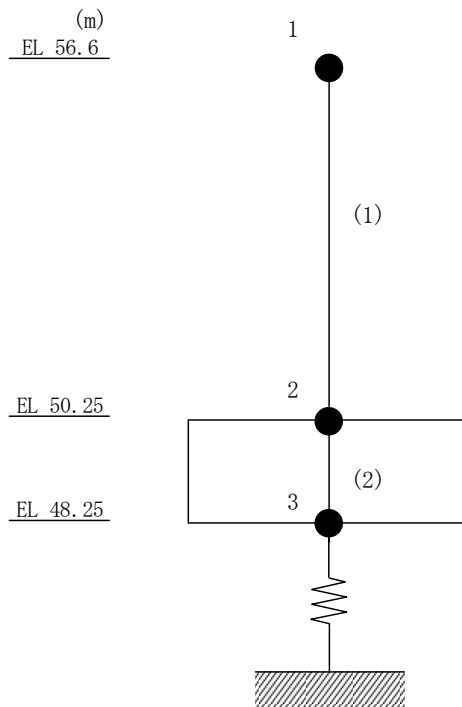


図 3-12(2) 緊急時対策所地震応答解析モデル (鉛直方向)

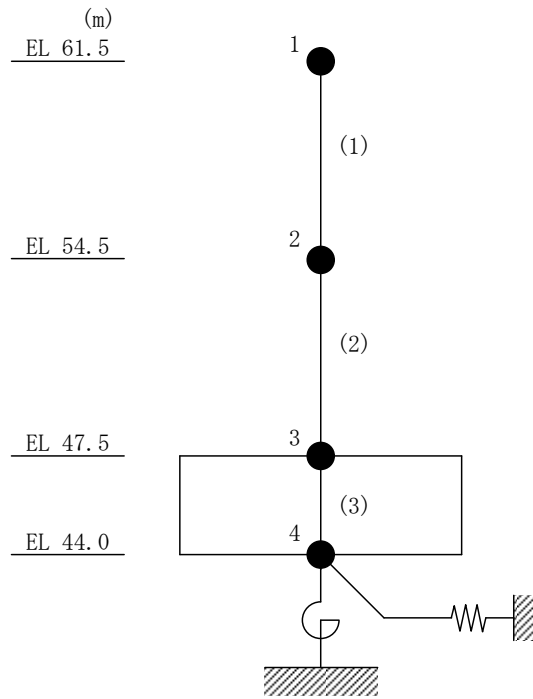


図 3-13(1) ガスタービン発電機建物地震応答解析モデル
(水平方向 (NS 方向, EW 方向))

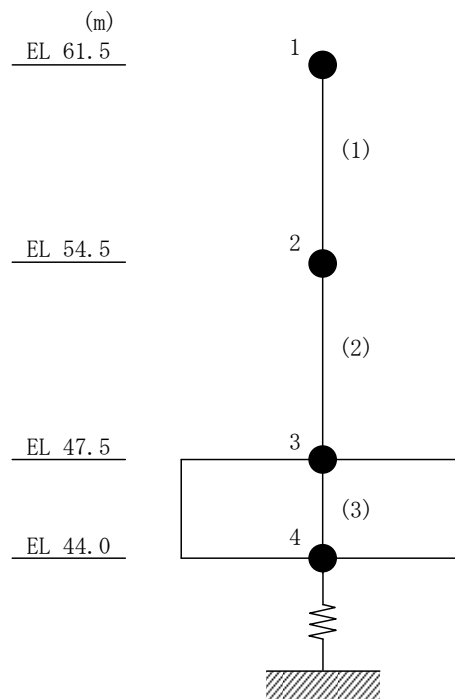


図 3-13(2) ガスタービン発電機建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

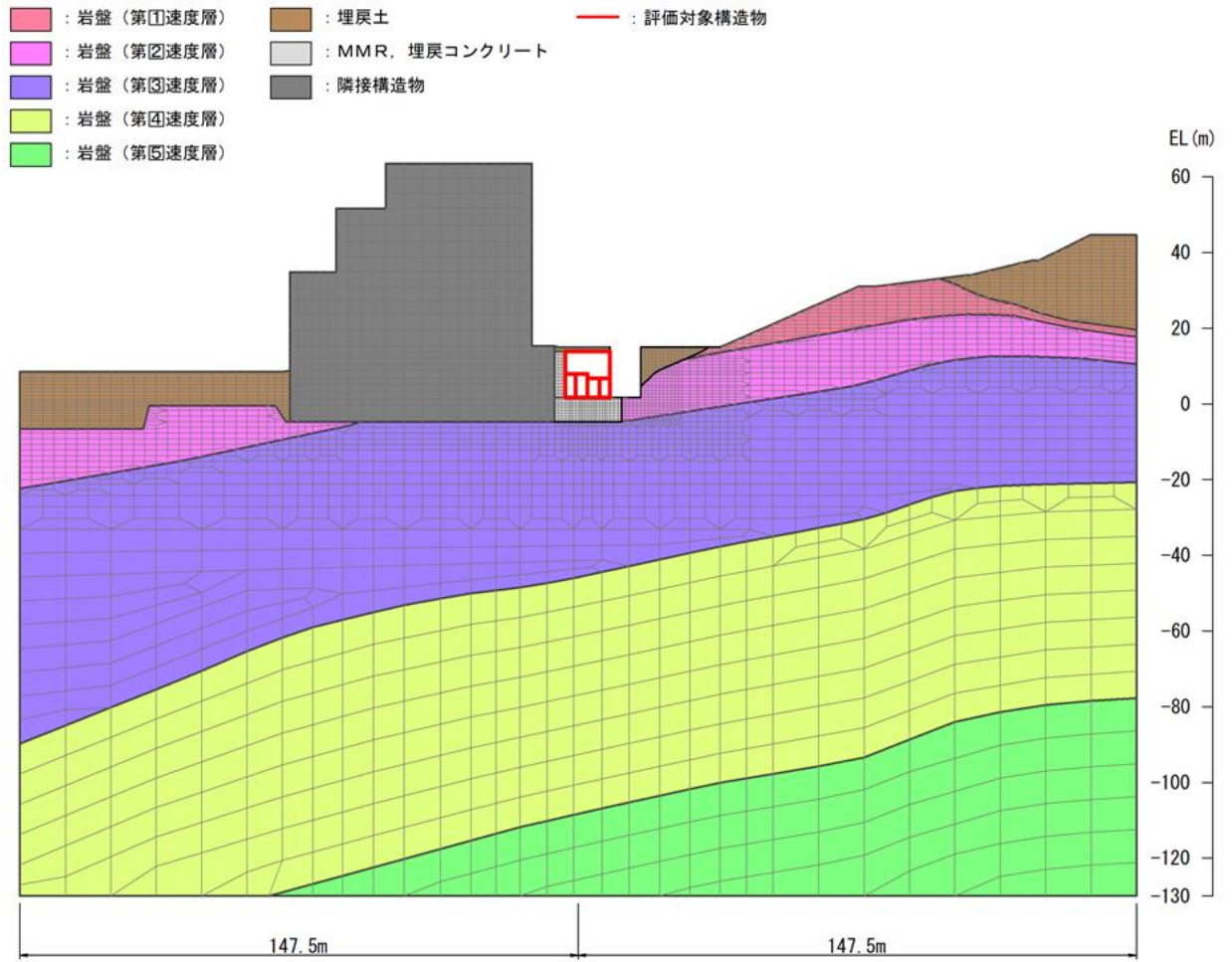


図 3-14(1) 第 1 ベントフィルタ格納槽地震応答解析モデル
(NS 断面 (銀ゼオライト容器エリア) (B-B 断面))

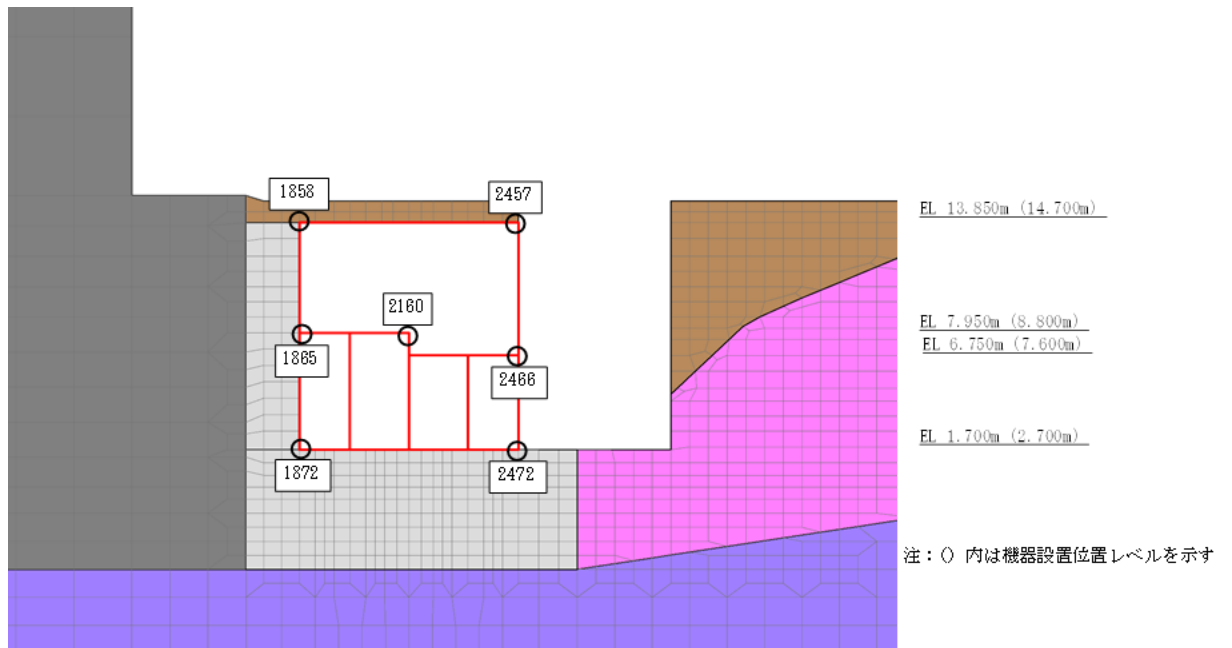


図 3-14(2) 第 1 ベントフィルタ格納槽の加速度応答算出位置

(地震応答解析モデル (N S 断面 (銀ゼオライト容器エリア) (B-B 断面)) の拡大図)

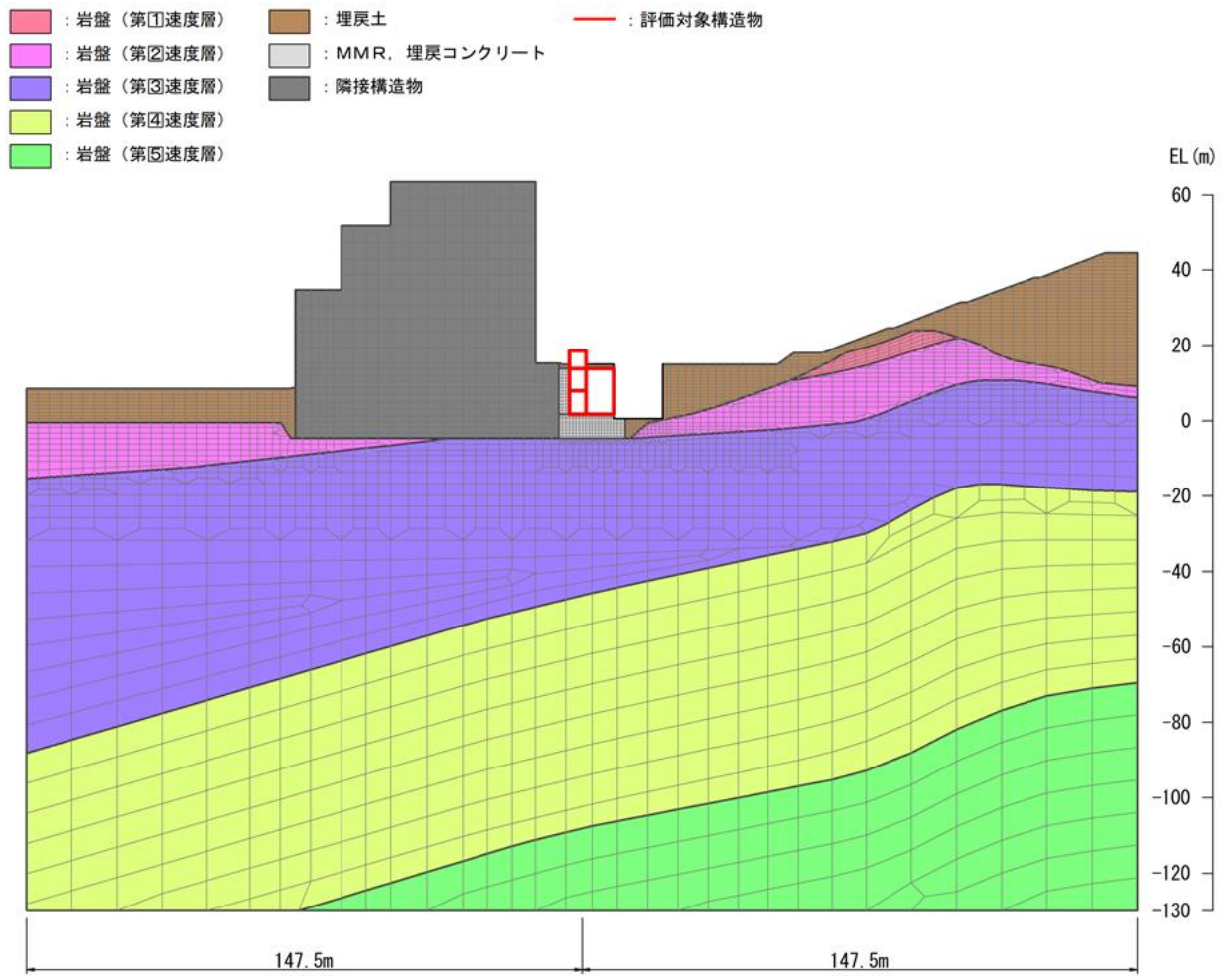


図 3-14(3) 第1ベントフィルタ格納槽地震応答解析モデル
(NS断面 (スクラバ容器エリア) (A-A断面))

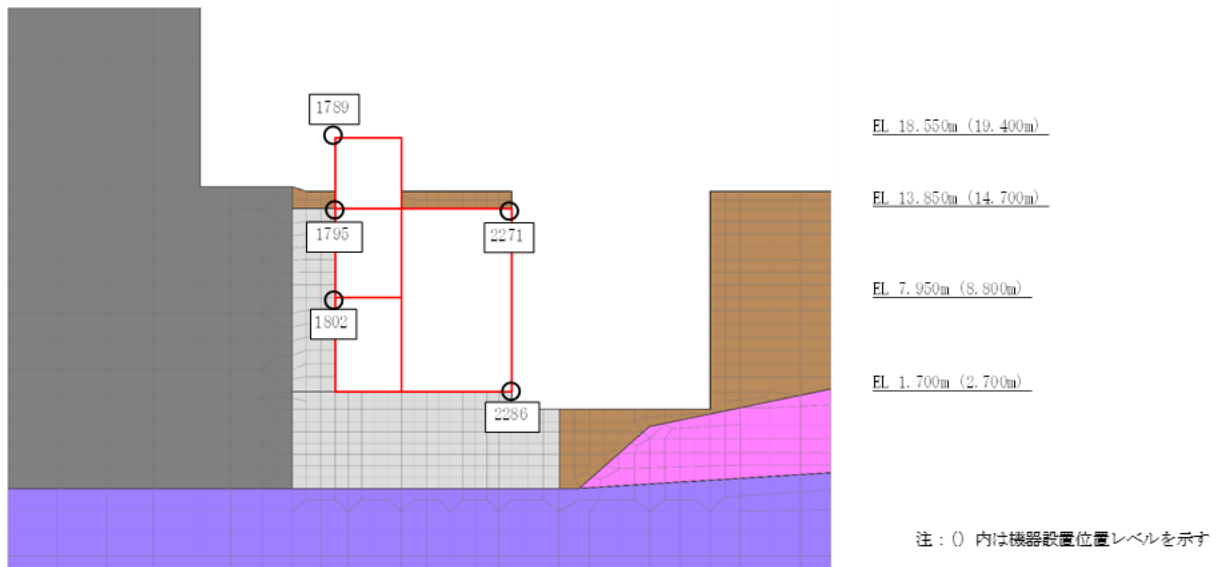


図 3-14(4) 第 1 ベントフィルタ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (N S 断面 (スクラバ容器エリア) (A-A 断面)) の拡大図)

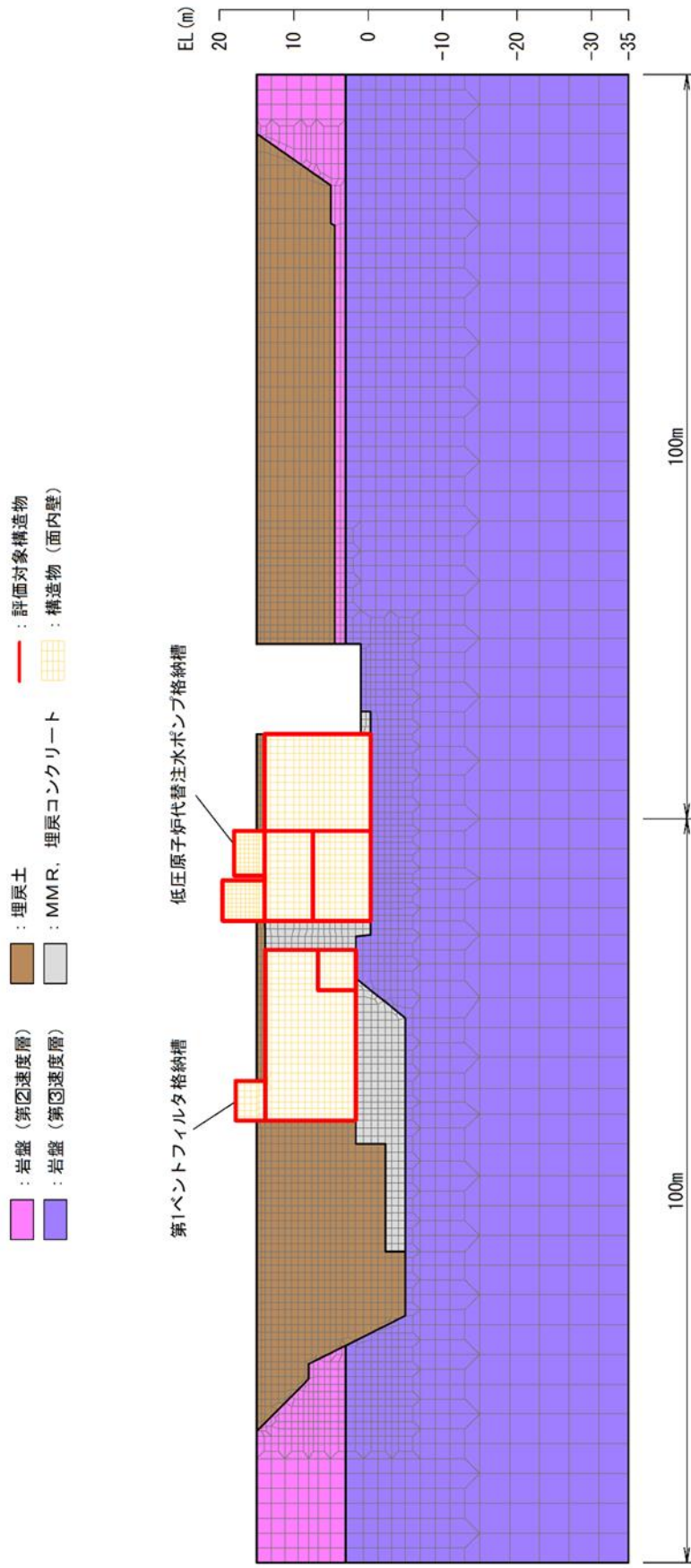


図 3-14(5) 第1ベントフィルタ格納槽地震応答解析モデル (E-W断面 (C-C断面))

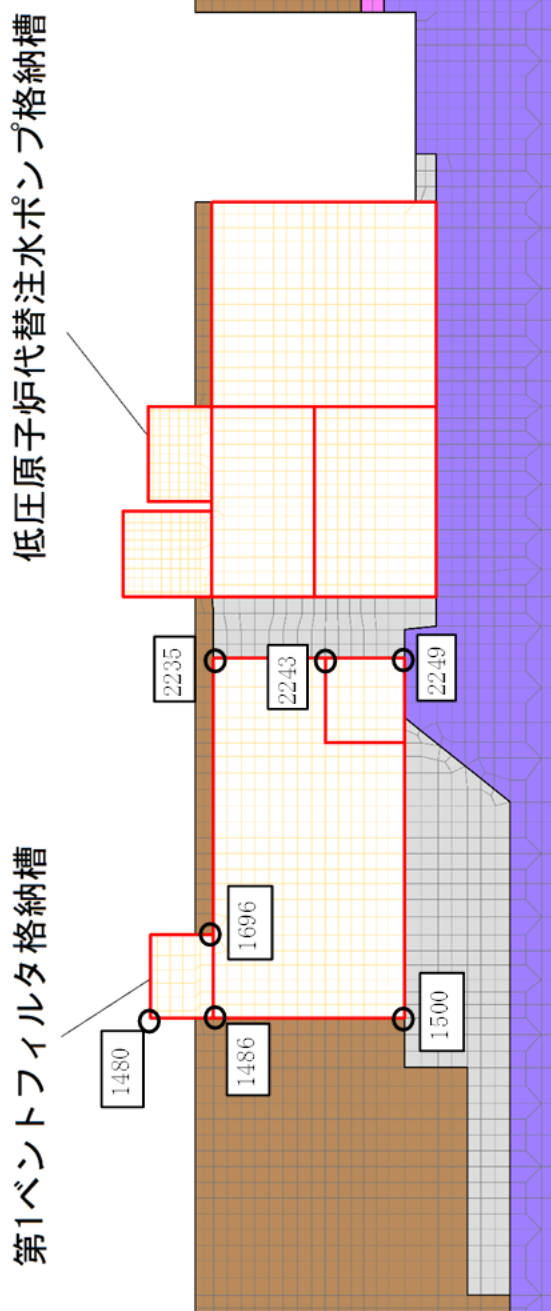


図 3-14(6) 第1ベントフィルタ格納槽の加速度応答算出位置（地震応答解析モデル（E-W断面（C-C断面））の拡大図）

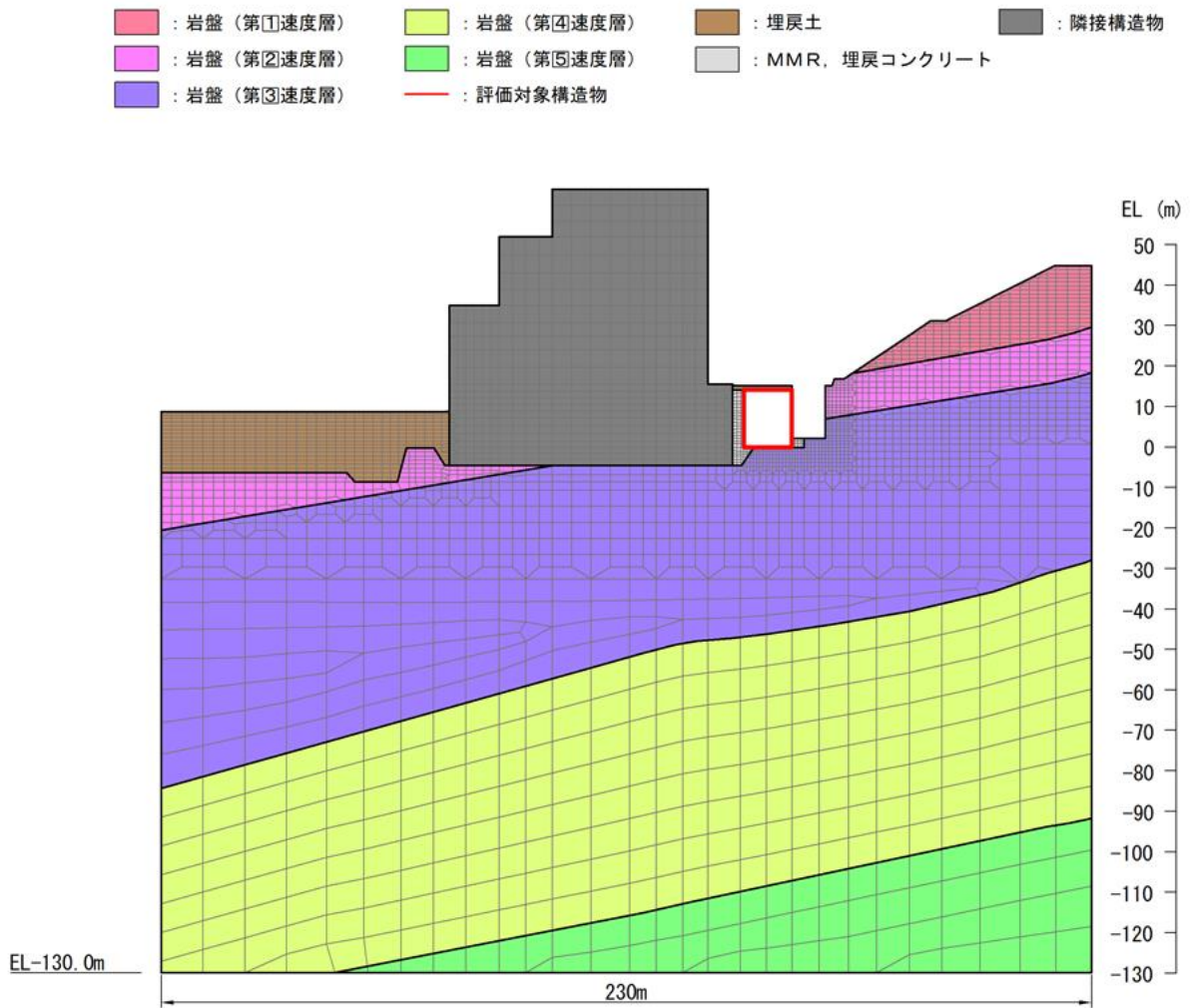


図 3-15(1) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽地震応答解析モデル
(NS断面 (水室) (B-B断面))

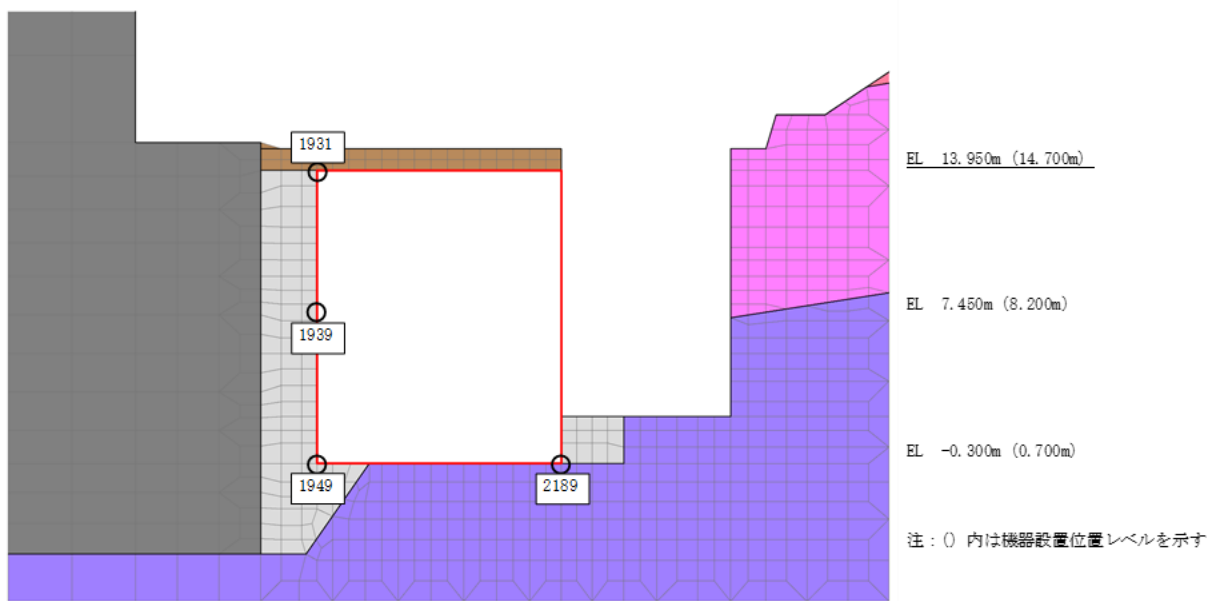


図 3-15(2) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (NS 断面 (水室) (B-B 断面)) の拡大図)

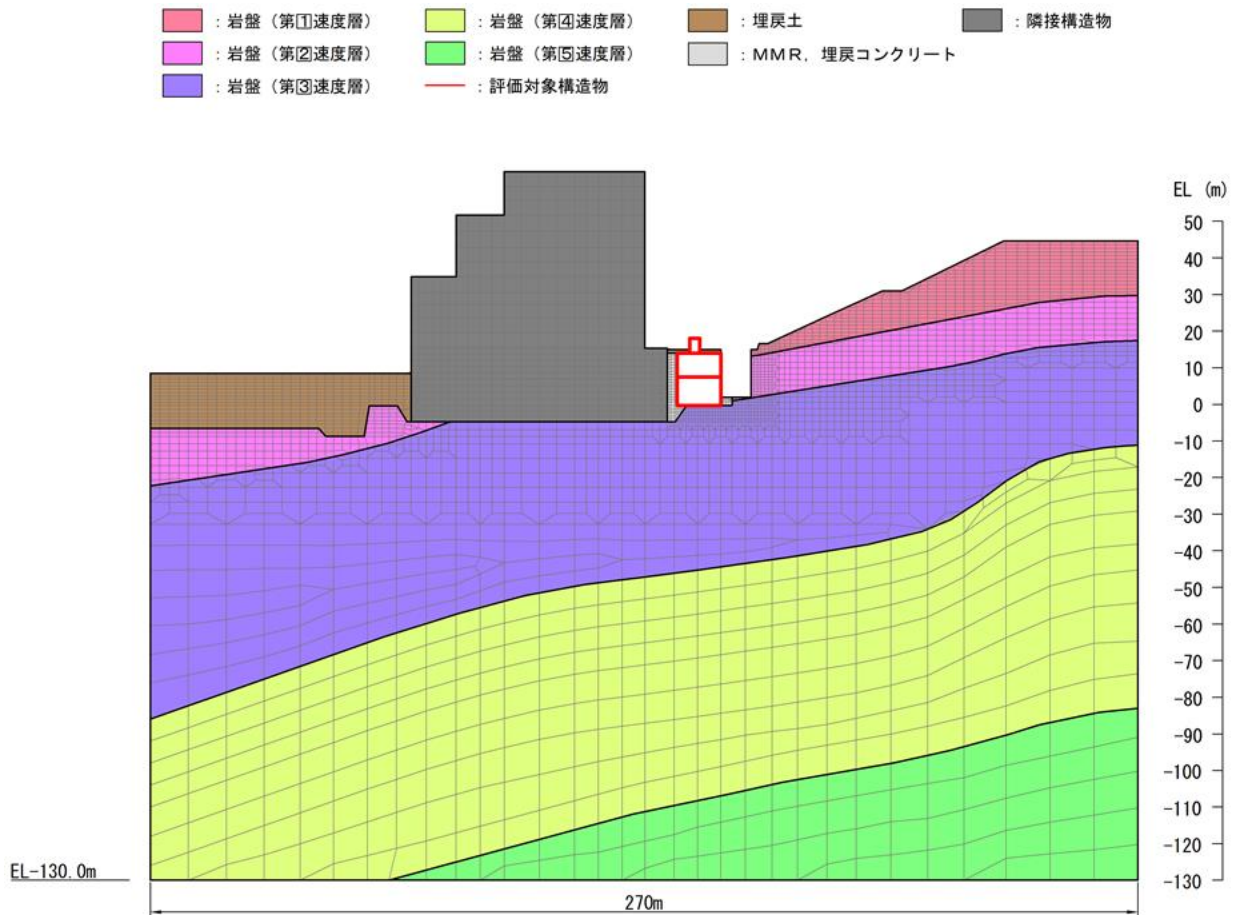


図 3-15(3) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽地震応答解析モデル
(NS断面(ポンプ室)(A-A断面))

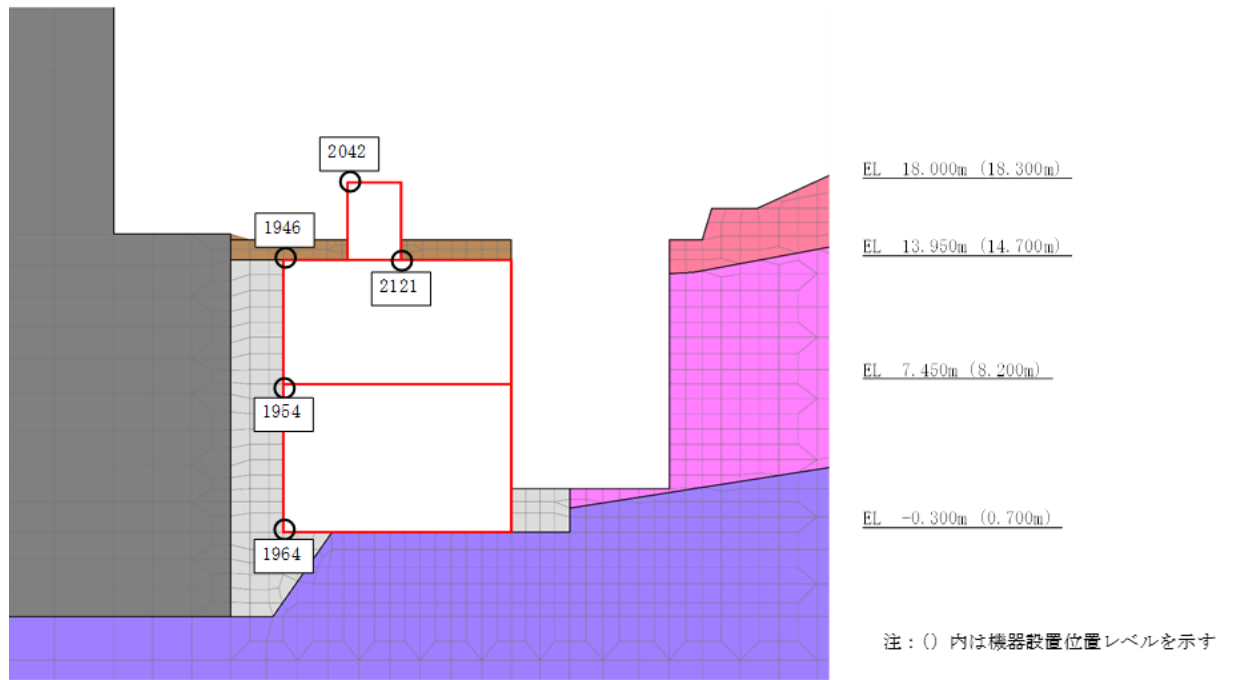


図 3-15(4) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (NS 断面 (ポンプ室) (A-A 断面)) の拡大図)

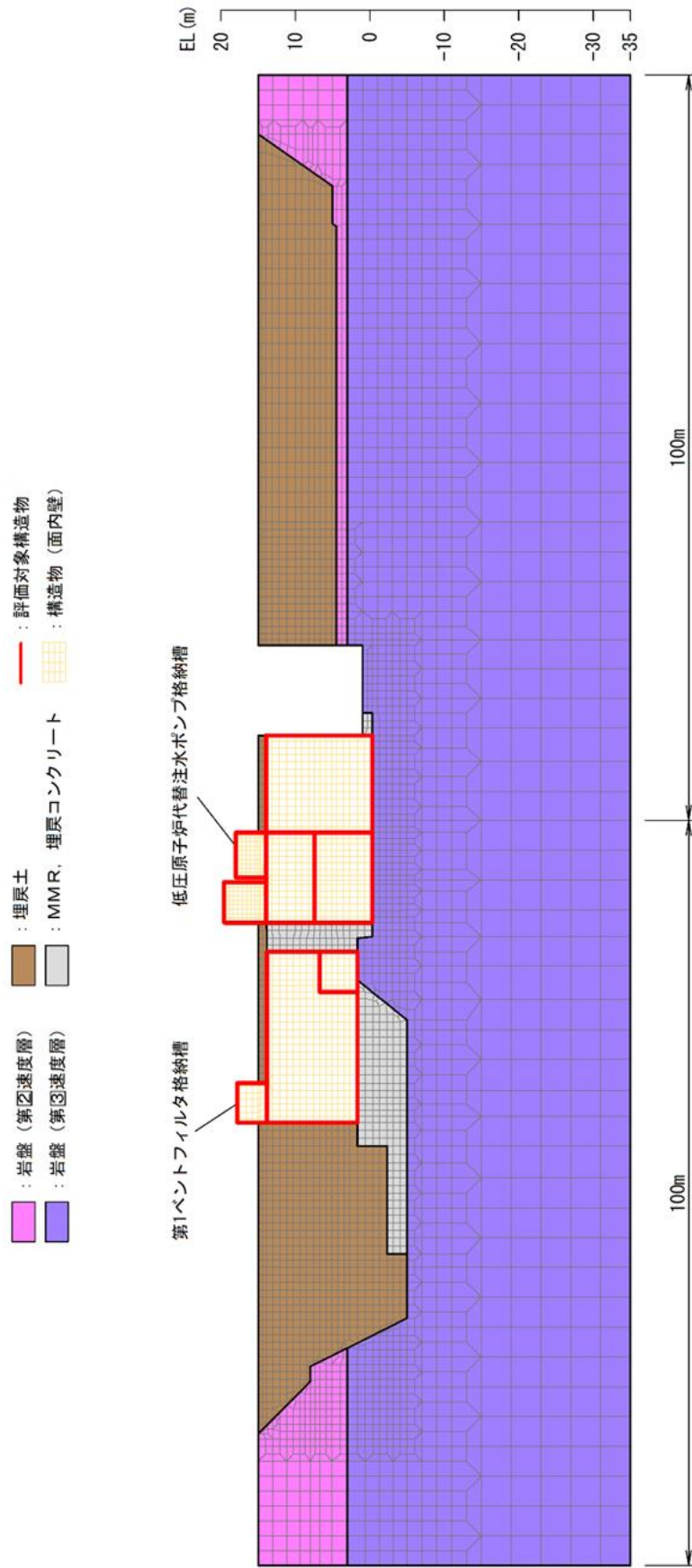


図 3-15(5) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽地震応答解析モデル (E-W断面 (C-C断面))

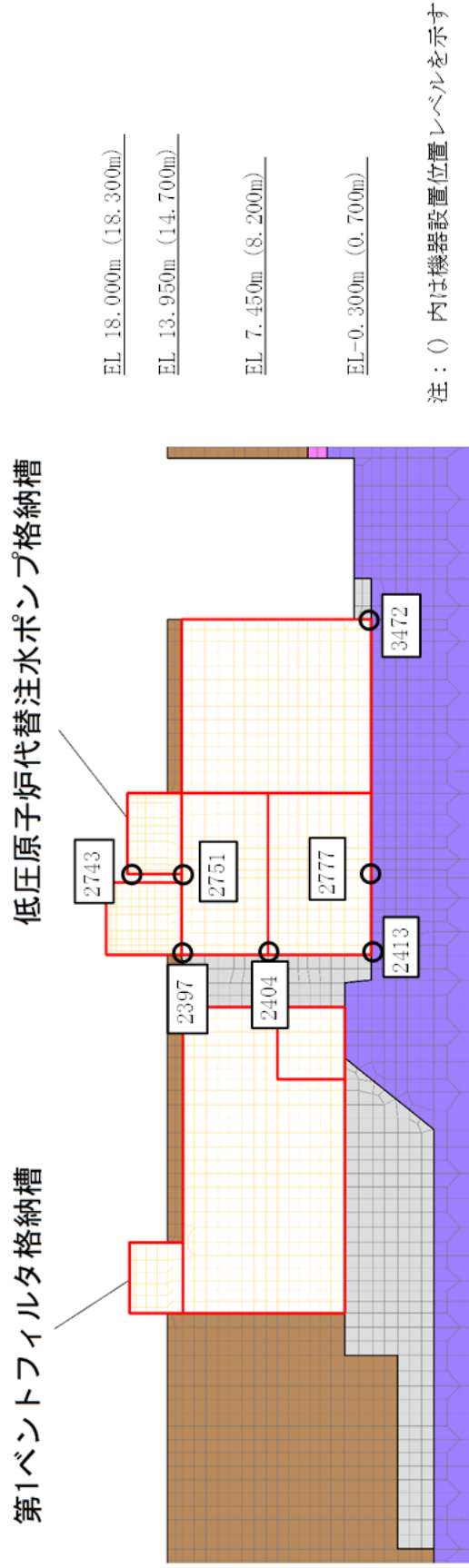


図 3-15(6) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の加速度応答算出位置
(地震応答解析モデル (E-W断面 (C-C断面)) の拡大図)

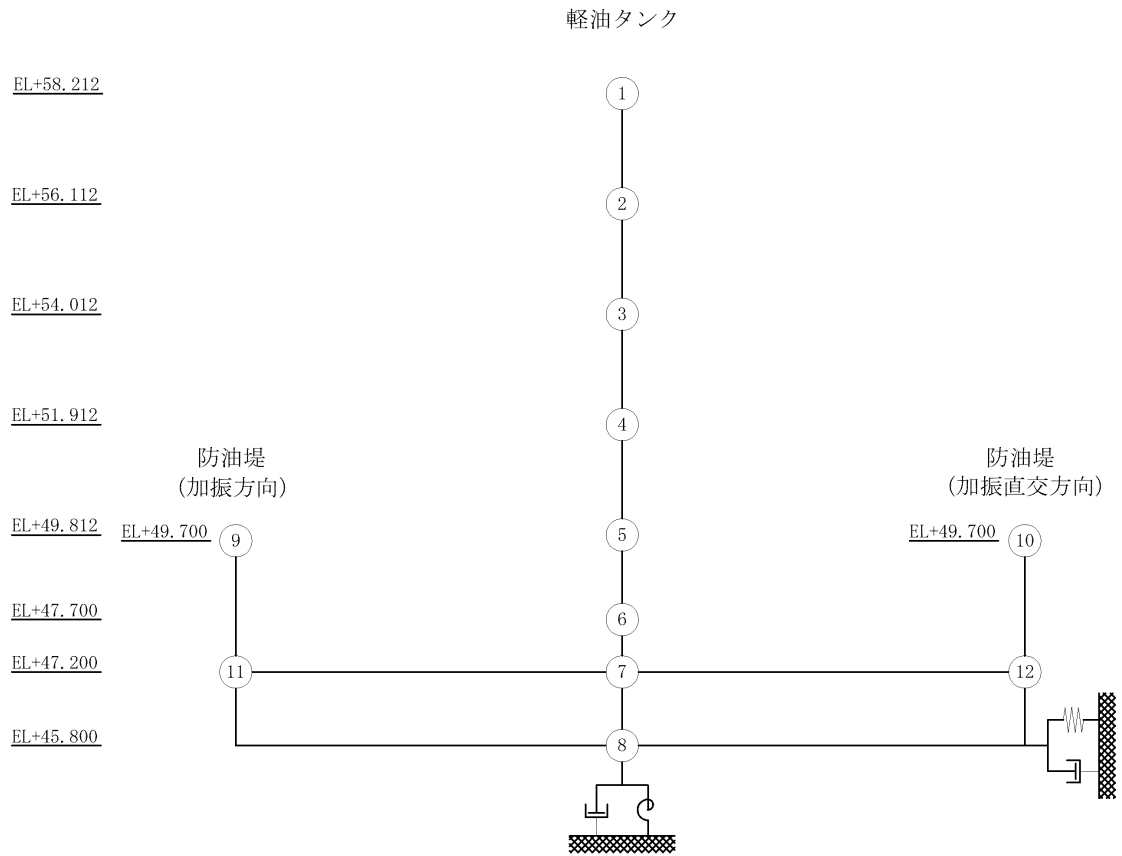


図 3-16(1) ガスタービン発電機用軽油タンク基礎地震応答解析モデル (水平方向)

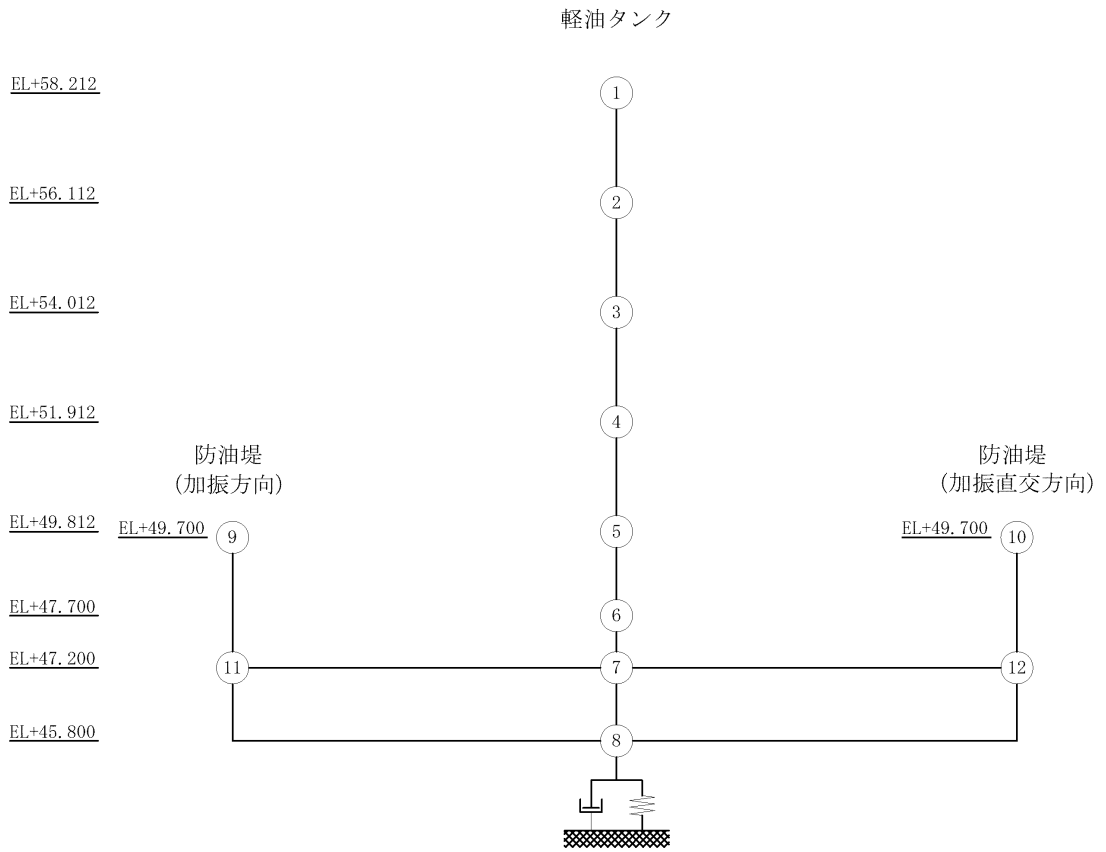


図 3-16(2) ガスタービン発電機用軽油タンク基礎地震応答解析モデル (鉛直方向)

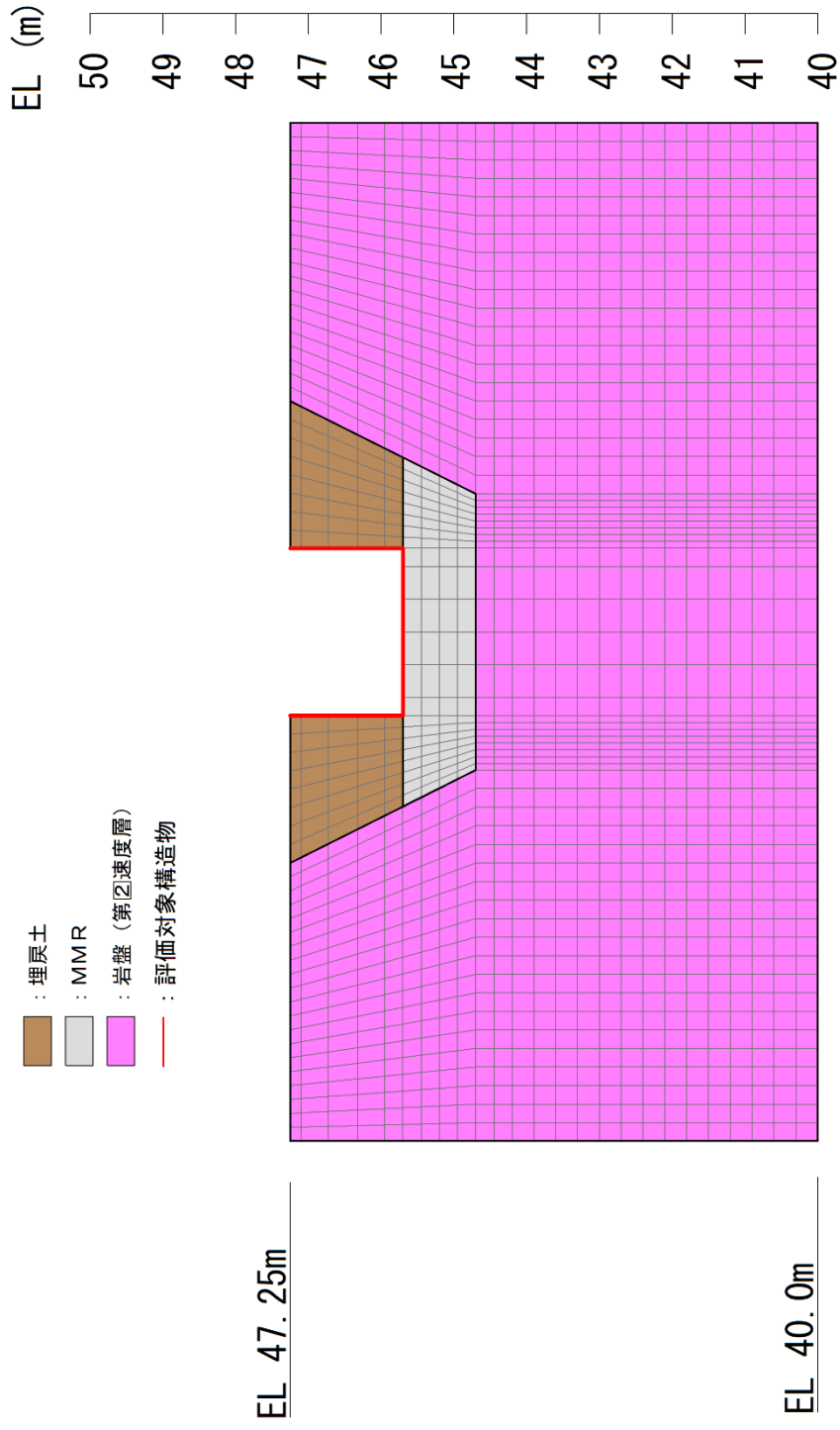
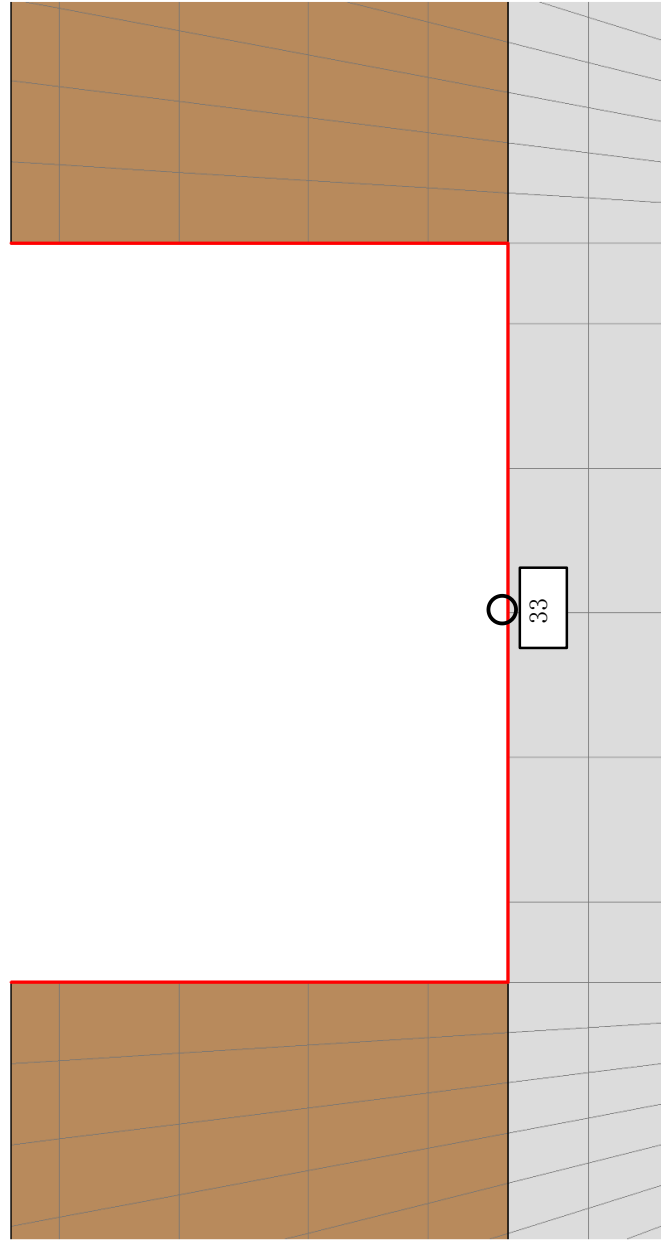


図 3-17(1) 屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク~ガスタービン発電機)
地震応答解析モデル (A-A断面)



注：○ 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-17(2) 屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）の加速度応答算出位置
（地震応答解析モデル（A-A断面）の拡大図）

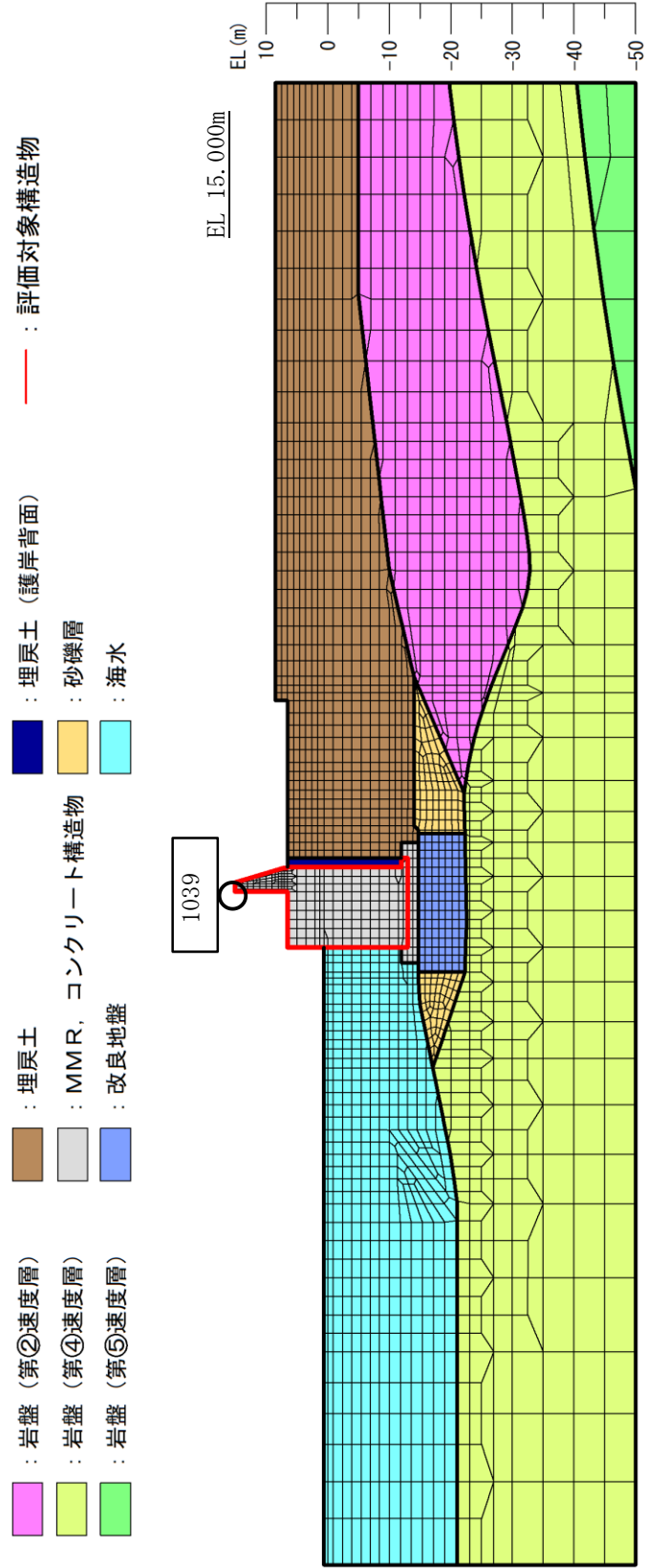


図 3-18(1) 防波壁 (波返重力擁壁) 地震応答解析モデル (改良地盤部 (②-⑤断面))

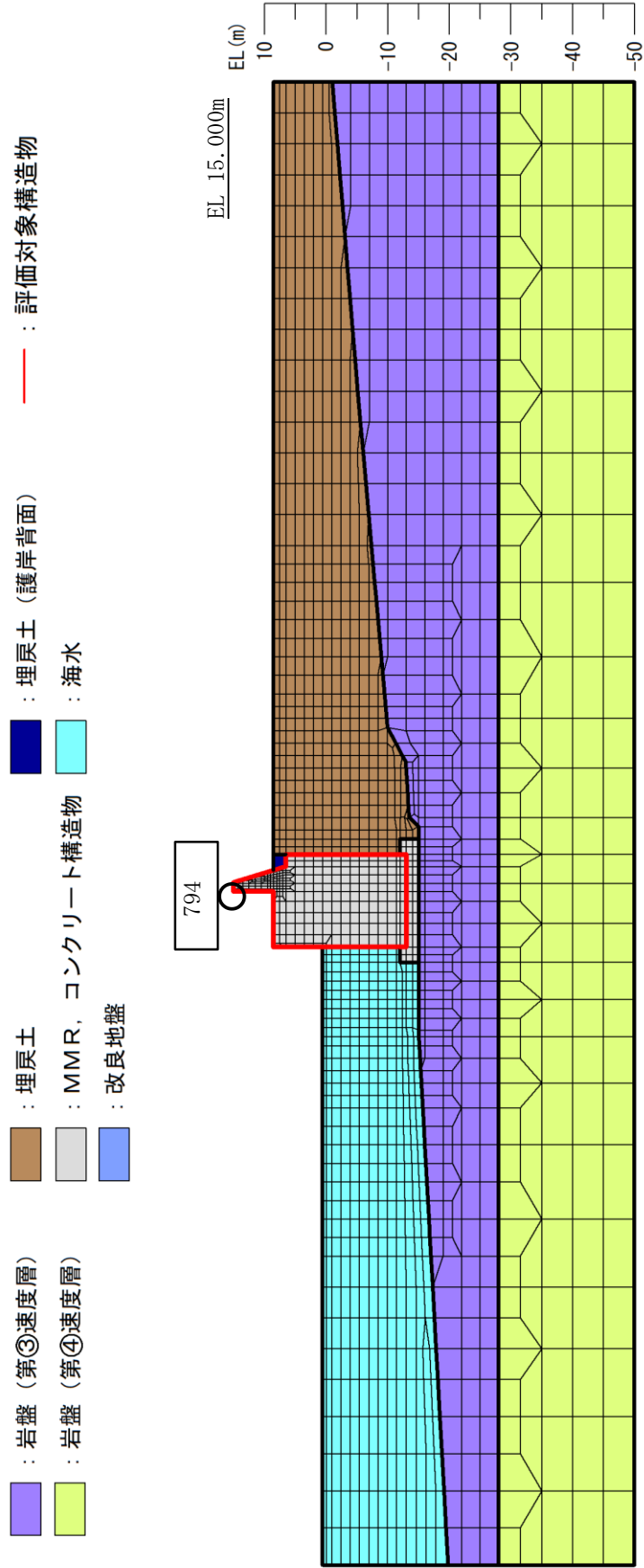


図 3-18(2) 防波壁 (波返重力擁壁) 地震応答解析モデル (輪谷部 (④-④断面))

4. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度

本章では、施設ごとの各床面の設計用震度及び静的震度並びに設計用床応答スペクトルを示す。ただし、設計用震度Ⅰ（又はⅡ）を上回る震度及び設計用床応答スペクトルⅠ（又はⅡ）を上回る設計用床応答スペクトルについては、設備ごとに適用する条件が異なるため、各設備の耐震計算書にそれぞれ示す。なお、静的震度はVI-2-1-1「耐震設計の基本方針」の「4. 設計用地震力」に従って算出した値以上となるように作成したものである。

4.1 弾性設計用地震動 S d

設計用震度及び静的震度並びに設計用床応答スペクトル（S d）を示す。

(1) 設計用震度一覧表

建物・構築物等の各床面の設計用震度及び静的震度を表 4.1-1～表 4.1-11 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.1 に示す。なお、静的震度の設定における地震層せん断力係数 C_i は各建物・構築物等の地震応答計算書による。また、土木構造物の静的震度の設定には基準面における C_i を適用する。

表 4.1 建物・構築物等と表番号との関連（弾性設計用地震動 S d）

No.	建物・構築物等	設計用震度及び静的震度
1	原子炉建物	表 4.1-1
2	炉心，原子炉压力容器及び原子炉内部構築物並びに原子炉本体基礎	表 4.1-2
3	制御室建物	表 4.1-3
4	タービン建物	表 4.1-4
5	廃棄物処理建物	表 4.1-5
6	排気筒	表 4.1-6
7	取水槽	表 4.1-7
8	屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）	表 4.1-8
9	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	表 4.1-9
10	屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）	表 4.1-10
11	屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）	表 4.1-11

赤枠部：今回の提出範囲

(2) 設計用床応答スペクトルの図番

各床面の減衰定数に応じた設計用床応答スペクトルの図番を表 4.2-1～表 4.2-11 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.2 に示す。

表 4.2 建物・構築物等と表番号との関連（弾性設計用地震動 S d）

No.	建物・構築物等	設計用床応答スペクトル
1	原子炉建物	表 4.2-1
2	炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎	表 4.2-2
3	制御室建物	表 4.2-3
4	タービン建物	表 4.2-4
5	廃棄物処理建物	表 4.2-5
6	排気筒	表 4.2-6
7	取水槽	表 4.2-7
8	屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）	表 4.2-8
9	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	表 4.2-9
10	屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）	表 4.2-10
11	屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）	表 4.2-11

4.2 基準地震動 S_s

設計用震度及び設計用床応答スペクトル (S_s) を示す。

(1) 設計用震度一覧表

建物・構築物等の各床面の設計用震度を表 4.3-1～表 4.3-18 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.3 に示す。

表 4.3 建物・構築物等と表番号との関連 (基準地震動 S_s)

No.	建物・構築物等	設計用震度
1	原子炉建物	表 4.3-1
2	炉心, 原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎	表 4.3-2
3	制御室建物	表 4.3-3
4	タービン建物	表 4.3-4
5	廃棄物処理建物	表 4.3-5
6	排気筒	表 4.3-6
7	取水槽	表 4.3-7
8	屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	表 4.3-8
9	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	表 4.3-9
10	屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)	表 4.3-10
11	屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)	表 4.3-11
12	緊急時対策所	表 4.3-12
13	ガスタービン発電機建物	表 4.3-13
14	第 1 ベントフィルタ格納槽	表 4.3-14
15	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	表 4.3-15
16	ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	表 4.3-16
17	屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機)	表 4.3-17
18	防波壁 (波返重力擁壁)	表 4.3-18

赤枠部：今回の提出範囲

(2) 設計用床応答スペクトルの図番

各床面の減衰定数に応じた設計用床応答スペクトルの図番を表 4.4-1～表 4.4-17 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.4 に示す。

表 4.4 建物・構築物等と表番号との関連（基準地震動 S_s）

No.	建物・構築物等	設計用床応答スペクトル
1	原子炉建物	表 4.4-1
2	炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎	表 4.4-2
3	制御室建物	表 4.4-3
4	タービン建物	表 4.4-4
5	廃棄物処理建物	表 4.4-5
6	排気筒	表 4.4-6
7	取水槽	表 4.4-7
8	屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）	表 4.4-8
9	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	表 4.4-9
10	屋外配管ダクト（B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物）	表 4.4-10
11	屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）	表 4.4-11
12	緊急時対策所	表 4.4-12
13	ガスタービン発電機建物	表 4.4-13
14	第 1 ベントフィルタ格納槽	表 4.4-14
15	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	表 4.4-15
16	ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	表 4.4-16
17	屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）	表 4.4-17

赤枠部：今回の提出範囲

4.3 余震荷重を算定するための地震動

津波荷重と重畳させる余震荷重を算定するための地震動及び震度は、VI-3「強度に関する説明書」のうち、別添 3-2「津波への配慮が必要な施設の強度計算書」に示す。

表 4.1-1 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	1.69	1.98	0.81	2.51	2.94	1.16
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.33	1.55	0.74	2.00	2.33	1.07
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.09	1.14	0.82	1.61	1.71	1.13
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	0.89	0.85	0.80	1.31	1.26	1.10
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.06	0.93	0.78	1.59	1.40	1.05
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	0.82	0.78	0.78	1.19	1.17	1.05
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	0.64	0.66	0.70	0.92	0.99	0.92
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.50	0.50	0.53	0.69	0.75	0.68
	19	16	22	10.100	0.44	0.48	0.39	0.65	0.72	0.50
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.43	0.43	0.32	0.65	0.65	0.45
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.37	0.39	0.28	0.56	0.59	0.41
	35	35	16	-4.700	0.36	0.39	0.27	0.54	0.59	0.38

表 4.1-1 設計用震度 (S d) 及ひ静的震度 (原子炉建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		S d			S d		
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	2.03	2.38	0.97	3.00	3.53	1.38
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.60	1.86	0.88	2.40	2.79	1.28
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.31	1.36	0.98	1.94	2.04	1.34
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	1.06	1.02	0.96	1.56	1.52	1.31
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.28	1.12	0.93	1.92	1.68	1.25
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	0.99	0.93	0.93	1.43	1.40	1.25
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	0.76	0.79	0.84	1.10	1.19	1.10
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.60	0.59	0.64	0.84	0.89	0.81
	19	16	22	10.100	0.52	0.58	0.46	0.78	0.87	0.60
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.51	0.52	0.38	0.77	0.78	0.54
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.44	0.47	0.34	0.66	0.71	0.48
	35	35	16	-4.700	0.44	0.47	0.32	0.65	0.71	0.45

表 4.1-1 設計用震度 (Sd) 及 μ 靜的震度 (原子炉建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	靜的震度					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.0・C _i		3.6・C _i		1.0・C _v	1.2・C _v
					NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
原子炉建物	6,20	3,17	7	63.500	1.88	1.80	2.25	2.16		
	7,21	4,18,22	8	51.700	1.32	1.30	1.58	1.56		
	8,14,22,28	5,11,19,23	9,17	42.800	0.96	0.92	1.15	1.10		
	1,9,15,23,29	6,12,20,24,29	1,10,18	34.800	0.78	0.77	0.94	0.92		
	2,10,16,24,30	7,13,21,25,30	2,11,19	30.500	0.72	0.71	0.86	0.85		
	3,11,17,25,31	8,14,26,31	3,12,20	23.800	0.63	0.63	0.75	0.76	0.24	0.29
	4,12,18,26,32	1,9,15,27,32	4,13,21	15.300	0.55	0.55	0.66	0.66		
	19	16	22	10.100	0.55	0.55	0.66	0.66		
	5,13,27,33	2,10,28,33	5,14	8.800	0.48	0.48	0.58	0.58		
	34	34	6,15,23	1.300	0.48	0.48	0.58	0.58		
	35	35	16	-4.700	0.48	0.48	0.58	0.58		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及 α 靜的震度 (原子炉格納容器内) (1/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S d		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.03	0.90	0.47	1.55	1.31	0.65
	42	43	30	37.060	0.96	0.86	0.47	1.41	1.25	0.65
	43	44	31	34.758	0.92	0.82	0.47	1.34	1.17	0.63
	44	45	32	33.141	0.89	0.79	0.46	1.29	1.14	0.63
	45	46	33	29.392	0.82	0.72	0.45	1.20	1.07	0.60
	46	47	34	27.907	0.79	0.69	0.45	1.14	1.04	0.60
	47	48	35	22.932	0.65	0.63	0.43	0.89	0.95	0.57
	48	49	36	19.878	0.57	0.58	0.41	0.78	0.87	0.56
	49	50	37	16.825	0.53	0.53	0.41	0.74	0.80	0.54
	50	51	38	13.700	0.48	0.47	0.40	0.68	0.69	0.54
	51	52	39	11.900	0.45	0.44	0.40	0.65	0.63	0.53

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及 α 靜的震度 (原子炉格納容器内) (2/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S d		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.23	1.08	0.57	1.85	1.56	0.77
	42	43	30	37.060	1.15	1.03	0.56	1.70	1.49	0.77
	43	44	31	34.758	1.10	0.99	0.56	1.61	1.41	0.77
	44	45	32	33.141	1.06	0.95	0.56	1.55	1.37	0.75
	45	46	33	29.392	0.99	0.87	0.54	1.43	1.28	0.72
	46	47	34	27.907	0.95	0.83	0.54	1.37	1.25	0.72
	47	48	35	22.932	0.78	0.75	0.51	1.07	1.13	0.69
	48	49	36	19.878	0.68	0.69	0.50	0.93	1.04	0.68
	49	50	37	16.825	0.63	0.63	0.49	0.87	0.95	0.65
	50	51	38	13.700	0.57	0.57	0.48	0.80	0.83	0.65
	51	52	39	11.900	0.54	0.52	0.47	0.77	0.75	0.63

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及 \cup 靜的震度 (原子炉格納容器内) (3/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	靜的震度								
					3.0・C _i		3.6・C _i		1.0・C _v		1.2・C _v		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	0.96	0.92	1.15	1.10	0.92	0.92	1.10	0.24	0.29
	42	43	30	37.060	0.96	0.92	1.15	1.10	0.92	0.92	1.10	0.24	0.29
	43	44	31	34.758	0.78	0.77	0.94	0.92	0.77	0.77	0.92	0.24	0.29
	44	45	32	33.141	0.78	0.77	0.94	0.92	0.77	0.77	0.92	0.24	0.29
	45	46	33	29.392	0.72	0.71	0.86	0.85	0.71	0.71	0.85	0.24	0.29
	46	47	34	27.907	0.72	0.71	0.86	0.85	0.71	0.71	0.85	0.24	0.29
	47	48	35	22.932	0.63	0.63	0.75	0.76	0.63	0.63	0.76	0.24	0.29
	48	49	36	19.878	0.63	0.63	0.75	0.76	0.63	0.63	0.76	0.24	0.29
	49	50	37	16.825	0.63	0.63	0.75	0.76	0.63	0.63	0.76	0.24	0.29
	50	51	38	13.700	0.55	0.55	0.66	0.66	0.55	0.55	0.66	0.24	0.29
	51	52	39	11.900	0.55	0.55	0.66	0.66	0.55	0.55	0.66	0.24	0.29

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (4/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	1.42	1.12	0.65	1.82	1.68	0.95
	54	55	42	26.981	1.21	1.11	0.62	1.70	1.65	0.93
	55	56	43	24.000	1.05	1.08	0.58	1.52	1.52	0.87
	56	57	44	21.500	0.90	1.00	0.54	1.31	1.40	0.81
	57	58	45	19.000	0.67	0.81	0.48	1.01	1.11	0.68
原子炉圧力容器 ペデスタル	58	59	46	15.944	0.51	0.60	0.44	0.75	0.84	0.56
	59	60	47	13.022	0.47	0.51	0.42	0.71	0.77	0.54

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (5/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向			
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	1.71	1.35	0.78	2.18	2.03	1.14
	54	55	42	26.981	1.45	1.33	0.75	2.04	1.98	1.11
	55	56	43	24.000	1.26	1.29	0.70	1.82	1.82	1.05
	56	57	44	21.500	1.07	1.20	0.64	1.56	1.67	0.96
	57	58	45	19.000	0.80	0.97	0.58	1.20	1.34	0.81
	58	59	46	15.944	0.61	0.72	0.53	0.90	1.02	0.66
原子炉圧力容器 ペデスタル	59	60	47	13.022	0.56	0.61	0.50	0.84	0.92	0.65

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (6/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度					
					3.0・C _i		3.6・C _i		1.0・C _v	1.2・C _v
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	鉛直方向
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	0.72	0.71	0.86	0.85	0.24	0.29
	54	55	42	26.981	0.72	0.71	0.86	0.85		
	55	56	43	24.000	0.72	0.71	0.86	0.85		
	56	57	44	21.500	0.63	0.63	0.75	0.76		
	57	58	45	19.000	0.63	0.63	0.75	0.76		
	58	59	46	15.944	0.63	0.63	0.75	0.76		
原子炉圧力容器 ペデスタル	59	60	47	13.022	0.55	0.55	0.66	0.66		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及 α 靜的震度 (原子炉格納容器内) (7/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	2.87	2.66	0.55	3.71	3.75	0.80
	62	63	50	36.586	2.75	2.52	0.55	3.56	3.56	0.80
	63	64	51	35.678	2.64	2.38	0.55	3.41	3.36	0.80
	64	65	52	33.993	2.42	2.12	0.55	3.12	2.99	0.80
	65	66	53	32.567	2.23	1.88	0.54	2.88	2.69	0.80
	66	67	54	31.557	2.08	1.71	0.54	2.69	2.48	0.78
	67	68	55	30.369	1.91	1.51	0.53	2.48	2.24	0.78
	68	69	56	30.218	1.89	1.49	0.53	2.45	2.21	0.78
	69	70	57	29.181	1.78	1.39	0.52	2.30	2.04	0.77
	70	71	58	28.249	1.68	1.30	0.52	2.18	1.91	0.77
	71	72	59	27.317	1.57	1.22	0.51	2.04	1.77	0.75
	72	73	60	26.687	1.50	1.16	0.51	1.95	1.68	0.75
	73	74	61	25.414	1.36	1.05	0.50	1.77	1.50	0.74
	74	75	62	25.131	1.33	1.03	0.50	1.73	1.47	0.72
75	76	63	24.419	1.25	0.97	0.50	1.62	1.37	0.72	
76	77	64	23.707	1.17	0.91	0.50	1.53	1.28	0.71	
77	78	65	22.995	1.09	0.85	0.49	1.43	1.20	0.71	
78	79	66	22.283	1.01	0.79	0.49	1.32	1.14	0.69	
79	80	67	21.064	0.87	0.70	0.49	1.16	1.05	0.68	
80	81	68	20.892	0.85	0.70	0.49	1.13	1.04	0.68	
81	82	69	20.214	0.78	0.68	0.48	1.04	1.01	0.66	
82	83	70	19.196	0.68	0.67	0.48	0.93	0.96	0.65	
83	84	71	18.250	0.62	0.66	0.48	0.89	0.93	0.63	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及 \cup 靜的震度 (原子炉格納容器内) (8/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	3.44	3.19	0.66	4.44	4.50	0.96
	62	63	50	36.586	3.30	3.02	0.66	4.26	4.26	0.96
	63	64	51	35.678	3.16	2.85	0.66	4.08	4.02	0.96
	64	65	52	33.993	2.90	2.54	0.65	3.75	3.59	0.96
	65	66	53	32.567	2.67	2.26	0.65	3.45	3.23	0.95
	66	67	54	31.557	2.50	2.05	0.64	3.23	2.97	0.95
	67	68	55	30.369	2.30	1.81	0.64	2.97	2.69	0.93
	68	69	56	30.218	2.27	1.78	0.64	2.94	2.64	0.93
	69	70	57	29.181	2.13	1.66	0.63	2.76	2.45	0.92
	70	71	58	28.249	2.01	1.56	0.62	2.60	2.28	0.92
	71	72	59	27.317	1.89	1.46	0.61	2.45	2.13	0.90
	72	73	60	26.687	1.80	1.39	0.61	2.34	2.01	0.89
	73	74	61	25.414	1.63	1.26	0.60	2.12	1.80	0.87
	74	75	62	25.131	1.59	1.23	0.60	2.07	1.76	0.87
75	76	63	24.419	1.50	1.16	0.60	1.95	1.64	0.86	
76	77	64	23.707	1.40	1.09	0.59	1.83	1.53	0.86	
77	78	65	22.995	1.30	1.02	0.59	1.71	1.44	0.84	
78	79	66	22.283	1.21	0.95	0.59	1.59	1.37	0.83	
79	80	67	21.064	1.04	0.84	0.58	1.38	1.26	0.81	
80	81	68	20.892	1.02	0.84	0.58	1.35	1.25	0.81	
81	82	69	20.214	0.94	0.82	0.58	1.25	1.22	0.80	
82	83	70	19.196	0.81	0.80	0.58	1.11	1.16	0.78	
83	84	71	18.250	0.74	0.79	0.57	1.05	1.11	0.77	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及ひ靜的震度 (原子炉格納容器内) (9/17)

構造物名	質点番号			標高 EL.(m)	靜的震度		
	NS方向		鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
	EW方向	鉛直方向			NS方向	EW方向	
原子炉圧力容器	61	62	49	37.494	1.15	1.10	鉛直方向
	62	63	50	36.586	1.15	1.10	
	63	64	51	35.678	1.15	1.10	
	64	65	52	33.993	0.94	0.92	
	65	66	53	32.567	0.94	0.92	
	66	67	54	31.557	0.94	0.92	
	67	68	55	30.369	0.86	0.85	
	68	69	56	30.218	0.86	0.85	
	69	70	57	29.181	0.86	0.85	
	70	71	58	28.249	0.86	0.85	
	71	72	59	27.317	0.86	0.85	
	72	73	60	26.687	0.86	0.85	
	73	74	61	25.414	0.86	0.85	
	74	75	62	25.131	0.86	0.85	
75	76	63	24.419	0.86	0.85		
76	77	64	23.707	0.75	0.76		
77	78	65	22.995	0.75	0.76		
78	79	66	22.283	0.75	0.76		
79	80	67	21.064	0.75	0.76		
80	81	68	20.892	0.75	0.76		
81	82	69	20.214	0.75	0.76		
82	83	70	19.196	0.75	0.76		
83	84	71	18.250	0.75	0.76		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (10/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
炉心シェラウド	88	89	73	31.557	2.18	2.36	0.75	2.91	2.75	0.98
	89	90	74	30.369	1.93	2.05	0.75	2.61	2.45	0.98
	90	91	75	29.181	1.73	1.83	0.75	2.39	2.21	0.96
	91	92	76	28.249	1.61	1.71	0.74	2.24	2.09	0.96
	92	93	77	27.317	1.52	1.61	0.73	2.10	1.95	0.95
	93	94	78	26.687	1.45	1.54	0.73	2.01	1.88	0.95
	94	95	79	25.414	1.33	1.40	0.72	1.85	1.73	0.93
	95	96	80	25.843	1.38	1.45	0.72	1.91	1.79	0.93
	96	97	81	25.414	1.33	1.40	0.72	1.85	1.73	0.93
	97	98	82	25.131	1.30	1.37	0.72	1.80	1.68	0.93
	98	99	83	24.419	1.23	1.28	0.71	1.70	1.59	0.92
	99	100	84	23.707	1.15	1.19	0.70	1.61	1.49	0.89
	100	101	85	22.995	1.08	1.11	0.68	1.50	1.41	0.87
	101	102	86	22.283	1.01	1.04	0.67	1.41	1.32	0.86
	102	103	87	21.064	0.93	0.92	0.65	1.26	1.23	0.83
	103	104	88	21.571	0.98	0.97	0.65	1.34	1.25	0.83
	104	105	89	21.064	0.93	0.92	0.65	1.26	1.23	0.83
105	106	90	20.892	0.92	0.90	0.65	1.25	1.22	0.83	
106	107	91	20.214	0.88	0.83	0.63	1.19	1.19	0.81	
107	108	92	19.196	0.81	0.80	0.61	1.11	1.16	0.80	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (11/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度		
	EW方向		鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
	NS方向	EW方向			NS方向	EW方向	
炉心シュラウド	88	89	73	31.557	0.94	0.92	
	89	90	74	30.369	0.86	0.85	
	90	91	75	29.181	0.86	0.85	
	91	92	76	28.249	0.86	0.85	
	92	93	77	27.317	0.86	0.85	
	93	94	78	26.687	0.86	0.85	
	94	95	79	25.414	0.86	0.85	
	95	96	80	25.843	0.86	0.85	
	96	97	81	25.414	0.86	0.85	
	97	98	82	25.131	0.86	0.85	0.29
	98	99	83	24.419	0.86	0.85	
	99	100	84	23.707	0.75	0.76	
	100	101	85	22.995	0.75	0.76	
	101	102	86	22.283	0.75	0.76	
	102	103	87	21.064	0.75	0.76	
	103	104	88	21.571	0.75	0.76	
	104	105	89	21.064	0.75	0.76	
105	106	90	20.892	0.75	0.76		
106	107	91	20.214	0.75	0.76		
107	108	92	19.196	0.75	0.76		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (12/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	S d			S d			S d			
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
燃料集合体	113	114	94	25.843	1.15	1.21	0.66	1.59	1.49	0.98
	114	115	95	25.131	2.09	2.51	0.66	2.75	2.85	0.96
	115	116	96	24.419	2.69	3.63	0.65	3.54	3.93	0.96
	116	117	97	23.707	2.83	3.97	0.65	3.75	4.43	0.95
	117	118	98	22.995	2.52	3.42	0.63	3.33	3.93	0.95
	118	119	99	22.283	1.80	2.20	0.62	2.37	2.58	0.93
	119	120	100	21.571	0.82	0.81	0.61	1.11	1.04	0.92

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (13/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度		
					$3.6 \cdot C_i$		$1.2 \cdot C_v$
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
燃料集合体	113	114	94	25.843	0.86	0.85	0.29
	114	115	95	25.131	0.86	0.85	
	115	116	96	24.419	0.86	0.85	
	116	117	97	23.707	0.75	0.76	
	117	118	98	22.995	0.75	0.76	
	118	119	99	22.283	0.75	0.76	
	119	120	100	21.571	0.75	0.76	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (14/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								
	設計用震度 I				設計用震度 II								
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向			
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	127	128	107	17.499	0.86	0.94	0.58	0.86	0.94	0.58	1.19	1.22	0.80
	128	129	108	16.508	0.69	0.79	0.58	0.69	0.79	0.58	1.01	1.10	0.78
	129	130	109	15.644	0.73	0.87	0.58	0.73	0.87	0.58	1.08	1.17	0.78
	130	131	110	14.781	0.82	1.18	0.58	0.82	1.18	0.58	1.19	1.55	0.78
	131	132	111	13.917	0.85	1.34	0.58	0.85	1.34	0.58	1.22	1.83	0.78
	132	133	112	13.054	0.85	1.38	0.58	0.85	1.38	0.58	1.25	2.03	0.78
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	109	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.72	0.79	0.58	0.72	0.79	0.58	1.04	1.11	0.77
	109	110	113	16.345	0.94	1.47	0.58	0.94	1.47	0.58	1.35	2.01	0.78
	110	111	114	15.248	1.61	2.92	0.58	1.61	2.92	0.58	2.22	4.04	0.78
	111	112	115	14.151	1.54	2.81	0.58	1.54	2.81	0.58	2.09	3.90	0.78
	112	113	116	13.054	0.85	1.36	0.58	0.85	1.36	0.58	1.23	2.00	0.78

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (15/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	静的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	127	128	107	17.499	0.75	0.76	0.29
	128	129	108	16.508	0.75	0.76	
	129	130	109	15.644	0.75	0.76	
	130	131	110	14.781	0.66	0.66	
	131	132	111	13.917	0.66	0.66	
	132	133	112	13.054	0.66	0.66	
	108	109	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.75	0.76	
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	109	110	113	16.345	0.75	0.76	
	110	111	114	15.248	0.66	0.66	
	111	112	115	14.151	0.66	0.66	
	112	113	116	13.054	0.66	0.66	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び靜的震度 (原子炉格納容器内) (16/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S d		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	0.74	0.79	0.57	1.05	1.11	0.77
	86	87	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.72	0.79	0.58	1.04	1.11	0.77
	87	88	108	16.508	0.69	0.79	0.58	1.01	1.10	0.78

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び靜的震度 (原子炉格納容器内) (17/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	靜的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	0.75	0.76	0.29
	86	87	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.75	0.76	0.29
	87	88	108	16.508	0.75	0.76	0.29

表 4.1-3 設計用震度 (S d) 及ひ静的震度 (制御室建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.10	1.21	0.51	1.64	1.71	0.74
	2	2	2	16.900	0.81	1.02	0.45	1.22	1.43	0.65
	3	3	3	12.800	0.71	0.81	0.39	1.05	1.11	0.57
	4, 7	4	4	8.800	0.50	0.59	0.34	0.75	0.83	0.48
	5	5	5	1.600	0.36	0.40	0.27	0.54	0.60	0.41
	6	6	6	0.100	0.36	0.40	0.27	0.54	0.60	0.41

表 4.1-3 設計用震度 (S d) 及ひ静的震度 (制御室建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.31	1.45	0.61	1.97	2.04	0.89
	2	2	2	16.900	0.97	1.22	0.54	1.46	1.71	0.77
	3	3	3	12.800	0.85	0.97	0.47	1.26	1.34	0.68
	4, 7	4	4	8.800	0.60	0.71	0.41	0.90	0.98	0.59
	5	5	5	1.600	0.43	0.48	0.33	0.65	0.72	0.48
	6	6	6	0.100	0.43	0.48	0.33	0.65	0.72	0.48

表 4.1-3 設計用震度 (Sd) 及 α 靜的震度 (制御室建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	靜的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	0.95	0.86	0.29
	2	2	2	16.900	0.80	0.76	
	3	3	3	12.800	0.70	0.68	
	4, 7	4	4	8.800	0.58	0.58	
	5	5	5	1.600	0.58	0.58	
	6	6	6	0.100	0.58	0.58	

表 4.1-4 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		S d		S d		S d	
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	NS方向 2.33	EW方向 2.13	鉛直方向 0.72	NS方向 3.26	EW方向 3.12	鉛直方向 0.99
	1, 6, 8	19	—	33.700	1.38	1.39	0.72	1.91	2.09	0.99
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	1.47	1.34	0.62	2.04	2.01	0.86
	14, 23, 29	15	—	30.550	2.36	1.35	0.62	3.54	1.97	0.86
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	1.30	1.26	0.46	1.85	1.89	0.62
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	0.92	0.80	0.36	1.38	1.19	0.54
	4	6	—	9.000(NS) 8.800(EW)	0.58	0.52	0.36	0.87	0.77	0.54
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	0.56	0.60	0.32	0.77	0.89	0.45
	34	25	8	2.000	0.49	0.49	0.30	0.68	0.68	0.44
	35	26	9	0.000	0.49	0.48	0.30	0.68	0.68	0.44
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	1.17	1.23	0.63	1.53	1.79	0.83
	33	24	7	13.000	0.73	0.80	0.43	1.05	1.20	0.59

表 4.1-4 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9,80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		S d			S d		
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	NS方向 2.80	EW方向 2.55	鉛直方向 0.87	NS方向 3.92	EW方向 3.75	鉛直方向 1.19
	1, 6, 8	19	—	33.700	1.65	1.66	0.87	2.28	2.49	1.19
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	1.77	1.61	0.75	2.45	2.42	1.04
	14, 23, 29	15	—	30.550	2.83	1.61	0.75	4.25	2.37	1.04
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	1.56	1.52	0.55	2.21	2.28	0.75
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	1.10	0.95	0.43	1.65	1.43	0.65
	4	6	—	9.000 (NS) 8.800 (EW)	0.69	0.62	0.43	1.04	0.93	0.65
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	0.67	0.72	0.38	0.92	1.07	0.54
	34	25	8	2.000	0.59	0.58	0.36	0.81	0.81	0.51
	35	26	9	0.000	0.59	0.58	0.35	0.81	0.81	0.51
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	1.41	1.48	0.75	1.83	2.15	0.99
	33	24	7	13.000	0.88	0.96	0.52	1.26	1.44	0.71

表 4.1-4 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	静的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	1.94	1.28	0.29
	1, 6, 8	19	-	33.700	1.94	1.28	
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	1.29	1.03	
	14, 23, 29	15	-	30.550	1.29	1.03	
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	0.86	0.80	
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	0.67	0.66	
	4	6	-	9.000 (NS) 8.800 (EW)	0.67	0.66	
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	0.58	0.58	
	34	25	8	2.000	0.58	0.58	
	35	26	9	0.000	0.58	0.58	
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	0.86	0.80	
	33	24	7	13.000	0.86	0.80	

表 4.1-5 設計用震度 (S d) 及び靜的震度 (廢棄物处理建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	S d				S d					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廢棄物处理建物	1	1	1	42.000	1.43	1.47	0.52	2.15	2.03	0.75
	2	2	2	37.500	1.24	1.26	0.51	1.80	1.79	0.74
	3	3	3	32.000	1.04	1.10	0.49	1.53	1.56	0.71
	4	4	4	26.700	0.88	0.97	0.47	1.29	1.38	0.69
	5	5	5	22.100	0.77	0.82	0.44	1.11	1.23	0.65
	6	6	6	16.900	0.69	0.72	0.39	1.02	1.05	0.56
	7	7	7	15.300	0.58	0.68	0.37	0.87	0.98	0.53
	8	8	8	12.300	0.52	0.56	0.33	0.77	0.84	0.48
	9	9	9	8.800	0.47	0.52	0.30	0.69	0.77	0.45
	10	10	10	3.000	0.39	0.40	0.26	0.57	0.60	0.39
	11	11	11	0.000	0.39	0.40	0.25	0.57	0.59	0.38

表 4.1-5 設計用震度 (S d) 及び靜的震度 (廢棄物処理建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S d					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廢棄物処理建物	1	1	1	42.000	1.72	1.77	0.62	2.58	2.43	0.90
	2	2	2	37.500	1.48	1.51	0.61	2.16	2.13	0.87
	3	3	3	32.000	1.25	1.31	0.59	1.83	1.88	0.86
	4	4	4	26.700	1.06	1.16	0.56	1.56	1.65	0.83
	5	5	5	22.100	0.93	0.99	0.53	1.34	1.49	0.78
	6	6	6	16.900	0.83	0.87	0.46	1.23	1.25	0.68
	7	7	7	15.300	0.69	0.82	0.44	1.04	1.17	0.63
	8	8	8	12.300	0.62	0.67	0.40	0.92	1.01	0.57
	9	9	9	8.800	0.57	0.62	0.36	0.83	0.92	0.54
	10	10	10	3.000	0.47	0.48	0.31	0.69	0.72	0.47
	11	11	11	0.000	0.46	0.48	0.31	0.69	0.71	0.45

表 4.1-5 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (廃棄物処理建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL.(m)	静的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向
廃棄物処理建物	1	1	1	42.000	1.42	1.36	0.29
	2	2	2	37.500	1.19	1.19	
	3	3	3	32.000	1.00	1.00	
	4	4	4	26.700	0.87	0.87	
	5	5	5	22.100	0.77	0.77	
	6	6	6	16.900	0.72	0.72	
	7	7	7	15.300	0.69	0.69	
	8	8	8	12.300	0.65	0.64	
	9	9	9	8.800	0.58	0.58	
	10	10	10	3.000	0.58	0.58	
	11	11	11	0.000	0.58	0.58	

表 4.1-6 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (排気筒) (1/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S d		S d	
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
排気筒	1000	1000	8.800~ 8.500	0.61	0.38	0.80	0.56
	100	100					
	200	200					
	300	300					
	400	400					
排気筒基礎	1054	1054	3.500	0.57	0.38	0.78	0.56
	115	115					
	215	215					
	315	315					
	415	415					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-6 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (排気筒) (2/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S d		S d	
	水平方向	鉛直方向		水平方向	鉛直方向		
排気筒	1000	1000	8.800~ 8.500	0.73	0.46	0.95	0.66
	100	100					
	200	200					
	300	300					
	400	400					
排気筒基礎	1054	1054	3.500	0.69	0.46	0.93	0.66
	115	115					
	215	215					
	315	315					
	415	415					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-6 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (排気筒) (3/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	静的震度	
	水平方向	鉛直方向		3.6・C _i	1.2・C _v
				水平方向	鉛直方向
排気筒	1000	1000	8.800~ 8.500	0.58	0.29
	100	100			
	200	200			
	300	300			
	400	400			
排気筒基礎	1054	1054	3.500	0.58	0.29
	115	115			
	215	215			
	315	315			
	415	415			

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (1/6)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I			設計用震度 II									
	S d							S d					
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向			
取水槽 (海水ポンプ エリア)	NS断面	EW断面 (海水ポンプエリア)	鉛直方向 EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面	EW断面 (海水ポンプエリア)								
	10095	3000		10095	3000		8.800	0.72	0.90	0.39	1.08	1.04	0.50
	10299	3033		10299	3033								
	10512			10512									
	10208	41	41	10208	41		1.100	0.44	0.58	0.37	0.66	0.77	0.47
		51	51		51								
		62	62		62								
	10008	7	7	10008	7		-9.800	0.38	0.44	0.28	0.56	0.59	0.39
		17	17		17								
		28	28		28								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (2/6)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I			設計用震度 II									
	S d							S d					
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向			
取水槽 (海水ポンプ エリア)	NS断面	EW断面 (海水ポンプエリア)	鉛直方向 EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面	EW断面 (海水ポンプエリア)								
	10095	3000		10095	3000		0.87	1.08	0.47	1.29	1.25	0.59	
	10299	3033		10299	3033								
	10512			10512									
	10208	41	41	10208	41		0.53	0.70	0.45	0.80	0.92	0.57	
		51	51		51								
		62	62		62								
	10008	7	7	10008	7		0.45	0.53	0.34	0.68	0.71	0.47	
		17	17		17								
		28	28		28								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (3/6)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	静的震度		
	NS方向		EW方向		鉛直方向			NS方向	EW方向	鉛直方向
	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)				
取水槽 (海水ポンプ エリア)	10095	3000	10095	3000	3000	8.800	0.58	0.58	0.29	
	10299	3033	10299	3033	3033	1.100				
	10512		10512							
	10208	41	10208	41	41	-9.800				
		51		51	51					
		62		62	62					
	10008	7	10008	7	7	0.58				
		17		17	17					
		28		28	28					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (4/6)

構造物名	節点番号				標高* EL (m)	設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向		EW方向			S d			S d		
	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
取水槽 (除じん機 エリア)		10016		10016	4.000~ -9.700	0.50	0.64	0.36	0.75	0.89	0.45
		10022		10022							
		10041		10041							
	10380		10380								
	10018		10018								
		10053		10053							
	10059		10059								
	10071		10071								
	10160		10160								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (5/6)

構造物名	節点番号				標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	NS方向		鉛直方向			設計用震度 I					
	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)		NS方向	EW方向	鉛直方向			
取水槽 (除じん機 エリア)	10016	10016	10016	10016	4.000~ -9.700	0.60	0.77	0.43	0.90	1.07	0.54
	10022	10022	10022	10022							
	10041	10041	10041	10041							
	10053	10053	10380	10053							
	10059	10059	10018	10059							
	10071	10071	10071	10071							
10160	10160	10160	10160								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (6/6)

構造物名	節点番号				標高* EL (m)	静的震度		
	NS方向		EW方向			3.6・C _i		1.2・C _v
	NS断面 (除じん機エリア)		EW断面 (除じん機エリア)			NS方向	EW方向	鉛直方向
	NS断面	EW断面	NS断面	EW断面		NS方向	EW方向	鉛直方向
取水槽 (除じん機 エリア)		10016		10016	4.000~ -9.700	0.58	0.58	0.29
		10022		10022				
		10041		10041				
	10380	10053	10380	10053				
	10018	10059	10018	10059				
		10071		10071				
		10160		10160				

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-8 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物～排気筒) (1/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
	設計用震度 I			設計用震度 II		S d	
	水平方向	鉛直方向		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033 6045 6054 6062 6070 6008 6020	6033 6045 6054 6062 6070 6008 6020	7.500～ 5.500	0.78	0.43	1.11	0.62

注記*：機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-8 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物～排気筒) (2/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 (×9.80665m/s ²) ×1.2			
	設計用震度 I			設計用震度 II		S d	
	水平方向	鉛直方向		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033	6033	7.500～ 5.500	0.94	0.51	1.34	0.74
	6045	6045					
	6054	6054					
	6062	6062					
	6070	6070					
	6008	6008					
	6020	6020					

注記*：機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-8 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)) (3/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	静的震度	
	水平方向	鉛直方向		3.6・C _i	1.2・C _v
				水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033	6033	7.500～ 5.500	0.58	0.29
	6045	6045			
	6054	6054			
	6062	6062			
	6070	6070			
	6008	6008			
	6020	6020			

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-9 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽) (1/3)

構造物名	節点番号						標高* El (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$													
	NS方向		EW方向		鉛直方向			設計用震度 I													
	NS断面		EW断面		NS断面			S d		設計用震度 II											
	NS方向	EW方向	EW断面	NS断面	NS方向	EW断面		鉛直方向	NS方向		EW方向	鉛直方向									
B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	437	—	—	437	—	—	18.300	1.32	—	0.79	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	573	—	—	573	—	—	18.300	573	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	661	—	—	661	—	—	18.300	661	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	745	—	—	745	—	—	18.300	745	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	445	483	483	445	483	483	15.300~ 14.400	445	483	483	1.04	1.37	0.80	1.18	1.54	0.58	1.04	1.37	0.80	1.18	1.54
	581	555	555	581	555	555	15.300~ 14.400	581	555	555	—	—	—	—	—	0.53	—	0.37	0.75	—	0.51
	753	691	691	753	691	691	15.300~ 14.400	753	691	691	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1080	831	831	1080	831	831	15.300~ 14.400	1080	831	831	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1400	897	897	1400	897	897	15.300~ 14.400	1400	897	897	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	586	—	—	586	—	—	13.400	586	—	—	—	—	—	—	—	0.53	—	0.37	0.75	—	0.51
	662	—	—	662	—	—	13.400	662	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	758	—	—	758	—	—	13.400	758	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
760	489	489	760	489	489	12.000~ 11.900	760	489	489	1.17	0.51	0.75	1.22	0.54	0.52	1.17	0.51	0.75	1.22	0.54	
1407	628	628	1407	628	628	12.000~ 11.900	1407	628	628	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
766	556	556	766	556	556	9.350	766	556	556	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1093	692	692	1093	692	692	9.350	1093	692	692	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1413	832	832	1413	832	832	9.350	1413	832	832	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
909	909	909	909	909	909	9.350	909	909	909	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

注記* : 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-9 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽) (2/3)

構造物名	節点番号				標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$						
	EW方向		鉛直方向			設計用震度 I			設計用震度 II			
	NS方向	EW断面	NS断面	EW断面		S d			S d			
						NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	437	—	437	—	18.300	1.59	—	0.94	2.21	—	1.22	
	573	—	573	—		15.300~ 14.400	0.69	1.25	1.65	0.96	1.42	1.85
	661	—	661	—			13.400	0.63	—	0.45	0.92	—
	745	—	745	—	12.000~ 11.900			0.62	1.40	0.61	0.89	1.46
	445	483	445	483		9.350		0.62	0.65	0.48	0.86	0.84
	581	555	581	555			—	0.63	—	0.45	0.92	—
	753	691	753	691	489			0.62	—	0.45	0.92	—
	1080	831	1080	831		628		0.62	—	0.45	0.92	—
	1400	897	1400	897			763	0.62	—	0.45	0.92	—
	586	—	586	—	903			0.62	—	0.45	0.92	—
	662	—	662	—		495		0.62	—	0.45	0.92	—
	758	—	758	—			556	0.62	—	0.45	0.92	—
760	489	760	489	692	0.62			—	0.45	0.92	—	0.60
1407	628	1407	628		832	0.62		—	0.45	0.92	—	0.60
766	763	766	763			909	0.62	—	0.45	0.92	—	0.60
1093	903	1093	903	495			0.62	—	0.45	0.92	—	0.60
1413	495	1413	495		556		0.62	—	0.45	0.92	—	0.60
—	556	—	556			692	0.62	—	0.45	0.92	—	0.60
—	692	—	692	832			0.62	—	0.45	0.92	—	0.60
—	832	—	832		909		0.62	—	0.45	0.92	—	0.60
—	909	—	909									

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-9 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (B-デーゼル燃料貯蔵タンク格納槽) (3/3)

構造物名	節点番号				標高* EL(m)	静的震度		
	NS方向		EW方向			NS方向	EW方向	鉛直方向
	NS断面	EW断面	NS断面	EW断面				
B-デーゼル燃料 貯蔵タンク格納槽	437	—	437	—	18.300	0.58	0.58	0.29
	573	—	573	—				
	661	—	661	—				
	745	—	745	—				
	445	483	445	483	15.300~ 14.400	0.58	0.58	0.29
	581	555	581	555				
	753	691	753	691				
	1080	831	1080	831				
	1400	897	1400	897	13.400	0.58	0.58	0.29
	586	—	586	—				
	662	—	662	—				
	758	—	758	—	12.000~ 11.900	0.58	0.58	0.29
760	489	760	489					
1407	628	1407	628					
—	763	—	763					
—	903	—	903	9.350	0.58	0.58	0.29	
766	495	766	495					
1093	556	1093	556					
1413	692	1413	692					
—	909	—	909	—	—	—	—	—

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-10 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (B-デューゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)) (1/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
				設計用震度 I			設計用震度 II		
				S d		S d		S d	
水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向		
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (F)	535	535	14.050～ 11.004	0.45	0.31	0.63	0.45	0.45	
	536	536							
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (G)	2126	2126	14.000～ 11.261	0.64	0.53	0.95	0.56	0.56	
	2127	2127							
燃料移送系 配管ダクト	595	595	14.050～ 11.000	0.49	0.38	0.74	0.56	0.56	
	509	509							
	681	681							
	596	596							

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-10 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (B-デイズル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)) (2/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
				設計用震度 I			設計用震度 II		
				S d		S d		S d	
水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向		
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (F)	535	535	14.050～ 11.004	0.37	0.54	0.77	0.54	0.54	
	536	536							
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (G)	2126	2126	14.000～ 11.261	0.63	0.76	1.13	0.67	0.67	
	2127	2127							
燃料移送系 配管ダクト	595	595	14.050～ 11.000	0.45	0.59	0.89	0.66	0.66	
	509	509							
	681	681							
	596	596							

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-10 設計用震度 (Sd) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (B-デューゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)) (3/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	静的震度	
	水平方向	鉛直方向		3.6・C _i	1.2・C _v
				水平方向	鉛直方向
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (F)	535	535	14.050～ 11.004	0.58	0.29
	536	536			
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (G)	2126	2126	14.000～ 11.261	0.58	0.29
	2127	2127			
燃料移送系 配管ダクト	595	595	14.050～ 11.000	0.58	0.29
	509	509			
	681	681			
	596	596			

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-11 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)) (1/3)

構造物名	節点番号								標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
	水平方向				鉛直方向					設計用震度 I		設計用震度 II	
	NS断面		EW断面		NS断面		EW断面			S d		S d	
	NS断面 (立坑部)	NS断面	EW断面	EW断面	NS断面 (立坑部)	NS断面	EW断面	EW断面		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)	11574	11574	—	—	11574	—	—	—	8.500~1.900	0.96	0.75	1.37	0.96
	11820	11820	—	—	11820	—	—	—					
	11580	11580	—	—	11580	—	—	—					
	11826	11826	—	—	11826	—	—	—					
	1587	1587	—	—	1587	—	—	—					
	1833	1833	—	—	1833	—	—	—					
	2161	2161	—	—	2161	—	—	—					
	1376	1376	—	—	1376	—	—	—					
	1760	1760	—	—	1760	—	—	—					
	—	1759 1376 2161 1760	—	—	—	1759 1376 2161 1760	—	—					
—	—	2288 2072 2499 2289	—	—	—	2288 2072 2499 2289	—	—	4.900~1.900	0.64	0.60	0.81	0.69

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-11 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)) (2/3)

構造物名	節点番号								標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
	水平方向				鉛直方向					設計用震度 I		設計用震度 II	
	NS断面		EW断面		NS断面		EW断面			S d		S d	
	NS断面 (立坑部)	NS断面	EW断面	EW断面	NS断面 (立坑部)	NS断面	EW断面	EW断面		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)	11574				11574				8.500~1.900	1.15	0.90	1.64	1.16
	11820				11820								
	11580				11580								
	11826				11826								
	1587				1587								
	1833				1833								
	2161				2161								
	1376				1376								
	1760				1760								
		1759				1759							
	1376				1376								
	2161				2161								
	1760				1760								
								4.900~1.900	0.77	0.71	0.98	0.83	
	2288				2288								
	2072				2072								
	2499				2499								
	2289				2289								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-11 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物～放水槽) (3/3)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	静的震度	
	水平方向			鉛直方向				水平方向	鉛直方向
	NS断面 (立坑部)	EW断面	NS断面 (立坑部)	NS断面	EW断面	EW断面			
	11574 11820 11580 11826 1587 1833 2161 1376 1760	—	—	11574 11820 11580 11826 1587 1833 2161 1376 1760	—	—		8.500~1.900	0.58
屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)	—	1759 1376 2161 1760	—	—	1759 1376 2161 1760	—	4.900~1.900	0.58	0.29
	—	2288 2072 2499 2289	—	—	2288 2072 2499 2289	2288 2072 2499 2289	4.900~1.900	0.58	0.29

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-1 設計用震度 (S s) (原子炉建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	2.70	2.76	1.63	3.69	4.14	2.21
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.89	2.00	1.48	2.70	2.93	2.04
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.35	1.46	1.51	1.92	2.10	2.06
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	1.06	1.17	1.49	1.56	1.73	1.98
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.17	1.46	1.44	1.74	1.95	1.94
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	1.08	1.20	1.44	1.55	1.77	1.94
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	1.02	0.98	1.28	1.44	1.43	1.73
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.92	0.87	0.97	1.32	1.29	1.31
	19	16	22	10.100	0.96	0.98	0.70	1.44	1.44	1.05
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.86	0.88	0.64	1.25	1.29	0.96
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.74	0.81	0.58	1.07	1.17	0.87
	35	35	16	-4.700	0.73	0.80	0.55	1.04	1.16	0.83

表 4.3-1 設計用震度 (S s) (原子炉建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		S s			S s		
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	NS方向 3.23	EW方向 3.31	鉛直方向 1.95	NS方向 4.43	EW方向 4.97	鉛直方向 2.66
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	2.27	2.40	1.77	3.24	3.51	2.46
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.62	1.75	1.81	2.31	2.52	2.46
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	1.27	1.41	1.79	1.88	2.07	2.39
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.40	1.75	1.73	2.09	2.33	2.31
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	1.30	1.44	1.73	1.86	2.13	2.31
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	1.23	1.17	1.54	1.73	1.71	2.07
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	1.10	1.04	1.16	1.59	1.55	1.58
	19	16	22	10.100	1.15	1.18	0.84	1.73	1.74	1.25
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	1.03	1.06	0.77	1.49	1.56	1.16
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.89	0.98	0.70	1.28	1.41	1.05
	35	35	16	-4.700	0.88	0.96	0.66	1.25	1.38	0.99

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (1/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.43	2.05	0.89	1.98	2.30	1.29
	42	43	30	37.060	1.32	1.77	0.89	1.82	2.16	1.29
	43	44	31	34.758	1.22	1.63	0.88	1.71	2.03	1.28
	44	45	32	33.141	1.15	1.56	0.87	1.68	1.94	1.26
	45	46	33	29.392	1.07	1.82	0.86	1.53	1.70	1.25
	46	47	34	27.907	1.01	1.98	0.85	1.52	1.65	1.23
	47	48	35	22.932	1.09	1.13	0.81	1.58	1.44	1.19
	48	49	36	19.878	1.07	1.13	0.79	1.50	1.35	1.14
	49	50	37	16.825	0.99	0.98	0.76	1.44	1.32	1.11
	50	51	38	13.700	0.95	0.88	0.73	1.34	1.17	1.10
	51	52	39	11.900	0.92	0.83	0.72	1.29	1.25	1.08

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (2/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.71	2.46	1.07	2.37	2.76	1.55
	42	43	30	37.060	1.59	2.12	1.07	2.18	2.60	1.55
	43	44	31	34.758	1.46	1.95	1.06	2.06	2.43	1.53
	44	45	32	33.141	1.38	1.87	1.05	2.01	2.33	1.52
	45	46	33	29.392	1.29	2.19	1.03	1.85	2.04	1.49
	46	47	34	27.907	1.22	2.38	1.01	1.83	1.97	1.47
	47	48	35	22.932	1.31	1.36	0.97	1.89	1.74	1.43
	48	49	36	19.878	1.28	1.36	0.94	1.80	1.61	1.38
	49	50	37	16.825	1.18	1.18	0.92	1.73	1.58	1.34
	50	51	38	13.700	1.14	1.06	0.88	1.61	1.41	1.31
	51	52	39	11.900	1.10	1.00	0.86	1.55	1.50	1.29

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (3/11)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	2.50	2.25	1.34	3.14	3.15	1.89
	54	55	42	26.981	2.19	2.17	1.29	2.72	2.94	1.83
	55	56	43	24.000	1.80	1.95	1.20	2.31	2.58	1.71
	56	57	44	21.500	1.51	1.65	1.11	1.94	2.30	1.58
	57	58	45	19.000	1.16	1.39	0.95	1.64	1.85	1.32
原子炉圧力容器 ペデスタル	58	59	46	15.944	1.00	1.14	0.82	1.47	1.65	1.14
	59	60	47	13.022	0.94	1.03	0.77	1.35	1.52	1.11

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (4/11)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	3.00	2.70	1.61	3.77	3.78	2.27
	54	55	42	26.981	2.62	2.60	1.55	3.26	3.53	2.19
	55	56	43	24.000	2.16	2.33	1.44	2.78	3.09	2.04
	56	57	44	21.500	1.81	1.98	1.33	2.33	2.75	1.88
	57	58	45	19.000	1.40	1.67	1.14	1.97	2.22	1.59
	58	59	46	15.944	1.20	1.37	0.98	1.77	1.98	1.37
原子炉圧力容器 ペデスタル	59	60	47	13.022	1.13	1.24	0.92	1.62	1.82	1.32

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (5/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	5.24	5.36	1.13	6.57	7.01	1.58
	62	63	50	36.586	4.99	5.07	1.13	6.24	6.62	1.56
	63	64	51	35.678	4.73	4.78	1.13	5.91	6.21	1.56
	64	65	52	33.993	4.25	4.24	1.13	5.30	5.48	1.56
	65	66	53	32.567	3.83	3.76	1.12	4.76	4.82	1.56
	66	67	54	31.557	3.55	3.41	1.11	4.43	4.34	1.55
	67	68	55	30.369	3.23	3.00	1.10	4.11	3.87	1.53
	68	69	56	30.218	3.19	2.94	1.10	4.07	3.84	1.52
	69	70	57	29.181	2.98	2.66	1.09	3.86	3.62	1.50
	70	71	58	28.249	2.79	2.42	1.07	3.66	3.42	1.49
	71	72	59	27.317	2.61	2.22	1.06	3.47	3.21	1.47
	72	73	60	26.687	2.48	2.11	1.05	3.32	3.06	1.46
	73	74	61	25.414	2.26	1.93	1.03	3.02	2.85	1.44
	74	75	62	25.131	2.21	1.89	1.03	2.96	2.81	1.43
75	76	63	24.419	2.09	1.81	1.02	2.78	2.69	1.41	
76	77	64	23.707	1.97	1.73	1.00	2.60	2.55	1.40	
77	78	65	22.995	1.85	1.65	0.99	2.46	2.42	1.38	
78	79	66	22.283	1.73	1.56	0.98	2.33	2.28	1.37	
79	80	67	21.064	1.53	1.41	0.95	2.10	2.04	1.32	
80	81	68	20.892	1.50	1.39	0.95	2.06	2.01	1.32	
81	82	69	20.214	1.39	1.31	0.94	1.94	1.91	1.31	
82	83	70	19.196	1.33	1.27	0.91	1.82	1.80	1.28	
83	84	71	18.250	1.25	1.26	0.90	1.73	1.79	1.25	

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (6/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	6.29	6.43	1.36	7.88	8.40	1.88
	62	63	50	36.586	5.99	6.08	1.36	7.49	7.94	1.88
	63	64	51	35.678	5.68	5.73	1.36	7.08	7.46	1.88
	64	65	52	33.993	5.10	5.09	1.35	6.36	6.57	1.88
	65	66	53	32.567	4.60	4.52	1.35	5.70	5.78	1.86
	66	67	54	31.557	4.26	4.09	1.33	5.31	5.19	1.85
	67	68	55	30.369	3.88	3.59	1.32	4.94	4.65	1.83
	68	69	56	30.218	3.83	3.53	1.32	4.89	4.61	1.83
	69	70	57	29.181	3.57	3.19	1.30	4.64	4.34	1.80
	70	71	58	28.249	3.35	2.91	1.29	4.40	4.10	1.79
	71	72	59	27.317	3.13	2.66	1.27	4.16	3.84	1.77
	72	73	60	26.687	2.98	2.53	1.26	3.98	3.68	1.76
	73	74	61	25.414	2.71	2.31	1.24	3.63	3.42	1.73
	74	75	62	25.131	2.65	2.27	1.23	3.54	3.38	1.71
75	76	63	24.419	2.51	2.18	1.22	3.33	3.23	1.70	
76	77	64	23.707	2.36	2.08	1.20	3.12	3.06	1.68	
77	78	65	22.995	2.22	1.98	1.19	2.96	2.91	1.65	
78	79	66	22.283	2.08	1.87	1.17	2.79	2.75	1.64	
79	80	67	21.064	1.83	1.70	1.14	2.52	2.45	1.59	
80	81	68	20.892	1.80	1.67	1.14	2.48	2.42	1.59	
81	82	69	20.214	1.67	1.57	1.12	2.33	2.28	1.56	
82	83	70	19.196	1.60	1.52	1.10	2.18	2.16	1.53	
83	84	71	18.250	1.50	1.51	1.08	2.07	2.15	1.50	

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (7/11)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
炉心シェラウド	88	89	73	31.557	3.04	2.95	1.40	4.28	4.37	1.89
	89	90	74	30.369	2.64	2.61	1.40	3.57	3.60	1.89
	90	91	75	29.181	2.35	2.39	1.39	3.12	3.09	1.88
	91	92	76	28.249	2.23	2.21	1.38	2.96	2.85	1.86
	92	93	77	27.317	2.11	2.03	1.37	2.82	2.61	1.85
	93	94	78	26.687	2.03	1.92	1.37	2.73	2.46	1.83
	94	95	79	25.414	1.89	1.82	1.35	2.55	2.31	1.80
	95	96	80	25.843	1.95	1.86	1.35	2.61	2.34	1.82
	96	97	81	25.414	1.89	1.82	1.35	2.55	2.31	1.80
	97	98	82	25.131	1.86	1.80	1.34	2.51	2.30	1.80
	98	99	83	24.419	1.79	1.75	1.32	2.42	2.30	1.77
	99	100	84	23.707	1.73	1.70	1.30	2.34	2.31	1.74
	100	101	85	22.995	1.72	1.65	1.28	2.34	2.33	1.71
	101	102	86	22.283	1.70	1.60	1.26	2.34	2.31	1.67
	102	103	87	21.064	1.70	1.52	1.22	2.30	2.28	1.62
	103	104	88	21.571	1.72	1.57	1.22	2.34	2.34	1.62
	104	105	89	21.064	1.70	1.52	1.22	2.30	2.28	1.62
105	106	90	20.892	1.71	1.51	1.21	2.30	2.27	1.62	
106	107	91	20.214	1.64	1.51	1.19	2.25	2.22	1.59	
107	108	92	19.196	1.60	1.52	1.15	2.18	2.16	1.56	

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (8/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
燃料集合体	113	114	94	25.843	1.62	1.55	1.35	2.18	1.95	1.92
	114	115	95	25.131	1.91	2.78	1.34	2.82	2.88	1.91
	115	116	96	24.419	2.48	3.83	1.33	3.69	3.98	1.89
	116	117	97	23.707	2.61	4.10	1.32	3.89	4.43	1.88
	117	118	98	22.995	2.32	3.45	1.30	3.44	3.89	1.86
	118	119	99	22.283	1.73	2.21	1.29	2.49	2.61	1.83
	119	120	100	21.571	1.43	1.31	1.27	1.95	1.95	1.80

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (9/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	127	128	107	17.499	1.45	2.04	1.12	2.09	2.06	1.56
	128	129	108	16.508	1.41	1.54	1.10	2.01	2.18	1.53
	129	130	109	15.644	1.57	1.75	1.10	2.27	2.34	1.53
	130	131	110	14.781	1.78	2.36	1.11	2.55	3.14	1.53
	131	132	111	13.917	1.81	2.67	1.11	2.66	3.60	1.55
	132	133	112	13.054	1.95	2.67	1.11	2.63	3.68	1.55
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	109	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	1.45	1.52	1.09	2.04	2.16	1.52
	109	110	113	16.345	2.01	2.88	1.10	2.79	3.86	1.52
	110	111	114	15.248	3.49	5.65	1.10	4.82	7.70	1.53
	111	112	115	14.151	3.41	5.44	1.11	4.58	7.44	1.53
	112	113	116	13.054	1.92	2.64	1.11	2.60	3.63	1.53

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (10/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	1.25	1.26	0.90	1.73	1.79	1.25
	86	87	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	1.21	1.27	0.91	1.70	1.80	1.26
	87	88	108	16.508	1.17	1.28	0.92	1.68	1.82	1.28

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (11/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	1.50	1.51	1.08	2.07	2.15	1.50
	86	87	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	1.45	1.52	1.09	2.04	2.16	1.52
	87	88	108	16.508	1.41	1.54	1.10	2.01	2.18	1.53

表 4.3-3 設計用震度 (S s) (制御室建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{ m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.40	2.03	1.00	2.10	3.03	1.49
	2	2	2	16.900	1.27	1.96	0.88	1.89	2.84	1.32
	3	3	3	12.800	1.02	1.43	0.78	1.47	2.01	1.16
	4, 7	4	4	8.800	0.88	1.01	0.66	1.32	1.52	0.99
	5	5	5	1.600	0.72	0.81	0.59	1.08	1.22	0.80
	6	6	6	0.100	0.71	0.81	0.59	1.07	1.22	0.80

表 4.3-3 設計用震度 (S s) (制御室建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.68	2.43	1.19	2.52	3.65	1.77
	2	2	2	16.900	1.53	2.36	1.06	2.27	3.41	1.58
	3	3	3	12.800	1.23	1.71	0.93	1.76	2.42	1.40
	4, 7	4	4	8.800	1.05	1.21	0.79	1.58	1.82	1.19
	5	5	5	1.600	0.86	0.97	0.71	1.29	1.46	0.96
	6	6	6	0.100	0.85	0.97	0.71	1.28	1.46	0.96

表 4.3-4 設計用震度 (S s) (タービン建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	S s		S s		S s					
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	3.30	3.19	1.48	4.88	4.49	2.16
	1, 6, 8	19	—	33.700	2.36	1.77	1.48	3.26	2.66	2.16
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	2.47	2.24	1.24	3.56	3.36	1.83
	14, 23, 29	15	—	30.550	4.13	1.72	1.24	5.96	2.46	1.83
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	2.23	1.69	0.90	3.17	2.54	1.32
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	1.61	1.34	0.72	2.19	1.92	1.07
	4	6	—	9.000 (NS) 8.800 (EW)	1.09	1.16	0.72	1.64	1.70	1.07
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	1.28	1.21	0.60	1.82	1.82	0.89
	34	25	8	2.000	0.98	0.96	0.56	1.46	1.43	0.83
	35	26	9	0.000	0.98	0.96	0.56	1.46	1.43	0.83
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	1.83	1.63	1.28	2.60	2.33	1.74
	33	24	7	13.000	1.43	1.71	0.90	2.00	2.15	1.23

表 4.3-4 設計用震度 (S s) (タービン建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$						
	設計用震度 I				設計用震度 II						
	S s				S s						
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	3.96	3.83	1.77	5.85	5.37	2.60	2.60
	1, 6, 8	19	—	33.700	2.83	2.13	1.77	3.90	3.20	2.60	2.60
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	2.97	2.69	1.49	4.26	4.04	2.19	2.19
	14, 23, 29	15	—	30.550	4.95	2.06	1.49	7.14	2.96	2.19	2.19
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	2.67	2.03	1.08	3.80	3.05	1.59	1.59
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	1.93	1.61	0.87	2.63	2.31	1.28	1.28
	4	6	—	9.000(NS) 8.800(EW)	1.31	1.39	0.87	1.97	2.04	1.28	1.28
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	1.53	1.45	0.72	2.18	2.18	1.05	1.05
	34	25	8	2.000	1.18	1.16	0.68	1.74	1.71	0.99	0.99
	35	26	9	0.000	1.17	1.15	0.67	1.74	1.70	0.99	0.99
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	2.19	1.96	1.54	3.11	2.78	2.10	2.10
	33	24	7	13.000	1.71	2.05	1.07	2.40	2.58	1.49	1.49

表 4.3-5 設計用震度 (S s) (廃棄物処理建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廃棄物処理建物	1	1	1	42.000	1.87	1.84	1.07	2.79	2.75	1.52
	2	2	2	37.500	1.42	1.50	1.02	2.13	2.24	1.46
	3	3	3	32.000	1.29	1.25	0.97	1.92	1.85	1.46
	4	4	4	26.700	1.19	1.21	0.96	1.73	1.82	1.44
	5	5	5	22.100	1.10	1.05	0.92	1.62	1.56	1.38
	6	6	6	16.900	1.07	1.01	0.81	1.56	1.47	1.22
	7	7	7	15.300	1.05	1.10	0.77	1.53	1.65	1.16
	8	8	8	12.300	1.03	0.96	0.70	1.49	1.40	1.05
	9	9	9	8.800	1.02	0.95	0.64	1.46	1.37	0.93
	10	10	10	3.000	0.81	0.84	0.57	1.16	1.20	0.78
	11	11	11	0.000	0.80	0.83	0.56	1.14	1.19	0.77

表 4.3-5 設計用震度 (S s) (廃棄物処理建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廃棄物処理建物	1	1	1	42.000	2.24	2.21	1.29	3.35	3.29	1.82
	2	2	2	37.500	1.70	1.80	1.22	2.55	2.69	1.76
	3	3	3	32.000	1.55	1.50	1.16	2.30	2.21	1.74
	4	4	4	26.700	1.42	1.45	1.15	2.06	2.18	1.73
	5	5	5	22.100	1.31	1.26	1.10	1.95	1.88	1.65
	6	6	6	16.900	1.29	1.22	0.97	1.88	1.77	1.46
	7	7	7	15.300	1.26	1.31	0.92	1.85	1.97	1.38
	8	8	8	12.300	1.24	1.15	0.84	1.79	1.67	1.26
	9	9	9	8.800	1.23	1.13	0.77	1.74	1.64	1.11
	10	10	10	3.000	0.97	1.01	0.68	1.38	1.44	0.93
	11	11	11	0.000	0.96	0.99	0.67	1.38	1.43	0.92

表 4.3-6 設計用震度 (S s) (排気筒) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								
				設計用震度 I S s		設計用震度 II S s						
				水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向					
排気筒	106	106	69.500~ 62.200	1.14	1.05	1.71	1.38					
	206	206										
	306	306										
	406	406										
	105	105										
	205	205										
	305	305										
	405	405										
	1000	1000						8.800~ 8.500	1.22	0.78	1.61	1.04
	100	100										
	200	200										
	300	300										
	400	400						3.500	1.14	0.78	1.59	1.04
	1054	1054										
115	115											
215	215											
315	315	排気筒基礎	1.14	0.78	1.59	1.04						
415	415											

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-6 設計用震度 (S s) (排気筒) (2/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								
				設計用震度 I S s		設計用震度 II S s						
				水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向					
排気筒	106	106	69.500~ 62.200	1.37	1.26	2.05	1.66					
	206	206										
	306	306										
	406	406										
	105	105										
	205	205										
	305	305										
	405	405										
	1000	1000						8.800~ 8.500	1.47	0.93	1.92	1.25
	100	100										
	200	200										
	300	300										
	400	400						3.500	1.37	0.93	1.91	1.25
	1054	1054										
115	115											
215	215											
315	315	排気筒基礎										
415	415											

注記*：機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-7 設計用震度 (S s) (取水槽) (1/4)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$						
	NS方向			鉛直方向				設計用震度 I			設計用震度 II			
	EW方向			NS断面				S s			S s			
	EW断面 (海水ポンプエリア)			EW断面 (海水ポンプエリア)				NS方向			鉛直方向			
取水槽 (海水ポンプ エリア)	10095	3000	10095	3000	10095	3000	8.800	1.16	1.52	0.81	1.74	2.15	0.98	
	10299	3033	10299	3033	10299	3033		1.100	0.88	0.93	0.73	1.32	1.26	0.93
	10512		10512		10512				-9.800	0.74	0.78	0.60	1.11	1.04
	10208	41	10208	41	10208	41								
		51		51		51								
		62		62		62								
		7		7		7								
		17		17		17								
		28		28		28								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-7 設計用震度 (S s) (取水槽) (2/4)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$						
	NS方向			鉛直方向				設計用震度 I			設計用震度 II			
	EW方向			NS断面				S s			S s			
	EW断面 (海水ポンプエリア)			EW断面 (海水ポンプエリア)				NS方向			鉛直方向			
取水槽 (海水ポンプ エリア)	10095	3000	10095	3000	10095	3000	8.800	1.39	1.83	0.97	2.09	2.58	1.16	
	10299	3033	10299	3033	10299	3033		1.100	1.05	1.11	0.87	1.58	1.50	1.13
	10512		10512		10512				0.88	0.93	0.72	1.32	1.23	0.92
	10208	41	10208	41	10208	41	-9.800	1.05	1.11	0.87	1.58	1.50	1.13	
		51		51		51		10008	0.88	0.93	0.72	1.32	1.23	0.92
		62		62		62								
		10008	7	10008	7	10008	7							
			17		17		17							
			28		28		28							

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-7 設計用震度 (S s) (取水槽) (3/4)

構造物名	節点番号				標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$				
	NS方向		鉛直方向			設計用震度 I				
	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)		S s				
	NS方向	EW方向	NS方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向		
取水槽 (除じん機 エリア)	10380	10016		10016	4.000~ -9.700	0.88				
	10018	10022	10380	10022		0.98	0.72	1.32	1.34	0.89
		10041	10018	10041						
		10053		10053						
		10059		10059						
		10071		10071						
		10160		10160						

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-7 設計用震度 (S s) (取水槽) (4/4)

構造物名	節点番号				標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
	NS方向		鉛直方向			設計用震度 I			
	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)	NS断面	EW断面 (除じん機エリア)		NS方向	鉛直方向	EW方向	
取水槽 (除じん機 エリア)	10380	10016	10380	10016	4.000~ -9.700	1.06	0.87	1.61	
	10018	10022	10018	10022		1.17	0.87	1.58	
		10041		10041					
		10053		10053					
		10059		10059					
		10071		10071					
		10160		10160					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-8 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{ m/s}^2$) $\times 1.0$					
				設計用震度 I		設計用震度 II			
				S s		S s			
水平方向		鉛直方向		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向		
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033	6033	7.500～ 5.500		1.69	1.23		1.28	
	6045	6045							2.31
	6054	6054							
	6062	6062							
	6070	6070							
	6008	6008							
	6020	6020							

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-8 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (タービン建物~排気筒)) (2/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{ m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
	水平方向	鉛直方向	S s		S s		
屋外配管ダクト (タービン建物~排気筒)	6033	6033	7.500~ 5.500	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
	6045	6045					
	6054	6054					
	6062	6062					
	6070	6070					
	6008	6008					
	6020	6020					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-9 設計用震度 (S s) (B-デーゼー燃料貯蔵タンク格納槽) (1/2)

構造物名	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$											
	設計用震度 I					標高* El. (m)	設計用震度 II					
	S s						S s					
	NS方向	EW方向	NS断面	鉛直方向	EW断面		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
B-デーゼー燃料貯蔵タンク格納槽	437	—	437	—	—	18.300	2.13	—	1.48	—	2.19	
	573	—	573	—	—		1.03	—	2.60	—		2.81
	661	—	661	—	—		—	—	—	—		—
	745	—	745	—	—	15.300~ 14.400	2.52	—	2.60	—	3.57	
	445	483	445	483	483		1.03	2.52	2.60	1.50		2.81
	581	555	581	555	555		—	—	—	—		—
	753	691	753	691	691	13.400	0.99	—	0.70	—	1.05	
	1080	831	1080	831	831		0.98	—	0.95	1.47		2.21
	1400	897	1400	897	897		—	—	—	—		—
	586	—	586	—	—	12.000~ 11.900	0.98	2.18	0.95	1.47	2.21	1.10
	662	—	662	—	—		0.95	0.98	0.92	1.43	1.34	
	758	—	758	—	—		—	—	—	—	—	
760	489	760	489	489	9.350	0.95	0.98	0.92	1.43	1.34	1.10	
1407	628	1407	628	628		—	—	—	—	—		
—	763	—	763	763		—	—	—	—	—		
—	903	—	903	903	9.350	0.95	0.98	0.92	1.43	1.34	1.10	
766	495	766	495	495		—	—	—	—	—		
1093	556	1093	556	556		—	—	—	—	—		
1413	692	1413	692	692	9.350	0.95	0.98	0.92	1.43	1.34	1.10	
—	832	—	832	832		—	—	—	—	—		
—	909	—	909	909		—	—	—	—	—		

注記* : 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-9 設計用震度 (S s) (B-デーゼー燃料貯蔵タンク格納槽) (2/2)

構造物名	節点番号				標高* EL(m)	設計用震度 I			設計用震度 II		
						S s			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向			NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
	NS断面	EW断面	NS断面	EW断面							
B-デーゼー燃料貯蔵タンク格納槽	437	—	437	—	18.300	2.55	—	1.78	3.57	—	2.63
	573		573								
	661		661								
	745		745								
	445	483	445	483	15.300~ 14.400	1.23	3.02	3.12	1.80	3.37	4.29
	581	555	581	555							
	753	691	753	691							
	1080	831	1080	831							
	1400	897	1400	897							
	586	—	586	—	13.400	1.19	—	0.84	1.77	—	1.26
	662		662								
	758		758								
760	489	760	489	12.000~ 11.900	1.18	2.62	1.14	1.76	2.66	1.32	
1407	628	1407	628								
	763		763								
	903		903								
	495		495	9.350	1.14	1.18	1.11	1.71	1.61	1.31	
766	556	766	556								
1093	692	1093	692								
1413	832	1413	832								
	909		909								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-10 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (B-デブイーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
				設計用震度 I S s			設計用震度 II S s		
				水平方向	鉛直方向	鉛直方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (F)	535	535	14.050～ 11.004	0.89	0.63	0.63	1.28	0.90	
	536	536							
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (G)	2126	2126	14.000～ 11.261	1.50	1.06	1.06	2.25	1.35	
	2127	2127							
燃料移送系 配管ダクト	595	595	14.050～ 11.000	0.98	0.75	0.75	1.46	1.10	
	509	509							
	681	681							
	596	596							

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-10 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (B-デーイーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)) (2/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
				設計用震度 I S s			設計用震度 II S s		
				水平方向	鉛直方向	鉛直方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (F)	535	535	14.050～ 11.004	1.07	0.76	1.53	1.08		
	536	536							
復水貯蔵タンク 連絡ダクト (G)	2126	2126	14.000～ 11.261	1.80	1.27	2.70	1.62		
	2127	2127							
燃料移送系 配管ダクト	595	595	14.050～ 11.000	1.17	0.90	1.74	1.31		
	509	509							
	681	681							
	596	596							

注記*：機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-11 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)) (1/2)

構造物名	節点番号								標高* EL (m)	設計用震度 I		設計用震度 II	
	水平方向				鉛直方向					S s		S s	
	NS断面 (立坑部)	EW断面	NS断面 (立坑部)	EW断面	NS断面	EW断面	NS断面	EW断面		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
	11574 11820 11580 11826 1587 1833 2161 1376 1760		11574 11820 11580 11826 1587 1833 2161 1376 1760							1.82	1.82	2.69	2.66
屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)									8.500~1.900	1.64	1.54	2.33	2.13
									4.900~1.900	1.28	1.34	1.88	1.85

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-11 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)) (2/2)

構造物名	節点番号								標高* EL (m)	設計用震度 I		設計用震度 II	
	水平方向				鉛直方向					S s		S s	
	NS断面 (立坑部)	EW断面	NS断面 (立坑部)	EW断面	NS断面	EW断面	NS断面	EW断面		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
	11574 11820 11580 11826 1587 1833 2161 1376 1760		11574 11820 11580 11826 1587 1833 2161 1376 1760							2.19	2.18	3.21	3.20
屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)									8.500~1.900	1.97	1.85	2.79	2.57
									4.900~1.900	1.54	1.61	2.24	2.22

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-12 設計用震度 (S s) (緊急時対策所) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
緊急時対策所	1	1	1	56.600	1.52	1.61	0.81	2.28	2.42	1.17
	2	2	2	50.250	1.22	1.20	0.81	1.83	1.80	1.16
	3	3	3	48.250	1.19	1.17	0.81	1.79	1.76	1.14

表 4.3-12 設計用震度 (S s) (緊急時対策所) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
緊急時対策所	1	1	1	56.600	1.83	1.93	0.97	2.75	2.90	1.41
	2	2	2	50.250	1.47	1.44	0.97	2.21	2.16	1.38
	3	3	3	48.250	1.43	1.40	0.97	2.15	2.10	1.37

表 4.3-13 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
ガスタービン発電機建物	1	1	1	61.500	2.03	2.11	0.92	3.05	3.11	1.22
	2	2	2	54.500	1.33	1.43	0.69	1.97	2.15	1.02
	3	3	3	47.500	0.95	0.96	0.61	1.43	1.40	0.92
	4	4	4	44.000	0.91	0.95	0.59	1.35	1.38	0.89

表 4.3-13 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機建物) (2/2)

構造物名	質点番号				標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I		設計用震度 II								
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向		EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
ガスタービン発電機建物	1	1	1	2.44	2.54	1.11	3.66	3.72	1.47		
	2	2	2	1.60	1.72	0.83	2.36	2.57	1.23		
	3	3	3	1.14	1.16	0.73	1.71	1.68	1.10		
	4	4	4	1.09	1.14	0.71	1.62	1.67	1.05		

表 4.3-14 設計用震度 (S s) (第1ペントフィルタ格納槽) (1/2)

構造物名	節点番号								標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	NS方向				鉛直方向					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向		EW方向		NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)		EW断面 (スクラバ 容器エリア)			S s			S s		
	NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	EW断面	EW断面	NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	EW断面	EW断面		NS方向	鉛直方向	EW方向	NS方向	鉛直方向	EW方向
第1ペント フィルタ格納槽	1858	1789	1480	1480	1858	1789	1480	1480	19.400~ 14.700	1.52	2.10	3.08	1.86	3.15	4.04
	2457	1795	1486	1486	2457	1795	1486	1486							
	2271	2271	2235	2235	2457	2271	2235	2235							
	1865	1802	2243	2243	1865	1802	2243	2243	8.800~ 7.600	0.87	1.51	1.63	1.23	1.52	2.45
	1872	2286	1500	1872	2286	1500	1500	2.700	0.82	3.39	2.26	1.16	3.48	3.39	
	2472	2249	2249	2472	2249	2249	2249								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-14 設計用震度 (S s) (第1ペントフィルタ格納槽) (2/2)

構造物名	節点番号												標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$				
	NS方向				鉛直方向				設計用震度 I					設計用震度 II				
	NS断面 (銀ゼロライ ト容器エリア)		NS断面 (スクラバ 容器エリア)		NS断面 (銀ゼロライ ト容器エリア)		NS断面 (スクラバ 容器エリア)		EW断面		NS方向			鉛直方向		S s		
	NS断面 (銀ゼロライ ト容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	NS断面 (銀ゼロライ ト容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	EW断面	NS断面 (銀ゼロライ ト容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	NS断面 (銀ゼロライ ト容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	EW断面	NS方向	鉛直方向		EW方向	NS方向	鉛直方向	EW方向	NS方向
第1ペン ト フィルタ格納槽	1858	1789	1480	1858	1480	1789	1858	1789	1480	1480	1.82	3.70	2.52	3.70	2.22	3.78	4.83	
	2457	1795	1486	2457	1486	1795	2160	1795	1486	1486	1.04	1.96	1.81	1.96	1.47	1.84	2.94	
	2472	2271	2235	2472	2235	2271	2466	2271	2235	2235	0.98	2.71	4.07	2.71	1.40	4.18	4.07	
	1865	1802	2243	1865	2243	1802	2160	1802	2243	1865	1.04	1.96	1.81	1.96	1.47	1.84	2.94	
	2160	2286	1500	2160	1500	2286	2466	2286	1500	1500	0.98	2.71	4.07	2.71	1.40	4.18	4.07	
	2466	2472	2249	2472	2249	2472	2472	2472	2249	2249	0.98	2.71	4.07	2.71	1.40	4.18	4.07	

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-15 設計用震度 (S s) (低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (1/2)

構造物名	節点番号										標高* EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
	NS方向			EW方向	鉛直方向			設計用震度 I				設計用震度 II			
	S s			S s			S s			S s					
	NS断面 (水室)	NS断面 (ポンプ室)	EW断面	NS断面 (水室)	NS断面 (ポンプ室)	EW断面	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向		EW方向	鉛直方向		
低圧原子炉代替注水 ポンプ格納槽	-	2042	2743	-	2042	2743	2743	2042	2743	1.34	1.12	0.76	1.77	1.68	1.13
	1931	1946 2121	2397 2751	1931	1946 2121	2397 2751	2397 2751	1946 2121	2397 2751	1.22	1.03	0.82	1.47	1.55	1.23
	1939	1954	2404	1939	1954	2404	2404	1954	2404	0.84	0.95	1.42	1.26	1.40	1.43
	1949 2189	1964	2413 2777 3472	1949 2189	1964	2413 2777 3472	2413 2777 3472	1964	2413 2777 3472	0.68	3.02	2.28	1.02	3.12	3.03

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-15 設計用震度 (S s) (低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (2/2)

構造物名	節点番号										標高* EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$							
	NS方向			EW方向			鉛直方向					設計用震度 I			設計用震度 II				
	S s			S s			S s					S s			S s				
	NS断面 (水室)	NS断面 (ポンプ室)	EW断面	NS断面 (水室)	NS断面 (ポンプ室)	EW断面	NS断面 (ポンプ室)	NS断面 (水室)	EW断面	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
低圧原子炉代替注水 ポンプ格納槽	-	2042	2743	-	2042	2743	-	2042	2743	2743	2743	2743	2743	1.60	1.35	0.92	2.12	2.01	1.35
	1931	1946 2121	2397 2751	1931	1946 2121	2397 2751	1931	1946 2121	2397 2751	2397 2751	2397 2751	2397 2751	2397 2751	1.46	1.24	0.98	1.77	1.86	1.47
	1939	1954	2404	1939	1954	2404	1939	1954	2404	2404	2404	2404	2404	1.00	1.14	1.70	1.50	1.68	1.71
	1949 2189	1964	2413 2777 3472	1949 2189	1964	2413 2777 3472	1949 2189	1964	2413 2777 3472	2413 2777 3472	2413 2777 3472	2413 2777 3472	2413 2777 3472	0.82	3.62	2.73	1.23	3.75	3.63

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-16 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機用軽油タンク基礎) (1/2)

構造物名	質点番号		標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
水平方向		鉛直方向		水平方向		鉛直方向	
ガスタービン発電機用軽油タンク	1	1	58.212	5.06	0.80	6.89	1.10
	2	2	56.112	4.42	0.74	6.02	1.07
	3	3	54.012	3.80	0.69	5.18	1.04
	4	4	51.912	2.70	0.67	3.62	1.01
	5	5	49.812	1.57	0.66	2.06	0.98
	6	6	47.700	1.08	0.64	1.52	0.96
ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	7	7	47.200	1.07	0.64	1.52	0.95
	8	8	45.800	1.06	0.63	1.50	0.93
防油堤	9	9	49.700	2.40	0.65	3.06	0.96
	10	10	49.700				
	11	11	47.200	1.07	0.64	1.52	0.95
	12	12	47.200				

表 4.3-16 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機用軽油タンク基礎) (2/2)

構造物名	質点番号		標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
ガスタービン発電機用軽油タンク	1	1	58.212	6.08	0.96	8.27	1.31
	2	2	56.112	5.30	0.89	7.22	1.28
	3	3	54.012	4.55	0.83	6.21	1.23
	4	4	51.912	3.24	0.81	4.34	1.20
	5	5	49.812	1.89	0.79	2.48	1.17
	6	6	47.700	1.30	0.77	1.83	1.14
ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	7	7	47.200	1.29	0.77	1.82	1.14
	8	8	45.800	1.27	0.76	1.80	1.13
防油堤	9	9	49.700	2.87	0.77	3.66	1.16
	10	10	49.700				
	11	11	47.200	1.29	0.77	1.82	1.14
	12	12	47.200				

表 4.3-17 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機)) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
				水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク ～ガスタービン発電機)	33	33	45.950	0.98	0.56	1.47	0.84

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-17 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機)) (2/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
	S s		S s		S s		
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク ～ガスタービン発電機)	33	33	45.950	1.18	0.68	1.77	1.01

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-18 設計用震度 (S s) (防波壁 (波返重力擁壁)) (1/2)

構造物名	節点番号				標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
	水平方向		鉛直方向			設計用震度 I			
	改良地盤部 (②-②断面)	輪谷部 (④-④断面)	改良地盤部 (②-②断面)	輪谷部 (④-④断面)		S s	S s		
防波壁 (波返重力擁壁)	1039	794	1039	794	15.000	3.30	2.93	4.89	4.35

表 4.3-18 設計用震度 (S s) (防波壁 (波返重力擁壁)) (2/2)

構造物名	節点番号				標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
	水平方向		鉛直方向			設計用震度 I			
	改良地盤部 (②-②断面)	輪谷部 (④-④断面)	改良地盤部 (②-②断面)	輪谷部 (④-④断面)		S s	S s		
防波壁 (波返重力擁壁)	1039	794	1039	794	15.000	3.96	3.51	5.87	5.22

表 4.4-14 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表 (第1ベントフィルタ格納槽) (1/3)

地震波	建物機器	方向	節点番号	標高 EL(m)	減衰定数 (%)	図番
S _s	第1ベント フィルタ格納 槽	NS 方向	1858, 2457 (銀ゼオライト容器エリア), 1789, 1795, 2271 (スクラバ容器エリア)	19.400~ 14.700	0.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 1
					1.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 2
					1.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 3
					2.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 4
					2.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 5
					3.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 6
					4.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 7
					5.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 8
			1865, 2160, 2466 (銀ゼオライト容器エリア), 1802 (スクラバ容器エリア)	8.800~ 7.600	0.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 9
					1.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 10
					1.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 11
					2.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 12
					2.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 13
					3.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 14
					4.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 15
					5.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 16
			1872, 2472 (銀ゼオライト容器エリア), 2286 (スクラバ容器エリア)	2.700	0.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 17
					1.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 18
					1.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 19
					2.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 20
					2.5	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 21
					3.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 22
					4.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 23
					5.0	NS2 - 1FV - S _s NS - 1FV 24

表 4.4-14 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表 (第1ベントフィルタ格納槽) (2/3)

地震波	建物機器	方向	節点番号	標高 EL(m)	減衰定数 (%)	図番
S _s	第1ベント フィルタ格納 槽	EW 方向	1480, 1486, 1696, 2235	18.300~ 14.700	0.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 1
					1.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 2
					1.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 3
					2.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 4
					2.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 5
					3.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 6
					4.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 7
					5.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 8
			2243	7.600	0.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 9
					1.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 10
					1.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 11
					2.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 12
					2.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 13
					3.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 14
					4.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 15
					5.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 16
			1500, 2249	2.700	0.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 17
					1.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 18
					1.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 19
					2.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 20
					2.5	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 21
					3.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 22
					4.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 23
					5.0	NS2 - 1FV - S _s EW - 1FV 24

表 4.4-14 設計用床応答スペクトル (S s) 一覧表 (第1ベントフィルタ格納槽) (3/3)

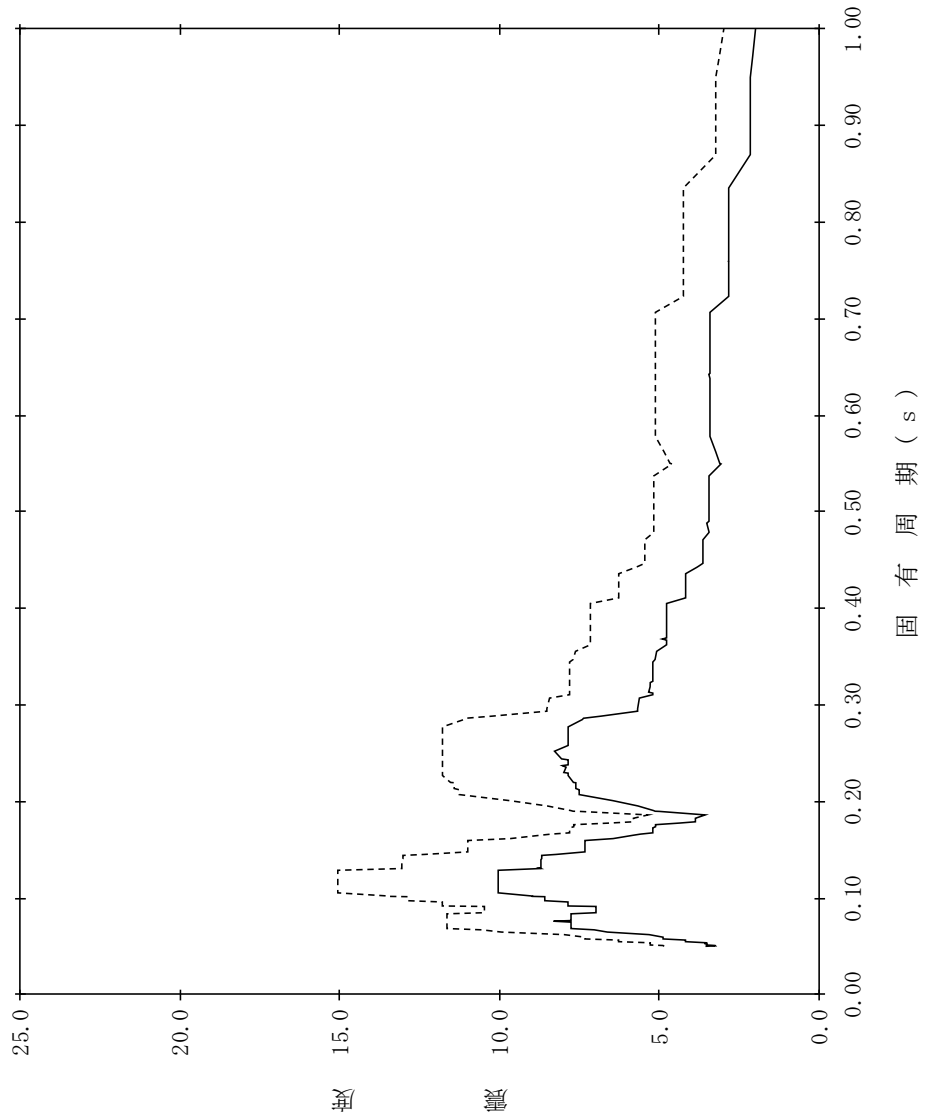
地震波	建物機器	方向	節点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S s	第1ベント フィルタ格納 槽	鉛直 方向	1858, 2457 (銀ゼオライト容器エリア), 1789, 1795, 2271 (スクラバ容器エリア), 1480, 1486, 1696, 2235 (EW断面)	19.400~ 14.700	0.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 1
					1.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 2
					1.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 3
					2.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 4
					2.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 5
					3.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 6
					4.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 7
					5.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 8
			1865, 2160, 2466 (銀ゼオライト容器エリア), 1802 (スクラバ容器エリア), 2243 (EW断面)	8.800~ 7.600	0.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 9
					1.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 10
					1.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 11
					2.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 12
					2.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 13
					3.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 14
					4.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 15
					5.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 16
			1872, 2472 (銀ゼオライト容器エリア), 2286 (スクラバ容器エリア), 1500, 2249 (EW断面)	2.700	0.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 17
					1.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 18
					1.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 19
					2.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 20
					2.5	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 21
					3.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 22
					4.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 23
					5.0	NS2 - 1FV - SsV - 1FV 24

【NS2-1FV-SsNS-1FV1】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：0.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

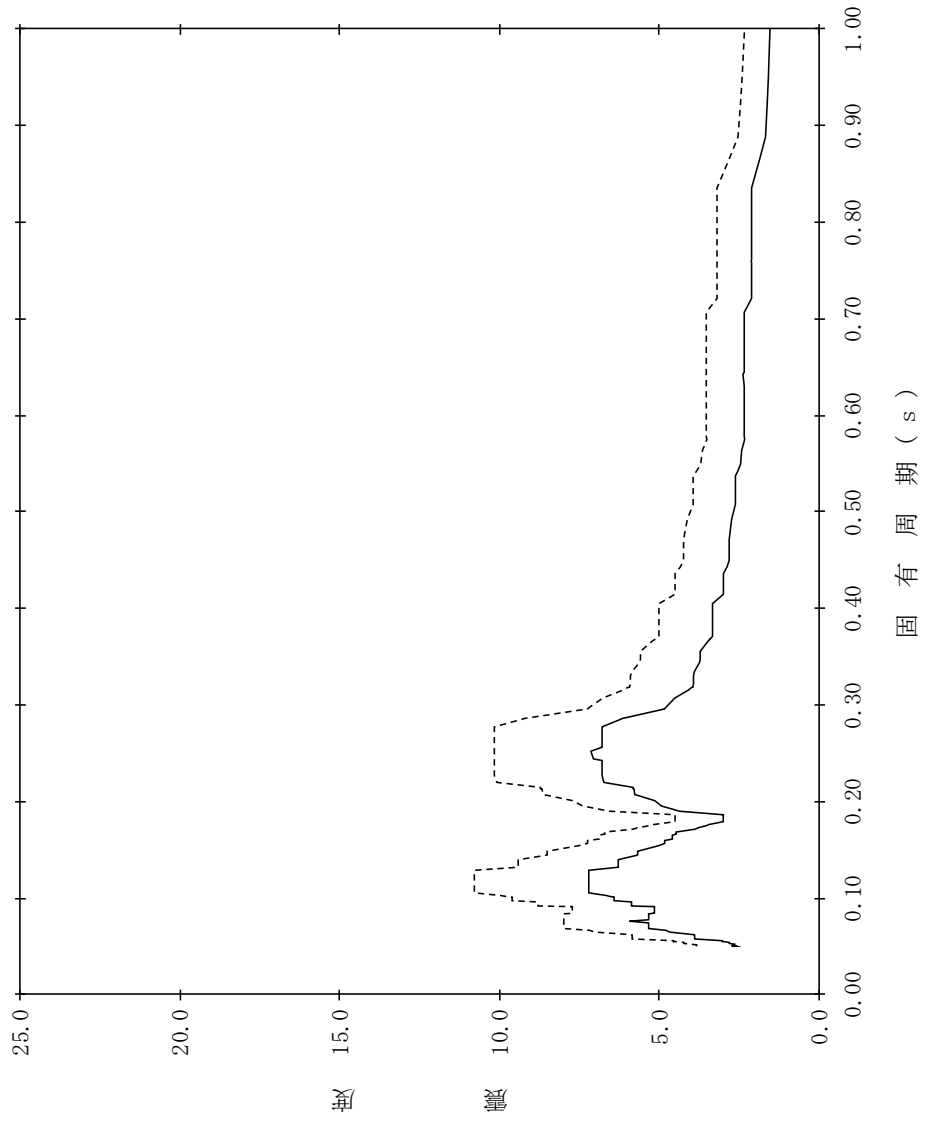


【NS2-1FV-SsNS-1FV2】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

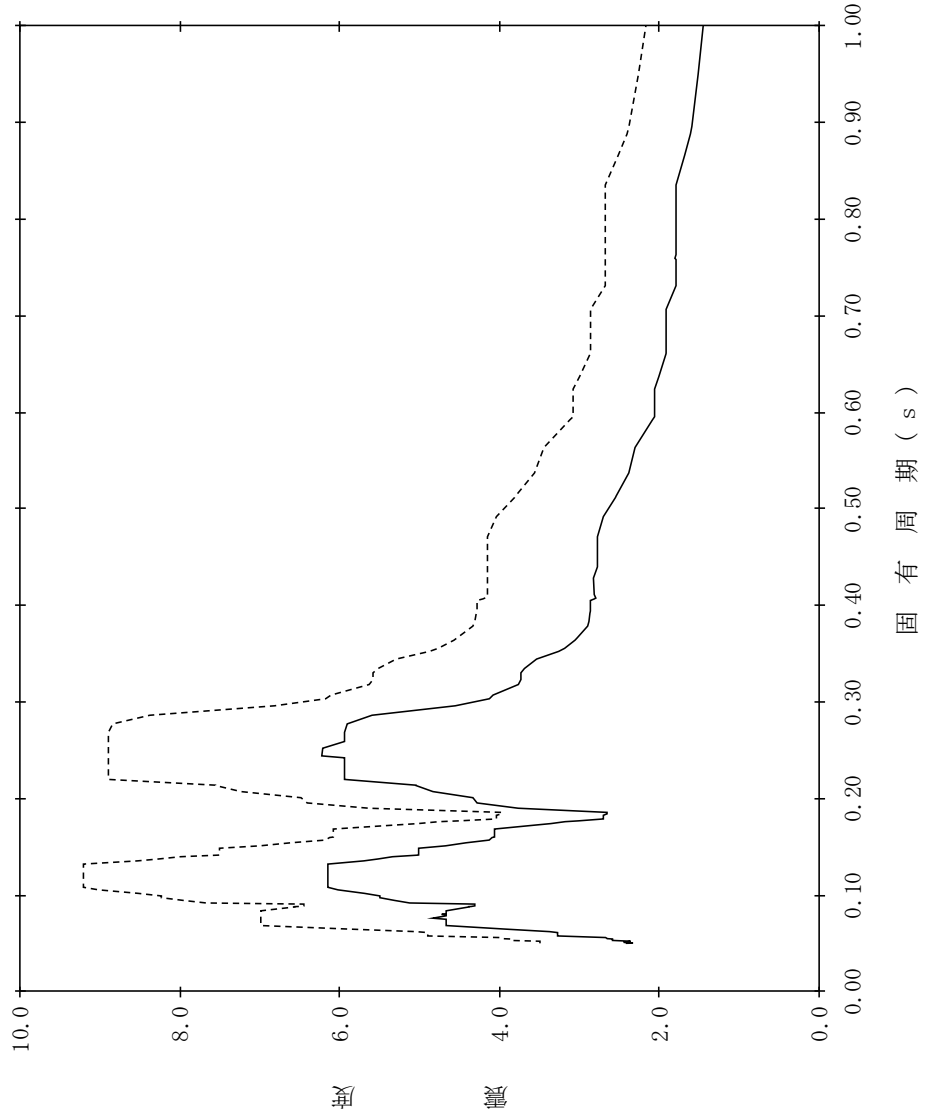


【NS2-1FV-SsNS-1FV3】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

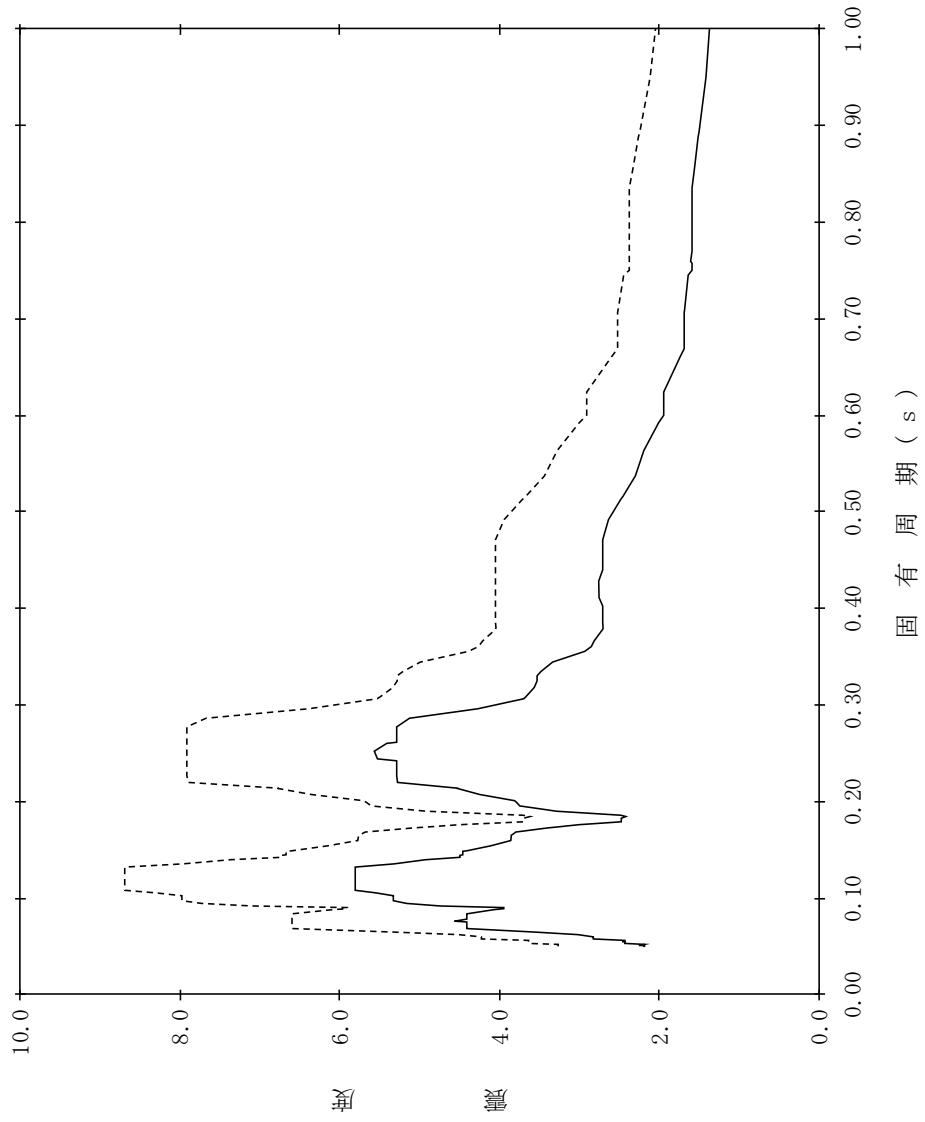


【NS2-1FV-SsNS-1FV4】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.0%

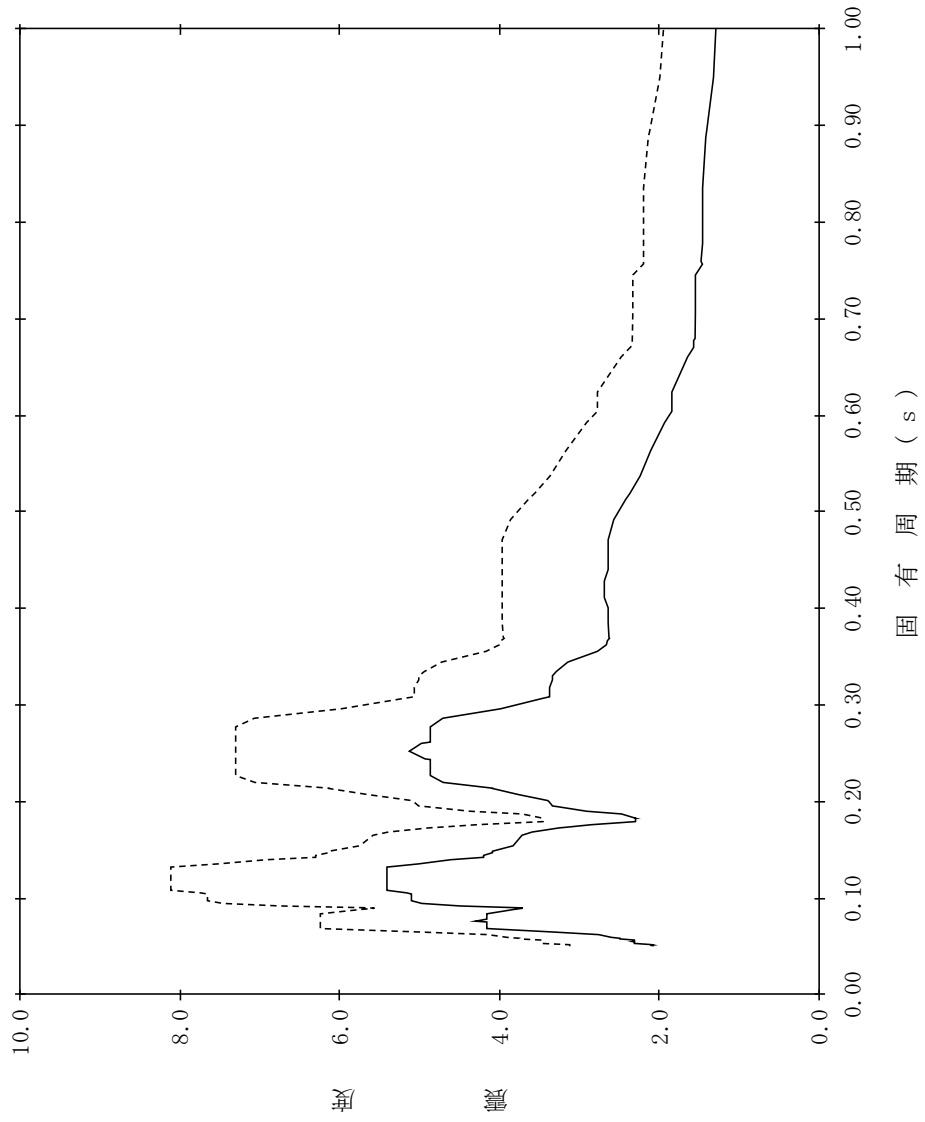
—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



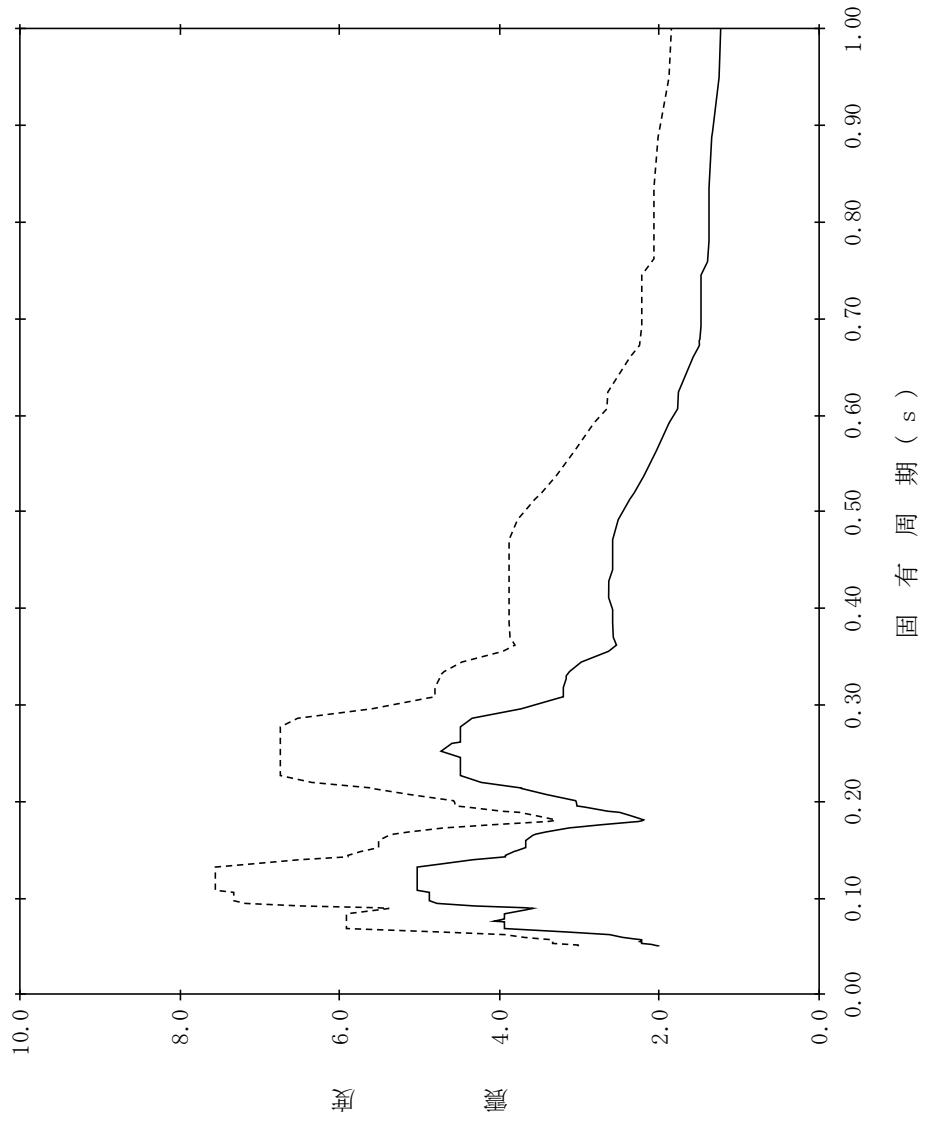
【NS2-1FV-SsNS-1FV5】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



【NS2-1FV-SsNS-1FV6】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

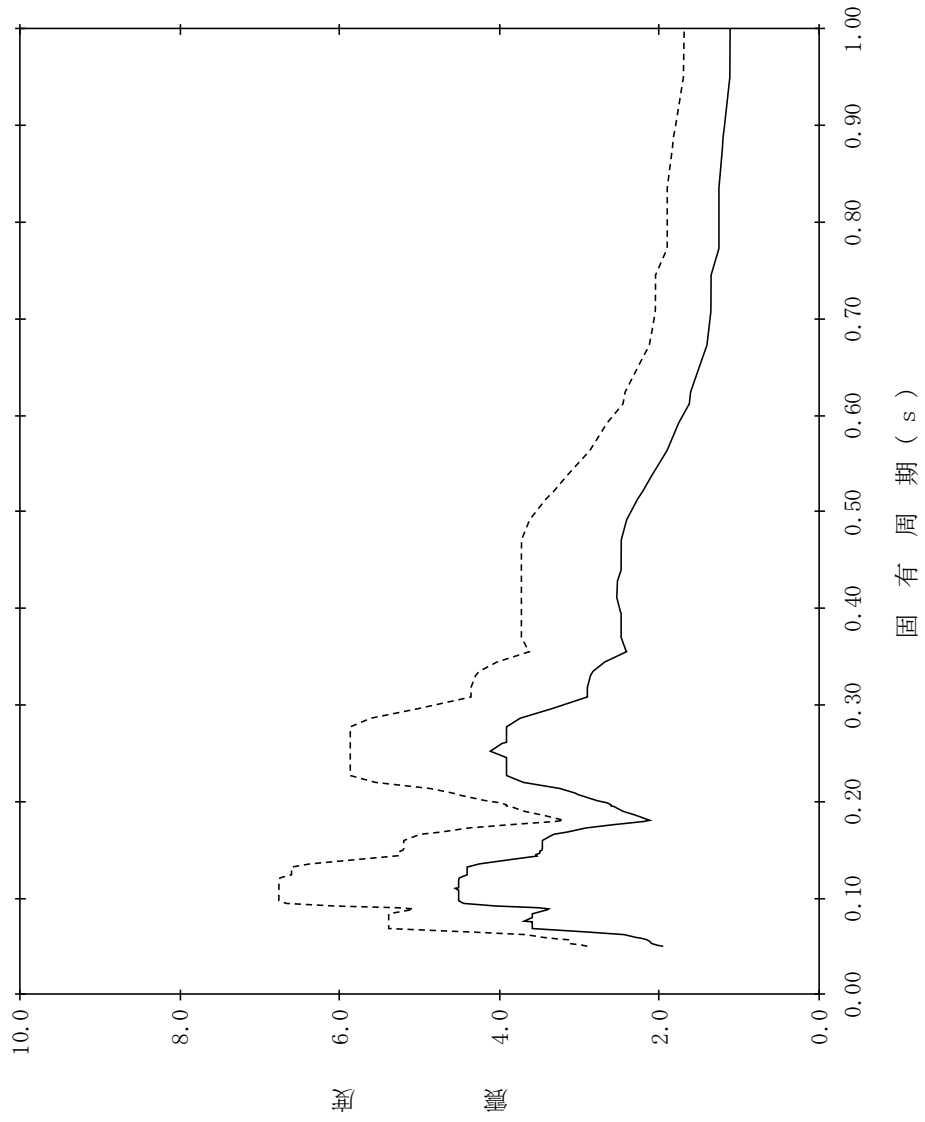


【NS2-1FV-SsNS-1FV7】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：4.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

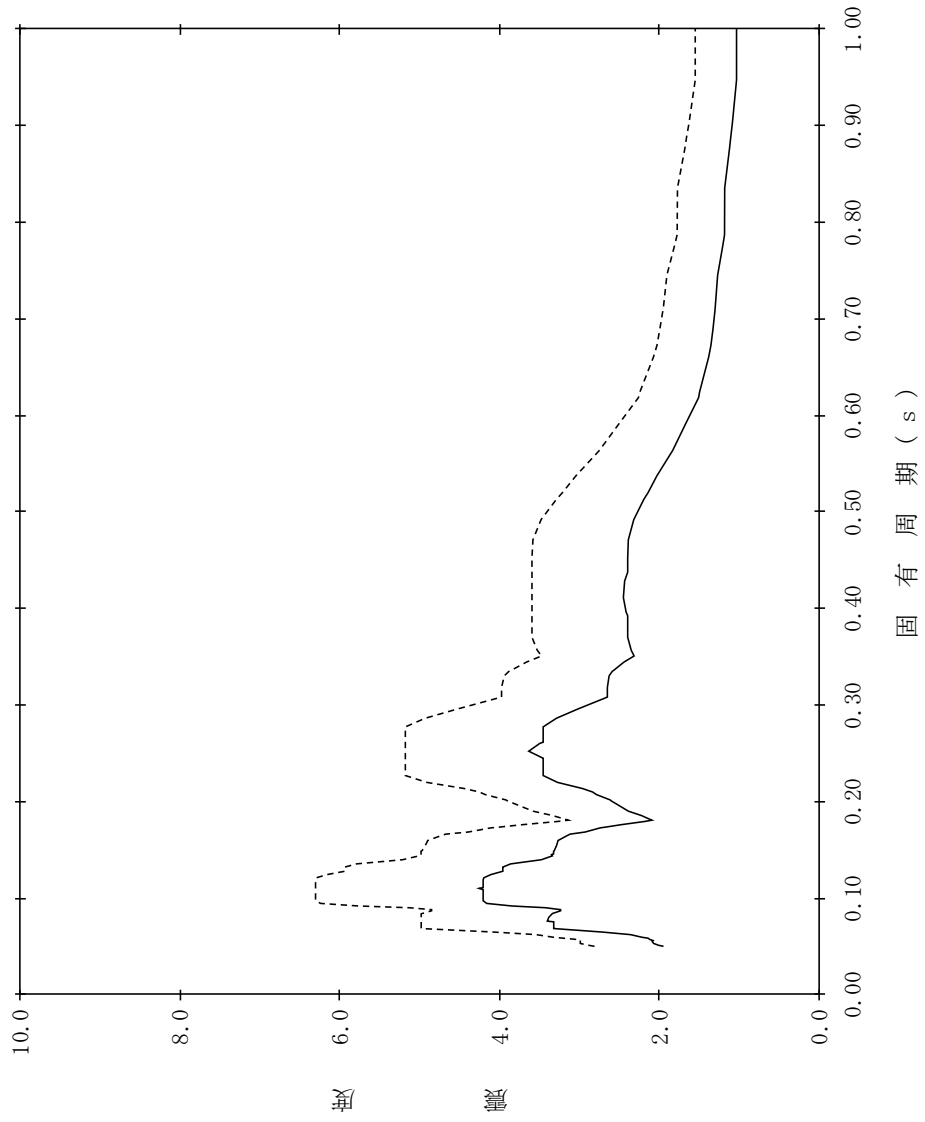


【NS2-1FV-SsNS-1FV8】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：5.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

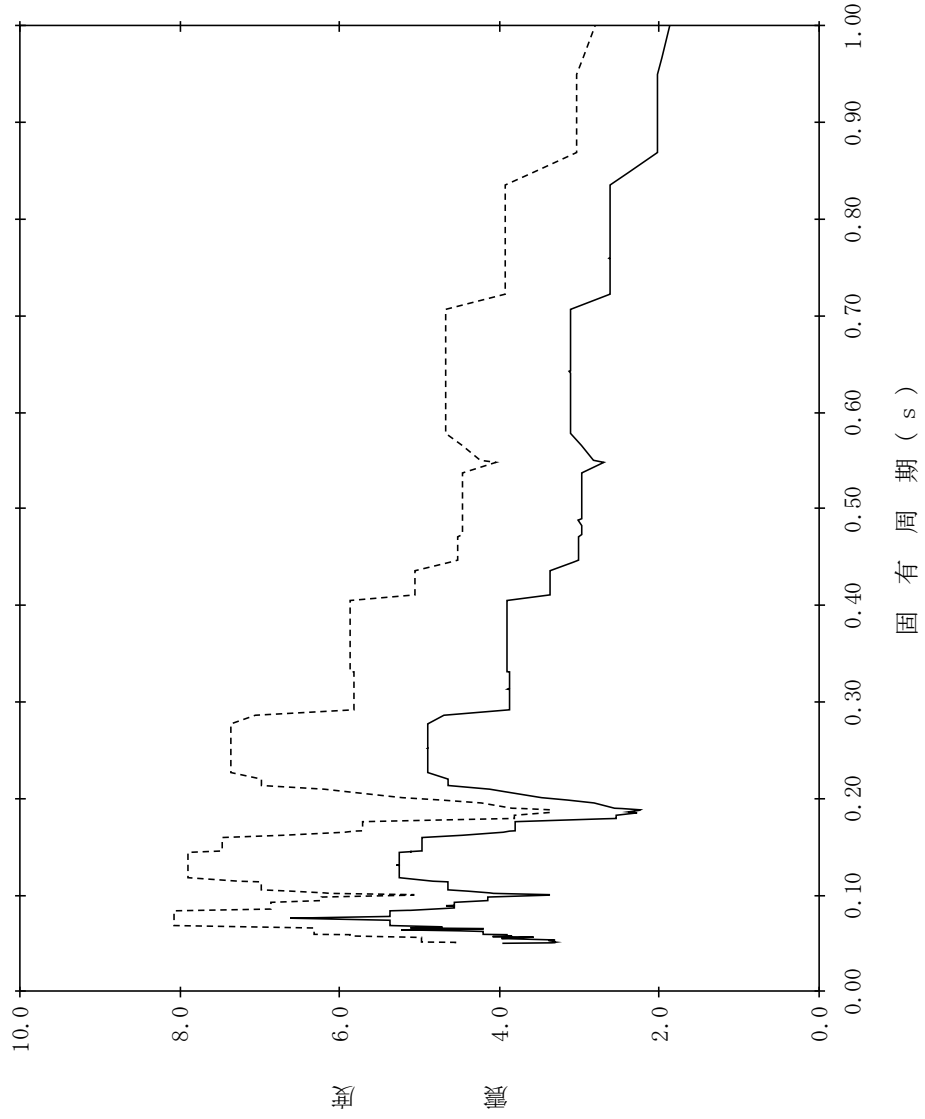


【NS2-1FV-SsNS-1FV9】

構造物名：第1ベントパイプタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：0.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

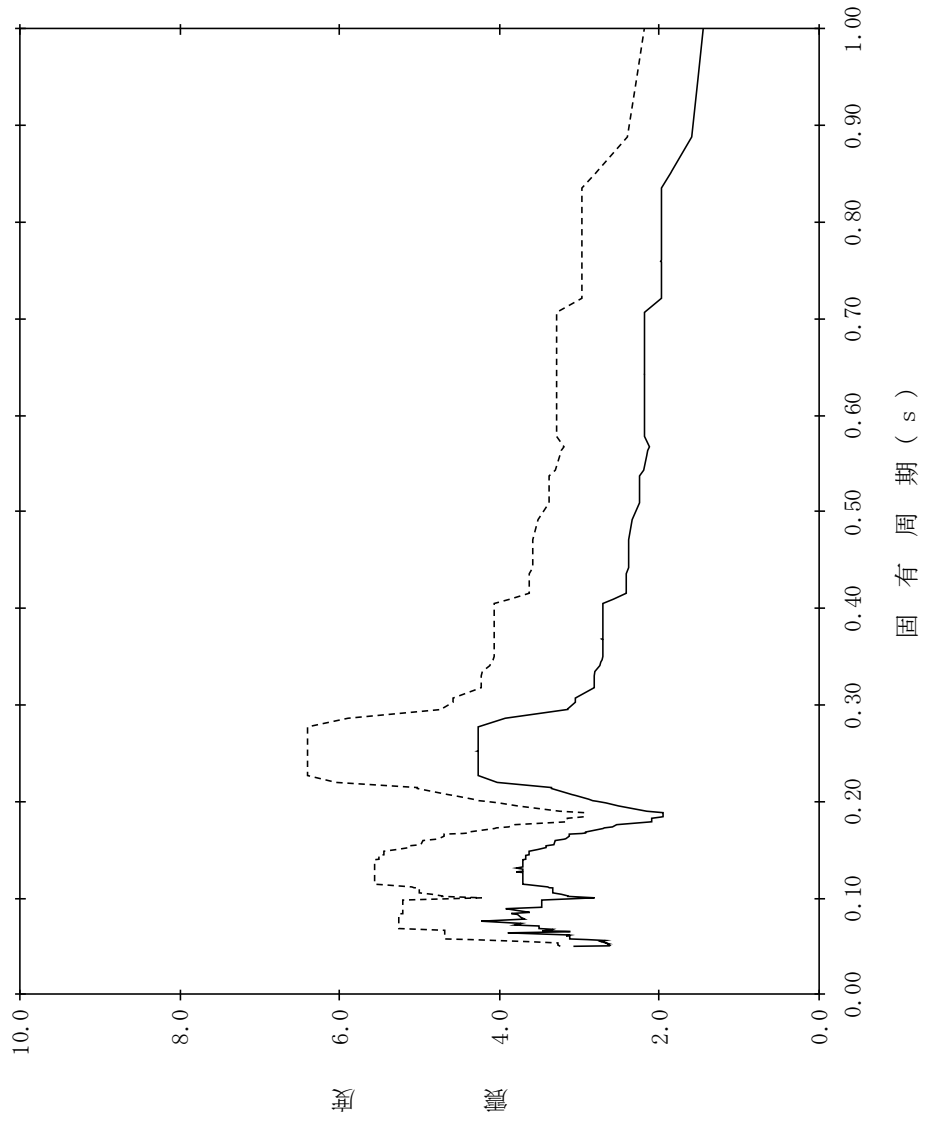
- - - - 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



【NS2-1FV-SsNS-1FV10】

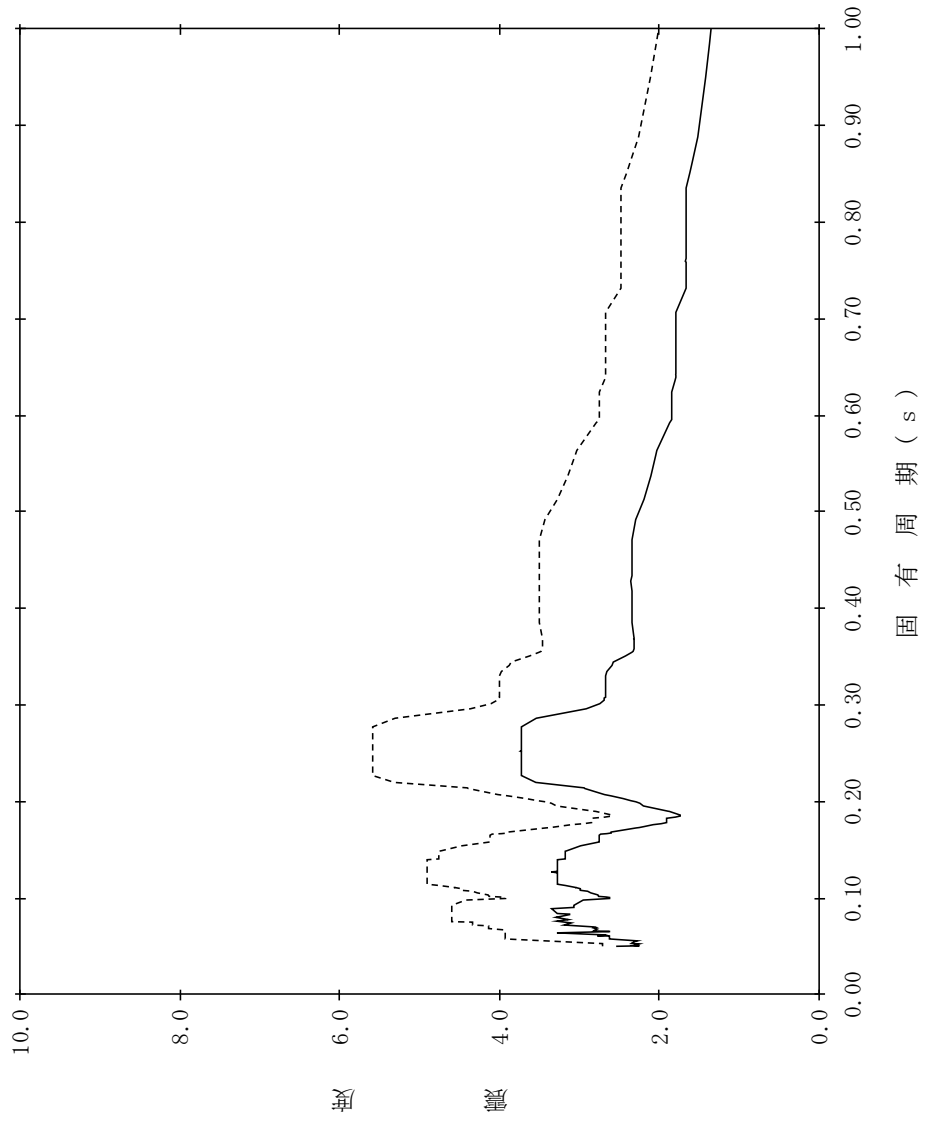
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：1.0%

———— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)



【NS2-IFV-SsNS-IFV11】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

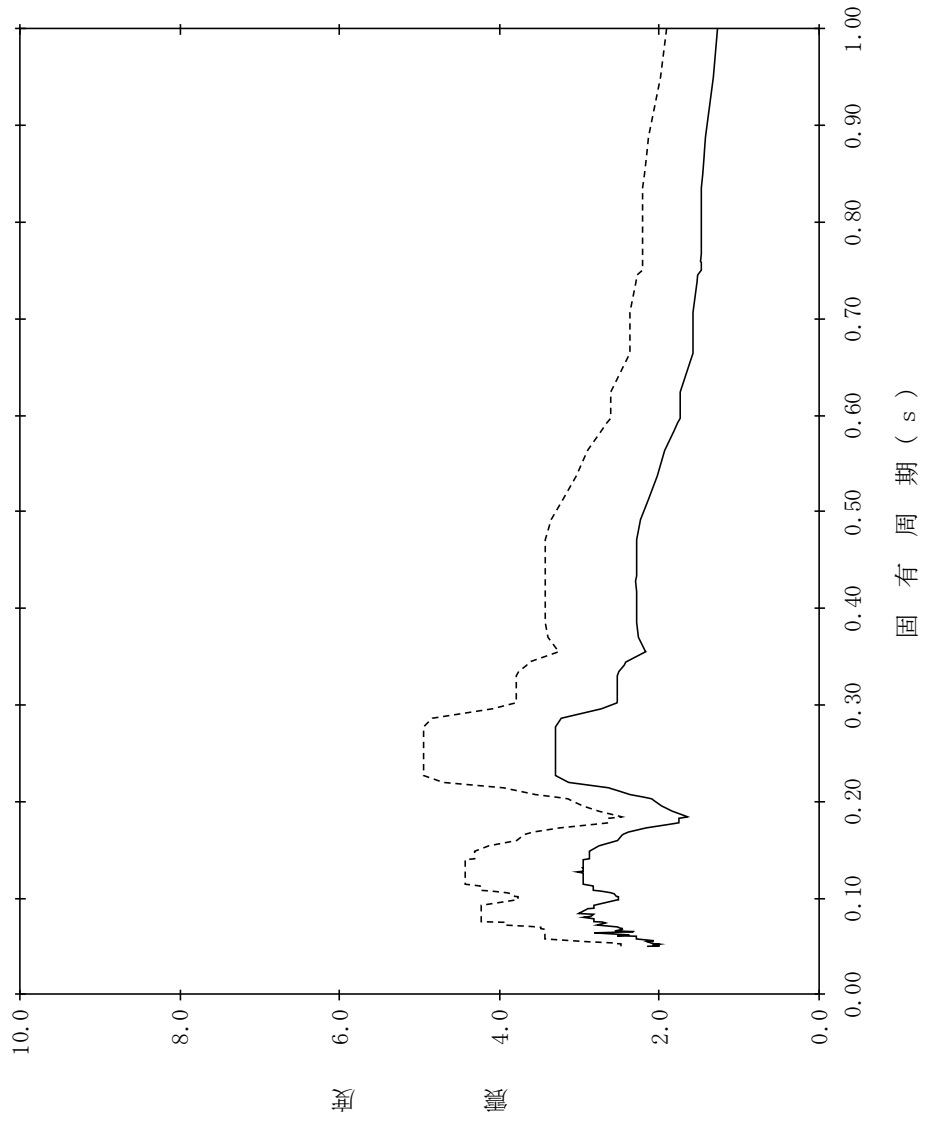


【NS2-1FV-SsNS-1FV12】

構造物名：第1ベントパイプタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

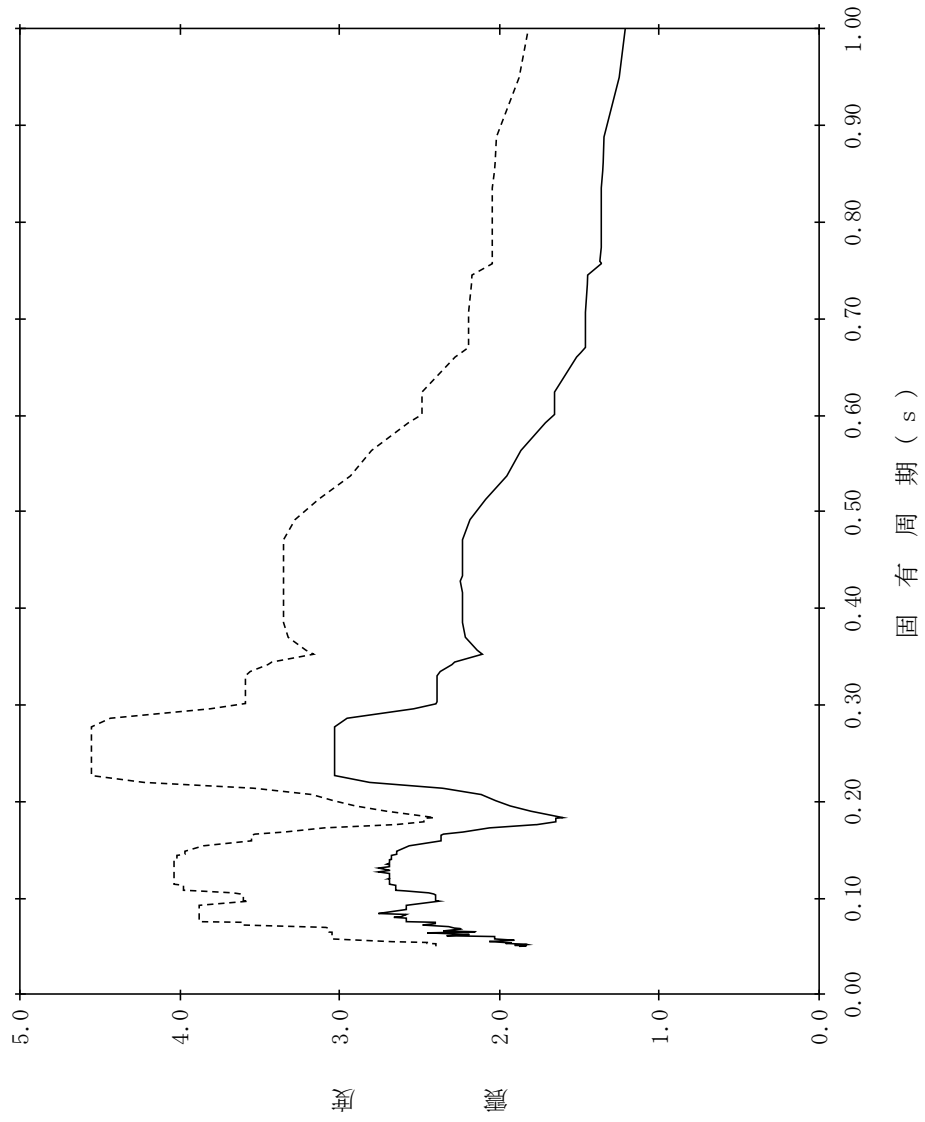


【NS2-1FV-SsNS-1FV13】

構造物名：第1ベントパイプタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

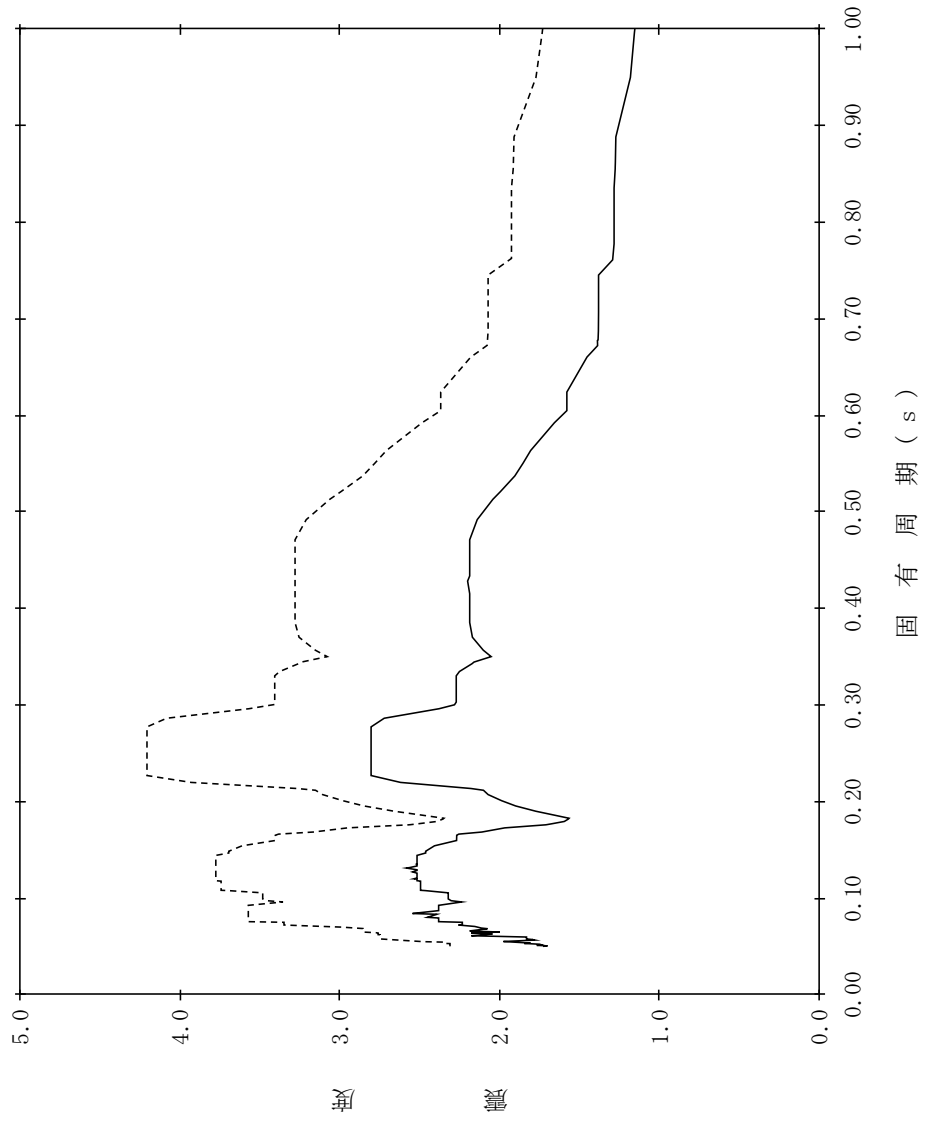


【NS2-IFV-SsNS-IFV14】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：3.0%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)

- - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

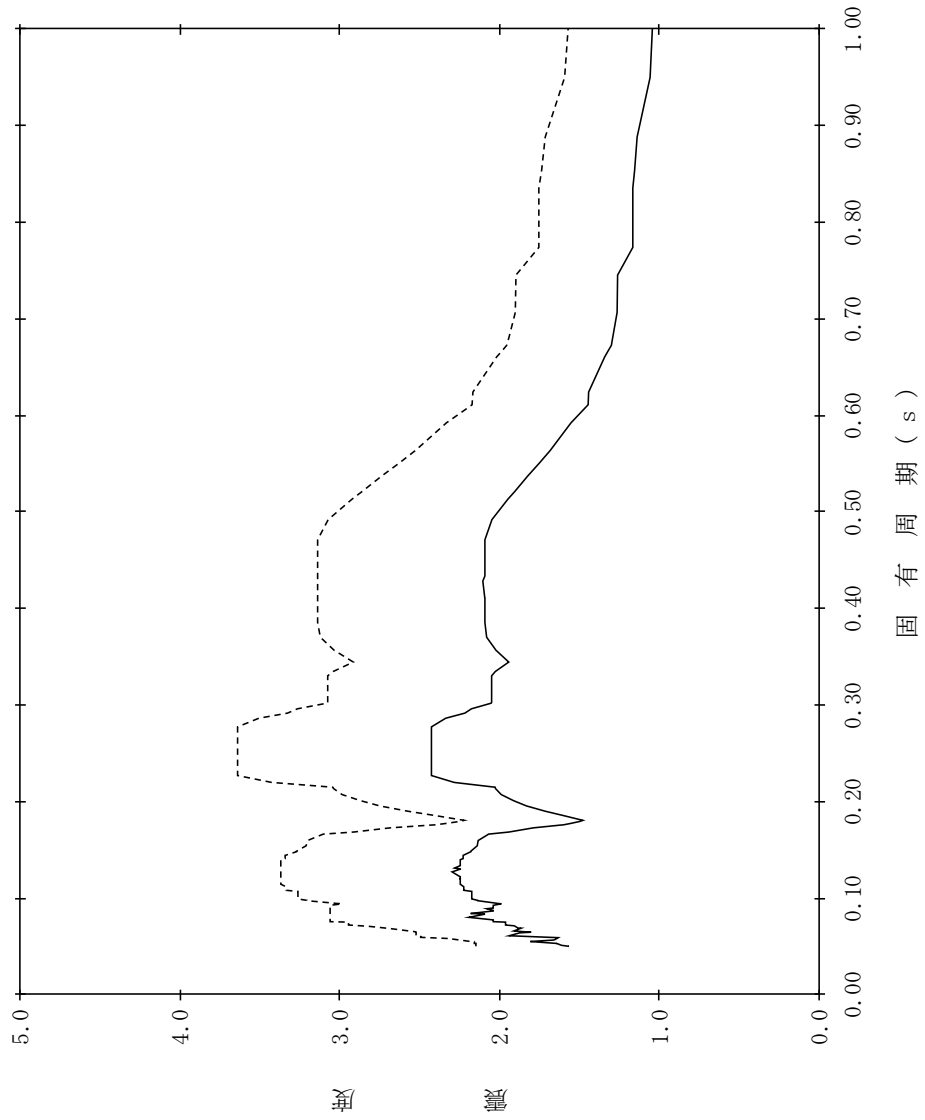


【NS2-1FV-SsNS-1FV15】

構造物名：第1ベントパイプタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：4.0%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

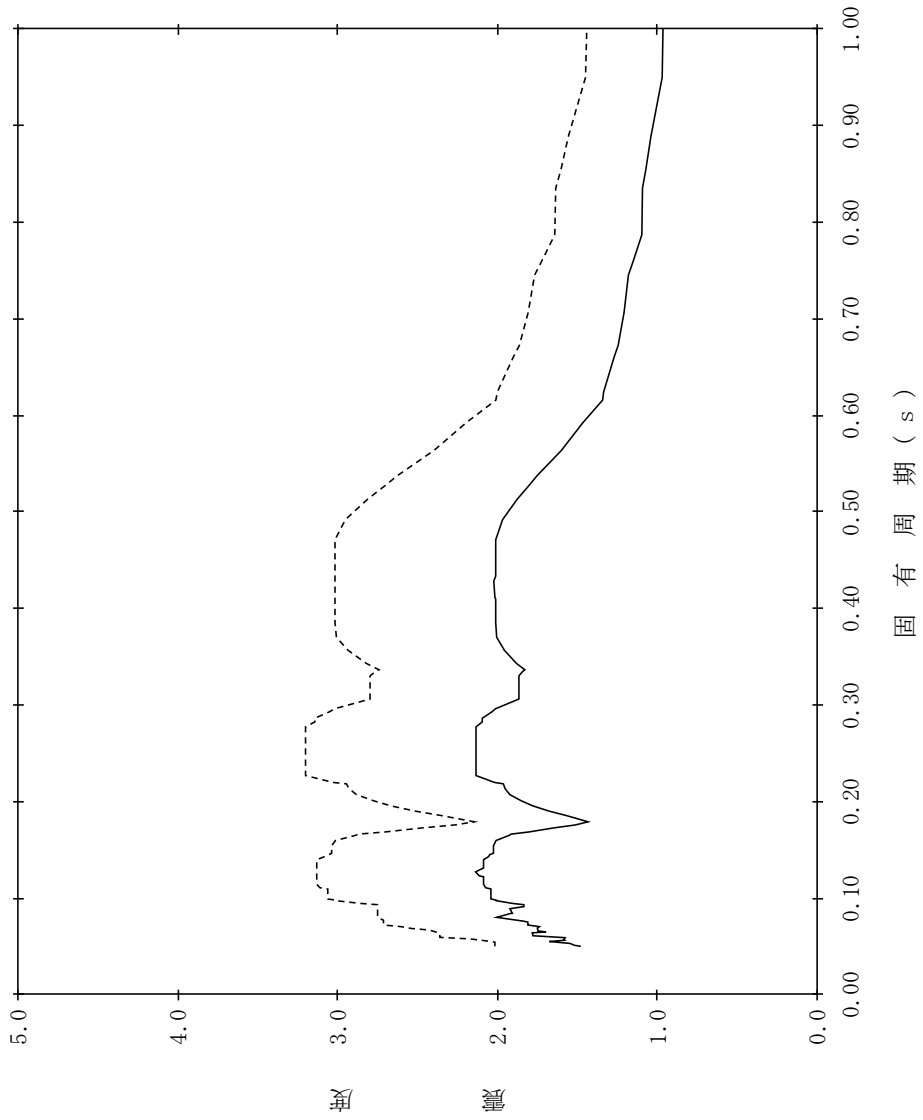


【NS2-1FV-SsNS-1FV16】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：5.0%

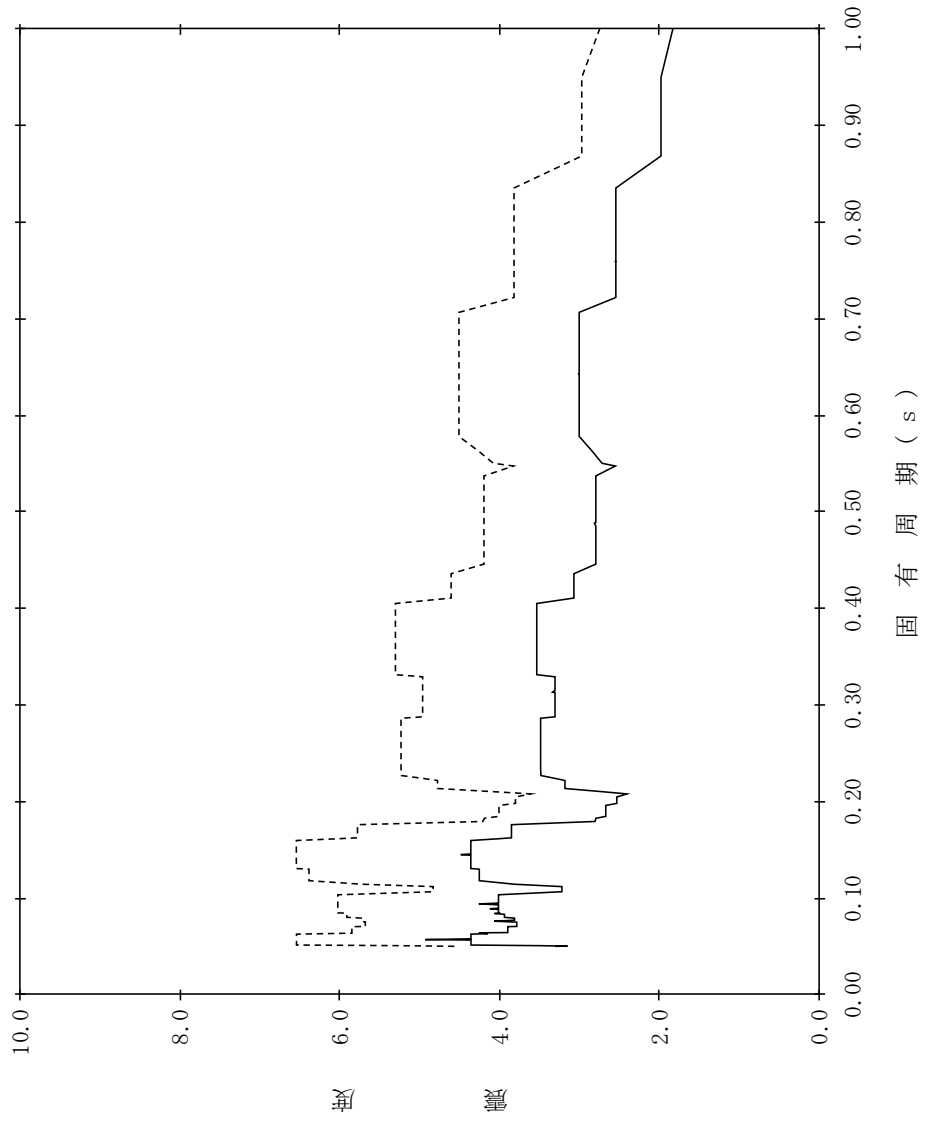
—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



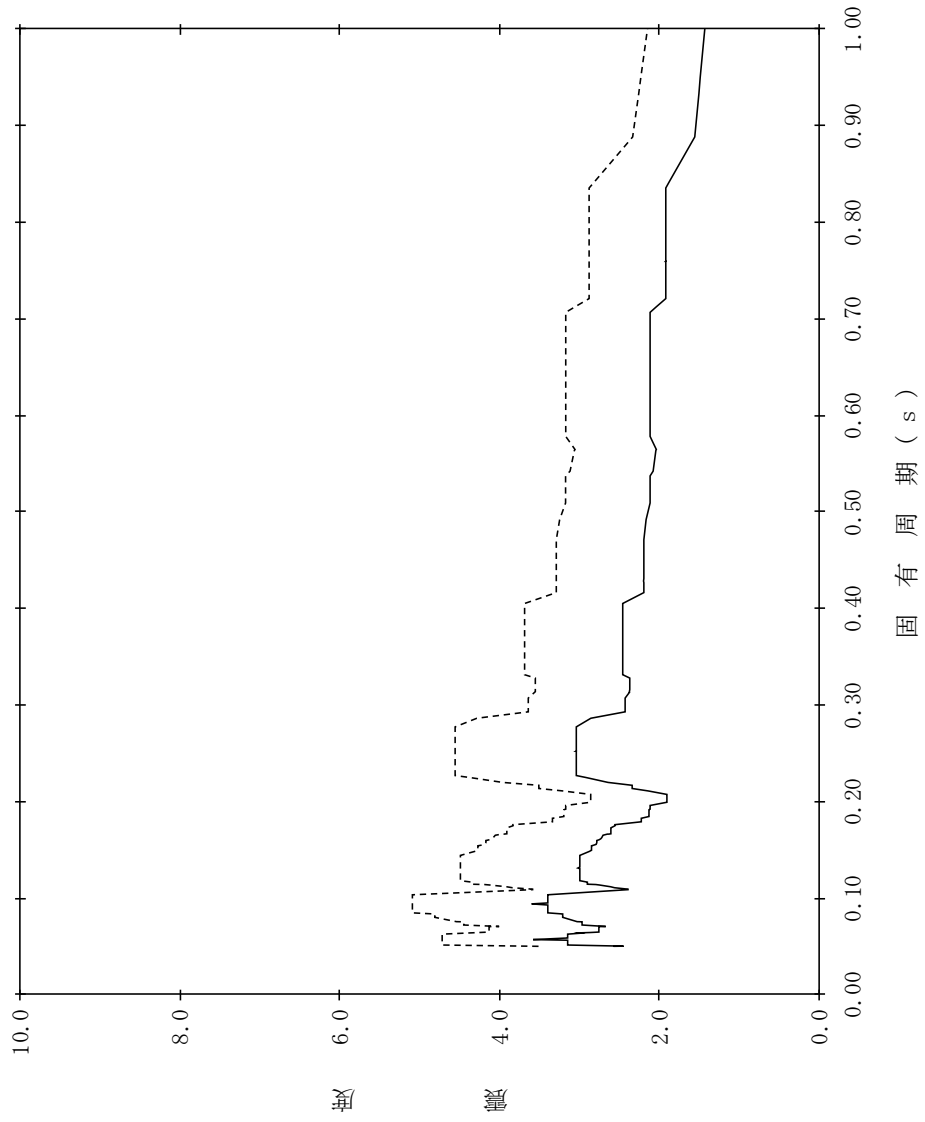
【NS2-1FV-SsNS-1FV17】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



【NS2-IFV-SsNS-IFV18】

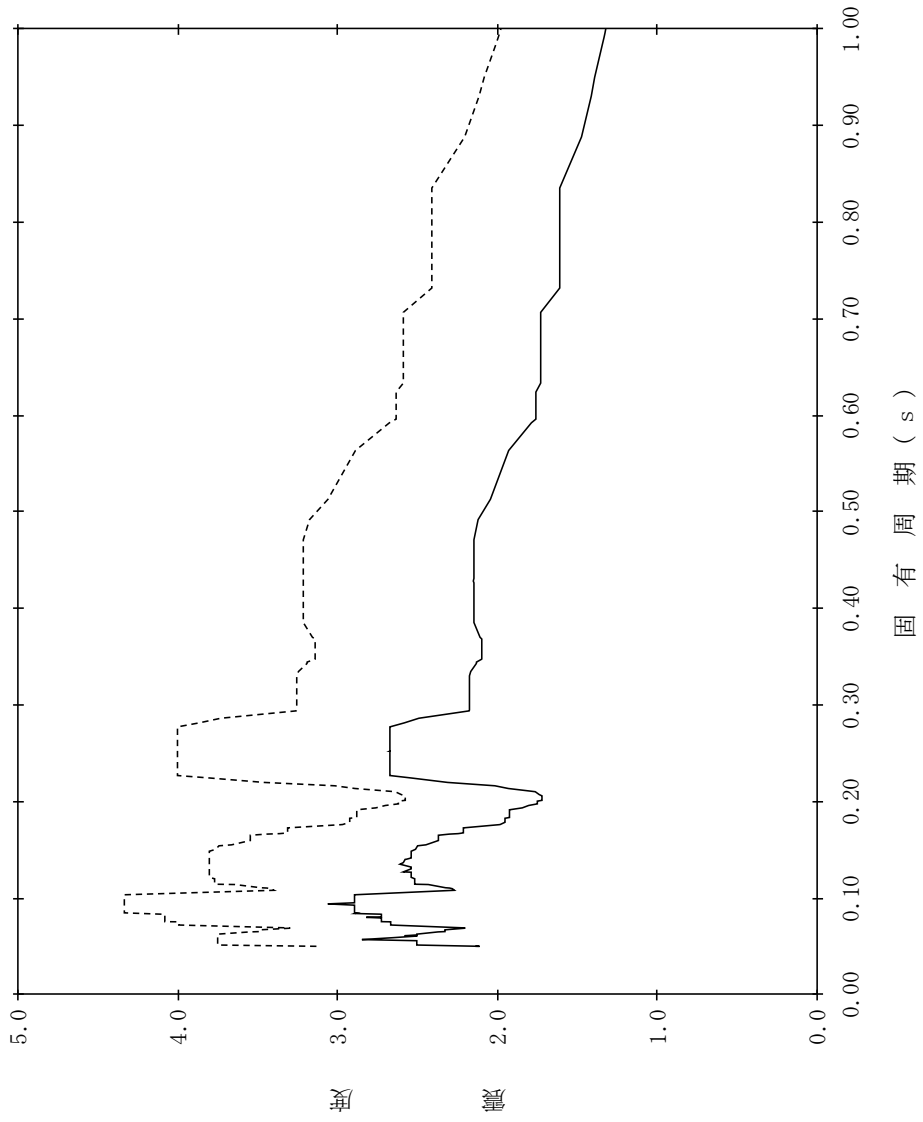
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



【NS2-IFV-SsNS-IFV19】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：1.5%

——— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

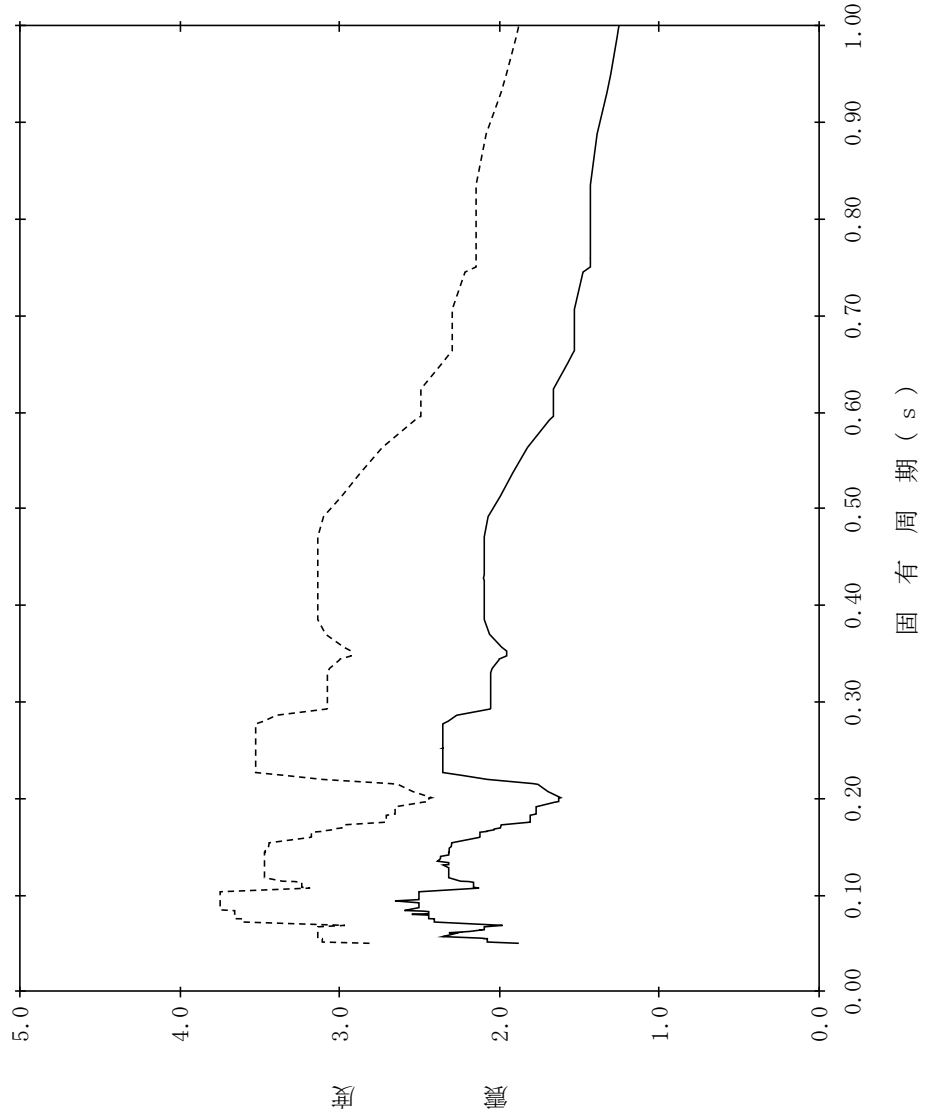


【NS2-1FV-SsNS-1FV20】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：2.0%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

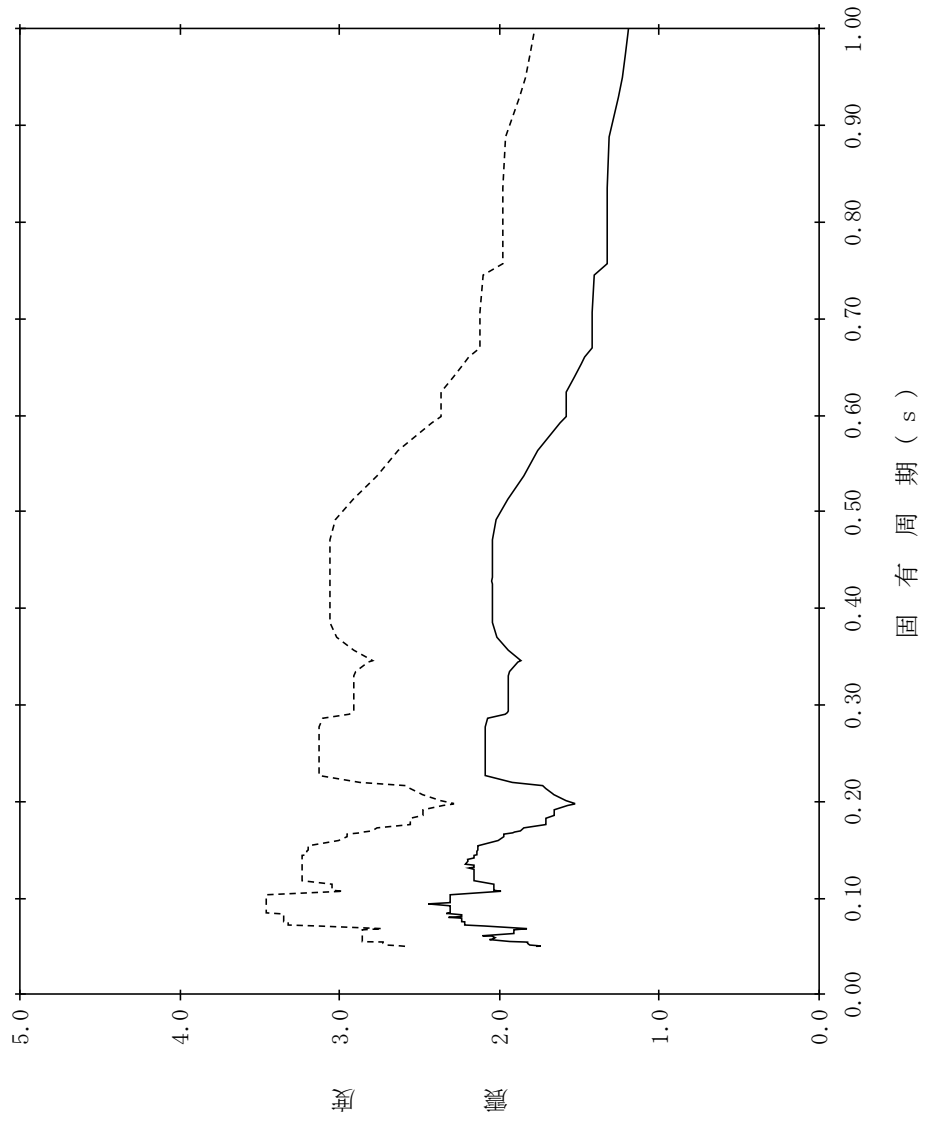


【NS2-1FV-SsNS-1FV21】

構造物名：第1ベントパイプタ格納槽
 標高：EL. 700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

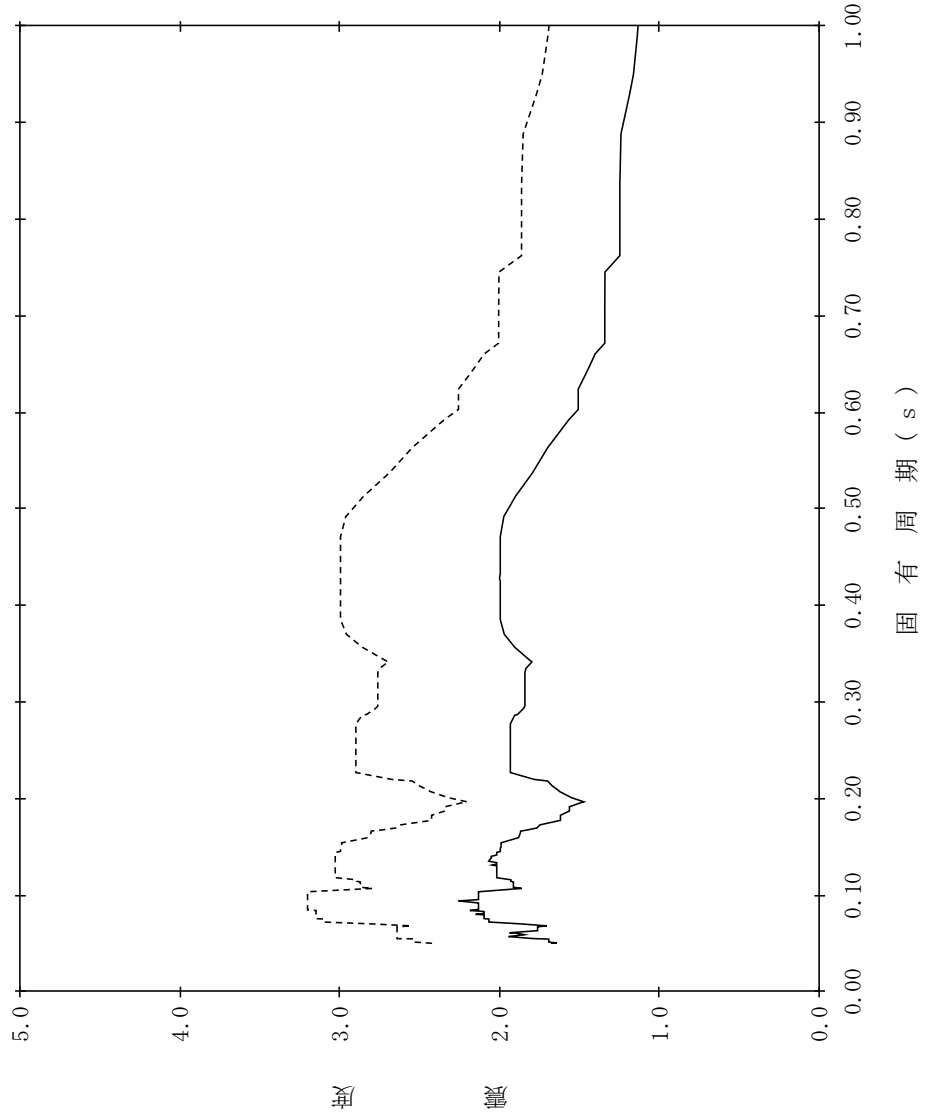


【NS2-1FV-SsNS-1FV22】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：3.0%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)

- - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

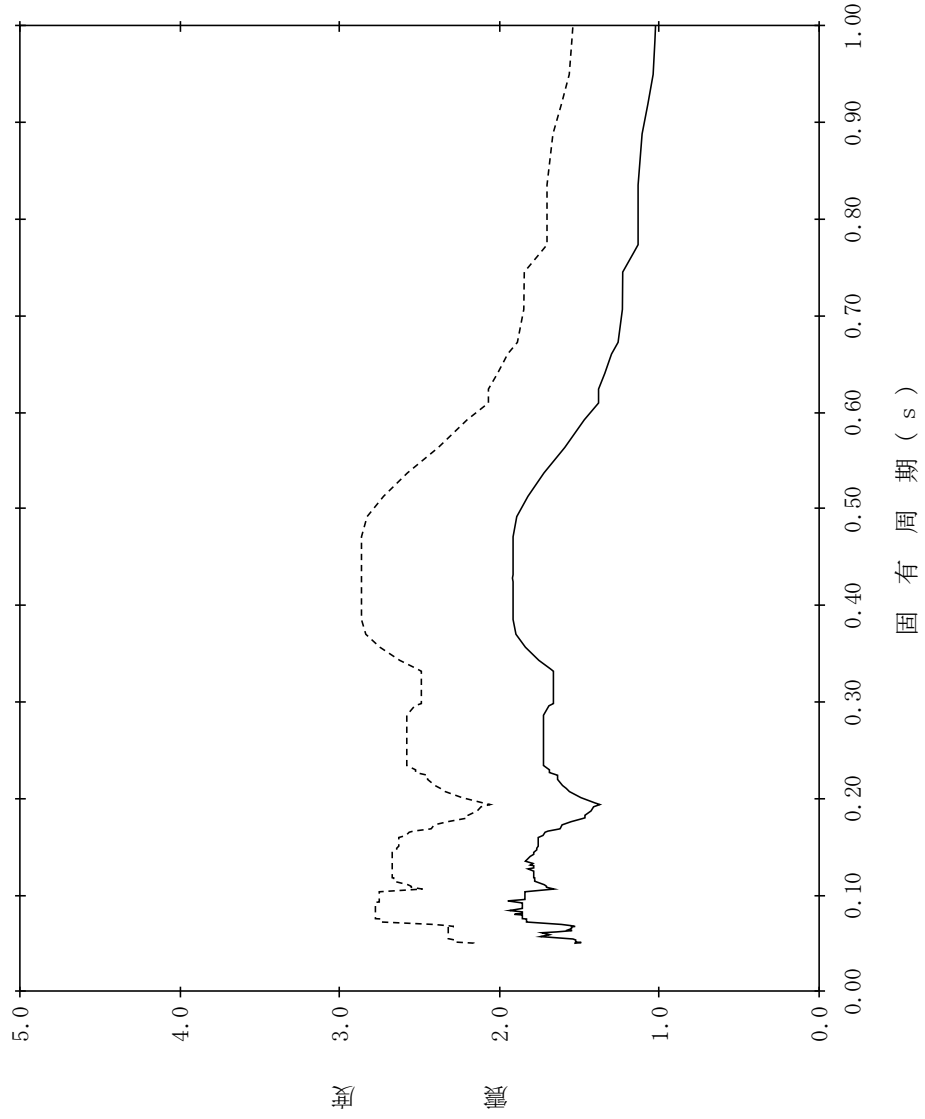


【NS2-1FV-SsNS-1FV23】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：4.0%

——— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

波形名：基準地震動 S s

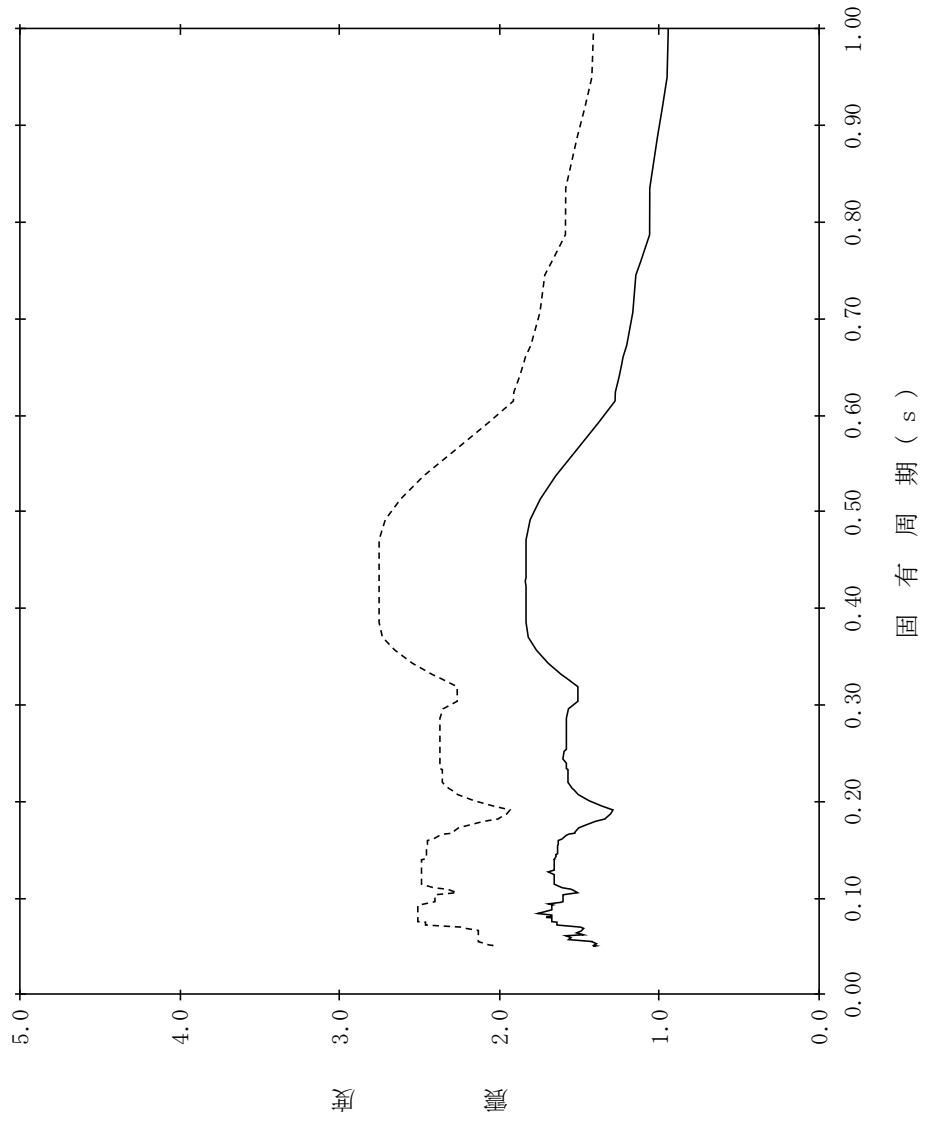


【NS2-1FV-SsNS-1FV24】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：5.0%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (NS方向)

----- 設計用床応答スペクトルⅡ (NS方向)

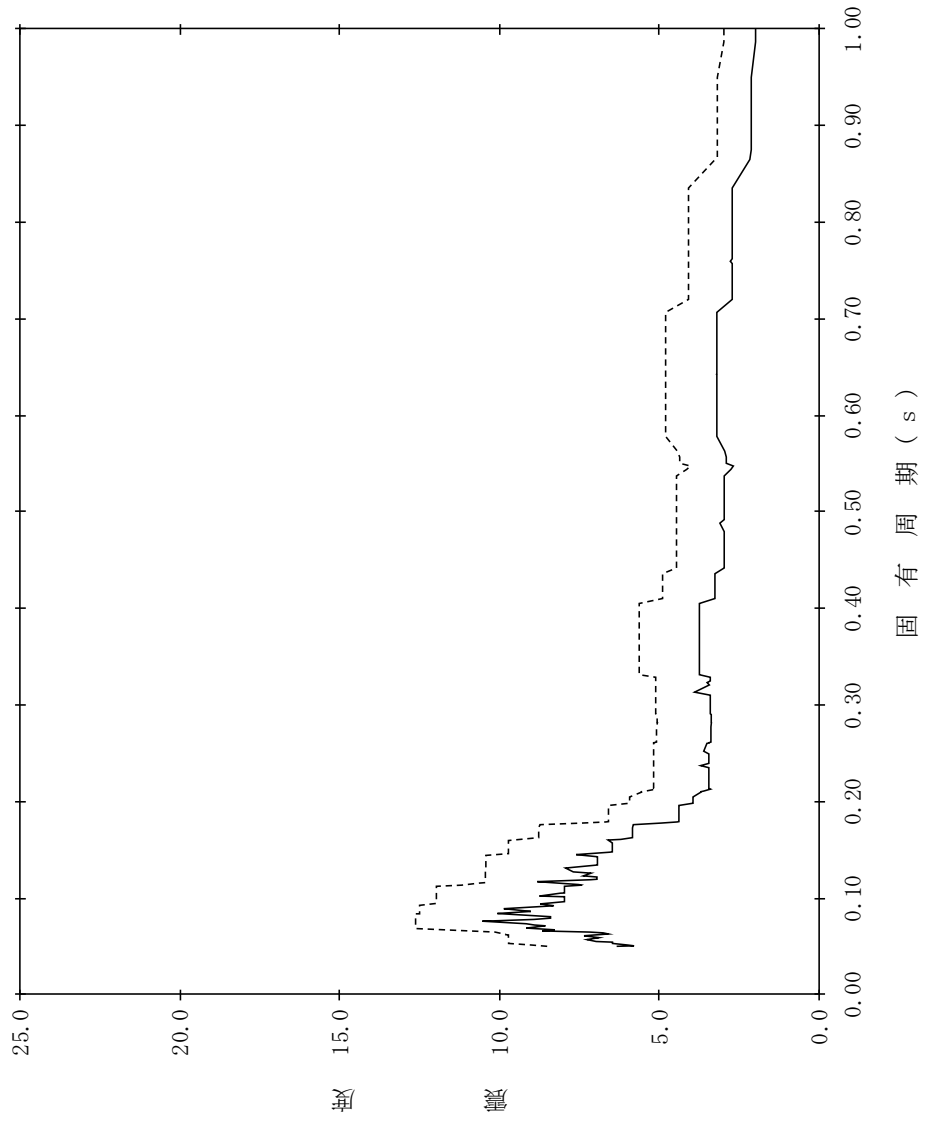


【NS2-1FV-SsEW-1FV1】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：0.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

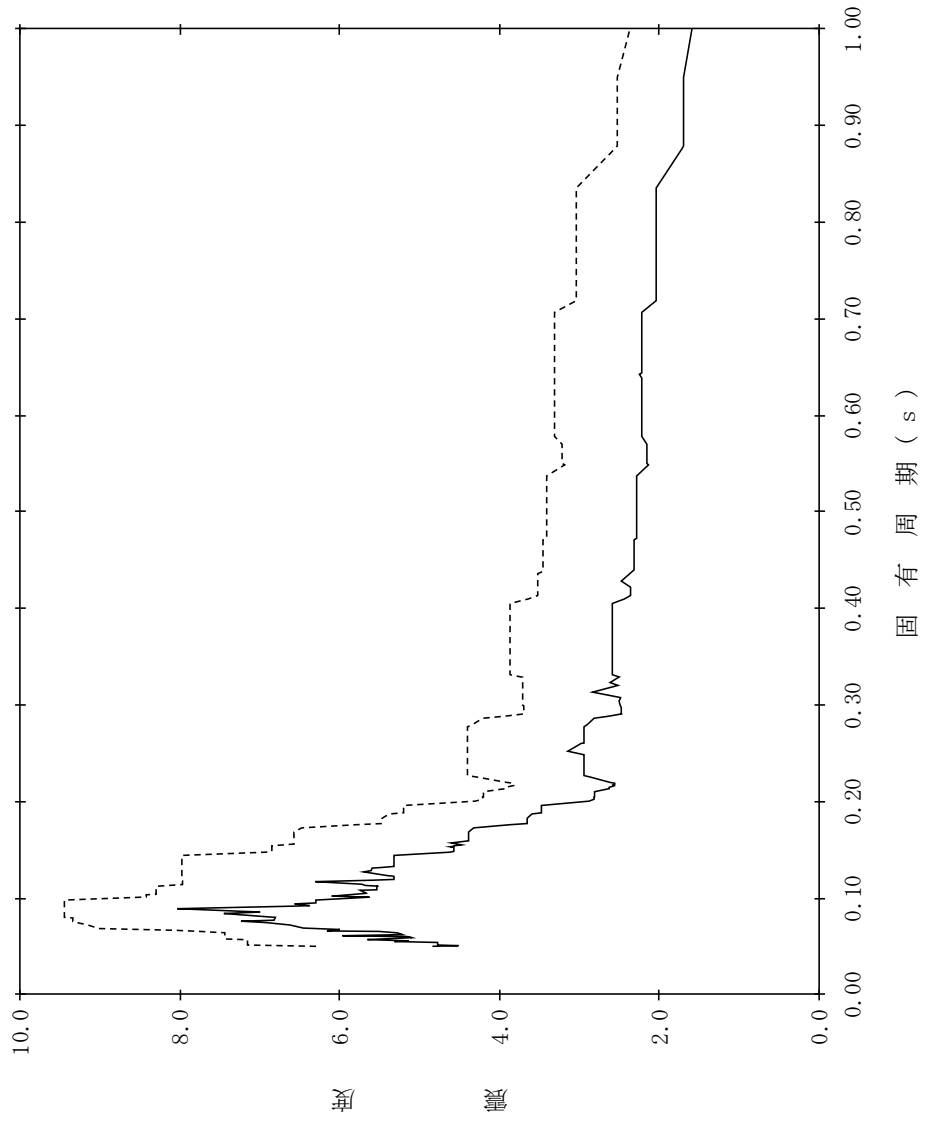


【NS2-1FV-SsEW-1FV2】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

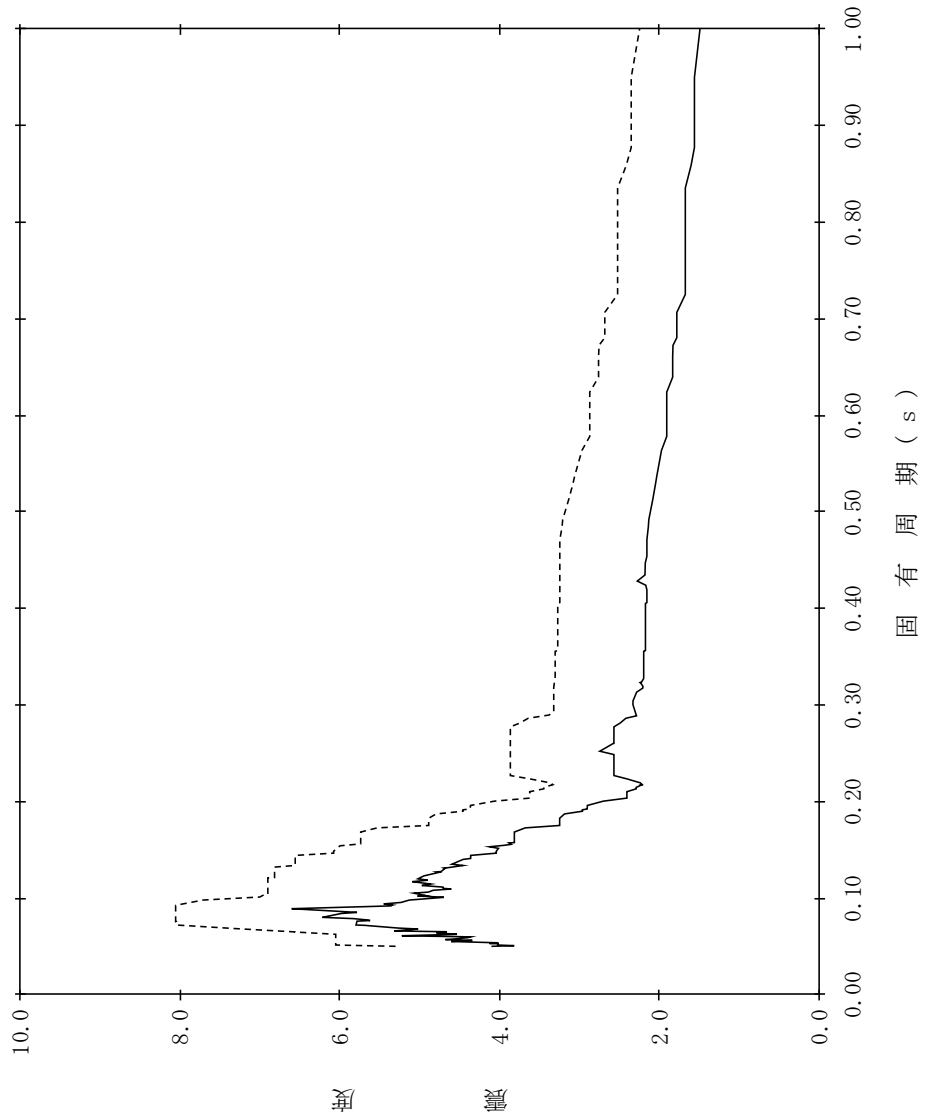


【NS2-1FV-SsEW-1FV3】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

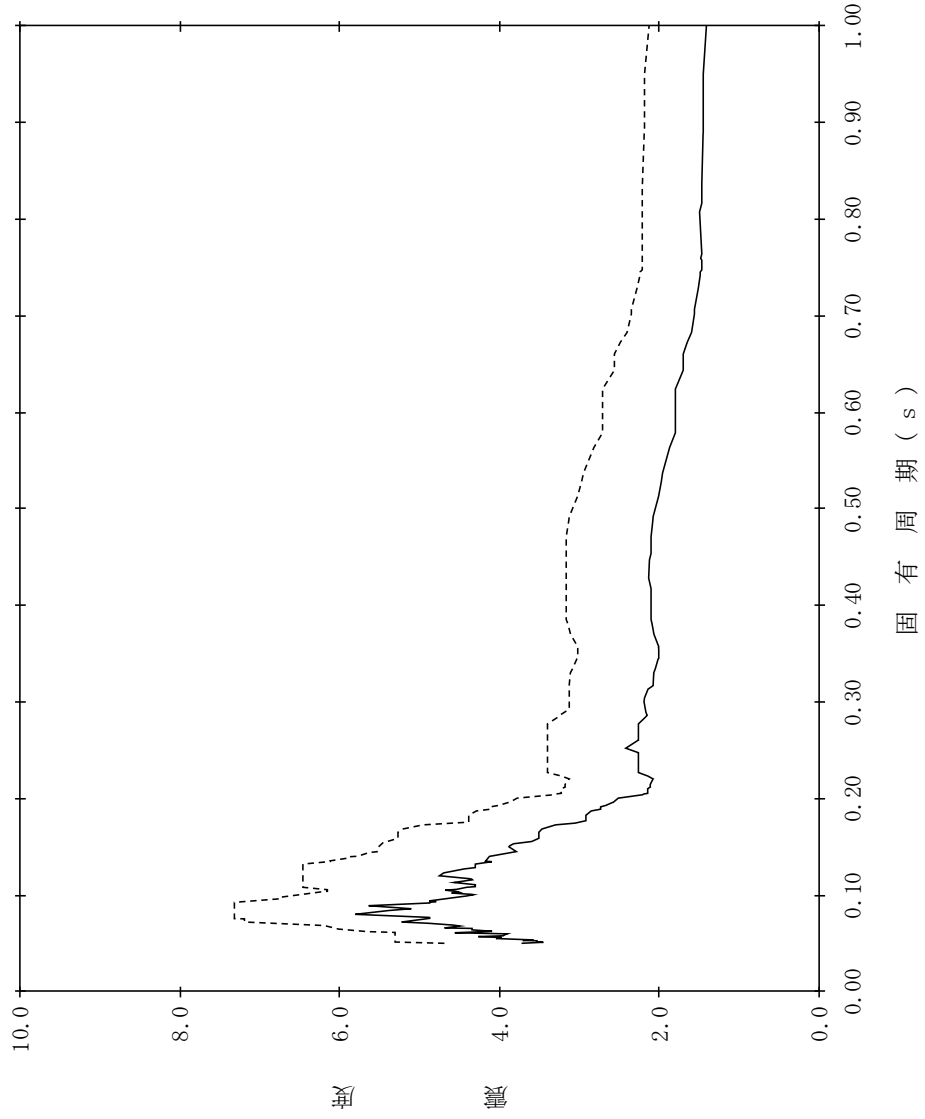


【NS2-1FV-SsEW-1FV4】

構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

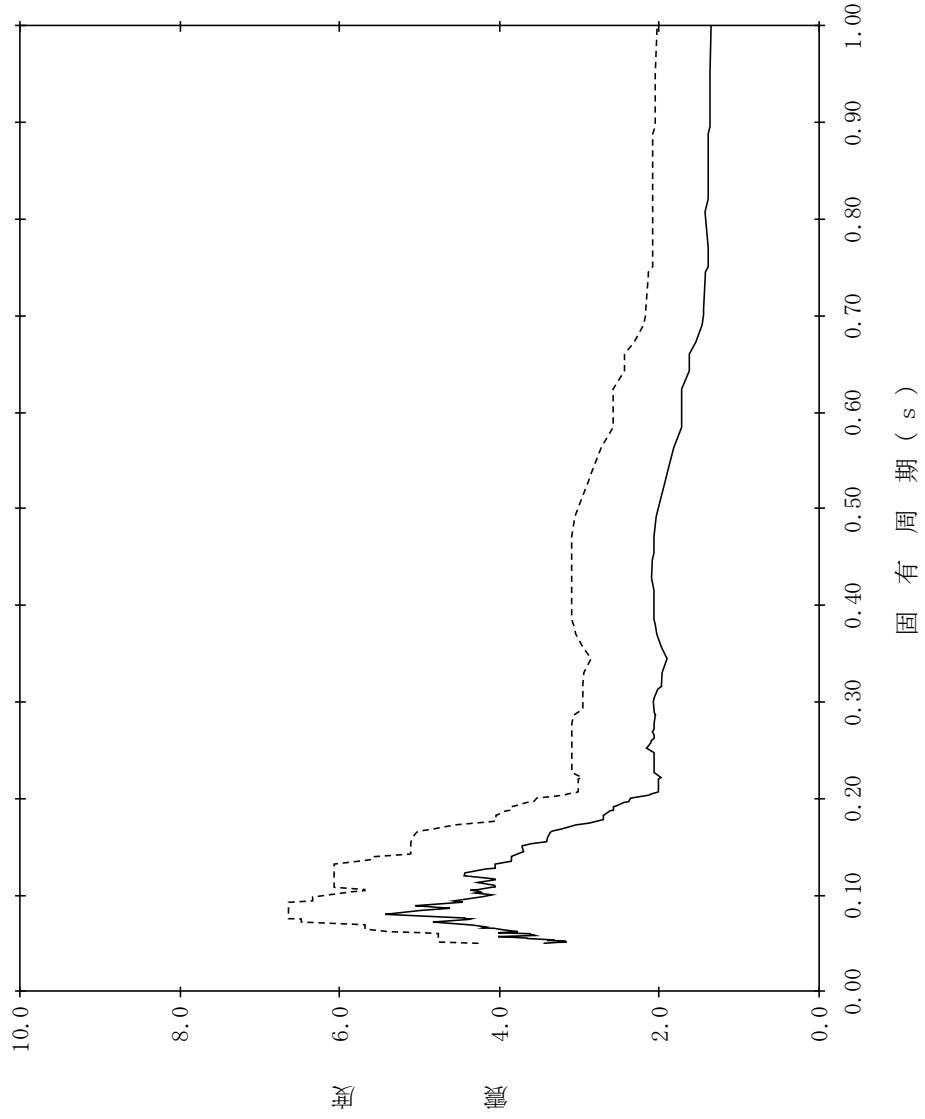


【NS2-1FV-SsEW-1FV5】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (EW方向)

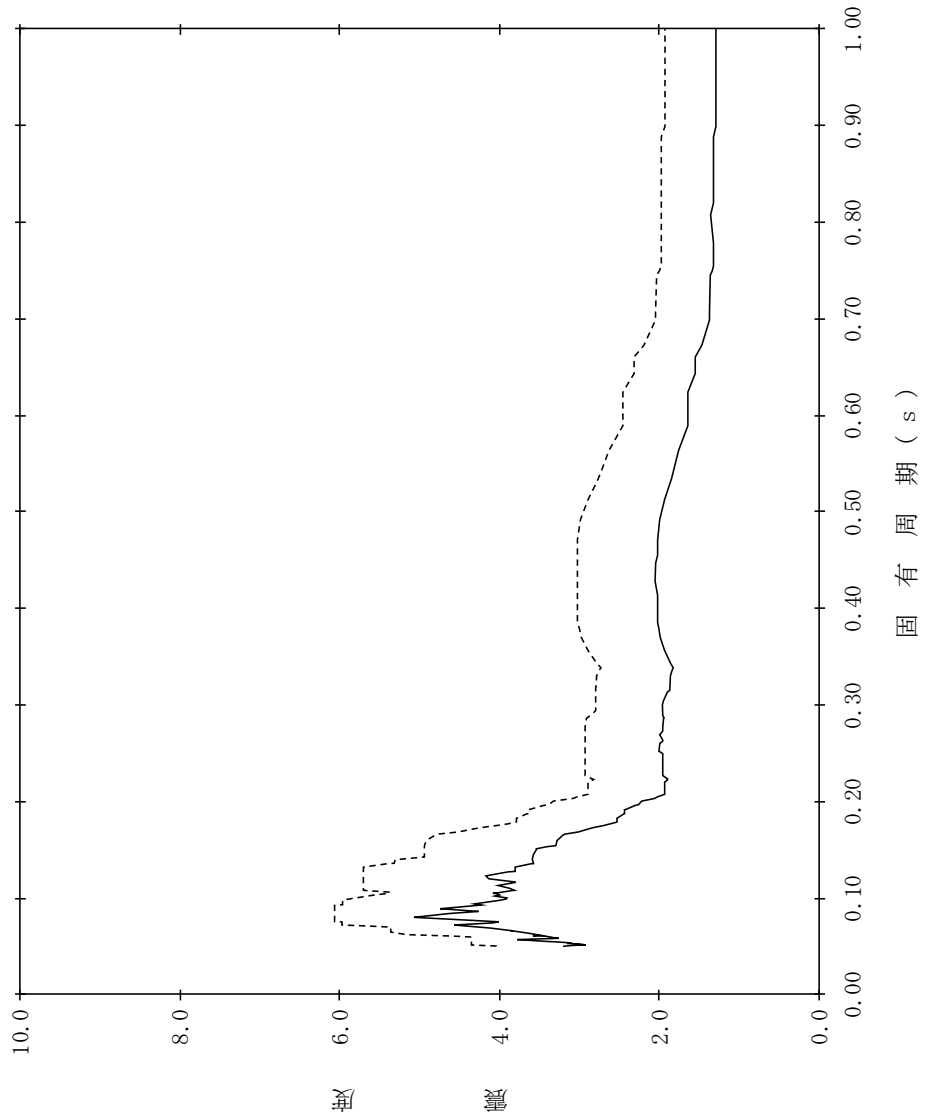


【NS2-1FV-SsEW-1FV6】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：3.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

- - - - - 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

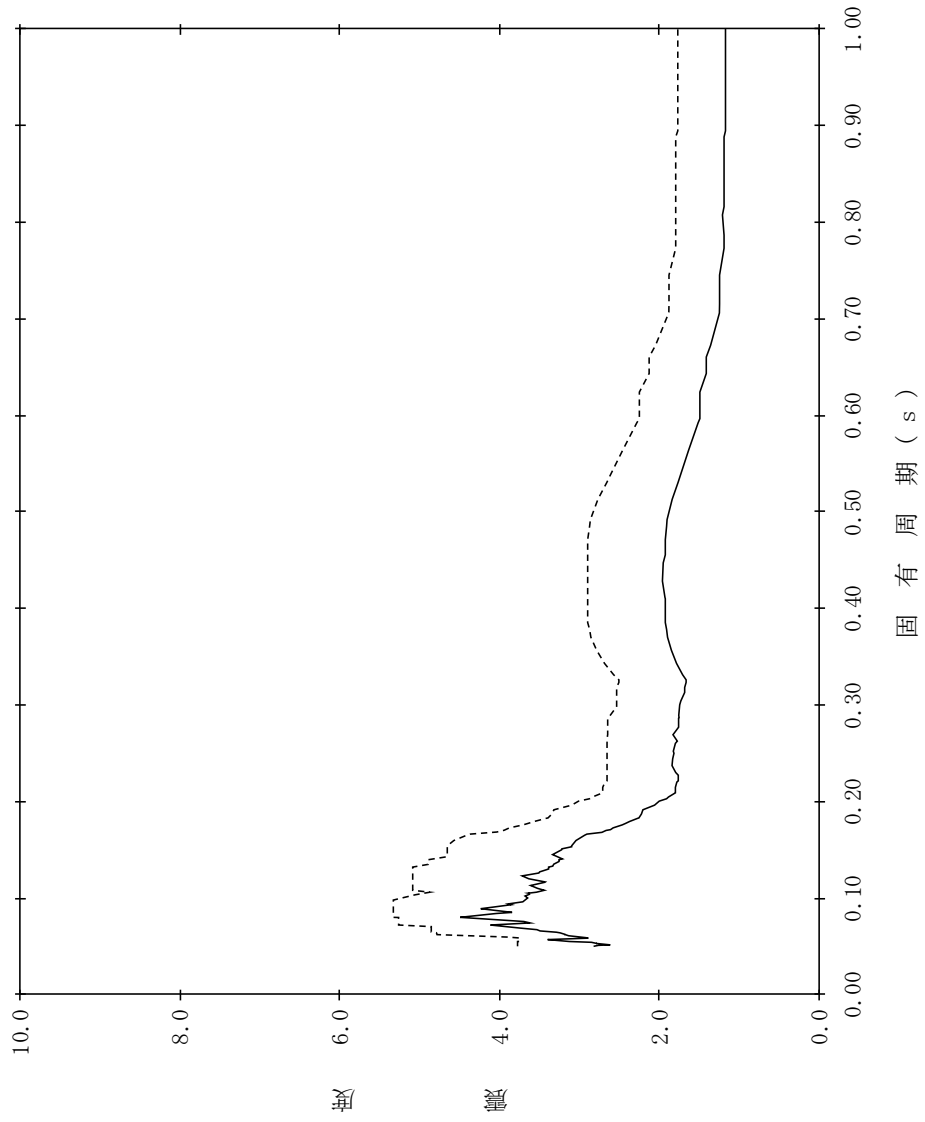


【NS2-1FV-SsEW-1FV7】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：4.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

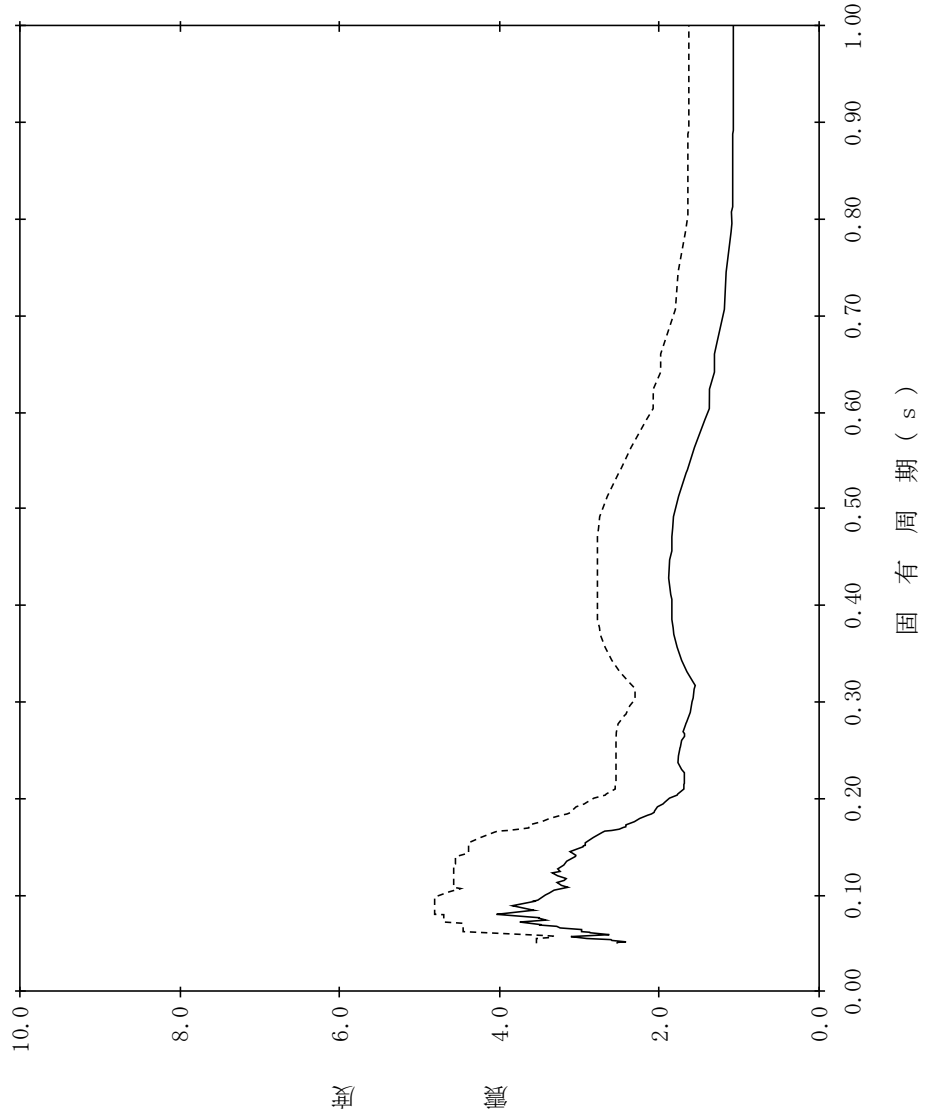


【NS2-1FV-SsEW-1FV8】

構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL18.300m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：5.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

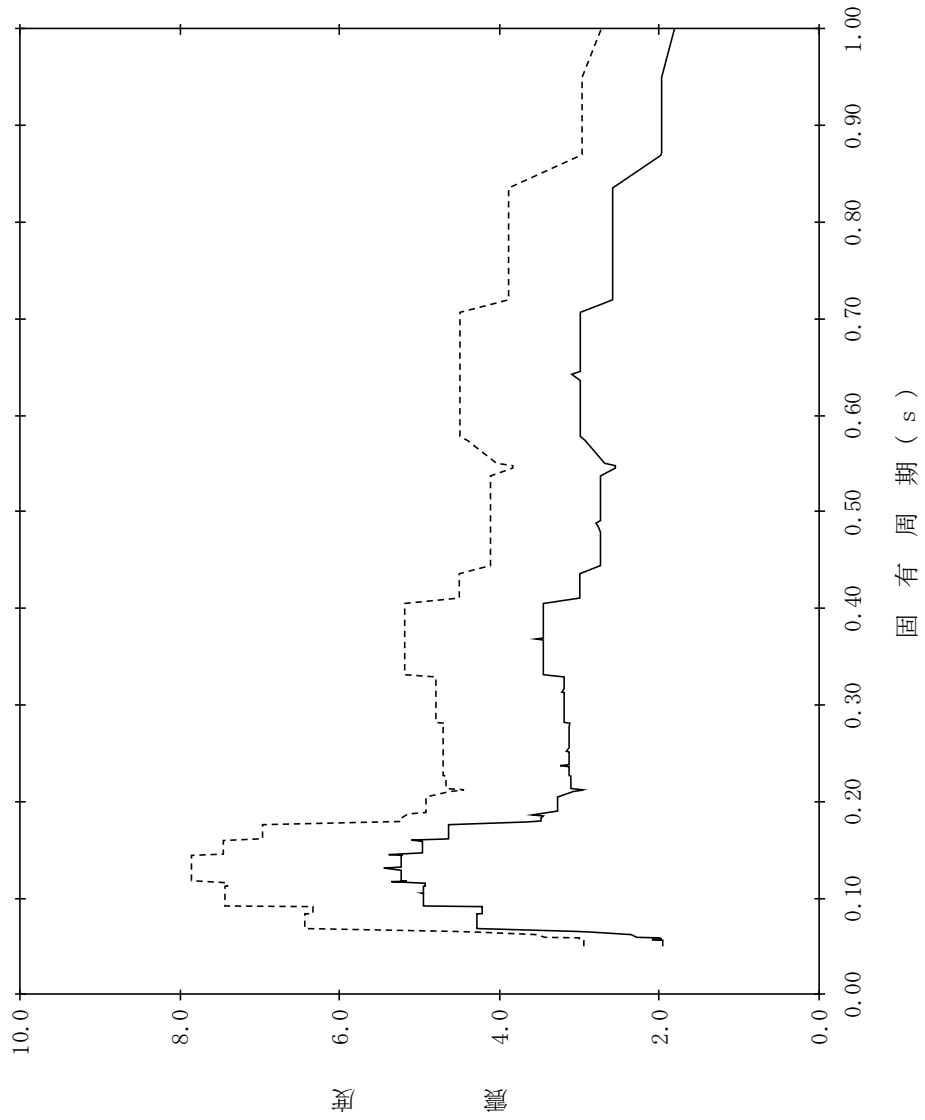
----- 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



【NS2-1FV-SsEW-1FV9】

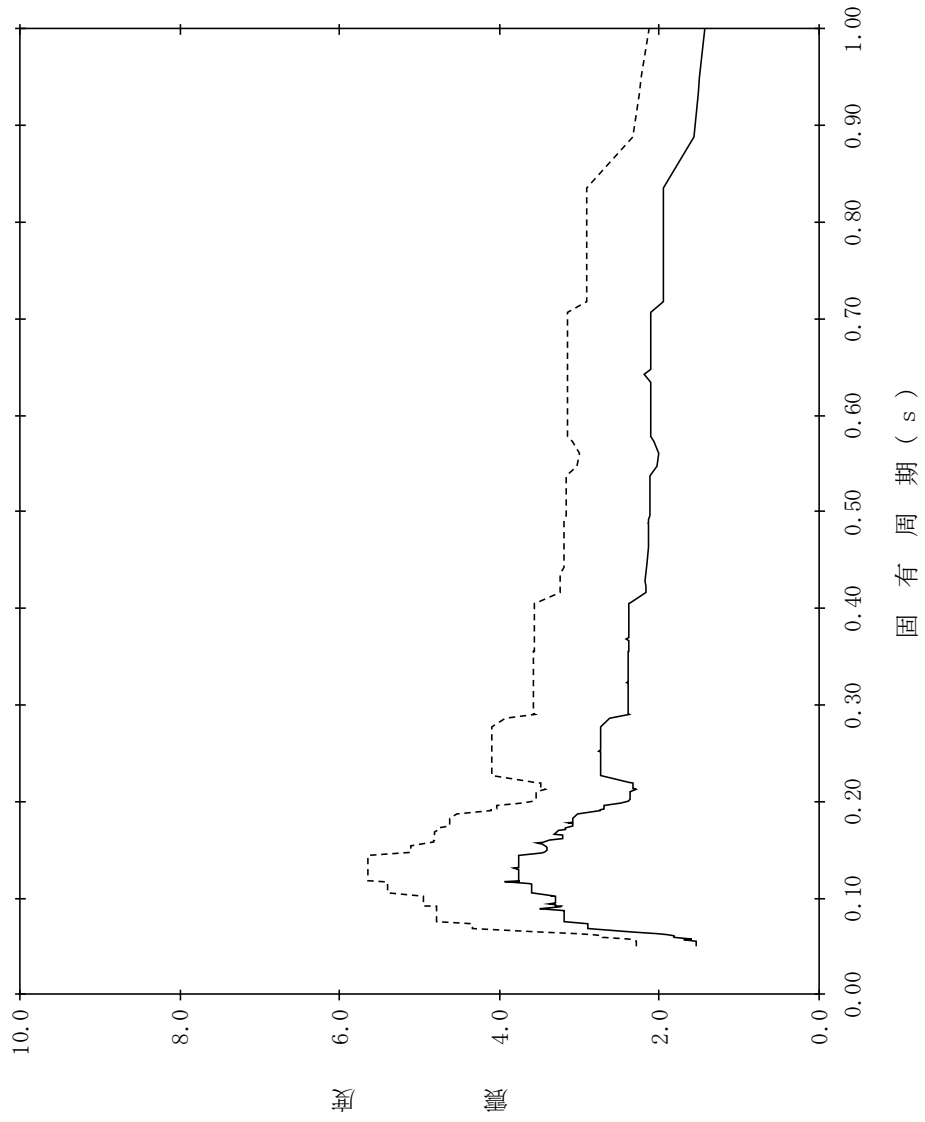
構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：0.5%

——— 設計用床応答スペクトルⅠ (EW方向)
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (EW方向)



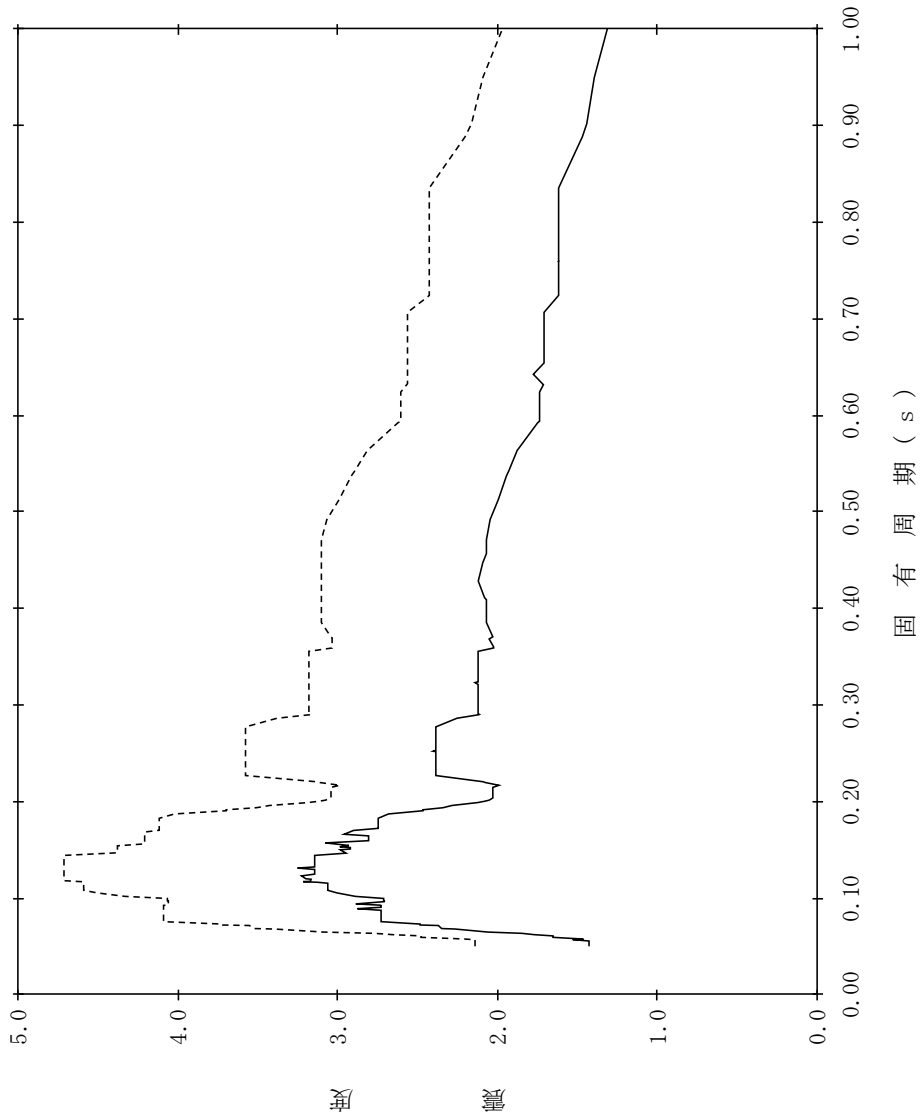
【NS2-1FV-SsEW-1FV10】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



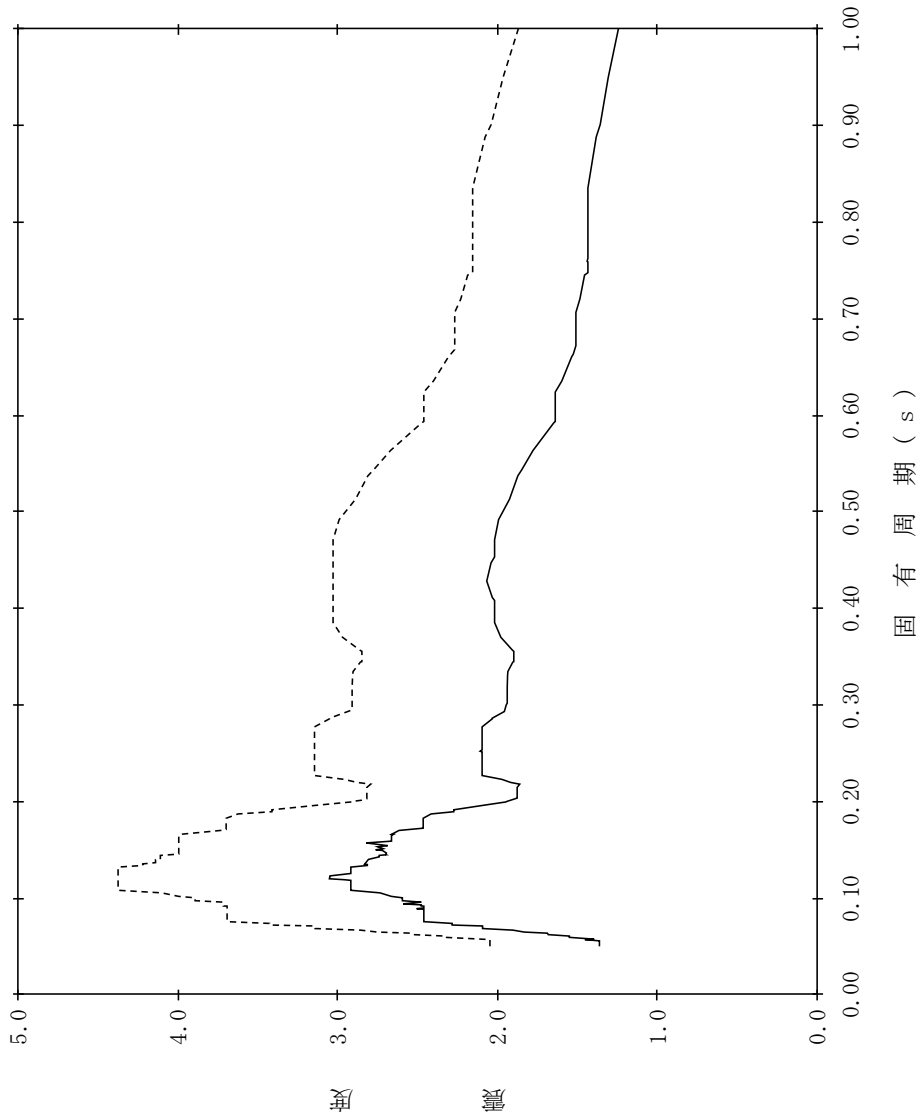
【NS2-1FV-SsEW-1FV11】

構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



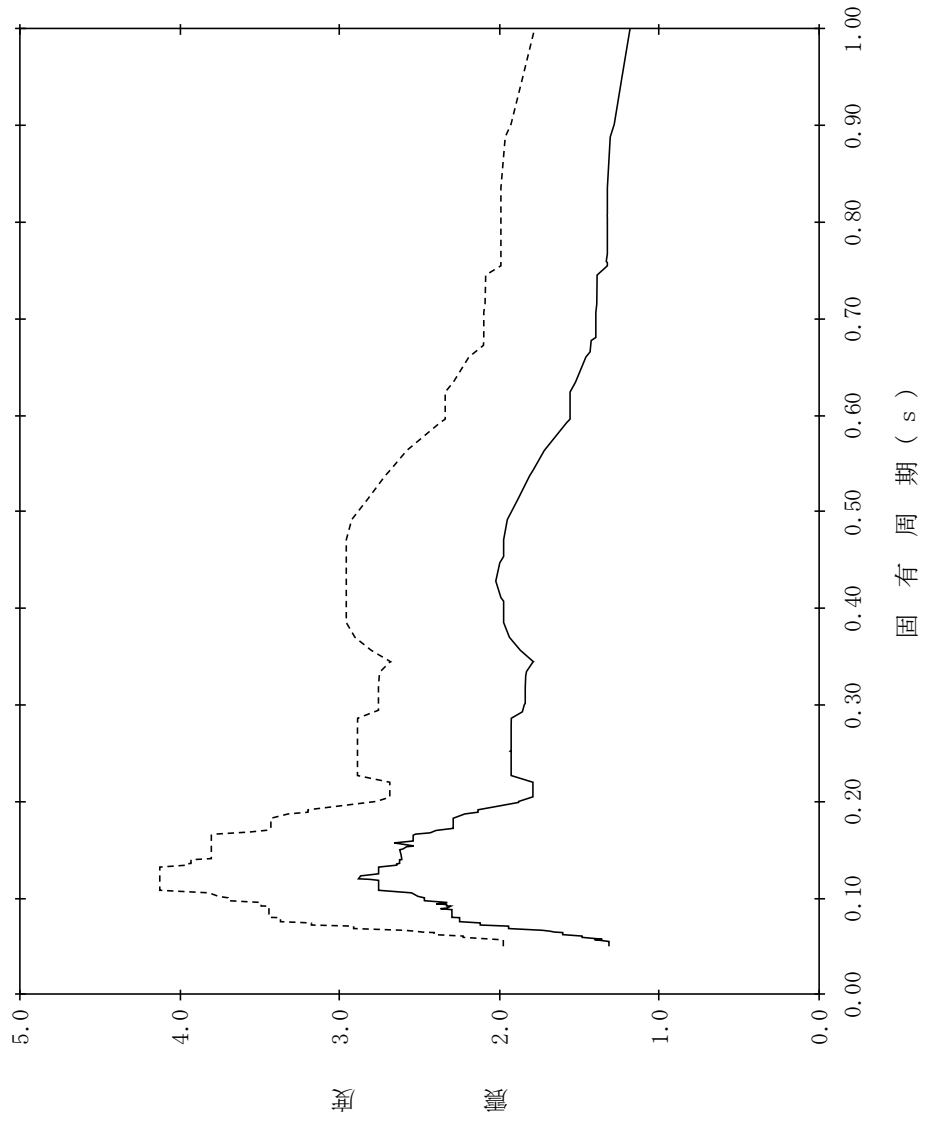
【NS2-1FV-SsEW-1FV12】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：2.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



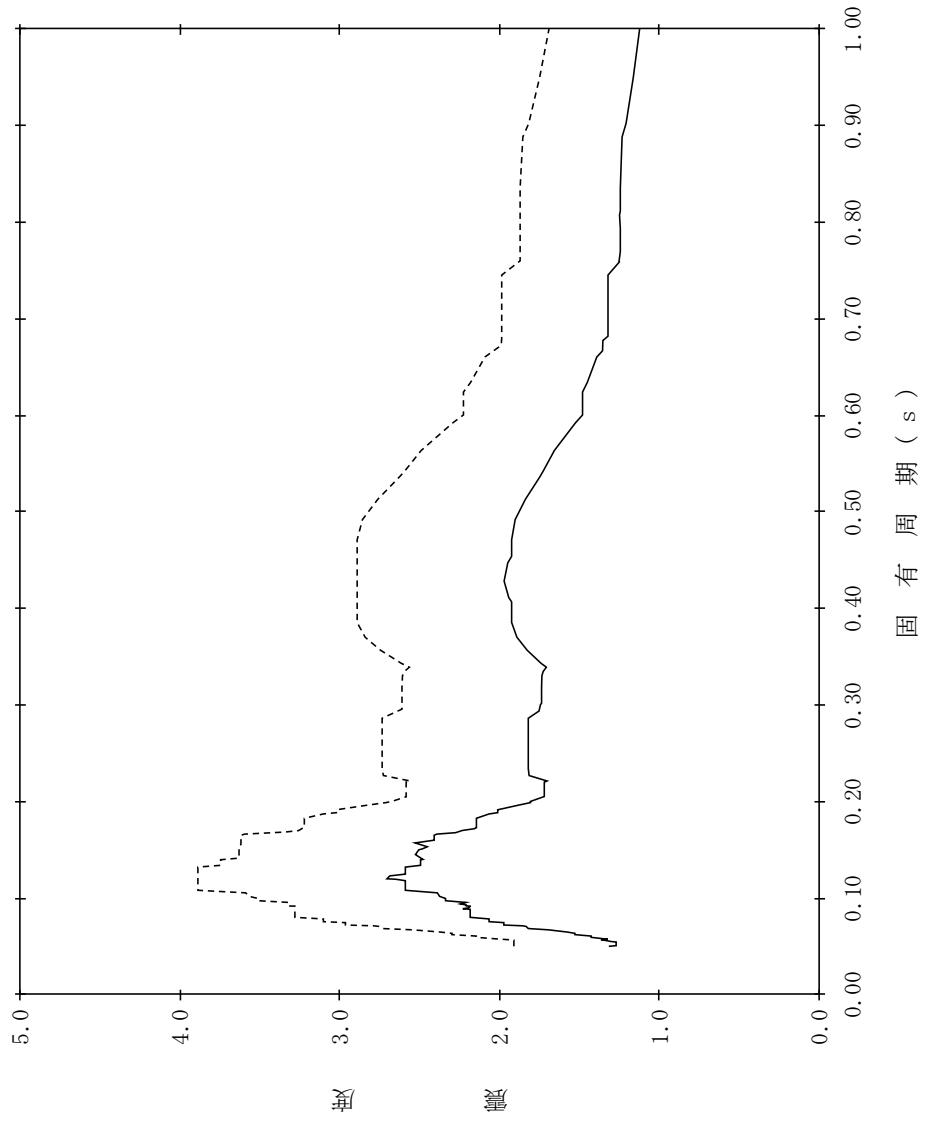
【NS2-1FV-SsEW-1FV13】

構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



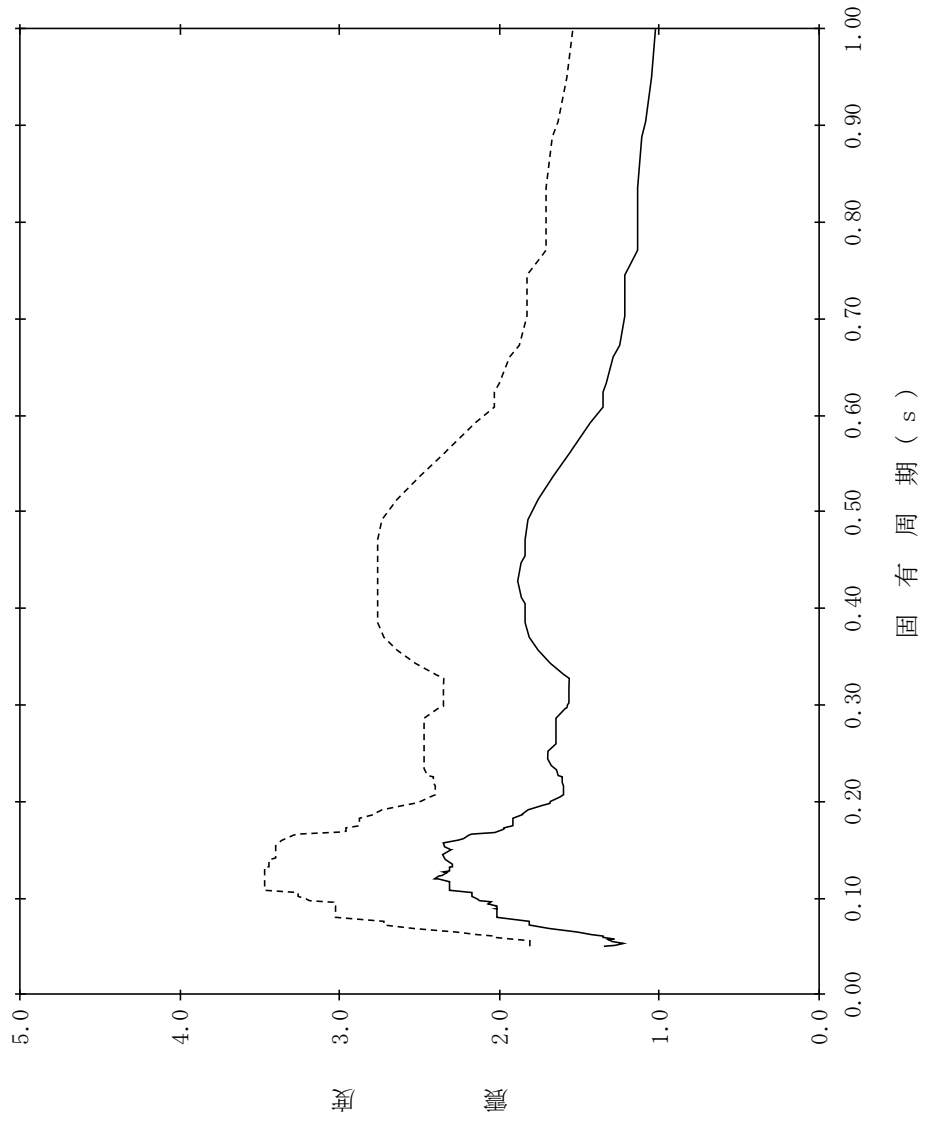
【NS2-1FV-SsEW-1FV14】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



【NS2-1FV-SsEW-1FV15】

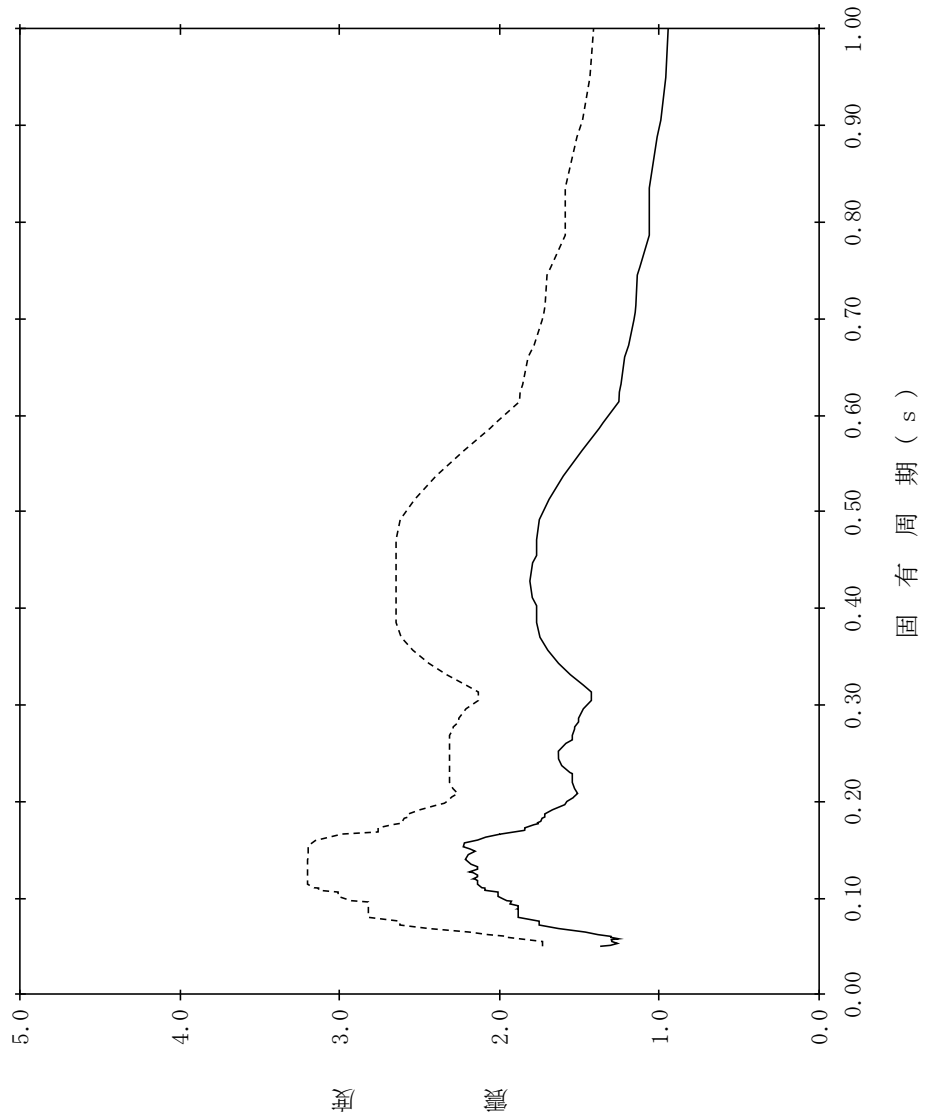
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



【NS2-1FV-SsEW-1FV16】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL7.600m
 減衰定数：5.0%

— 設計用床応答スペクトルⅠ (EW方向)
 - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (EW方向)

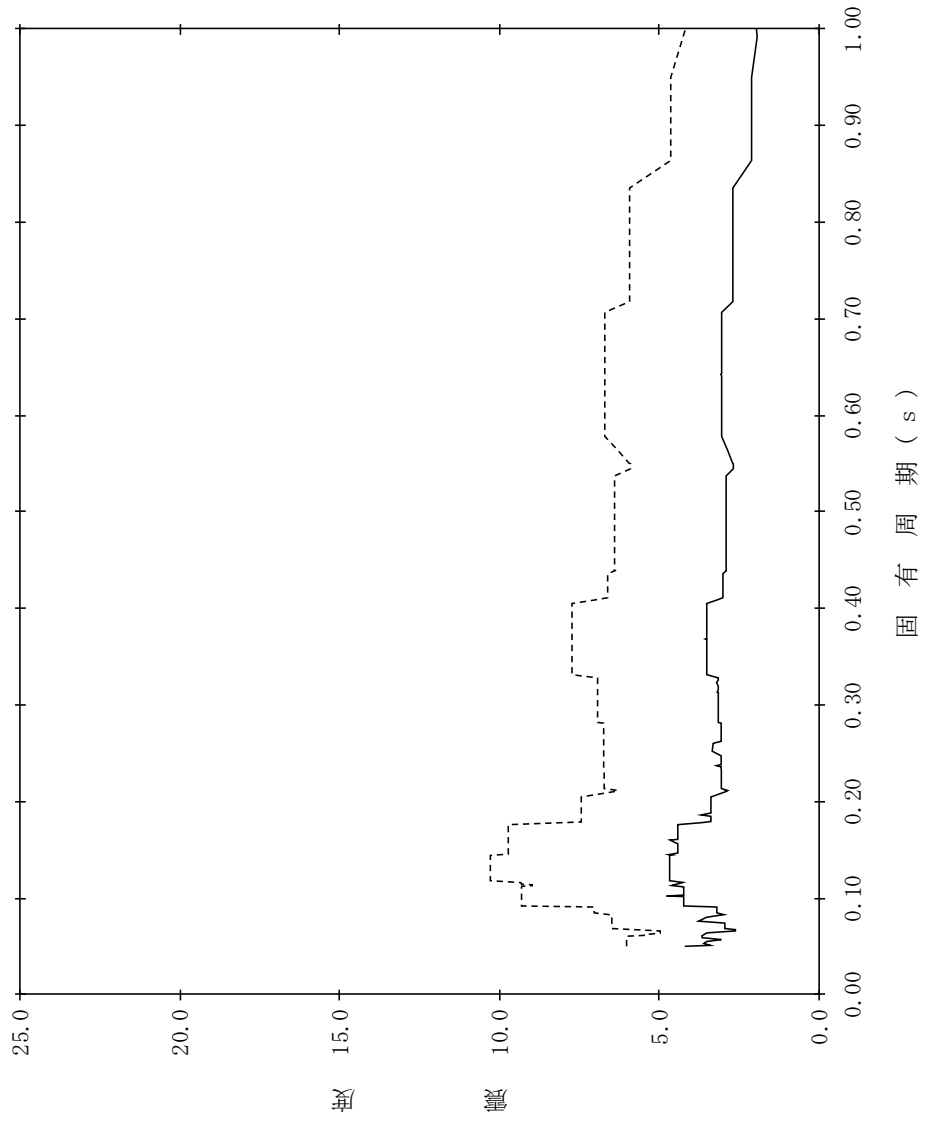


【NS2-1FV-SsEW-1FV17】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：0.5%

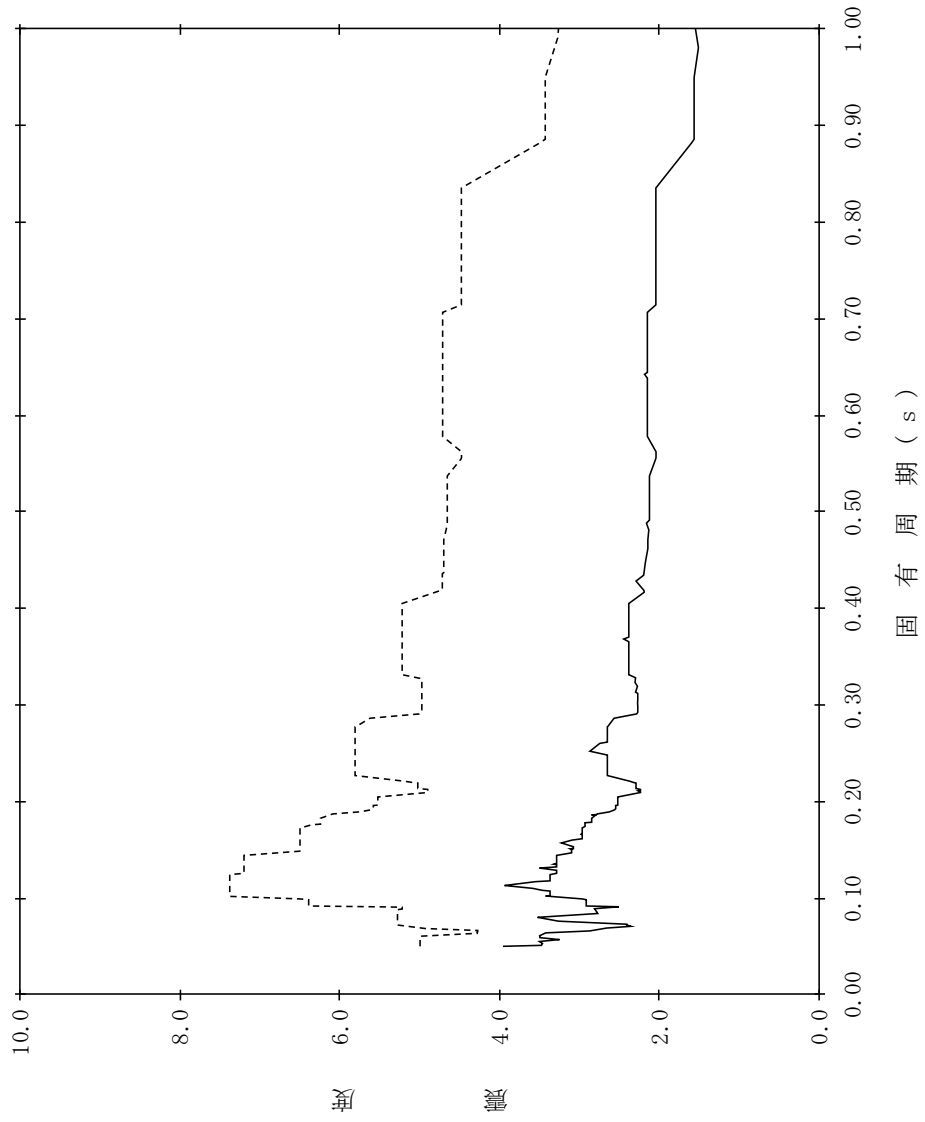
—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



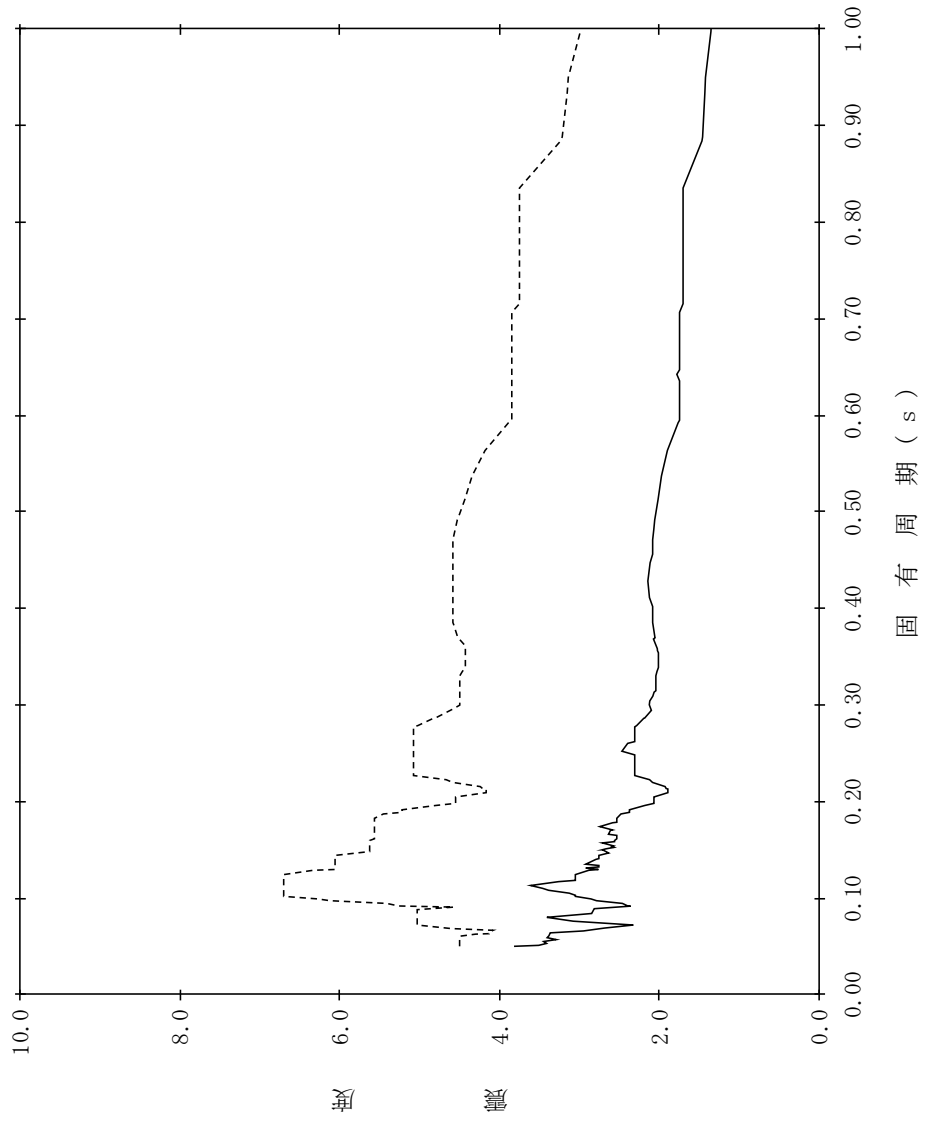
【NS2-1FV-SsEW-1FV18】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



【NS2-1FV-SsEW-1FV19】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

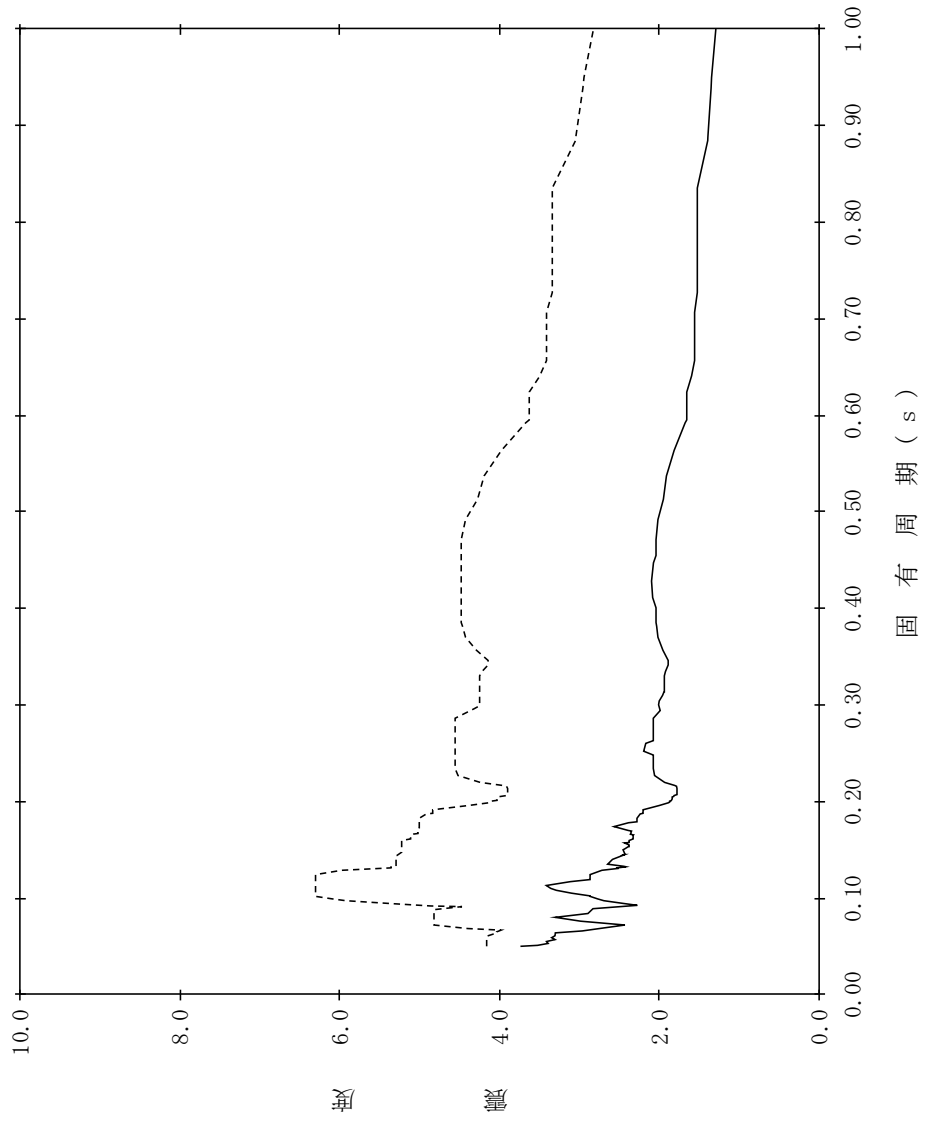


【NS2-1FV-SsEW-1FV20】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

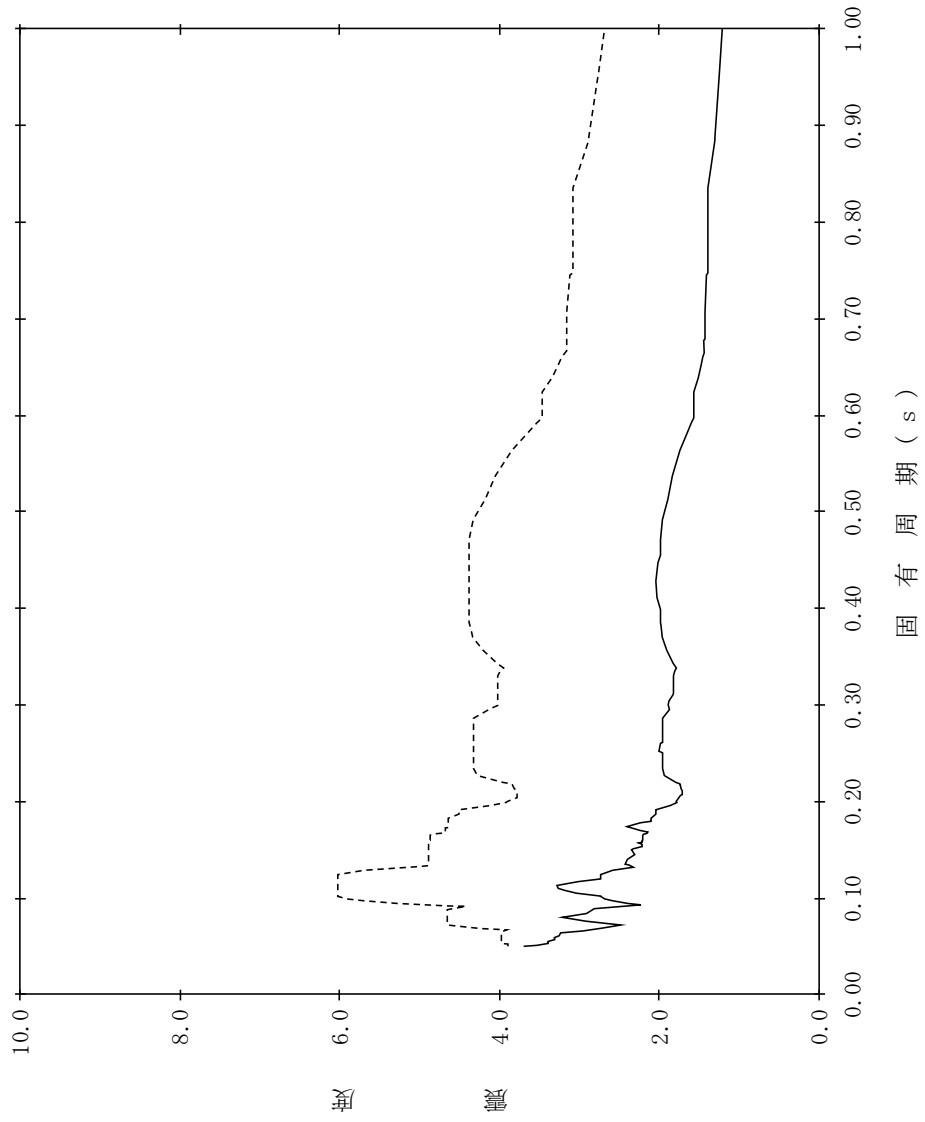


【NS2-1FV-SsEW-1FV21】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL2.700m
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトルⅠ (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (EW方向)

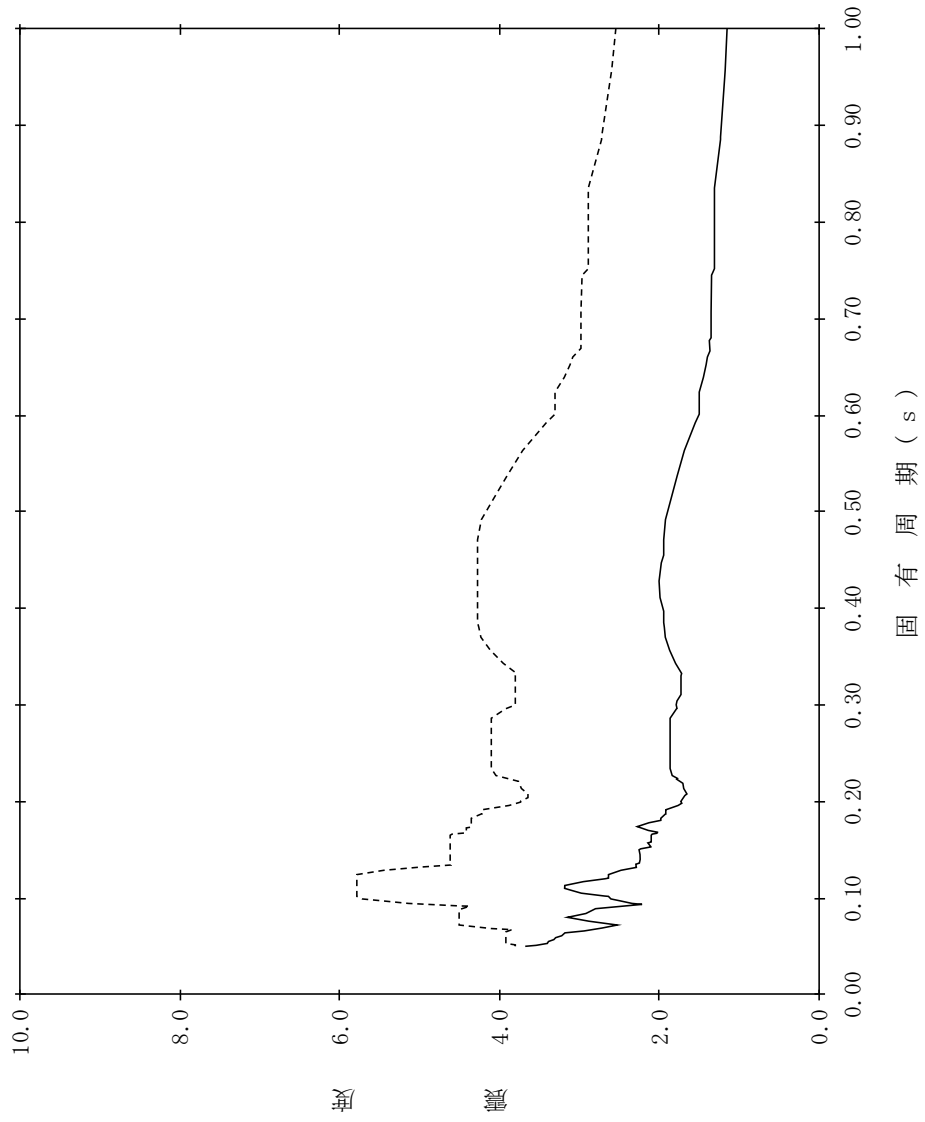


【NS2-1FV-SsEW-1FV22】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：3.0%

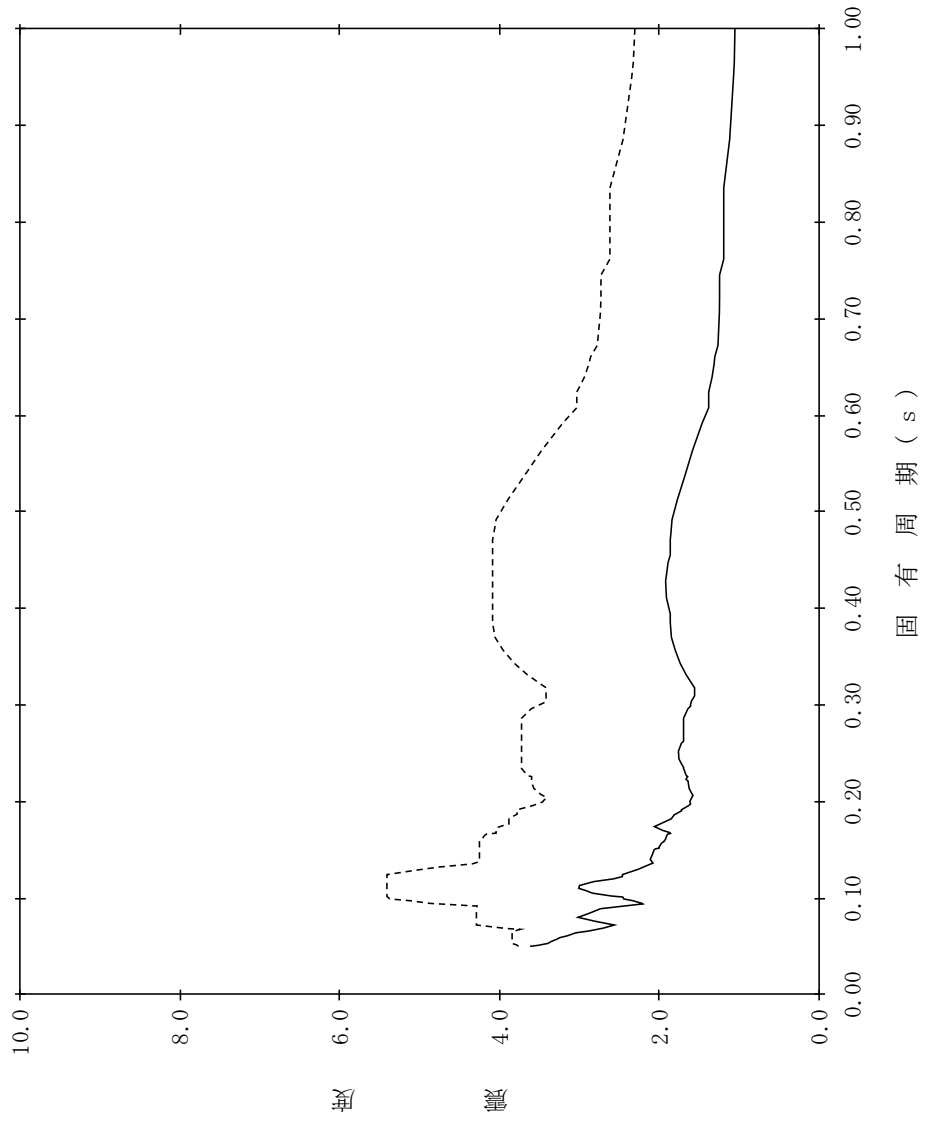
—— 設計用床応答スペクトルⅠ (EW方向)

- - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (EW方向)



【NS2-1FV-SsEW-1FV23】

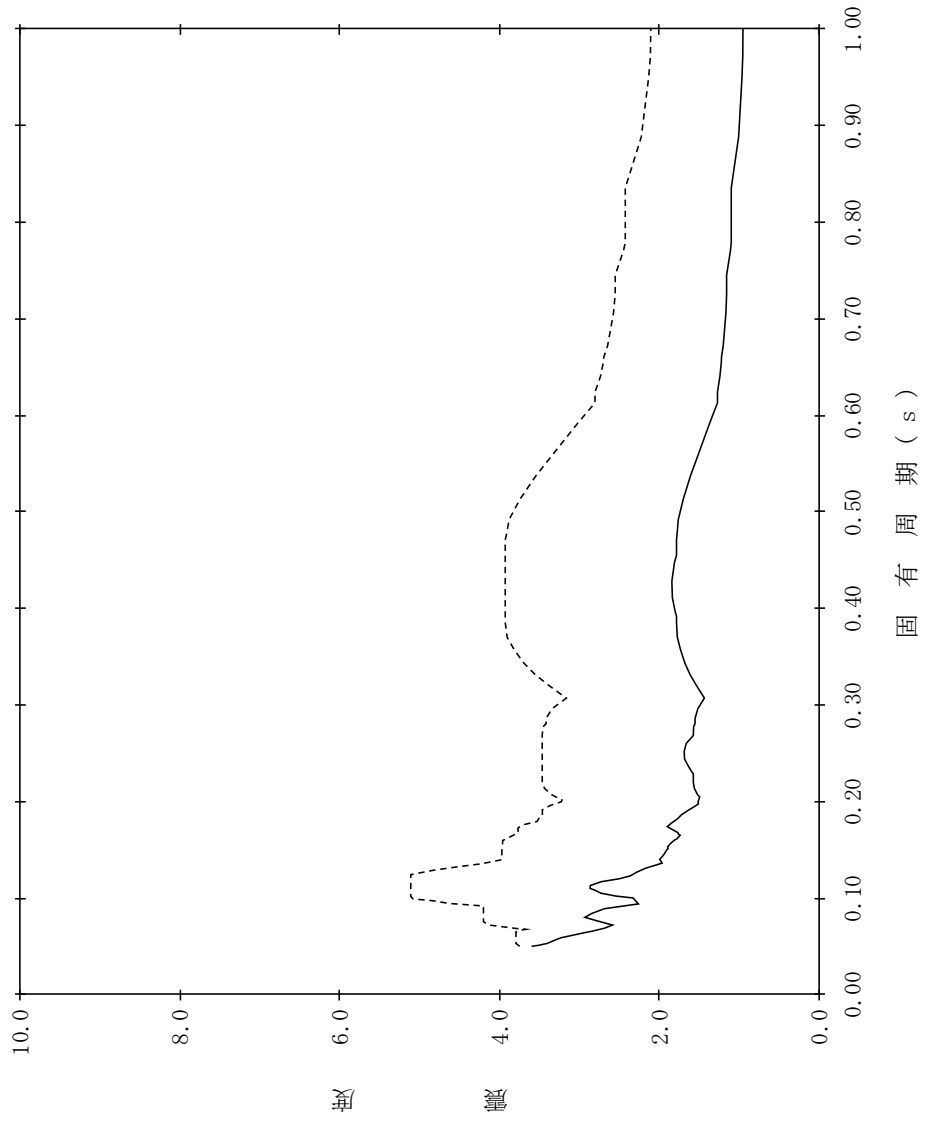
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



【NS2-1FV-SsEW-1FV24】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：5.0%

— 設計用床応答スペクトルⅠ (EW方向)
 - - - 設計用床応答スペクトルⅡ (EW方向)

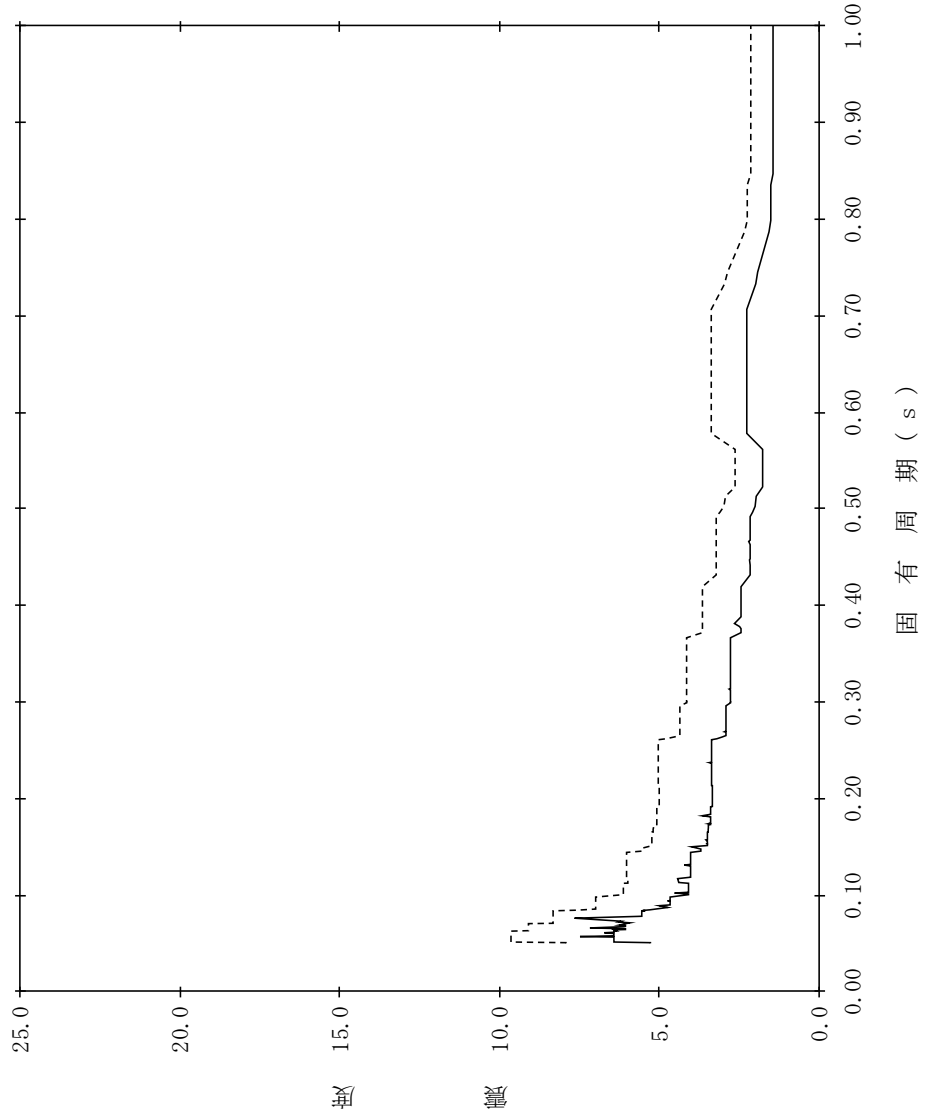


【NS2-1FV-SsV-1FV1】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：0.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

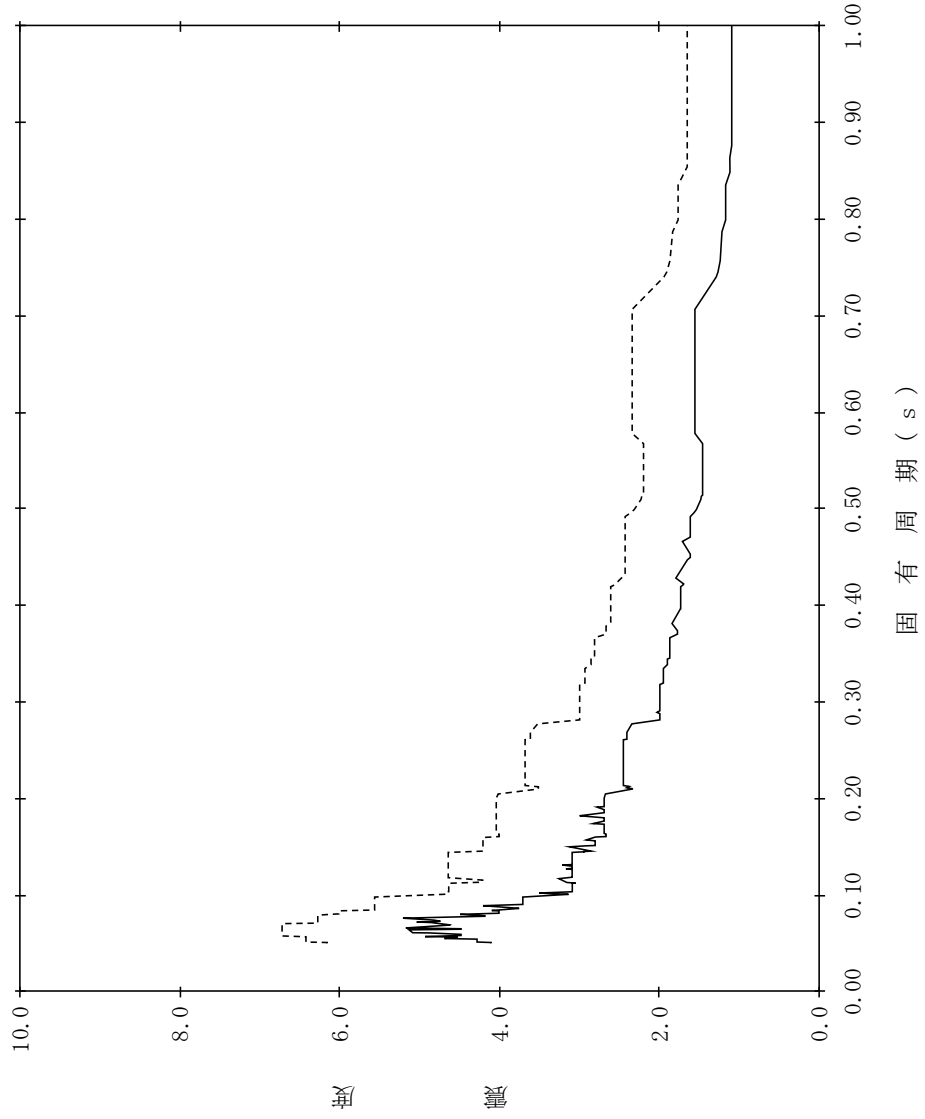


【NS2-1FV-SsV-1FV2】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

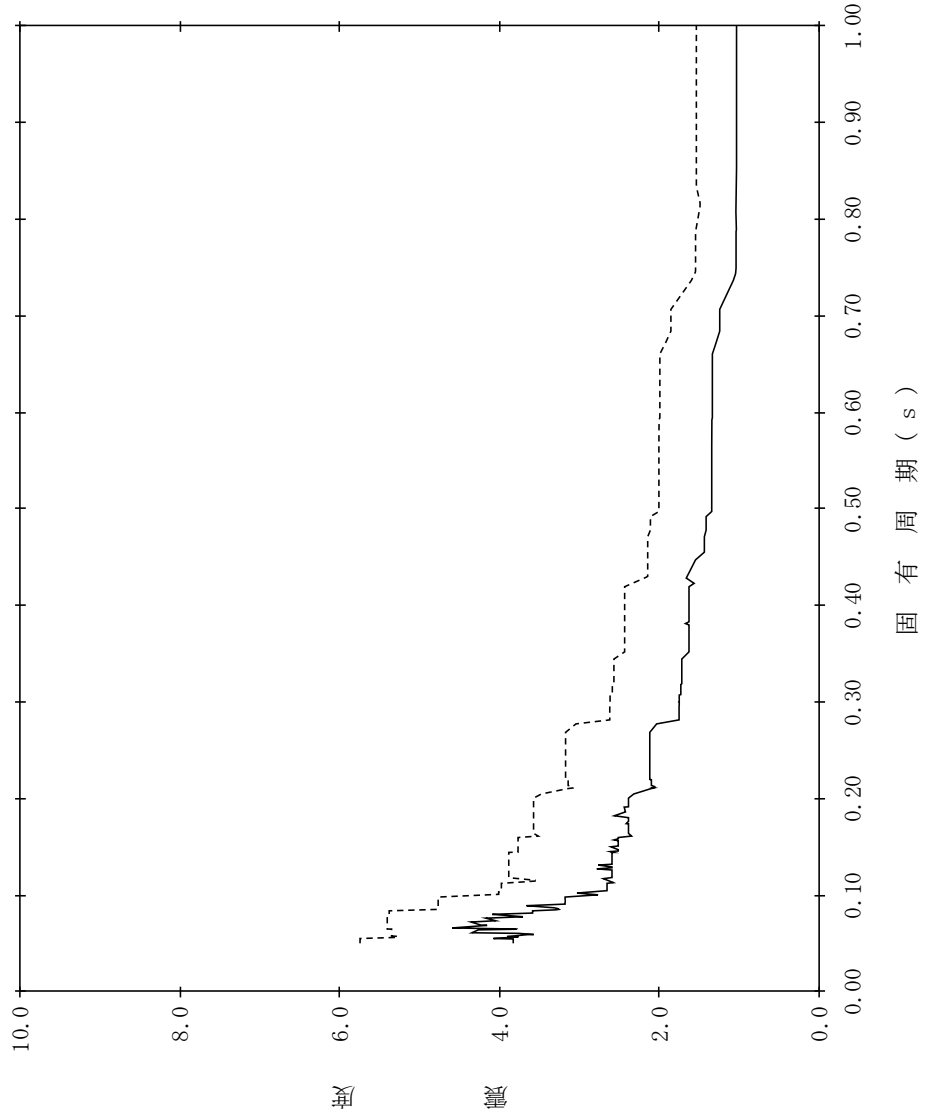


【NS2-1FV-SsV-1FV3】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

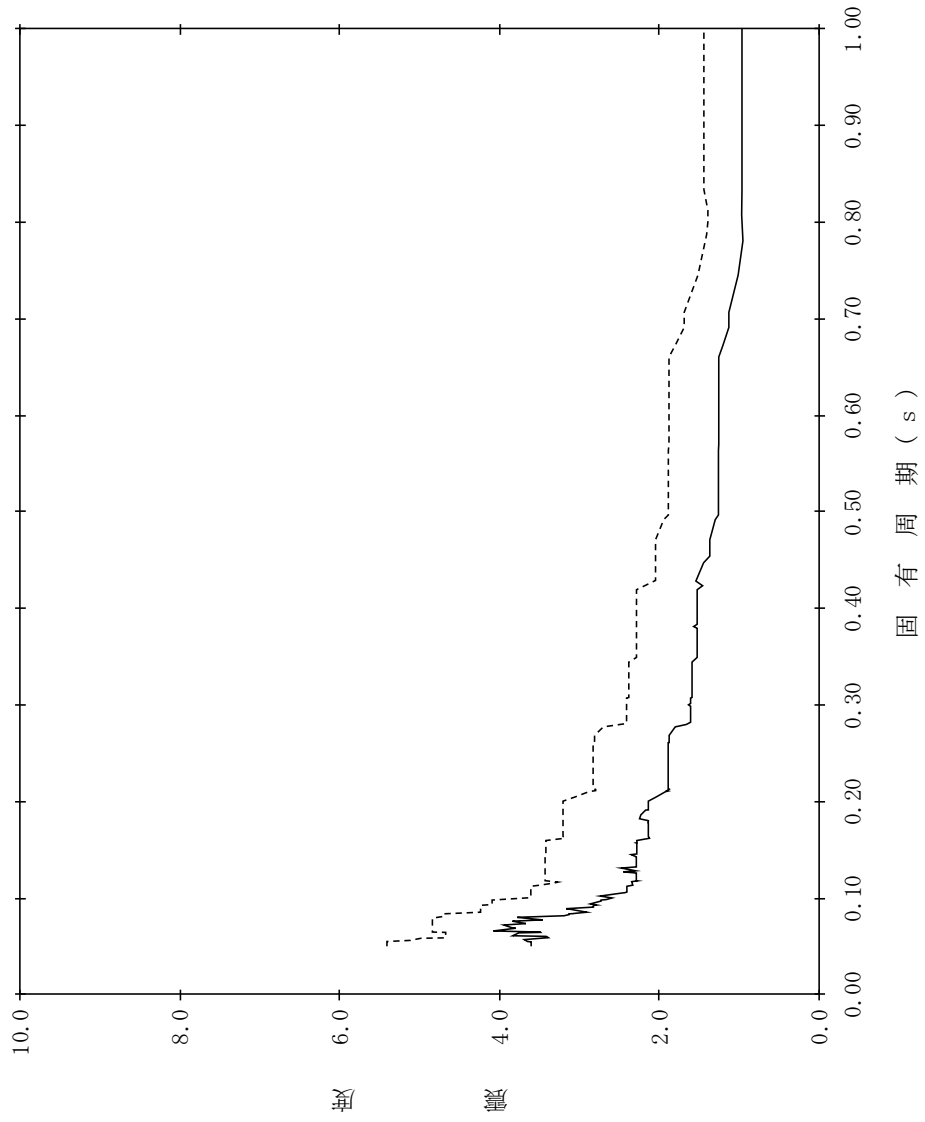


【NS2-1FV-SsV-1FV4】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

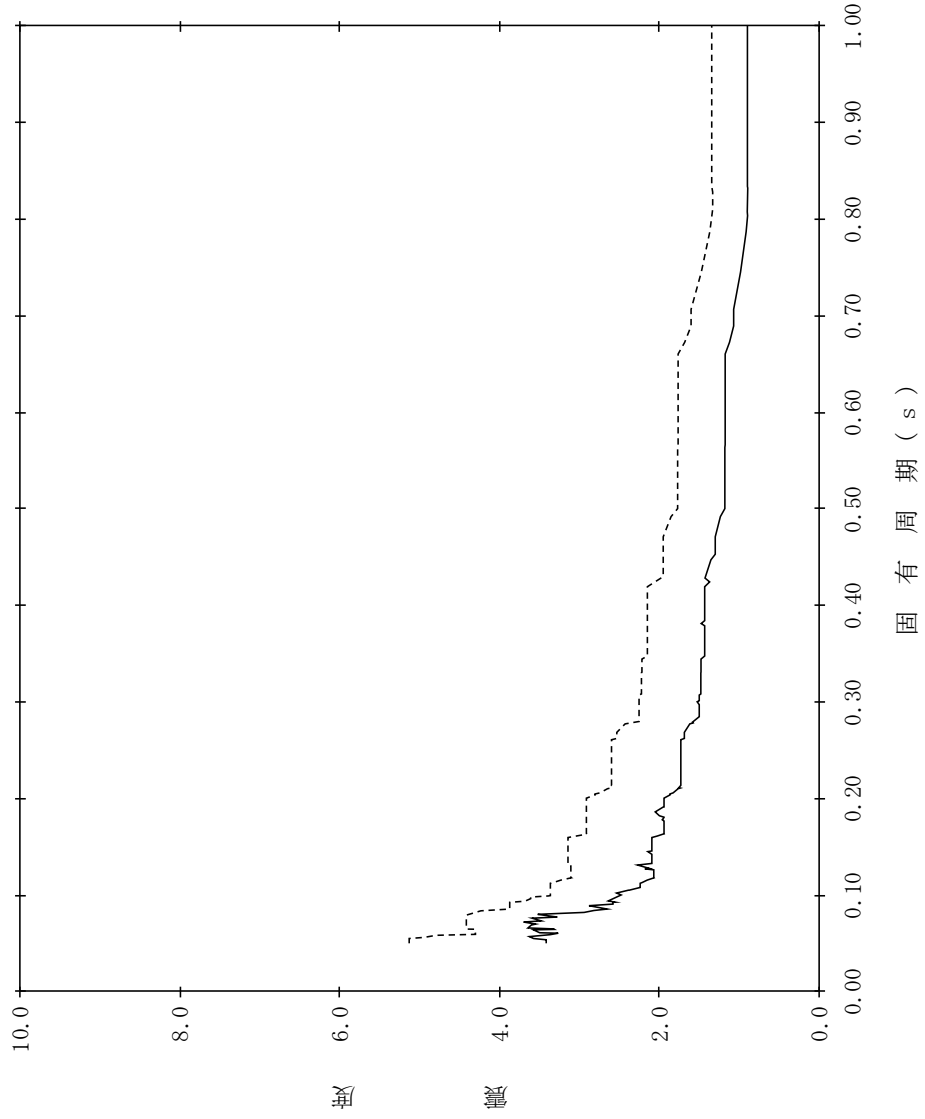


【NS2-1FV-SsV-1FV5】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

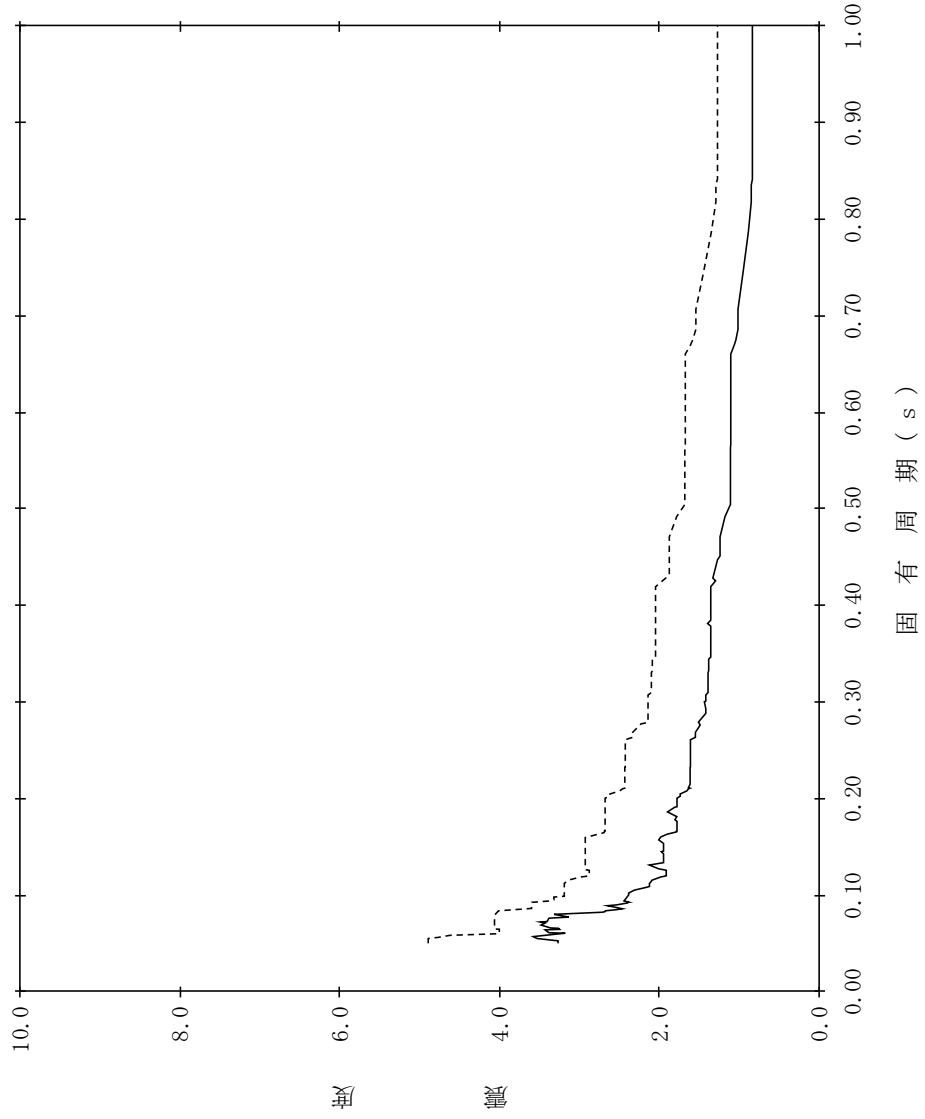


【NS2-1FV-SsV-1FV6】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：3.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

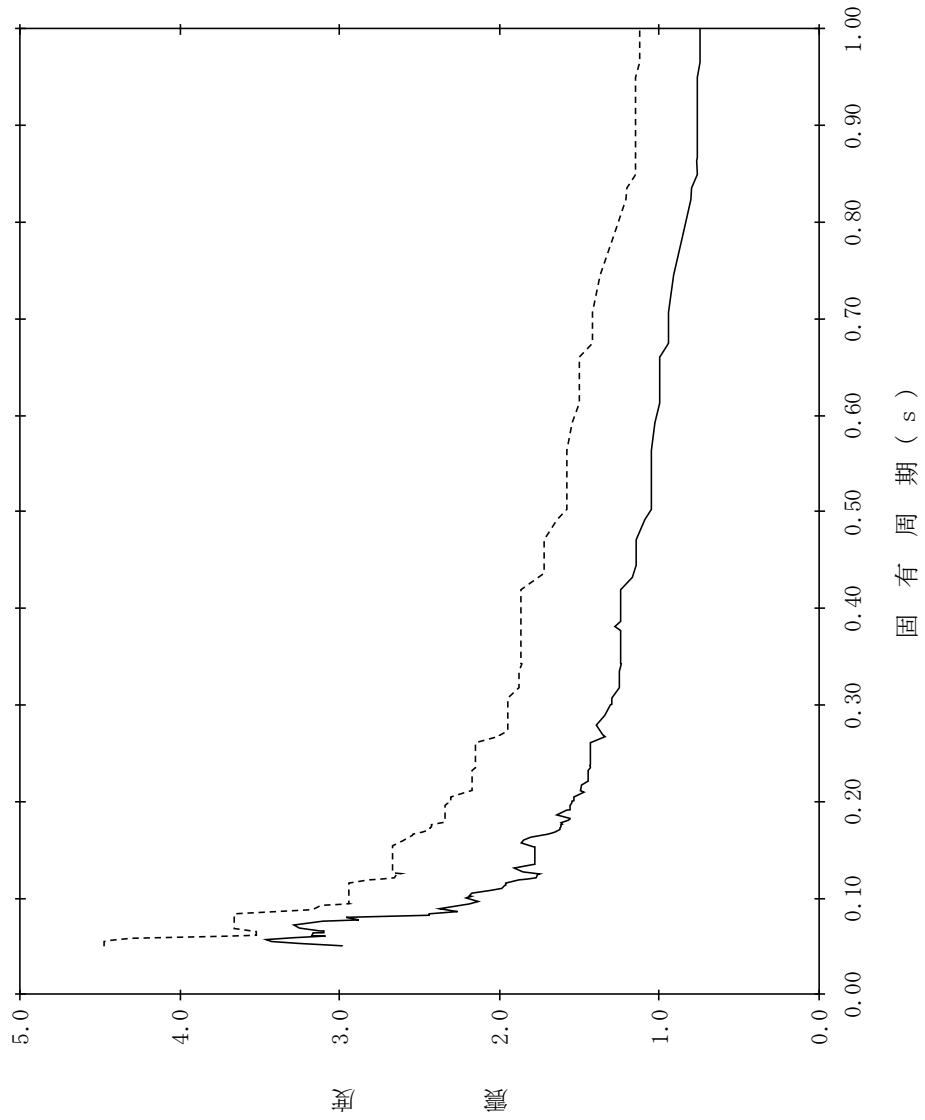


【NS2-1FV-SsV-1FV7】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：4.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

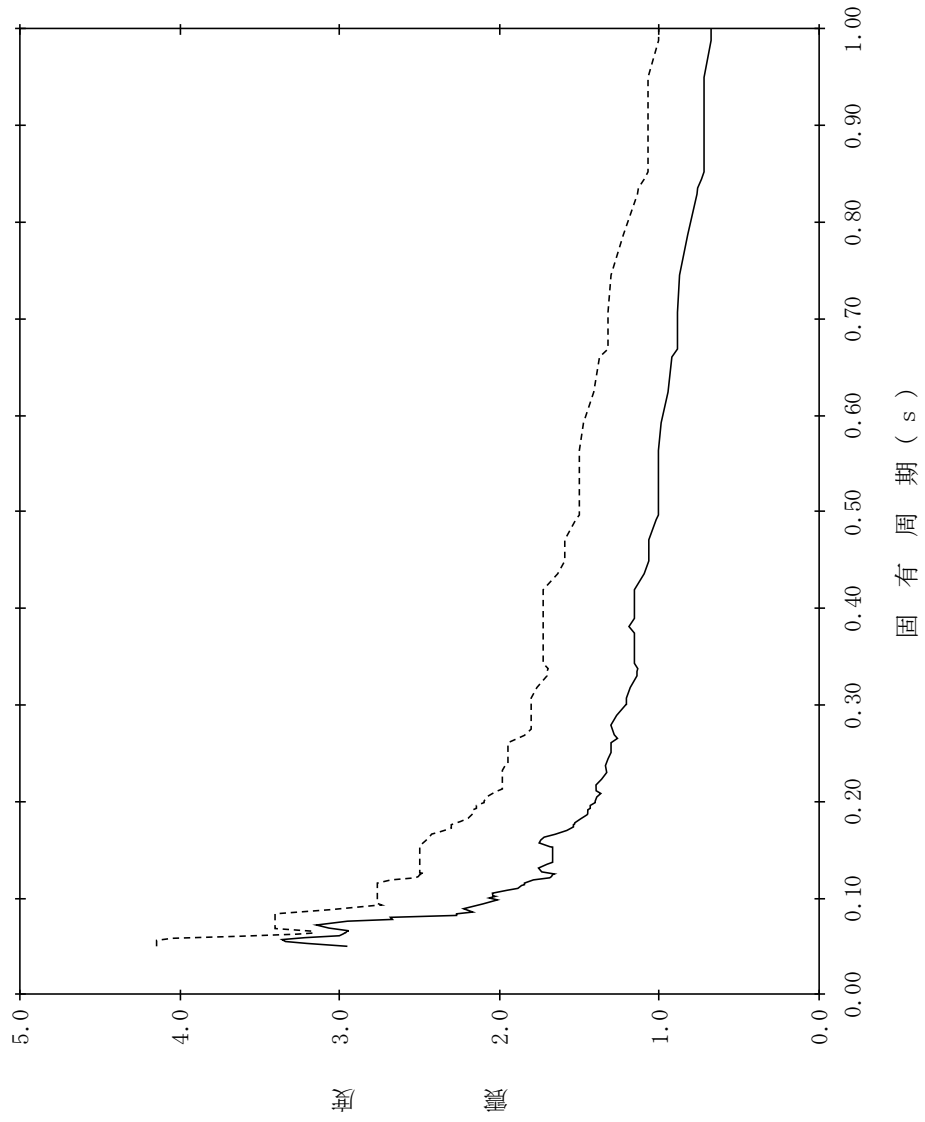
- - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV8】

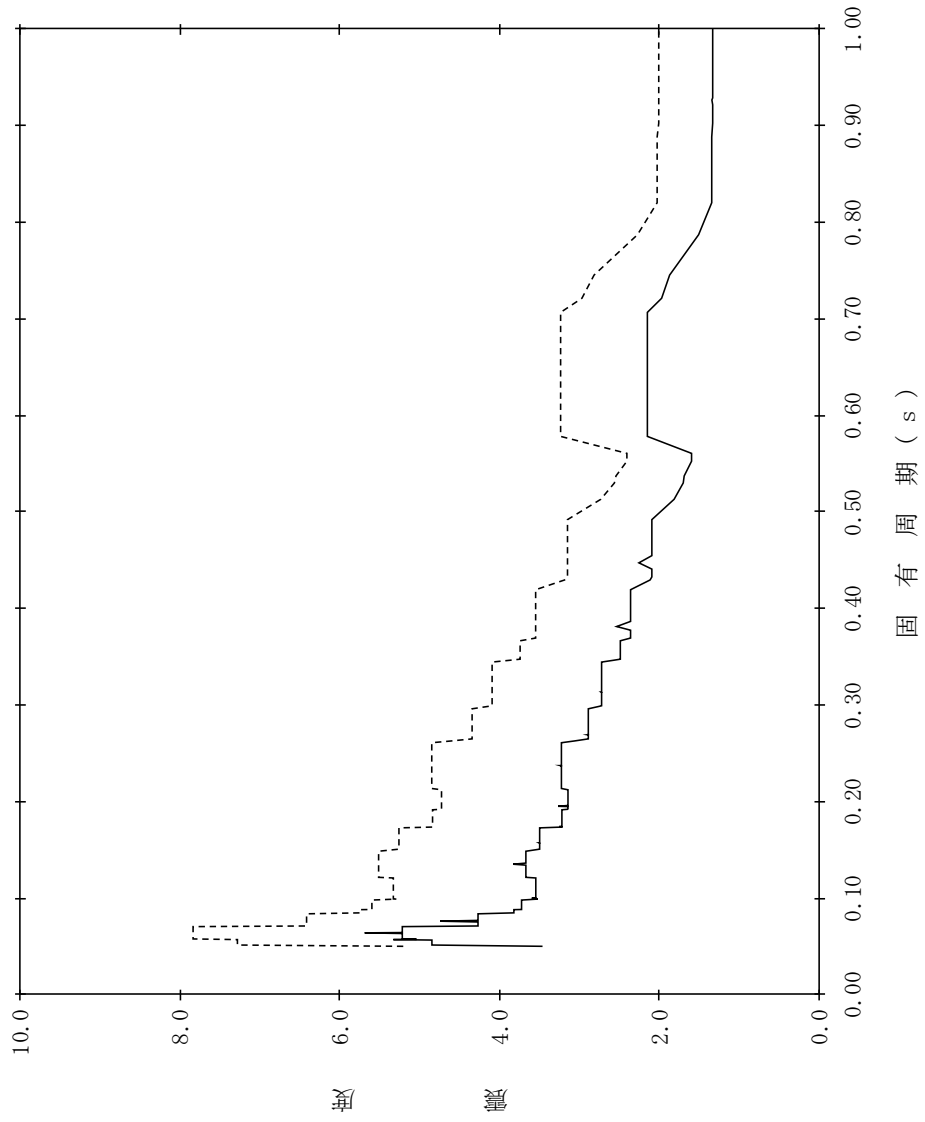
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL19.400m~EL14.700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：5.0%

— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV9】

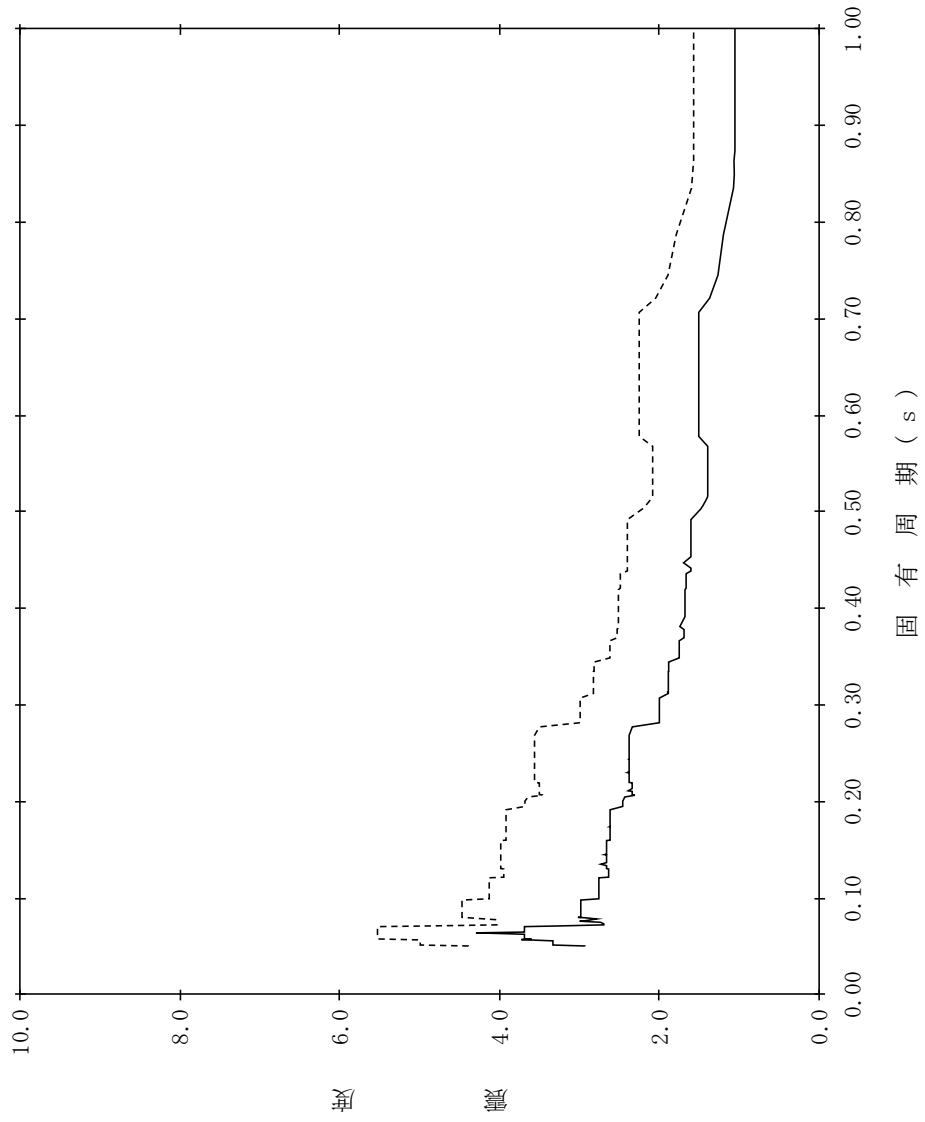
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV10】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：1.0%

——— 設計用床応答スペクトルⅠ（鉛直方向）
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ（鉛直方向）

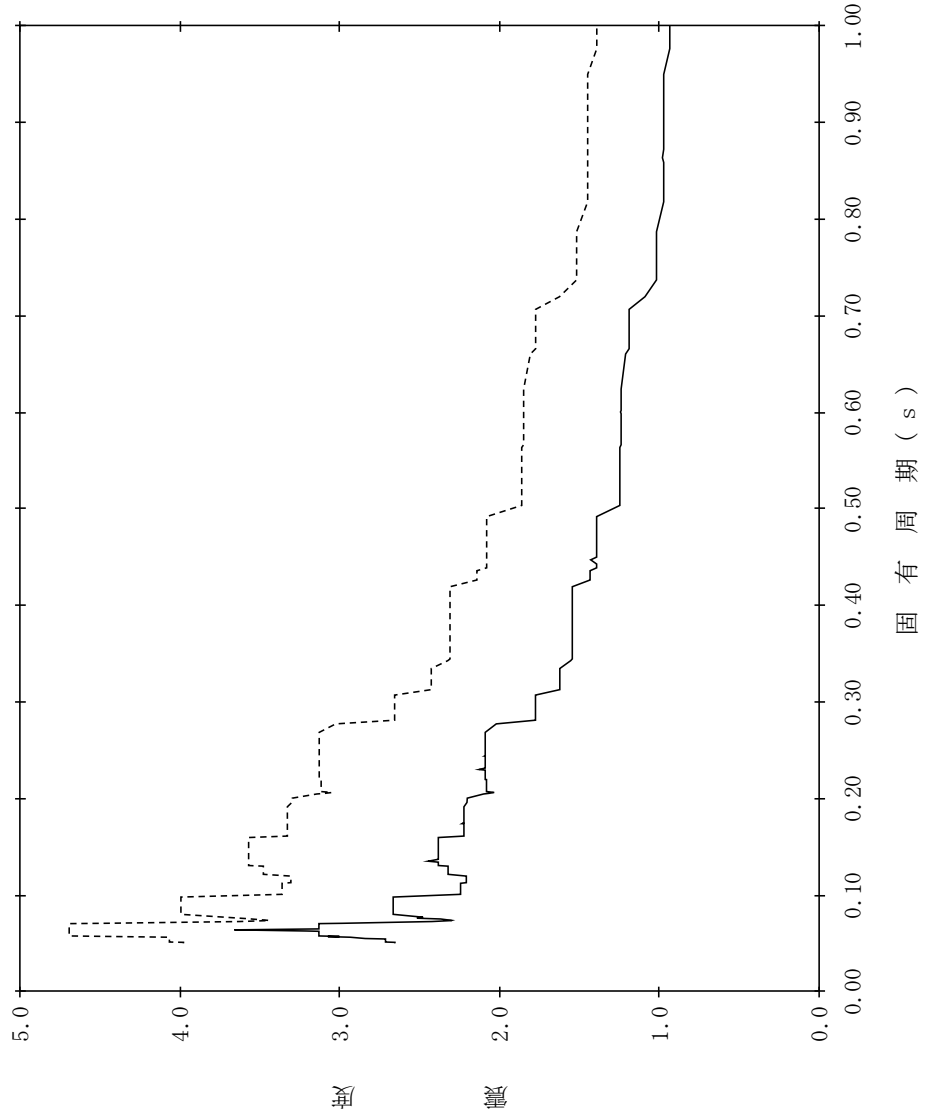


【NS2-1FV-SsV-1FV11】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：1.5%

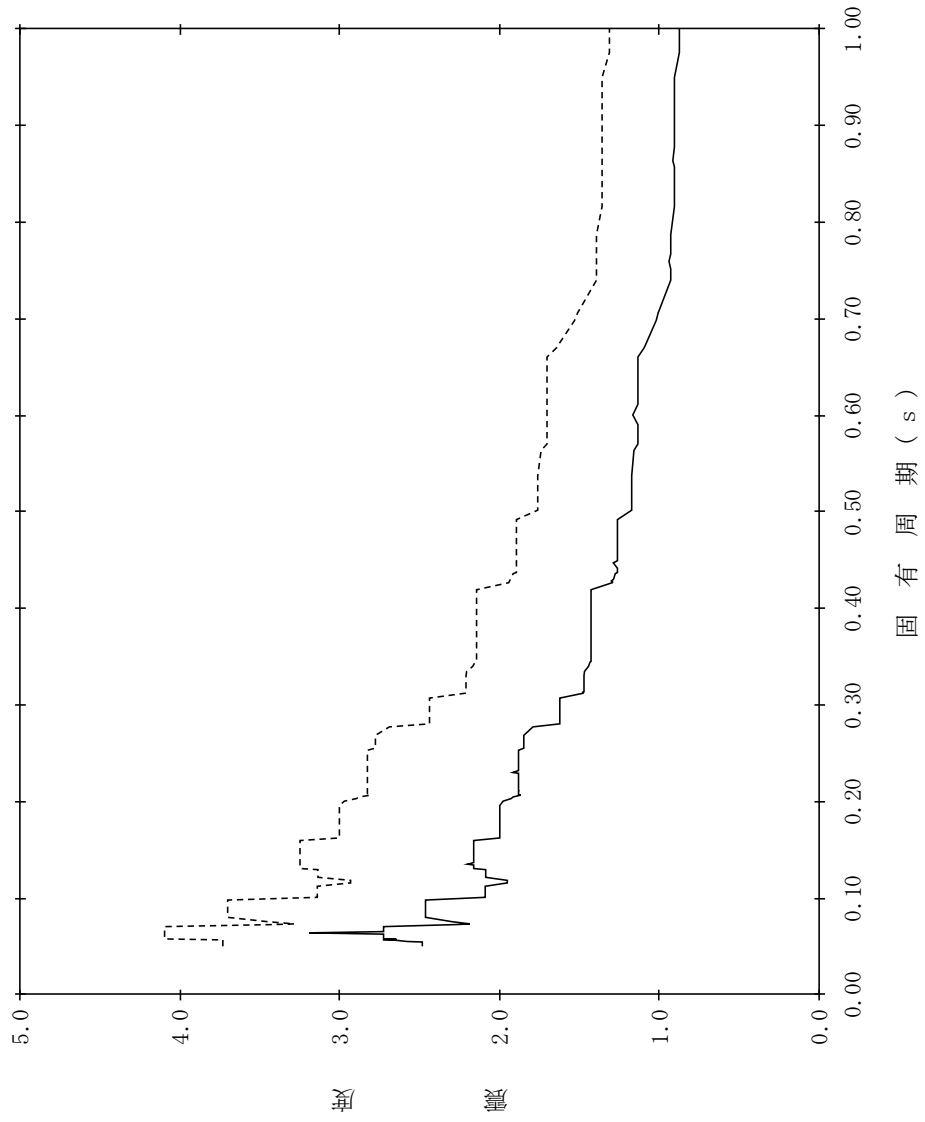
—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

----- 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV12】

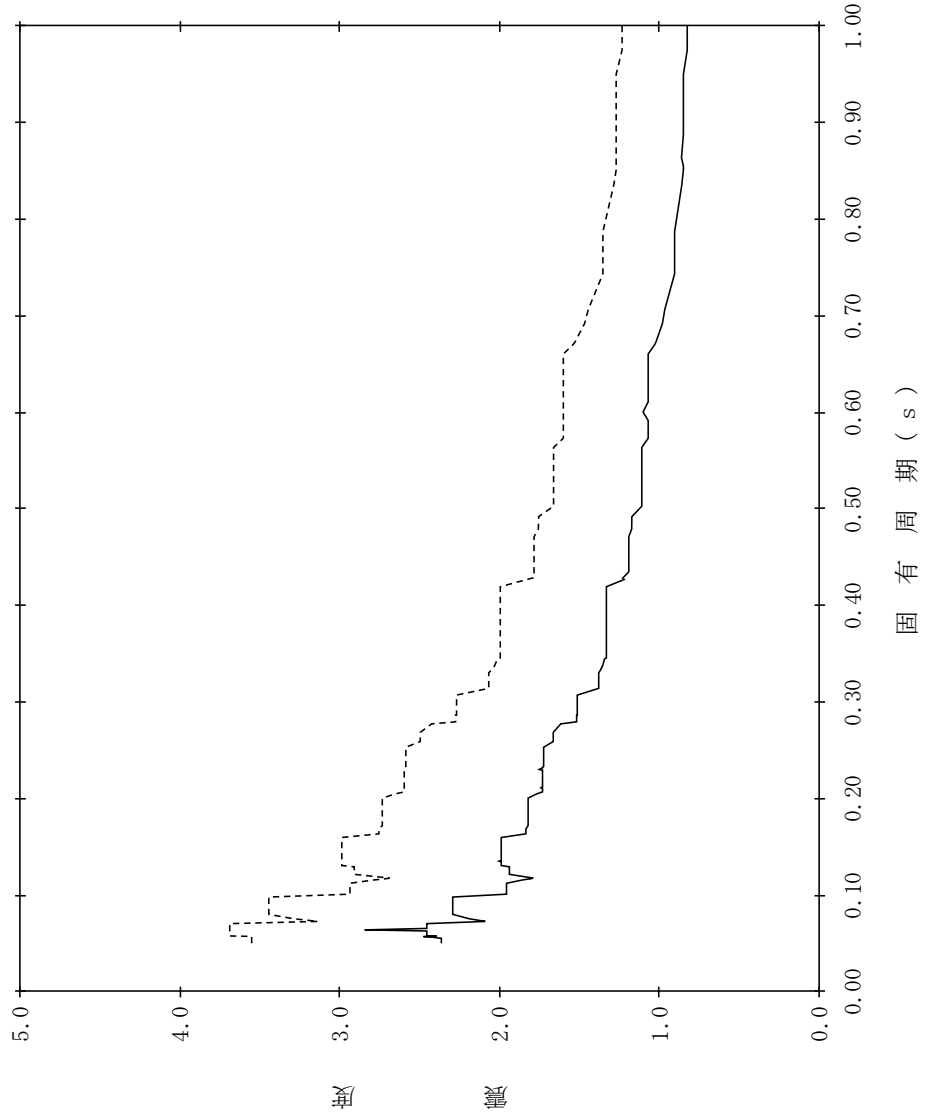
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：2.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV13】

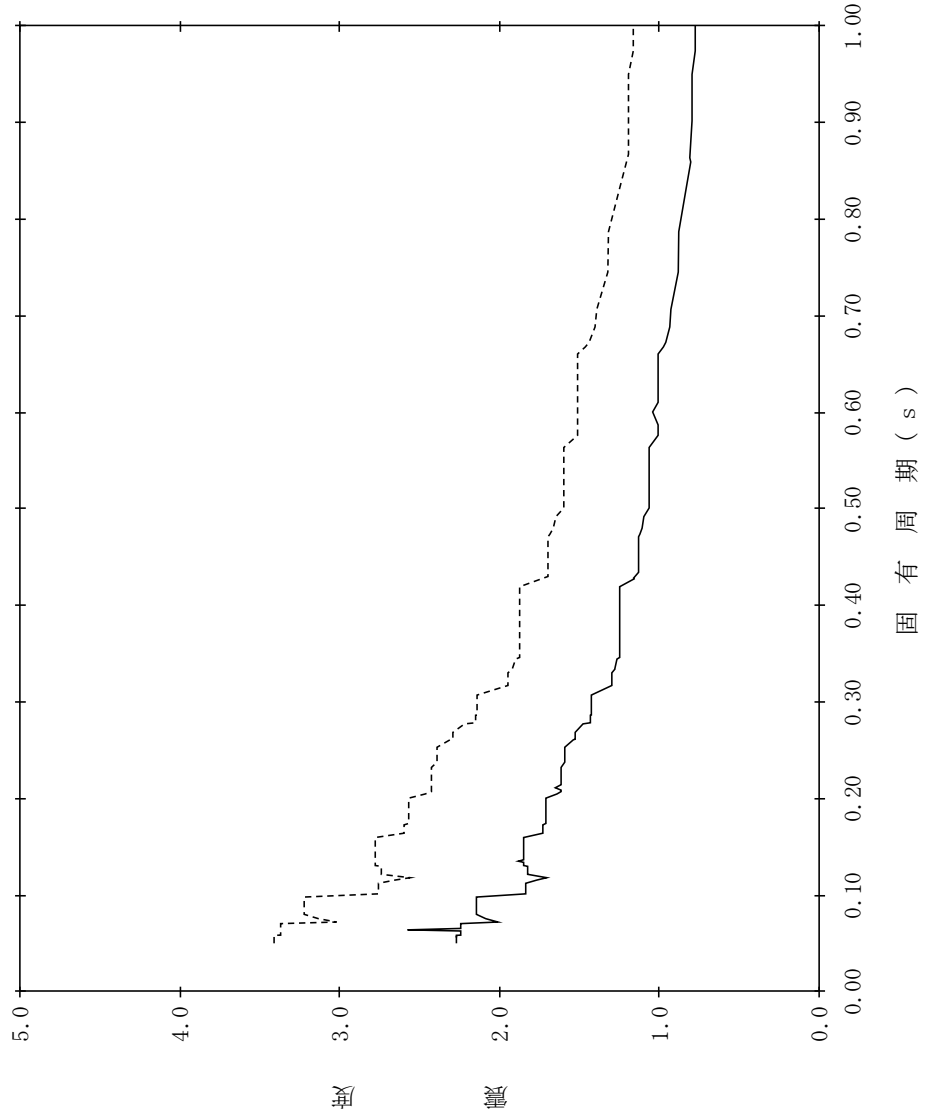
構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：2.5%

——— 設計用床応答スペクトルⅠ（鉛直方向）
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ（鉛直方向）



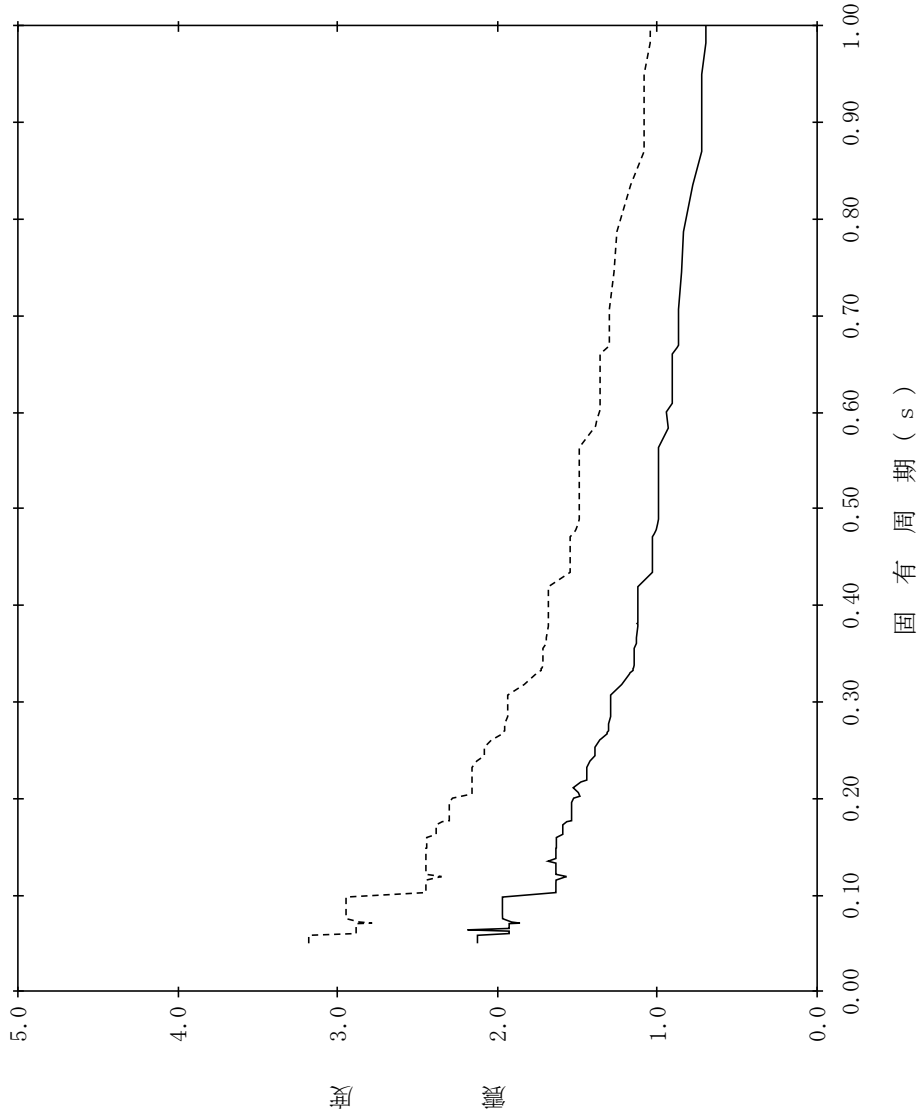
【NS2-1FV-SsV-1FV14】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV15】

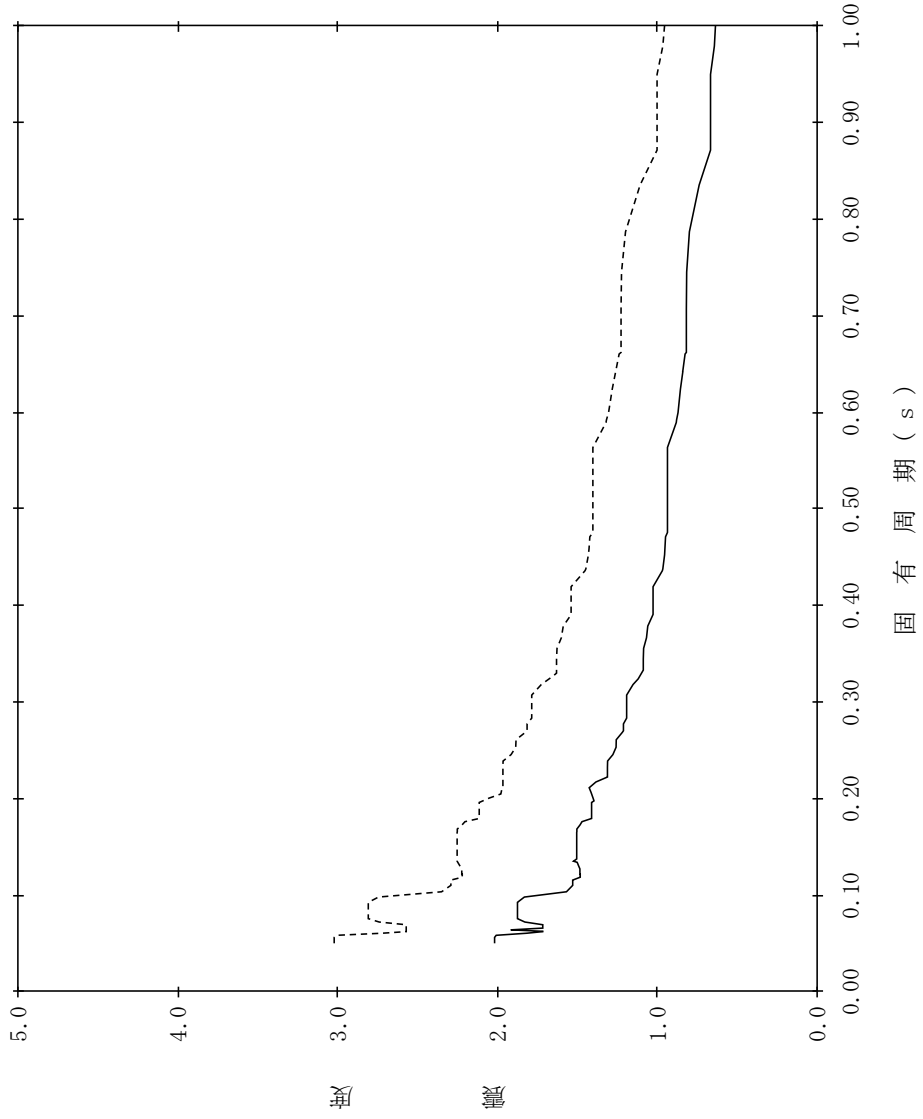
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV16】

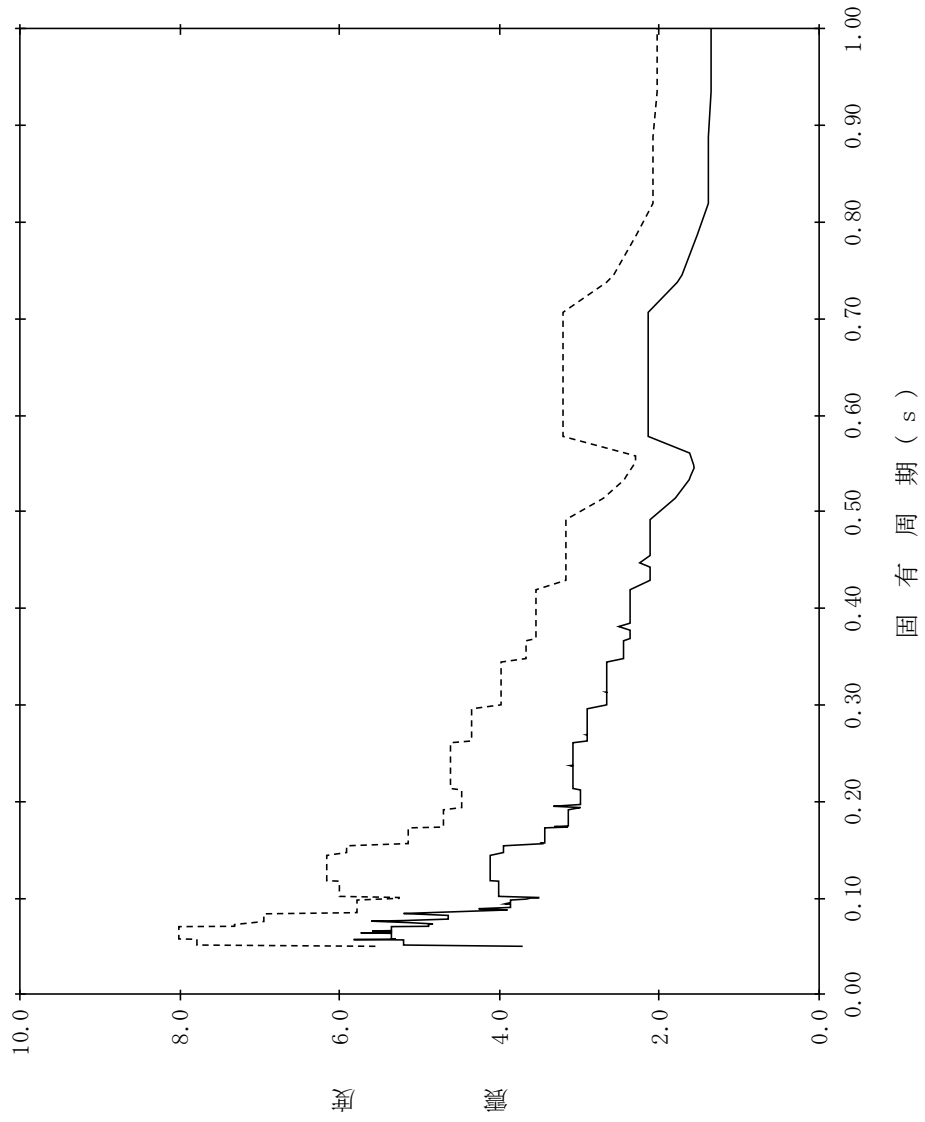
構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL8.800m～EL7.600m
 減衰定数：5.0%

——— 設計用床応答スペクトルⅠ（鉛直方向）
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ（鉛直方向）



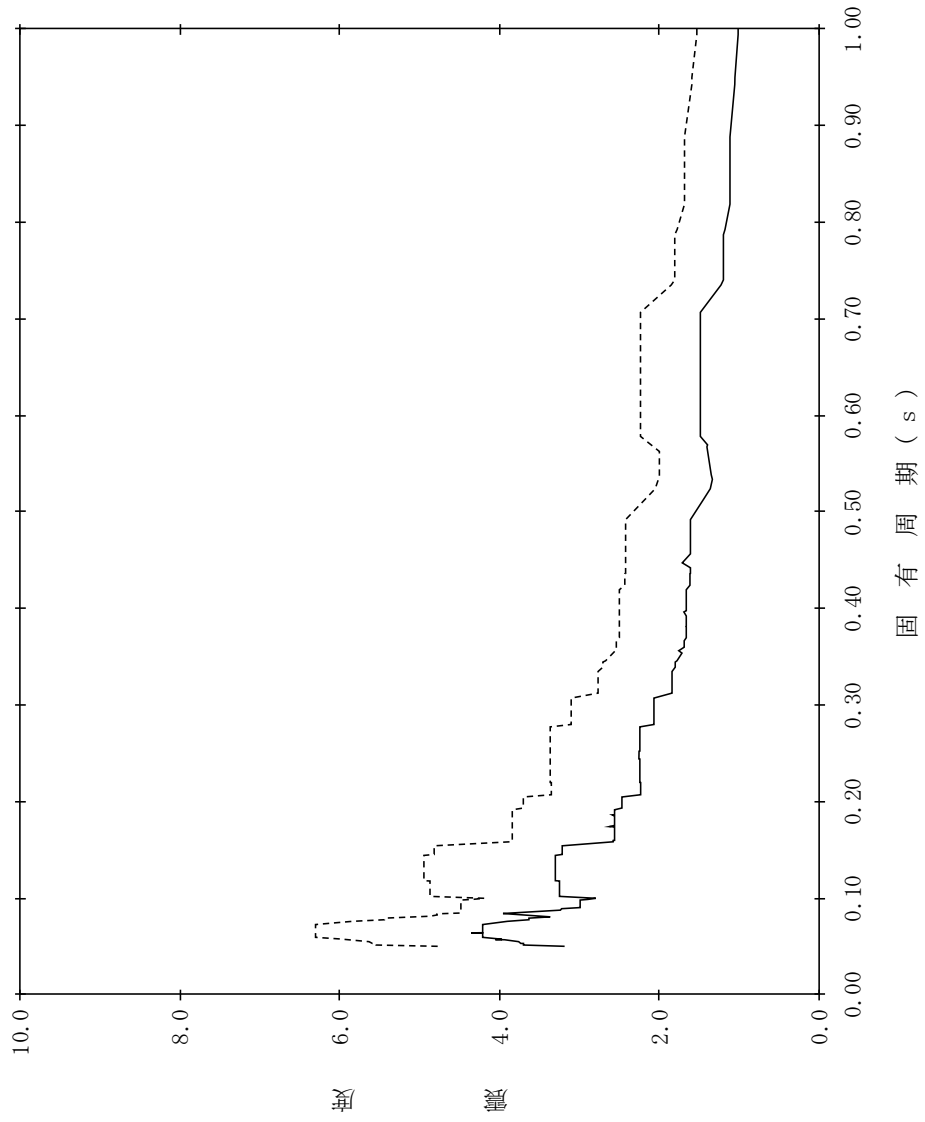
【NS2-1FV-SsV-1FVI7】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



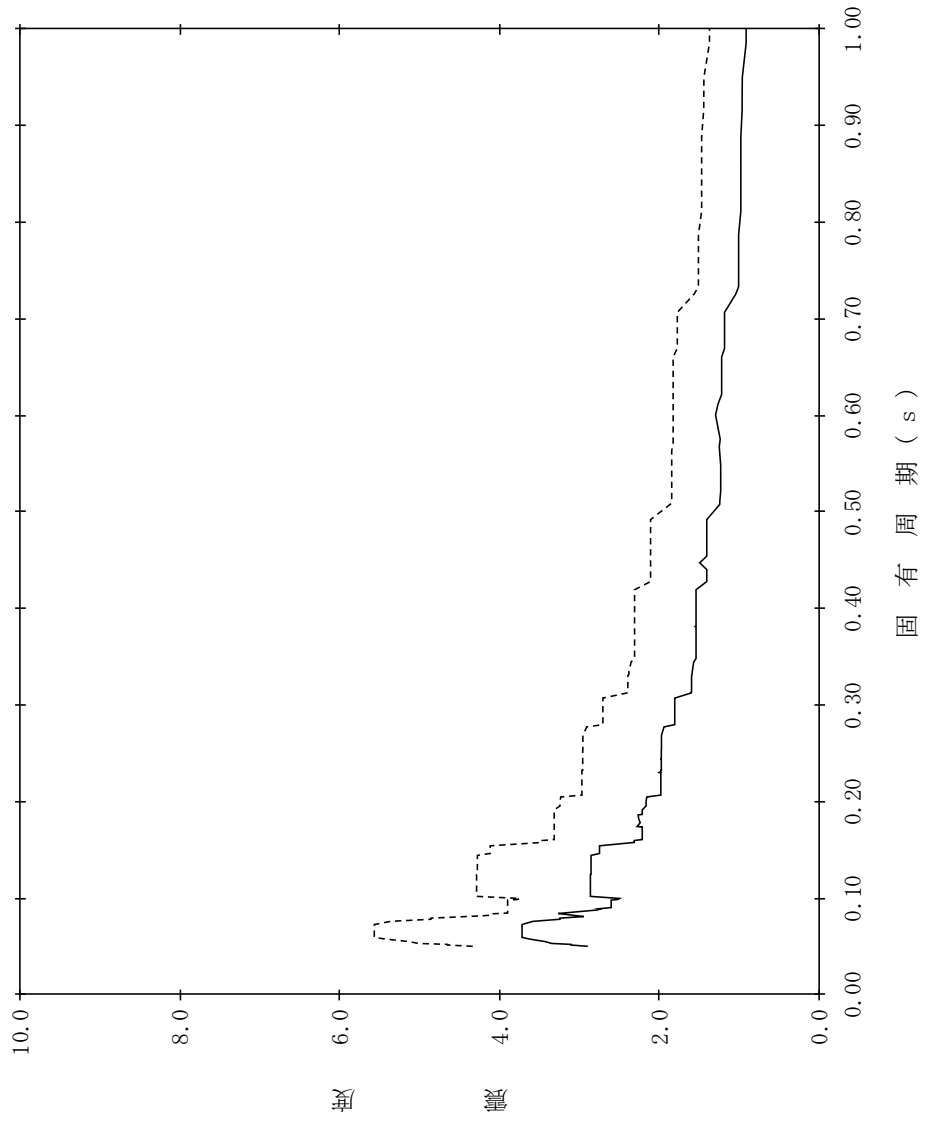
【NS2-1FV-SsV-1FV18】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV19】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

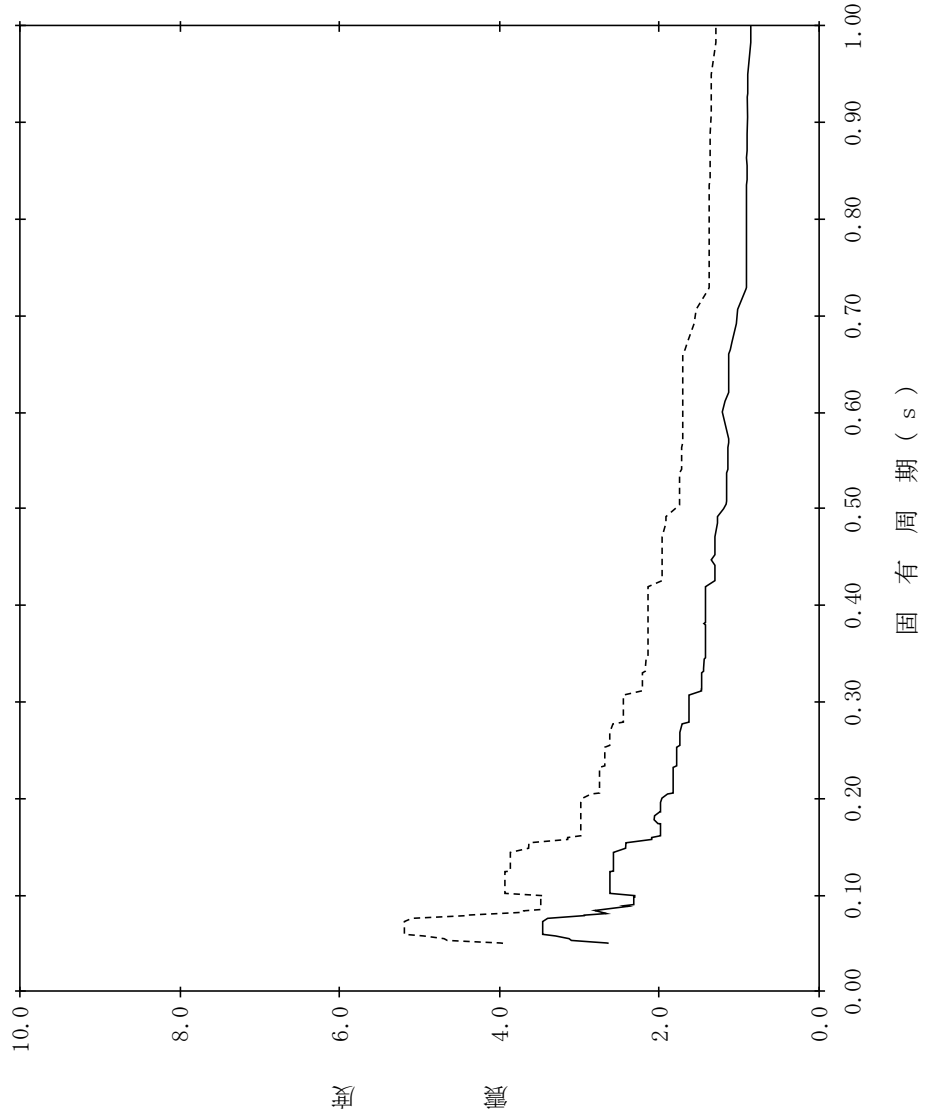


【NS2-1FV-SsV-1FV20】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

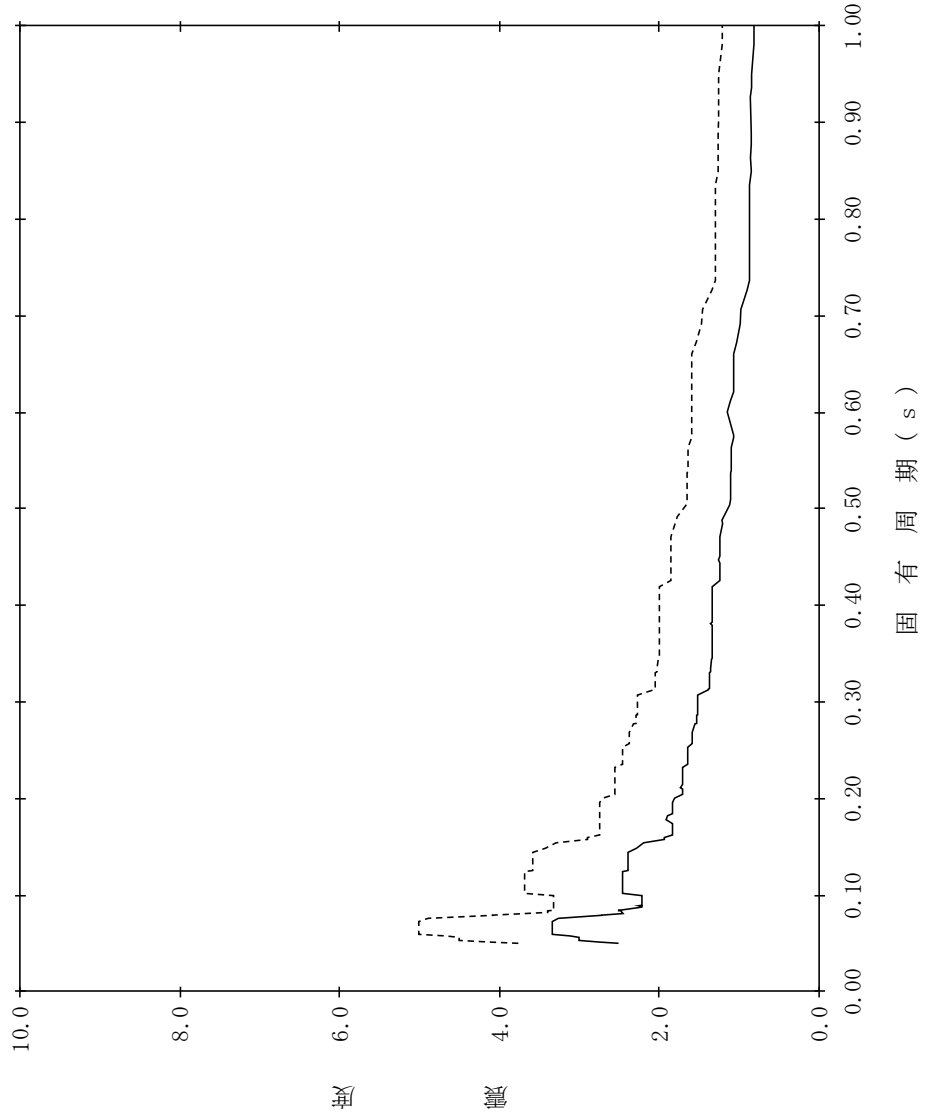


【NS2-1FV-SsV-1FV21】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

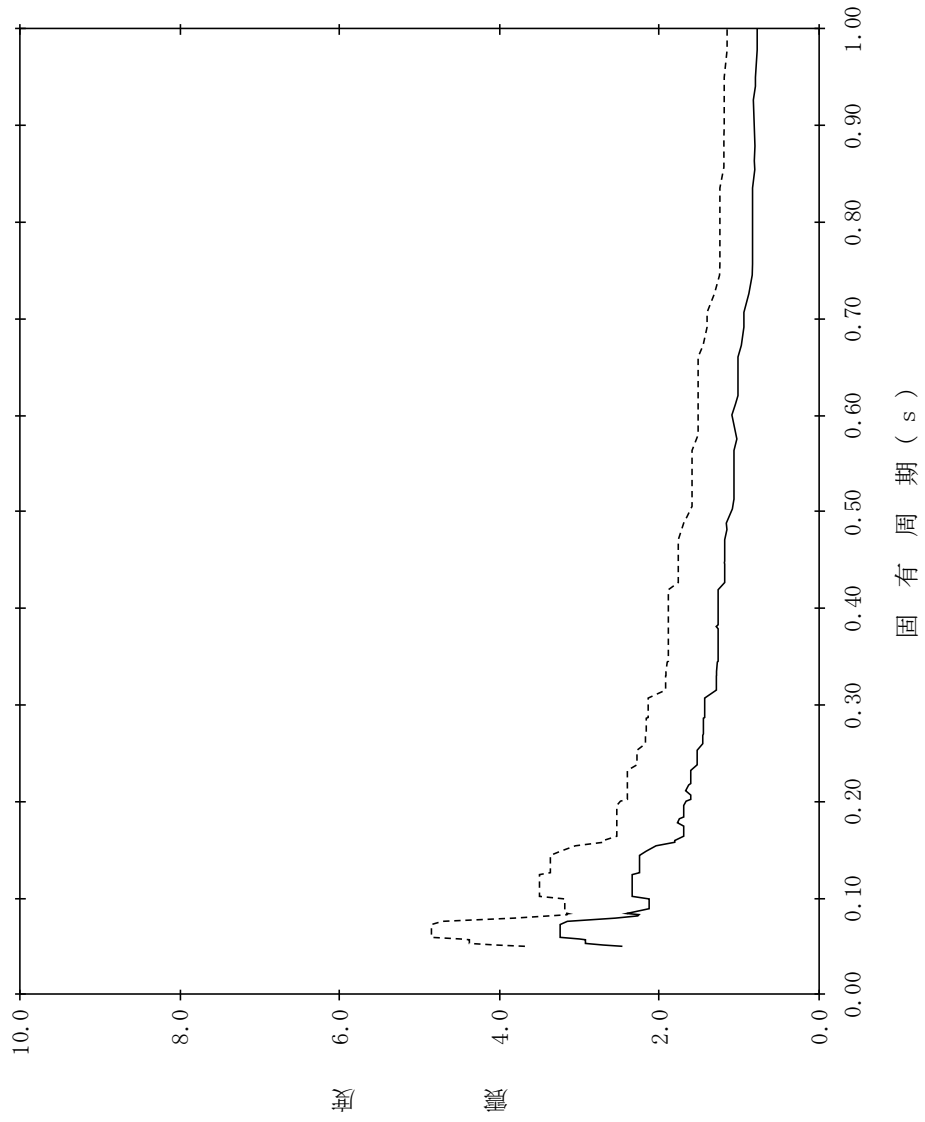
- - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-1FV-SsV-1FV22】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：3.0%

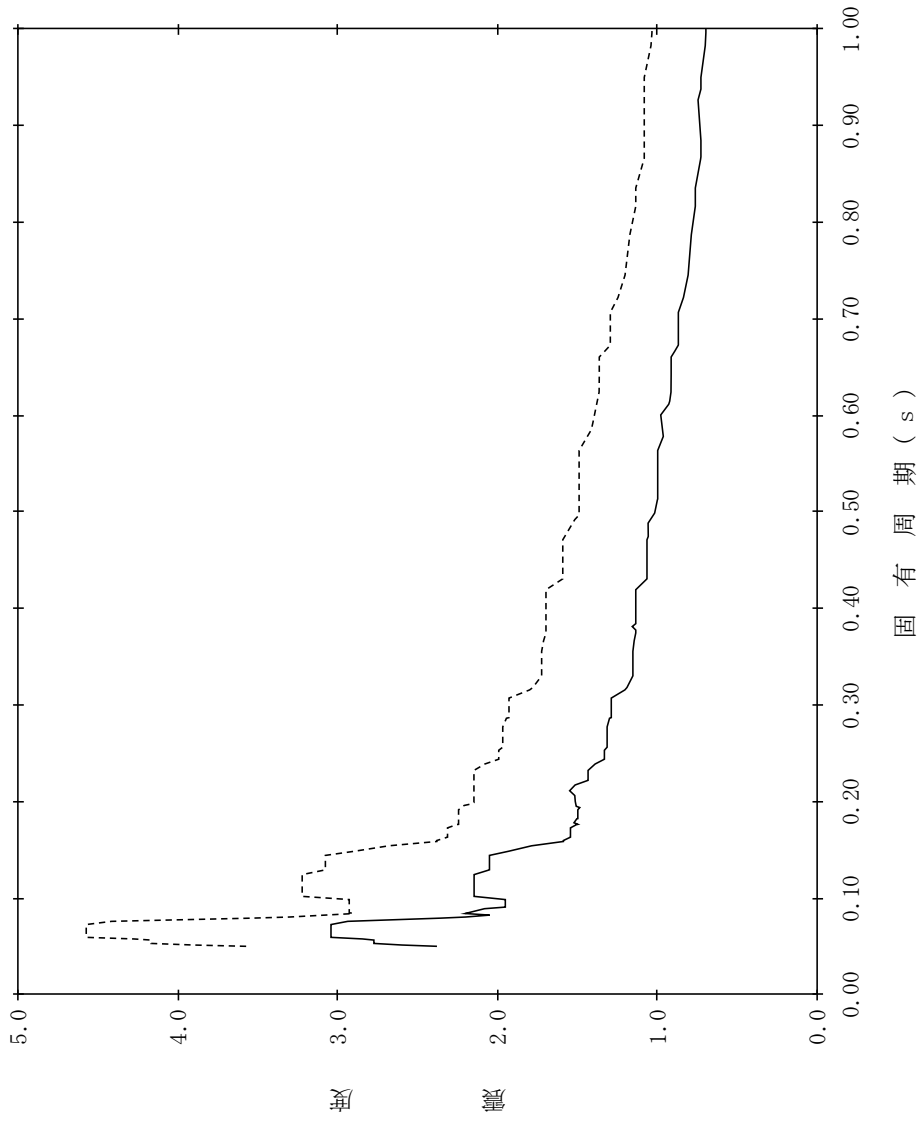
—— 設計用床応答スペクトルⅠ（鉛直方向）
 - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ（鉛直方向）



【NS2-1FV-SsV-1FV23】

構造物名：第1ベントフィルタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：4.0%

———— 設計用床応答スペクトルⅠ（鉛直方向）
 - - - - - 設計用床応答スペクトルⅡ（鉛直方向）



【NS2-1FV-SsV-1FV24】

構造物名：第1ベントパイラタ格納槽
 標高：EL. 700m
 減衰定数：5.0%

—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)

- - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

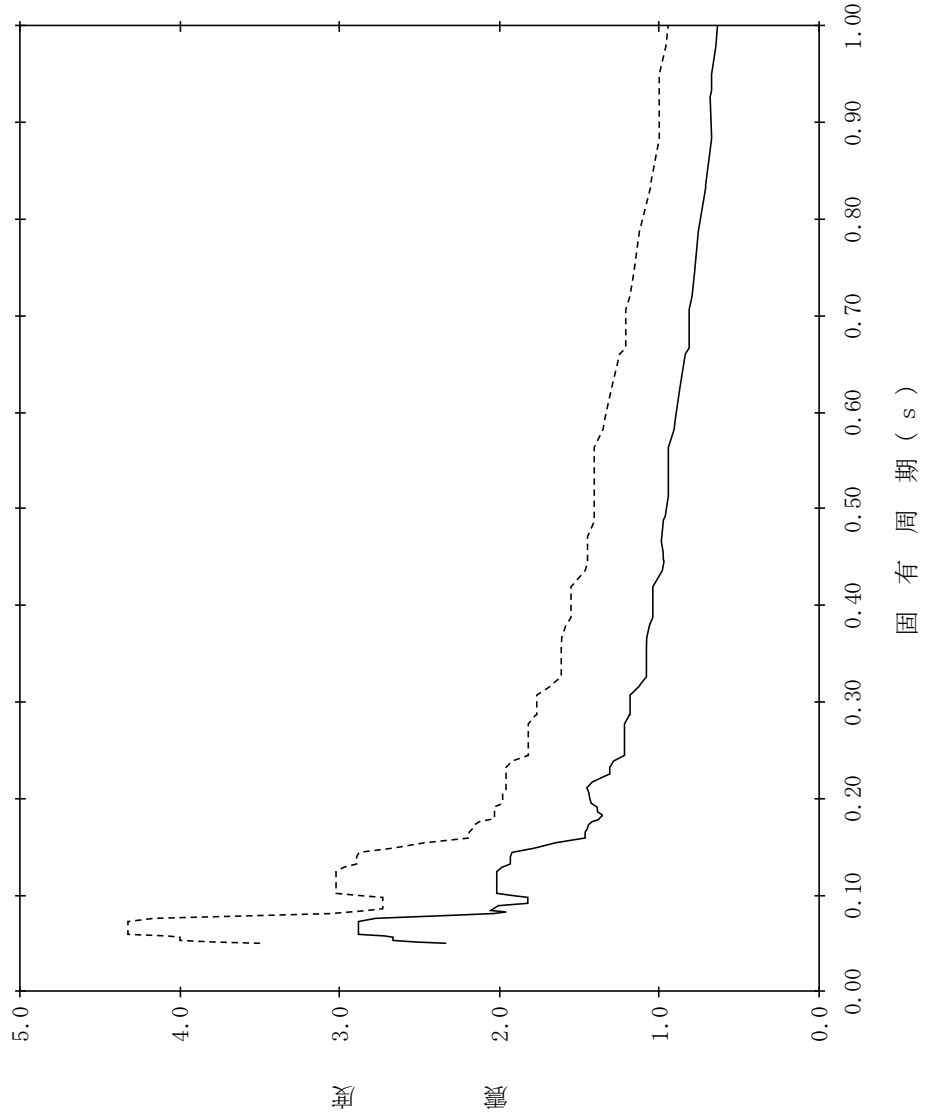


表 4.4-15 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表

(低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (1/3)

地震波	建物機器	方向	節点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S _s	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	NS方向	2042	18.300	0.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 1
					1.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 2
					1.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 3
					2.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 4
					2.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 5
					3.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 6
					4.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 7
					5.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 8
			1931(水室), 1946, 2121(ポンプ室)	14.700	0.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 9
					1.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 10
					1.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 11
					2.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 12
					2.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 13
					3.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 14
					4.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 15
					5.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 16
			1939(水室), 1954(ポンプ室)	8.200	0.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 17
					1.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 18
					1.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 19
					2.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 20
					2.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 21
					3.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 22
					4.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 23
					5.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 24
			1949, 2189(水室), 1964(ポンプ室)	0.700	0.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 25
					1.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 26
					1.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 27
					2.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 28
					2.5	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 29
					3.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 30
					4.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 31
					5.0	NS2 - FLSR - S _s NS - FLSR 32

表 4.4-15 設計用床応答スペクトル (S s) 一覧表

(低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (2/3)

地震波	建物機器	方向	節点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S s	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	EW方向	2743	18.300	0.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 1
					1.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 2
					1.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 3
					2.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 4
					2.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 5
					3.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 6
					4.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 7
					5.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 8
			2397, 2751	14.700	0.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 9
					1.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 10
					1.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 11
					2.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 12
					2.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 13
					3.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 14
					4.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 15
					5.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 16
			2404	8.200	0.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 17
					1.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 18
					1.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 19
					2.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 20
					2.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 21
					3.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 22
					4.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 23
					5.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 24
			2413, 2777, 3472	0.700	0.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 25
					1.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 26
					1.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 27
					2.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 28
					2.5	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 29
					3.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 30
					4.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 31
					5.0	NS2 - FLSR - SsEW - FLSR 32

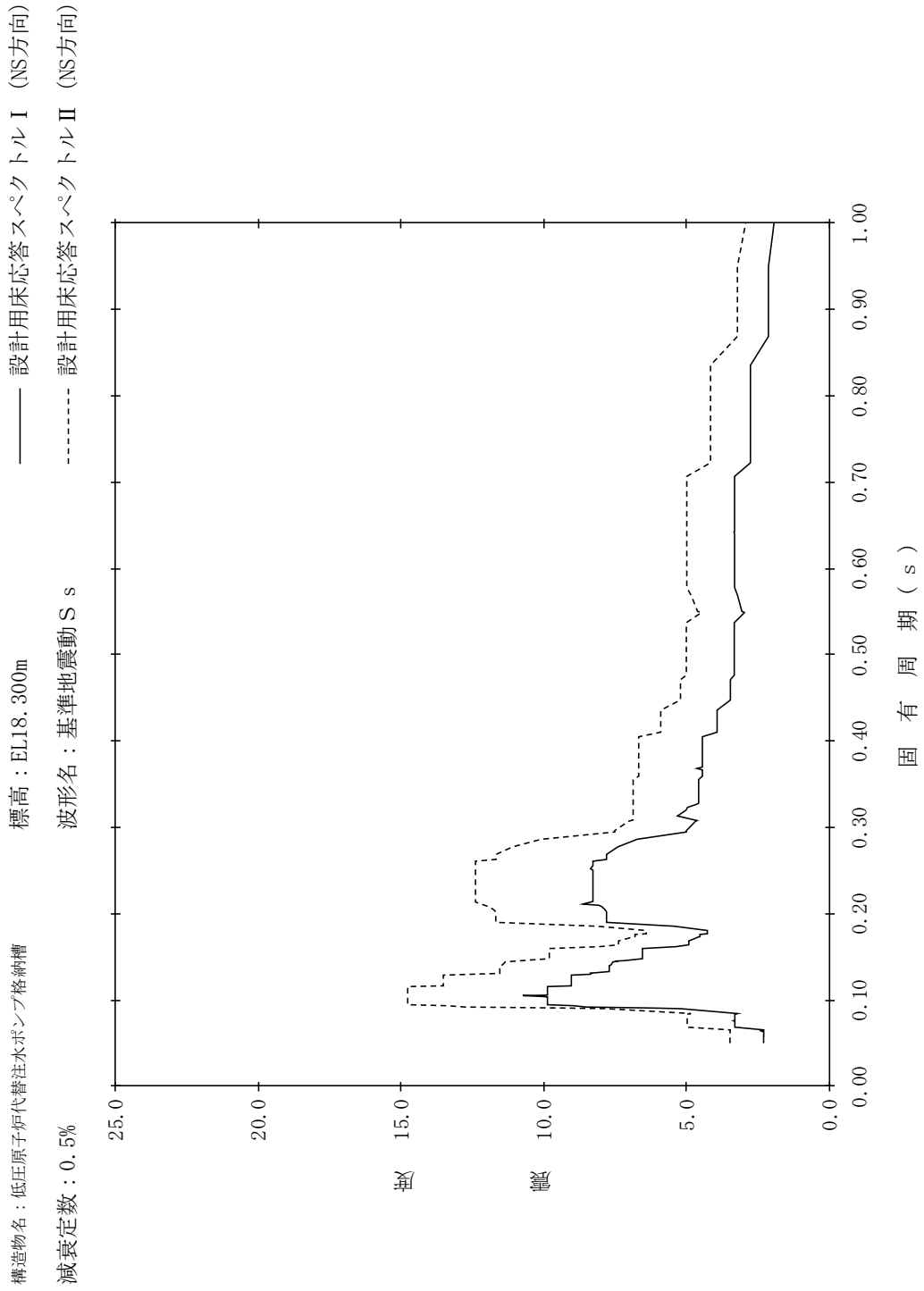
表 4.4-15 設計用床応答スペクトル (S s) 一覧表

(低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (3/3)

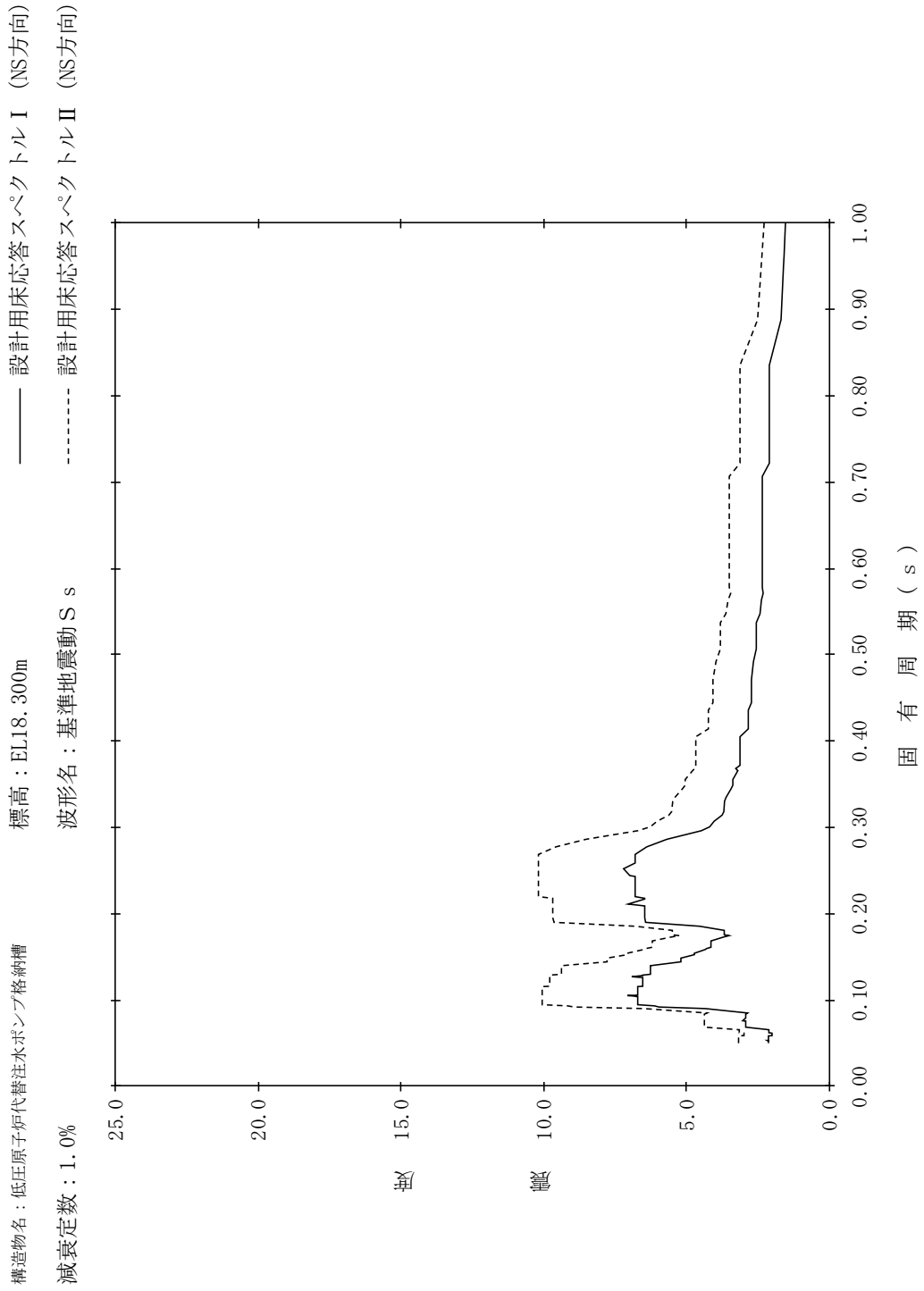
地震波	建物機器	方向	節点番号	標高 EL(m)	減衰定数 (%)	図番
S s	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	鉛直方向	2042 (ポンプ室), 2743 (EW断面)	18.300	0.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 1
					1.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 2
					1.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 3
					2.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 4
					2.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 5
					3.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 6
					4.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 7
					5.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 8
			1931 (水室), 1946, 2121 (ポンプ室), 2397, 2751 (EW断面)	14.700	0.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 9
					1.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 10
					1.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 11
					2.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 12
					2.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 13
					3.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 14
					4.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 15
					5.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 16
			1939 (水室), 1954 (ポンプ室), 2404 (EW断面)	8.200	0.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 17
					1.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 18
					1.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 19
					2.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 20
					2.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 21
					3.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 22
					4.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 23
					5.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 24
			1949, 2189 (水室), 1964 (ポンプ室), 2413, 2777, 3472 (EW断面)	0.700	0.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 25
					1.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 26
					1.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 27
					2.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 28
					2.5	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 29
					3.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 30
					4.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 31
					5.0	NS2 - FLSR - SsV - FLSR 32

S2 補 VI-2-1-7 R0

【NS2-FLSR-SsNS-FLSR1】

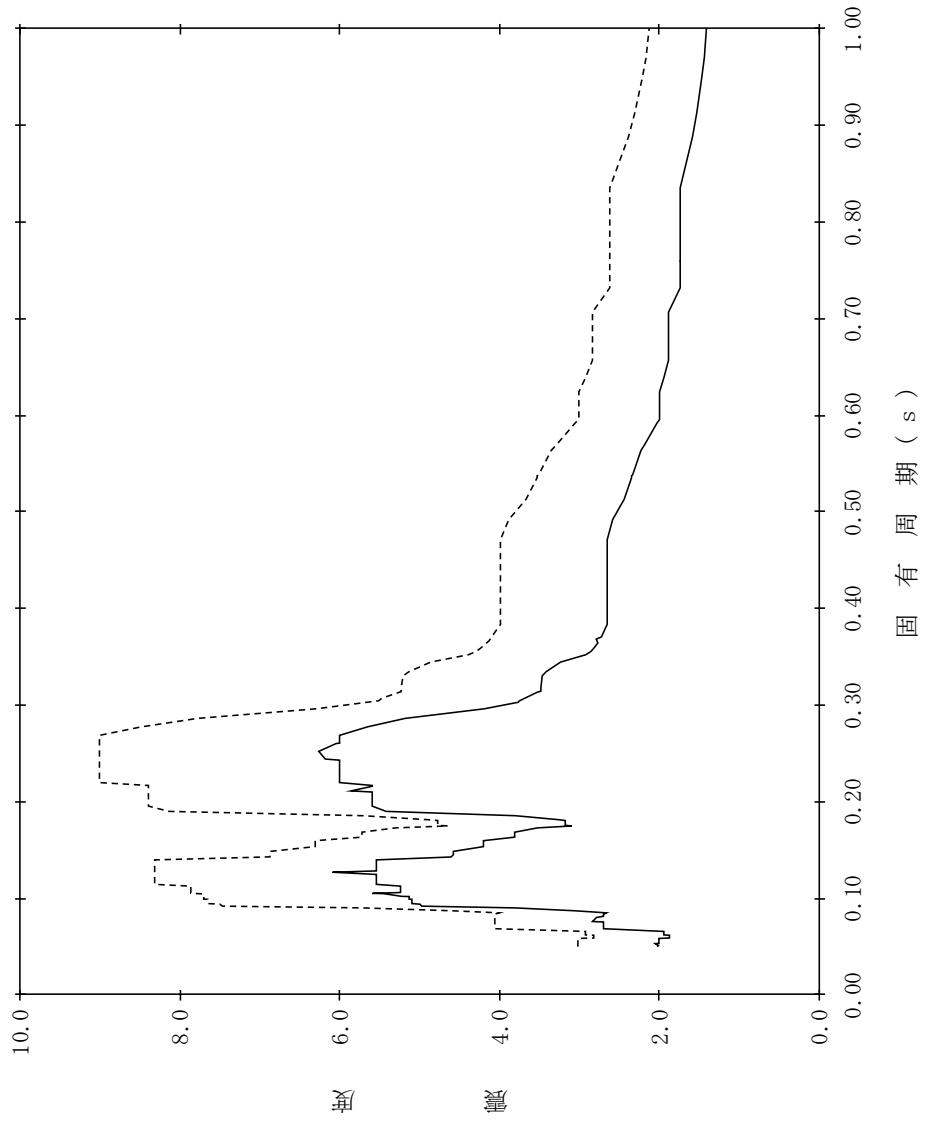


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR2】

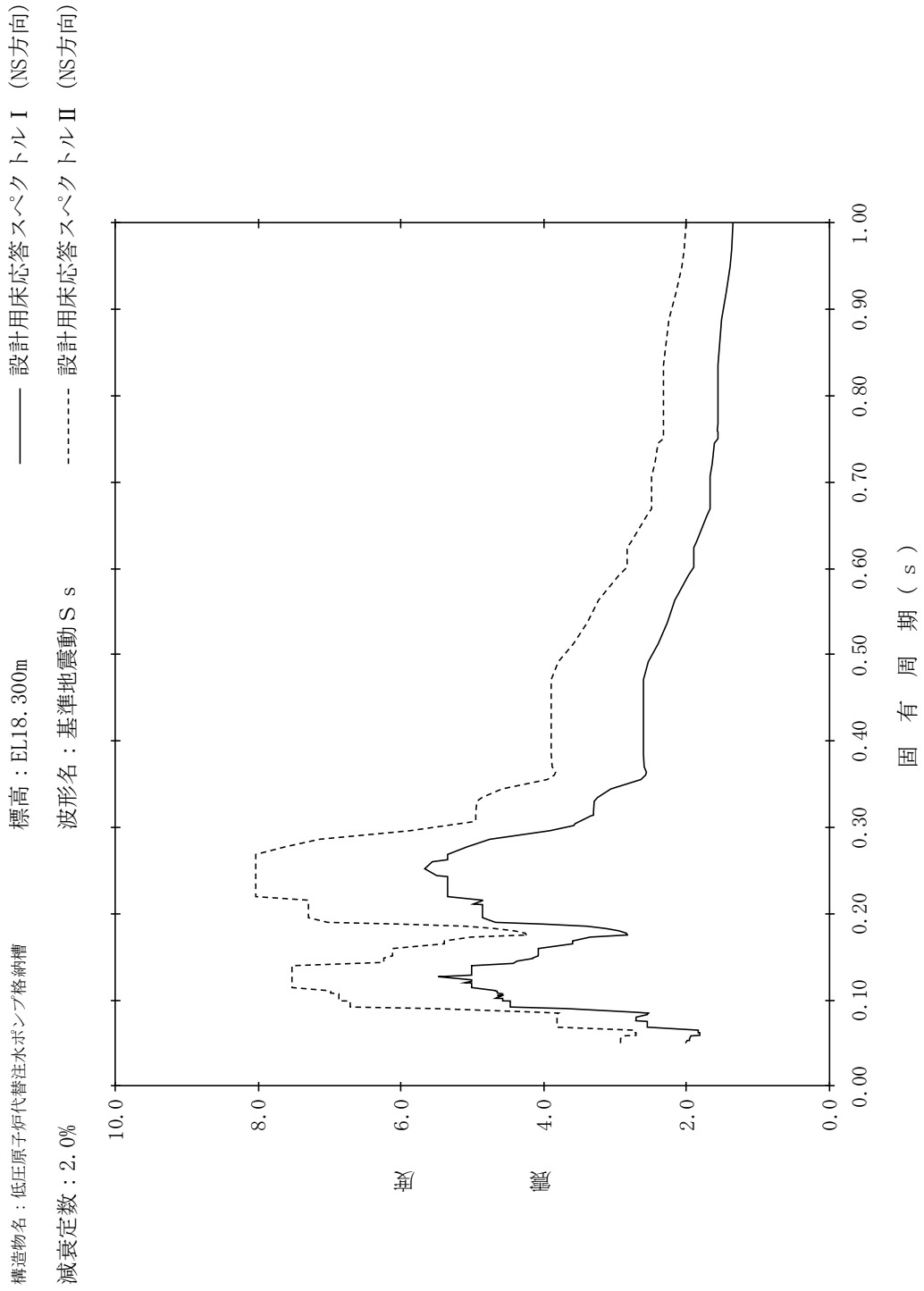


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR3】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



【NS2-FLSR-SsNS-FLSR4】

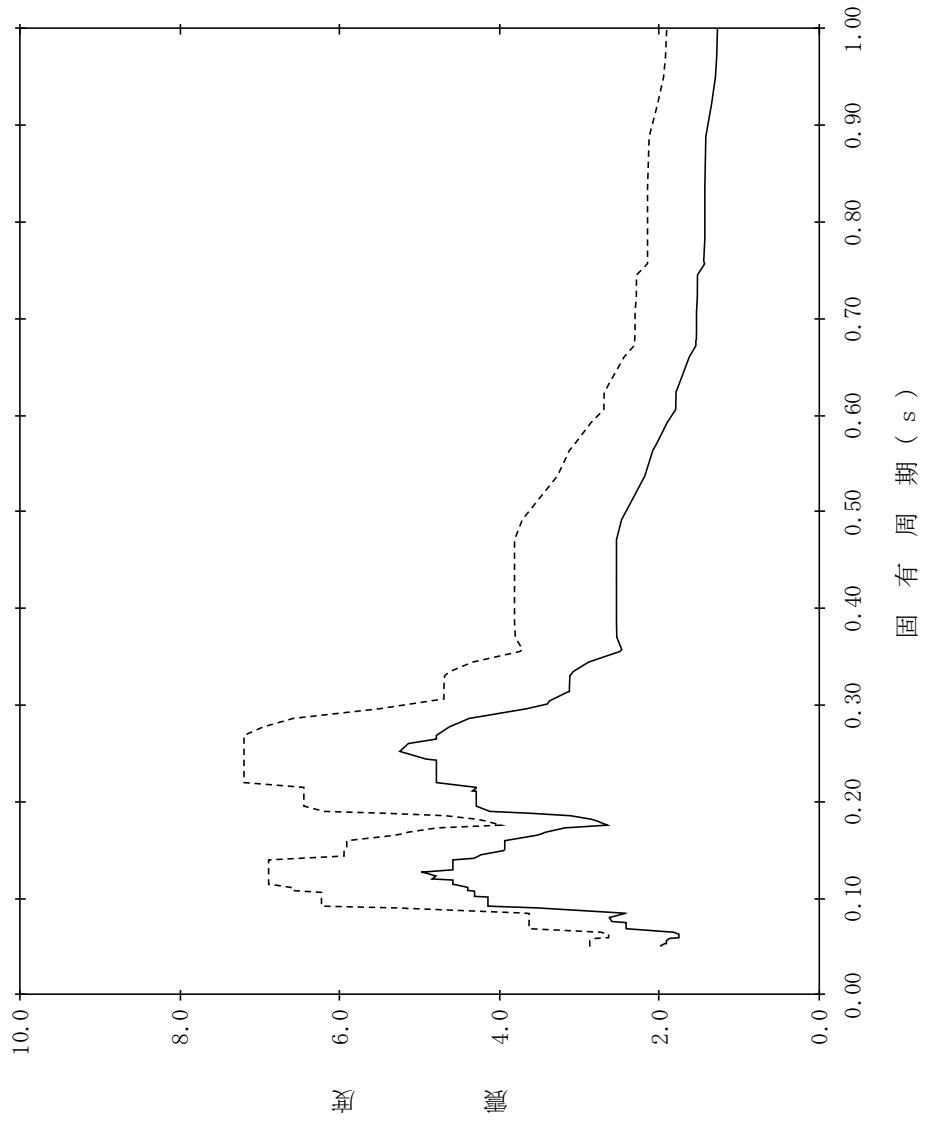


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR5】

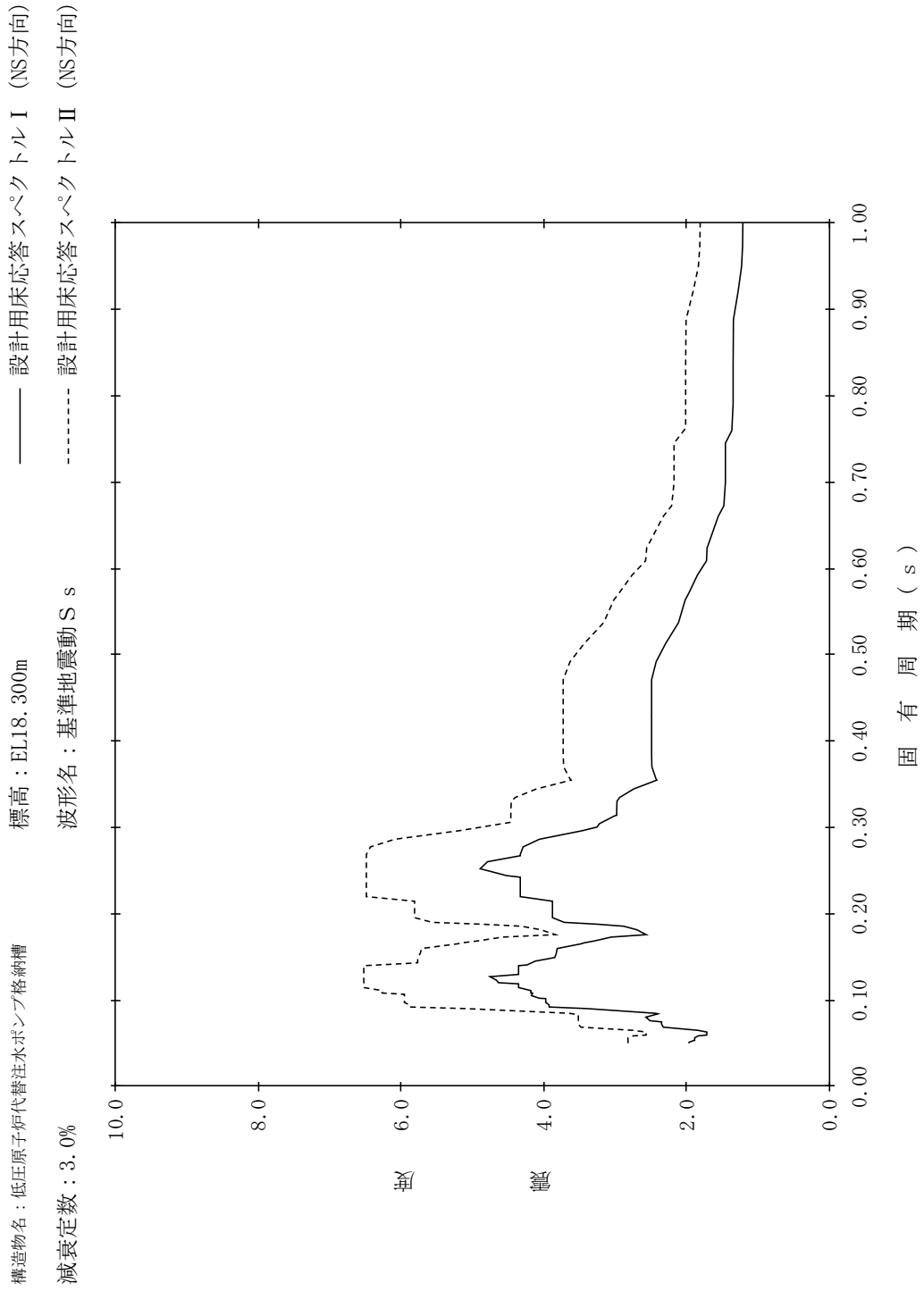
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 波形名：基準地震動 S s
 減衰定数：2.5%

—— 設計用床応答スペクトル I (NS方向)

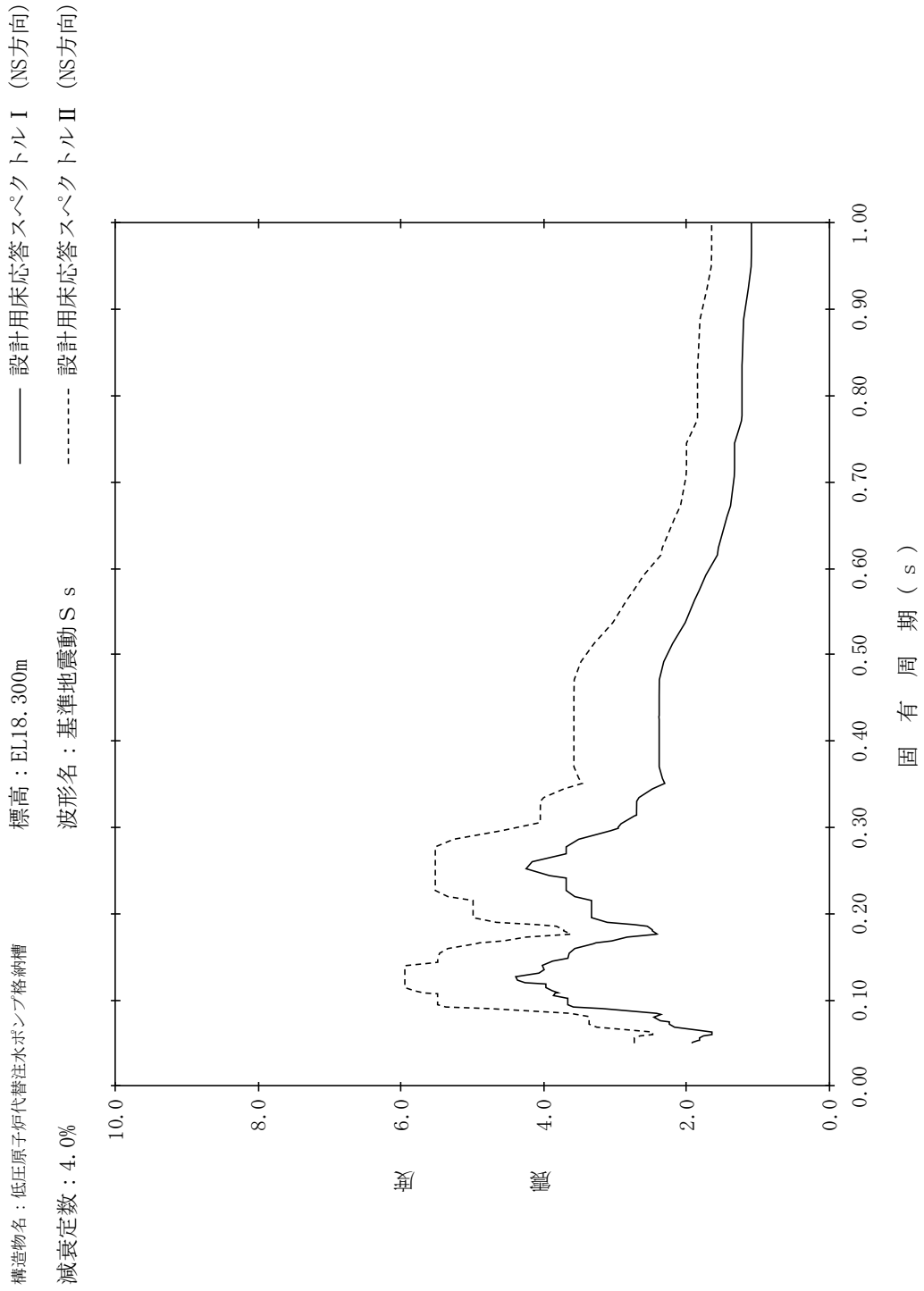
- - - - 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



【NS2-FLSR-SsNS-FLSR6】

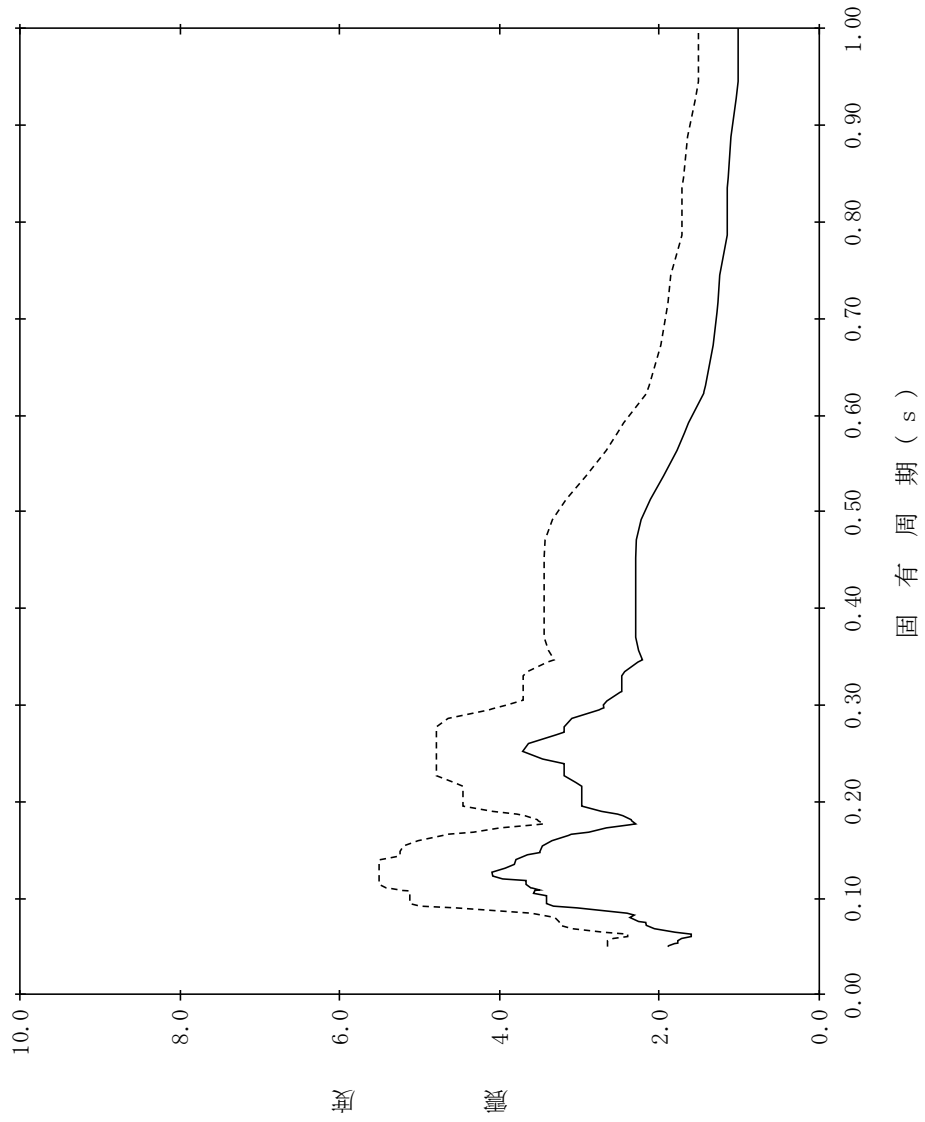


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR7】

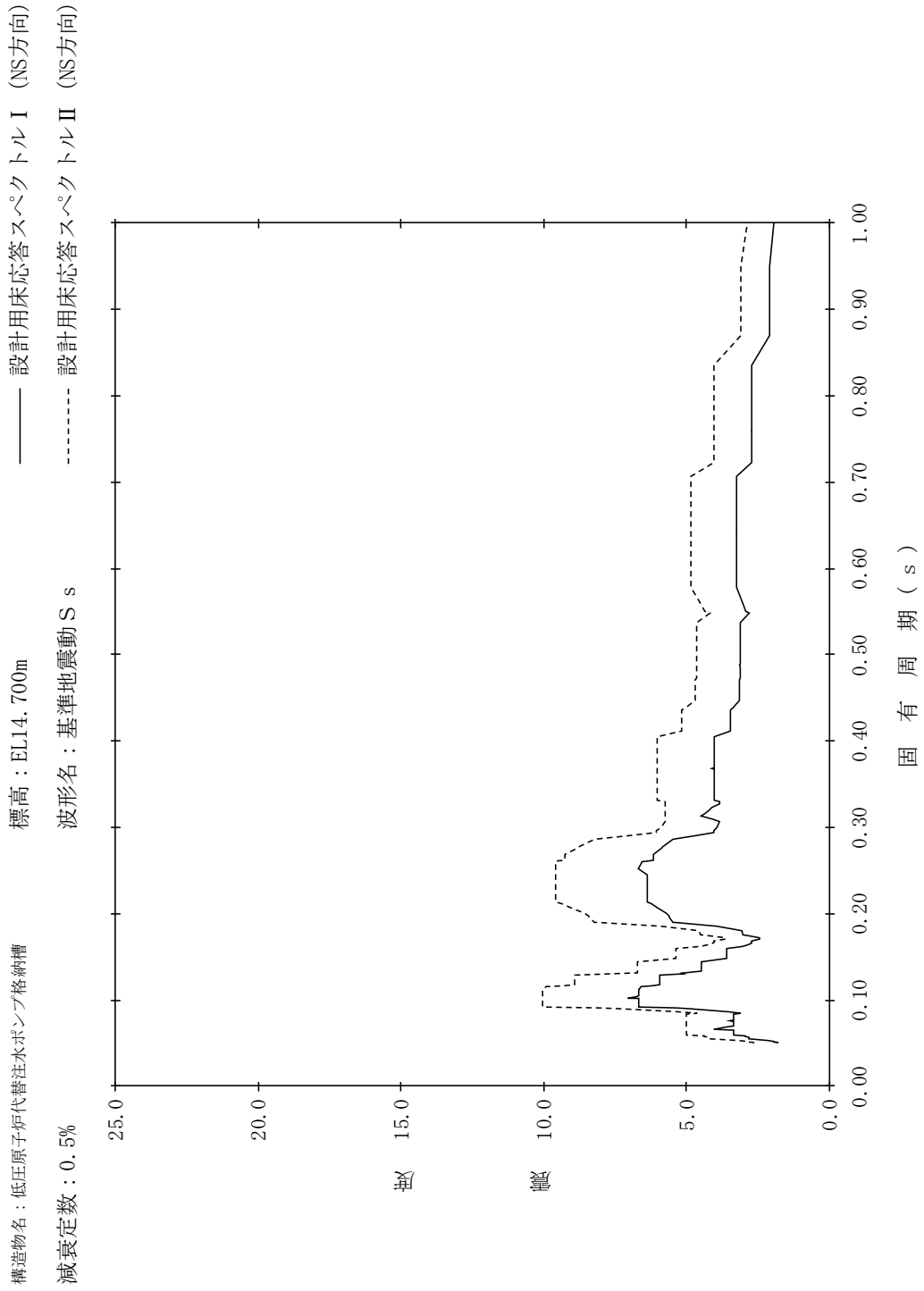


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR8】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

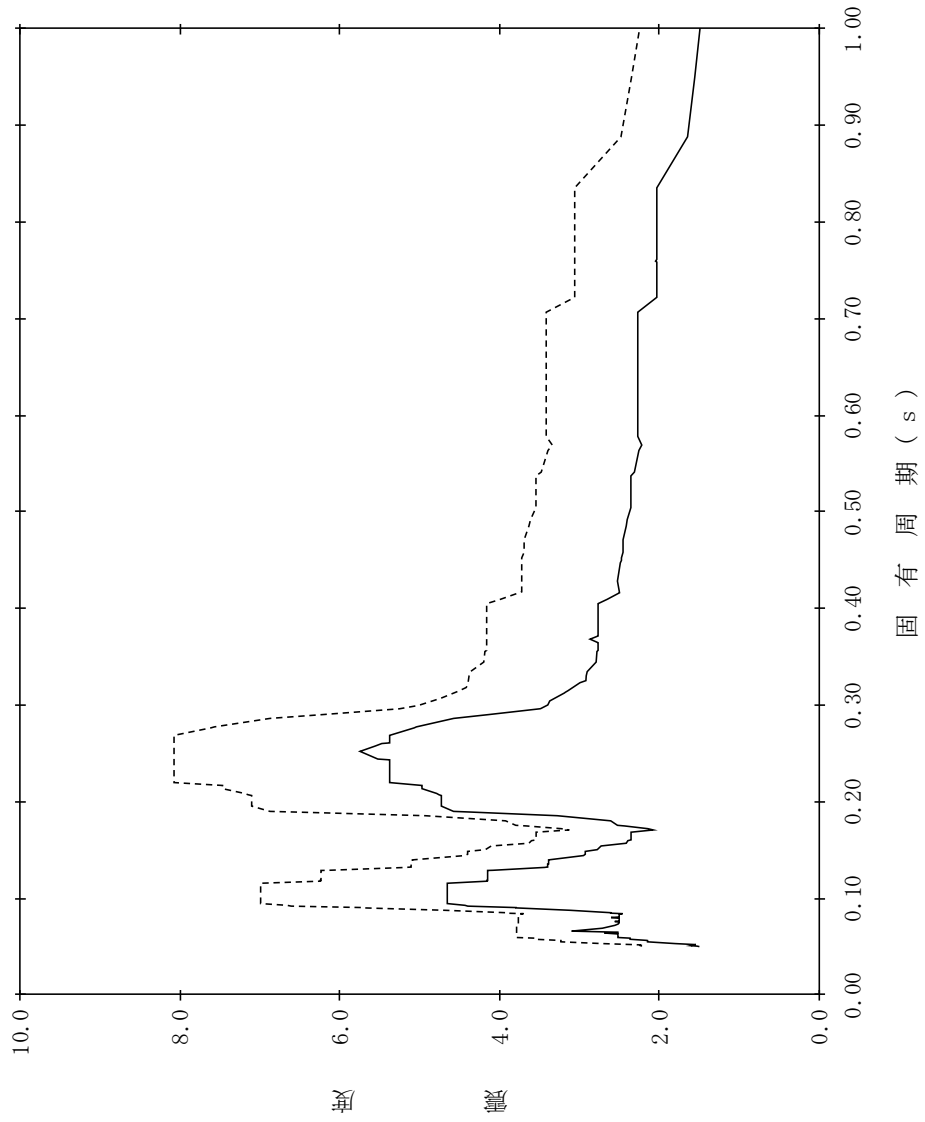


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR9】



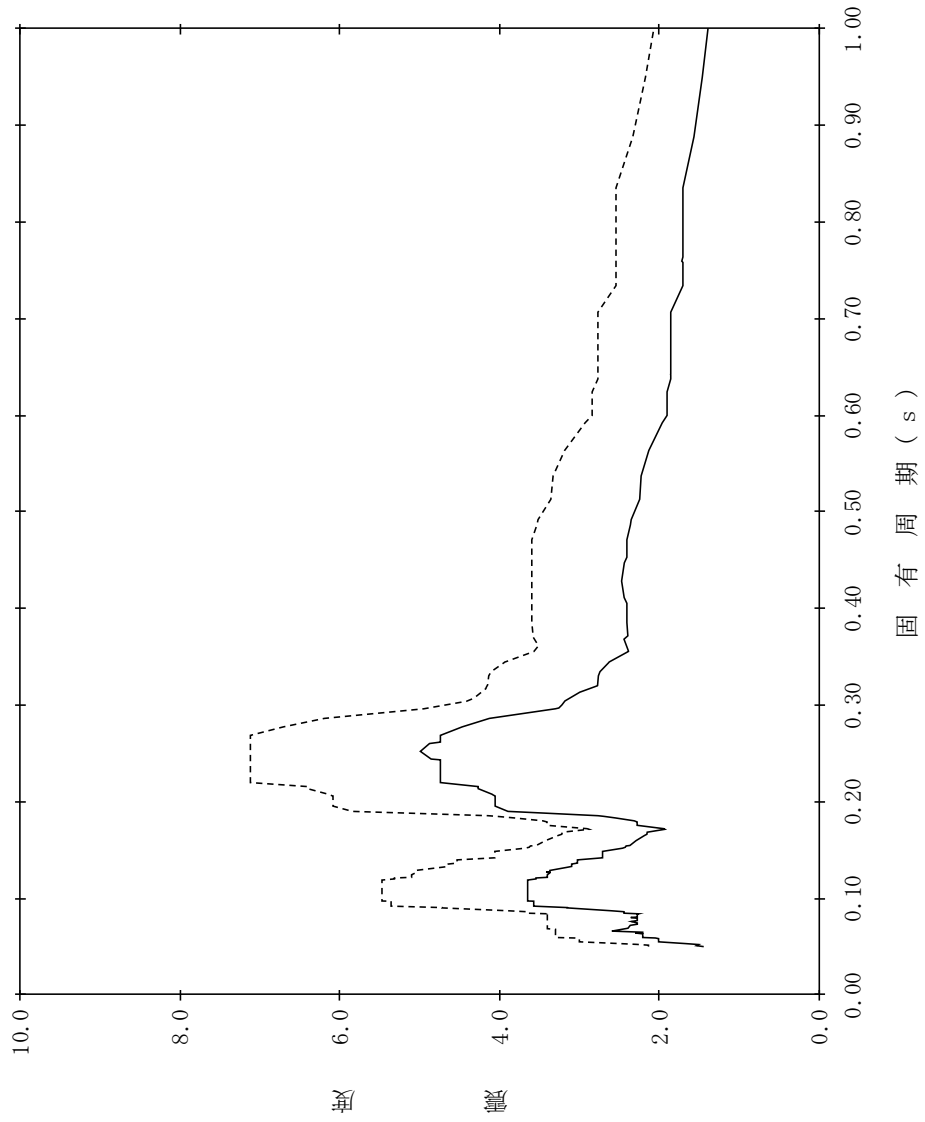
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR10】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

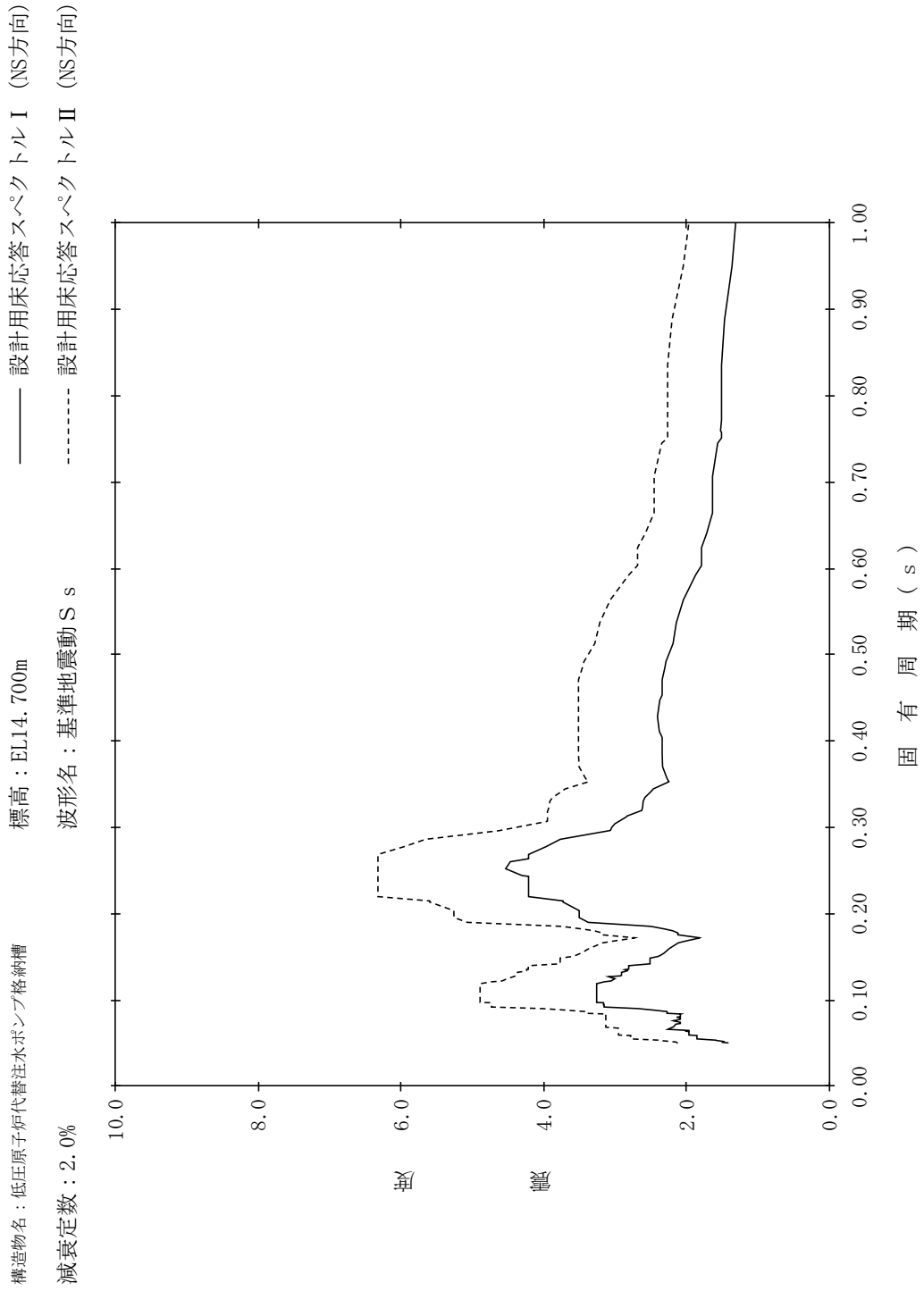


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR11】

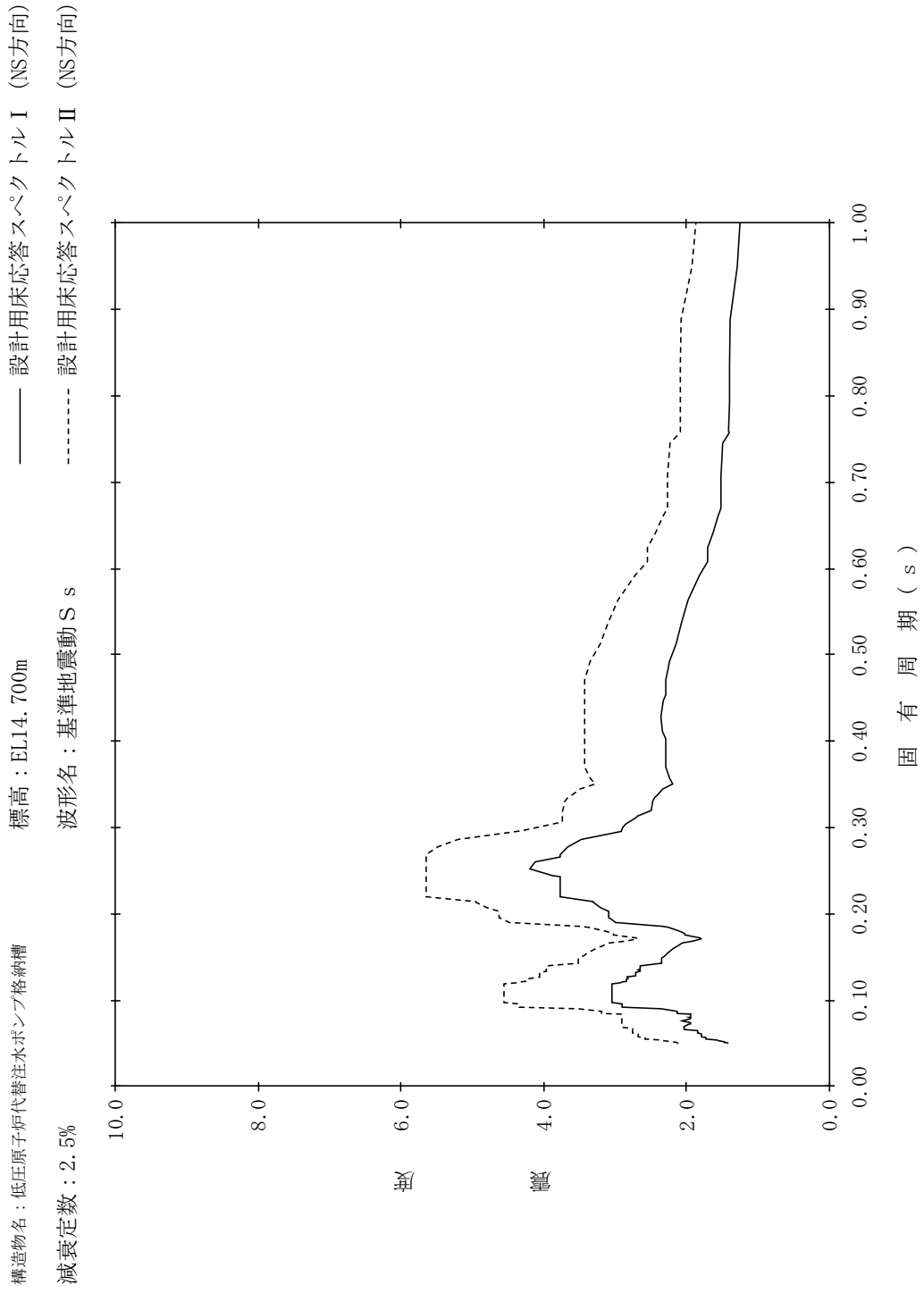
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



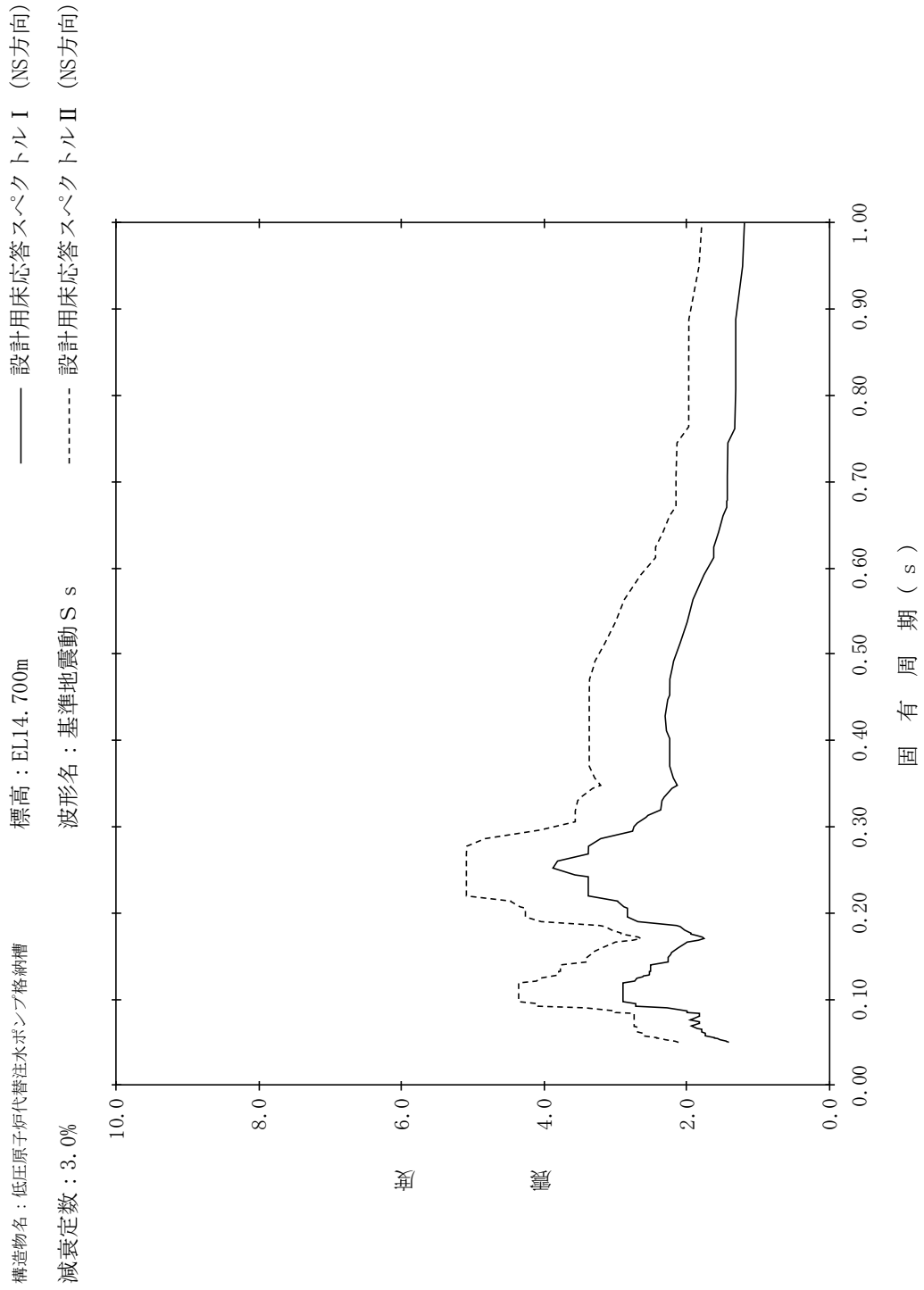
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR12】



【NS2-FLSR-SsNS-FLSR13】

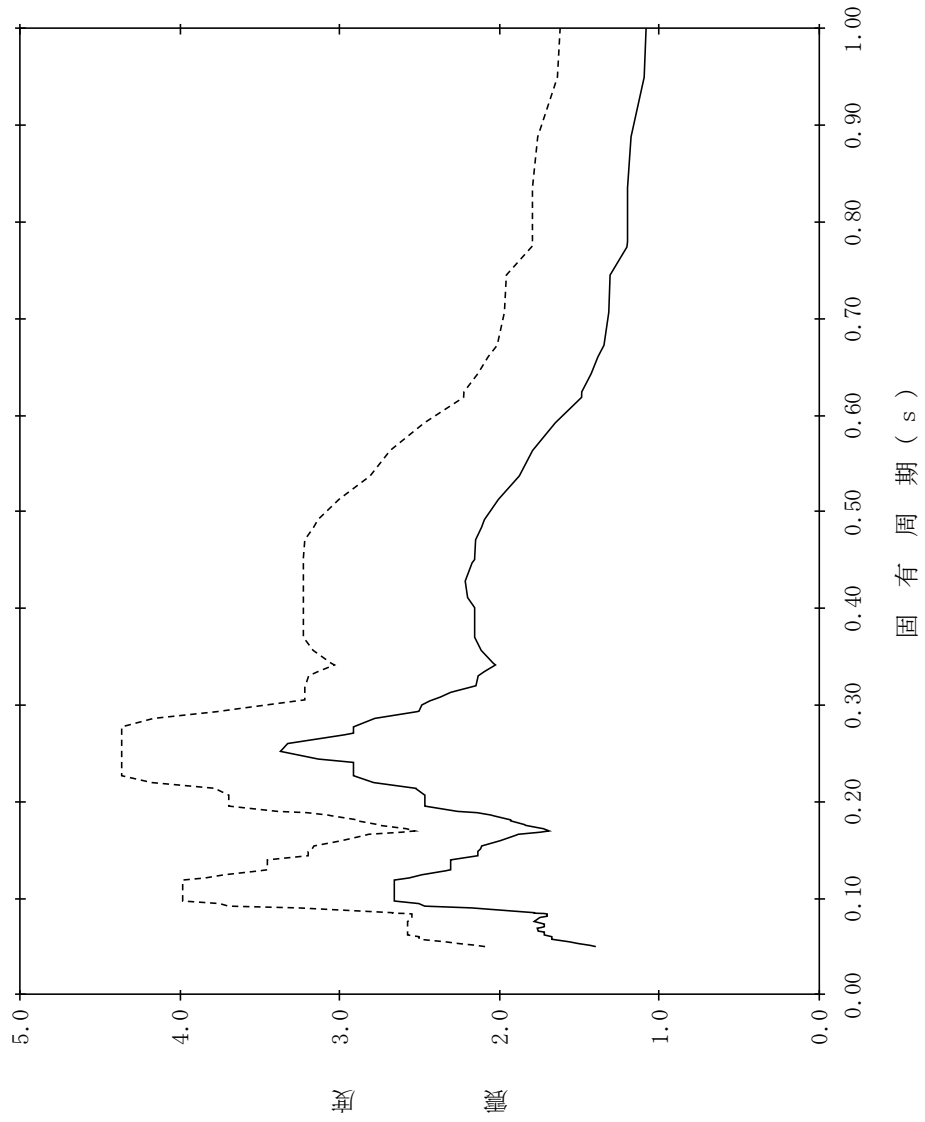


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR14】

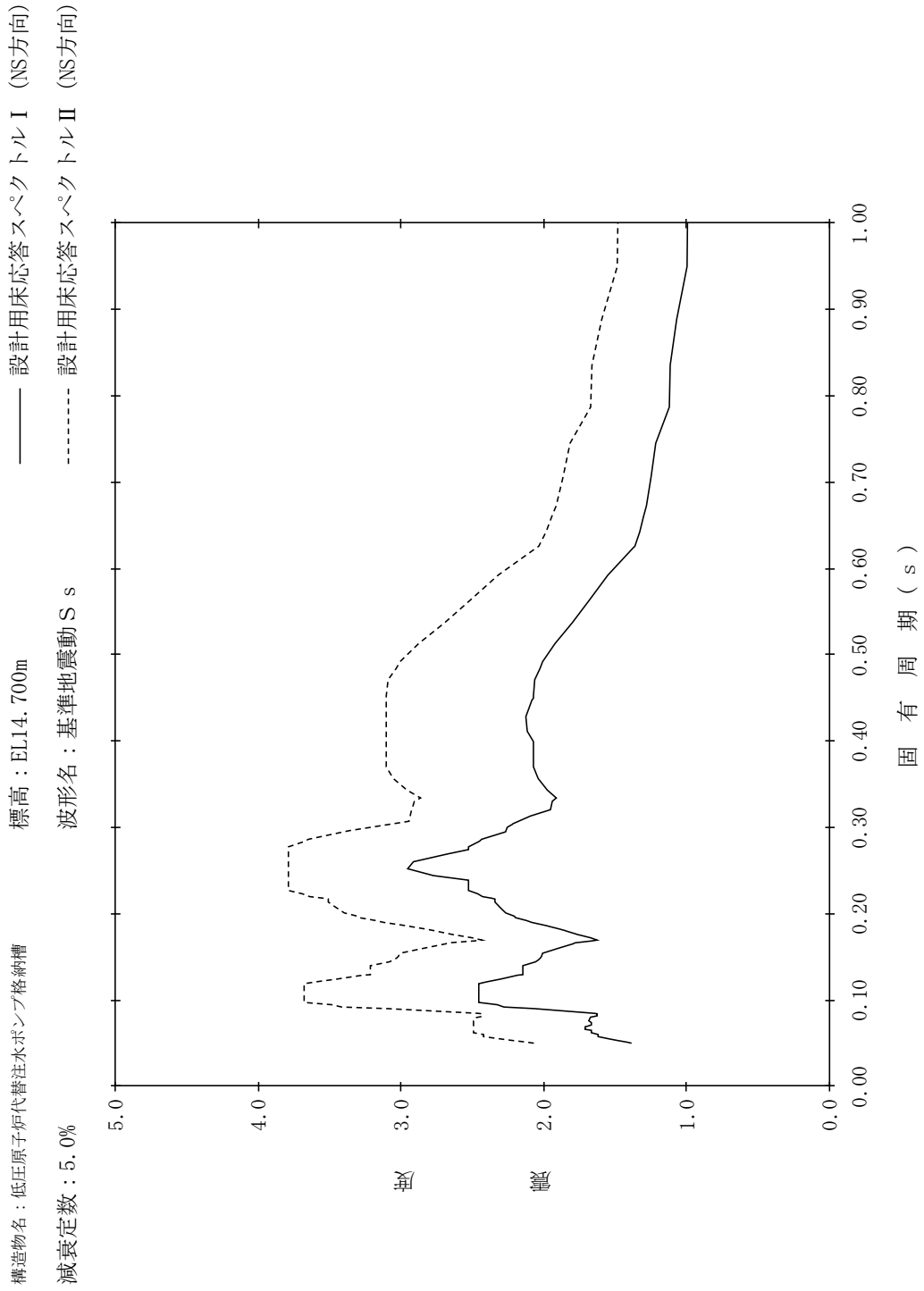


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR15】

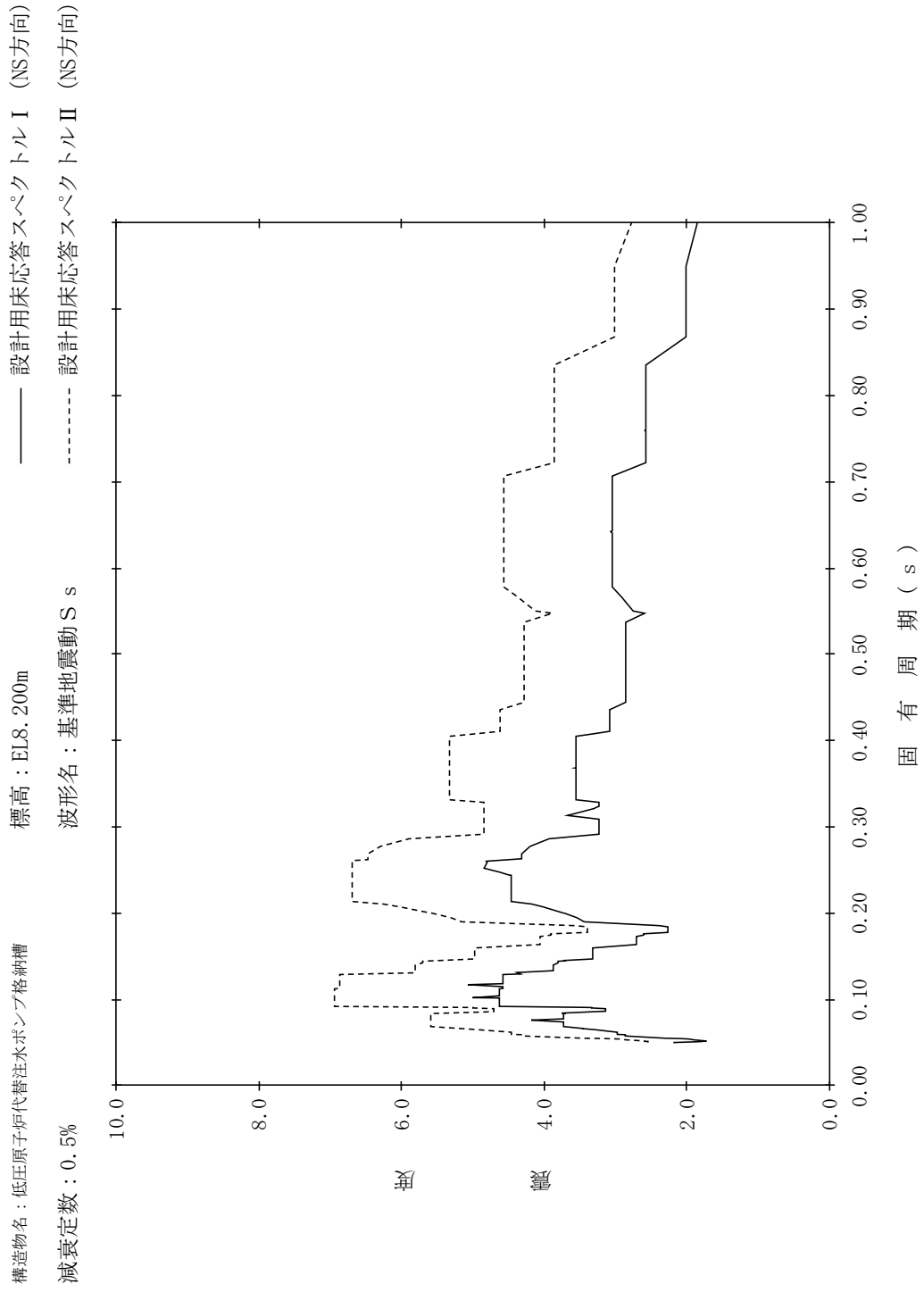
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



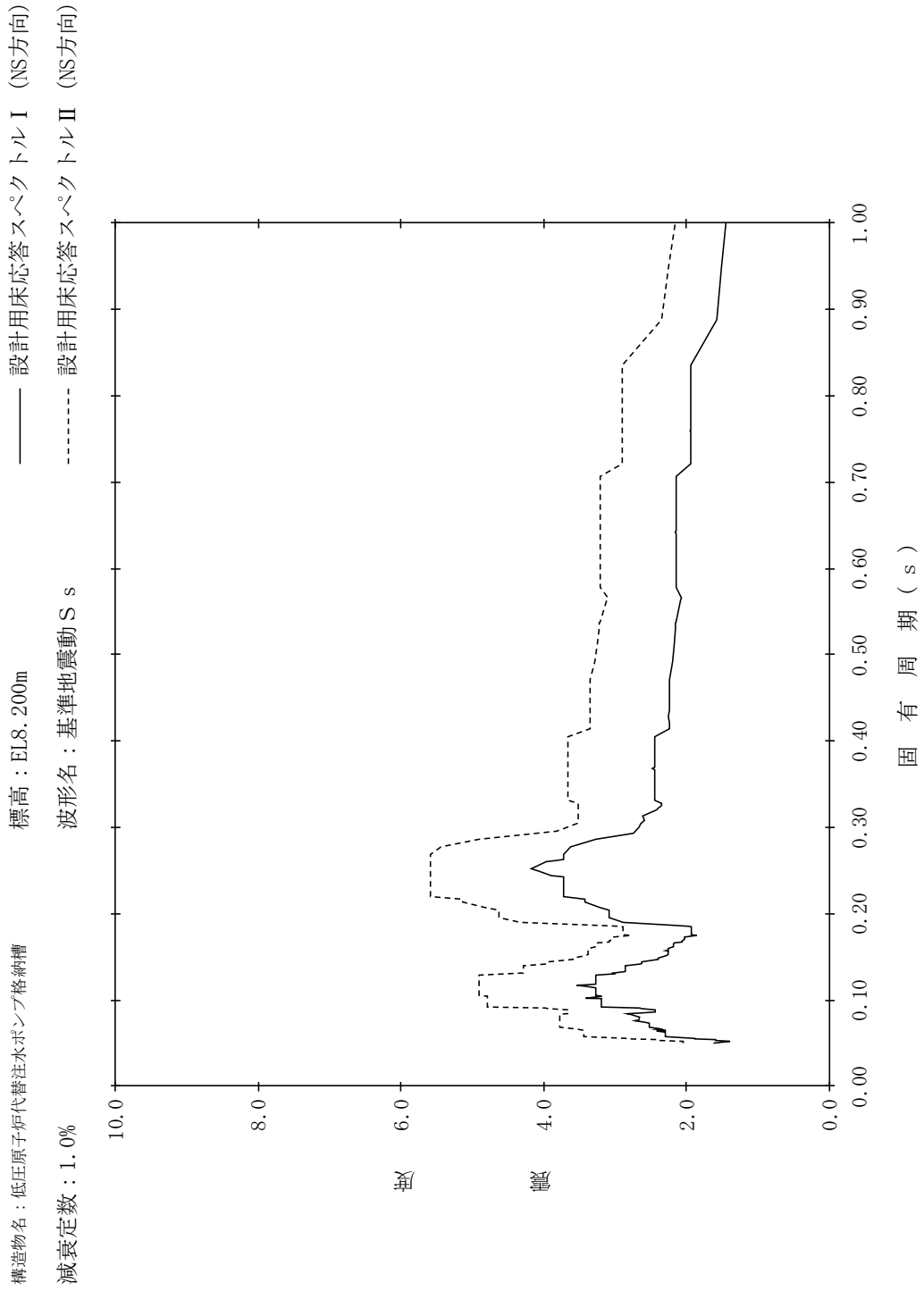
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR16】



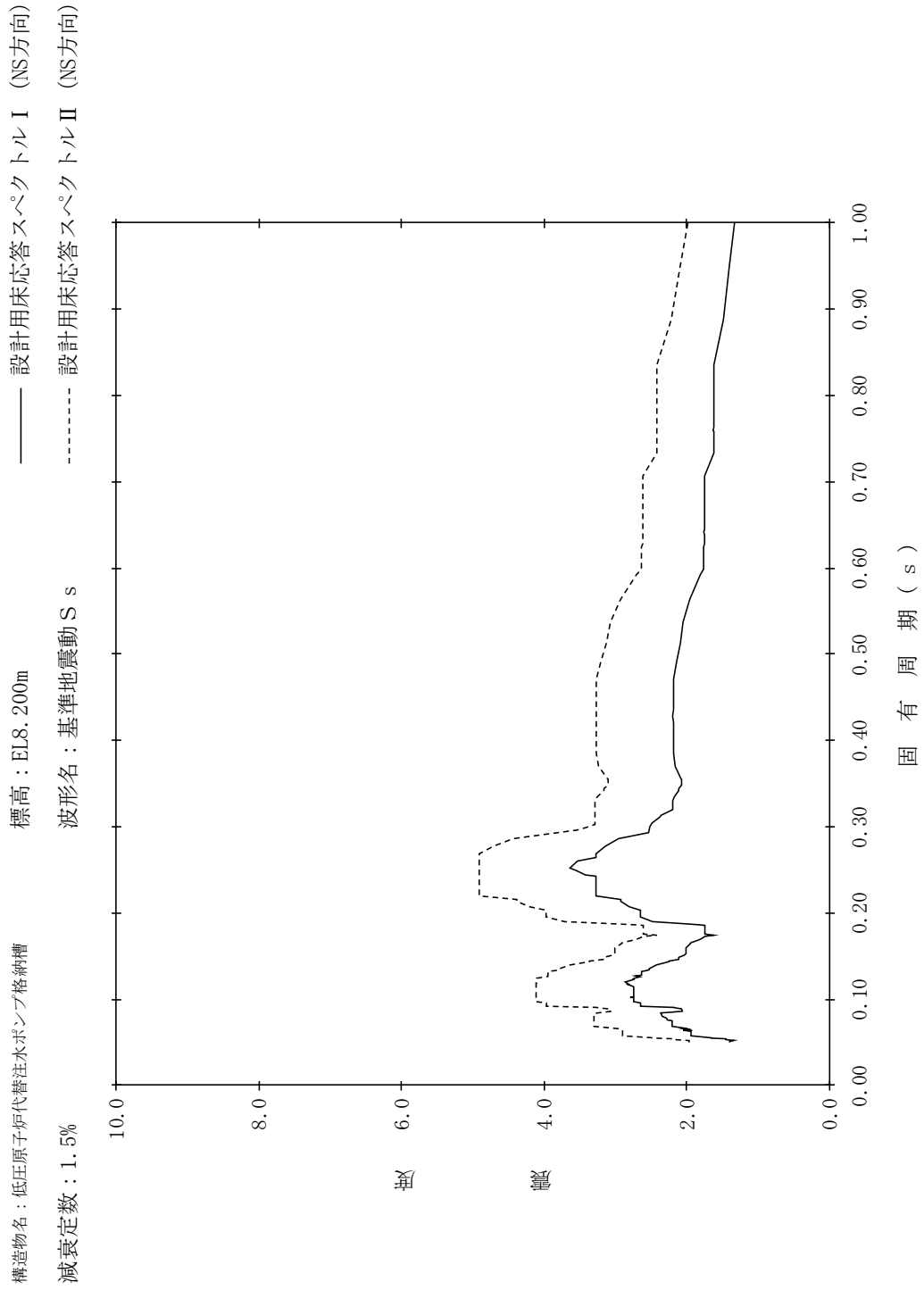
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR17】



【NS2-FLSR-SsNS-FLSR18】

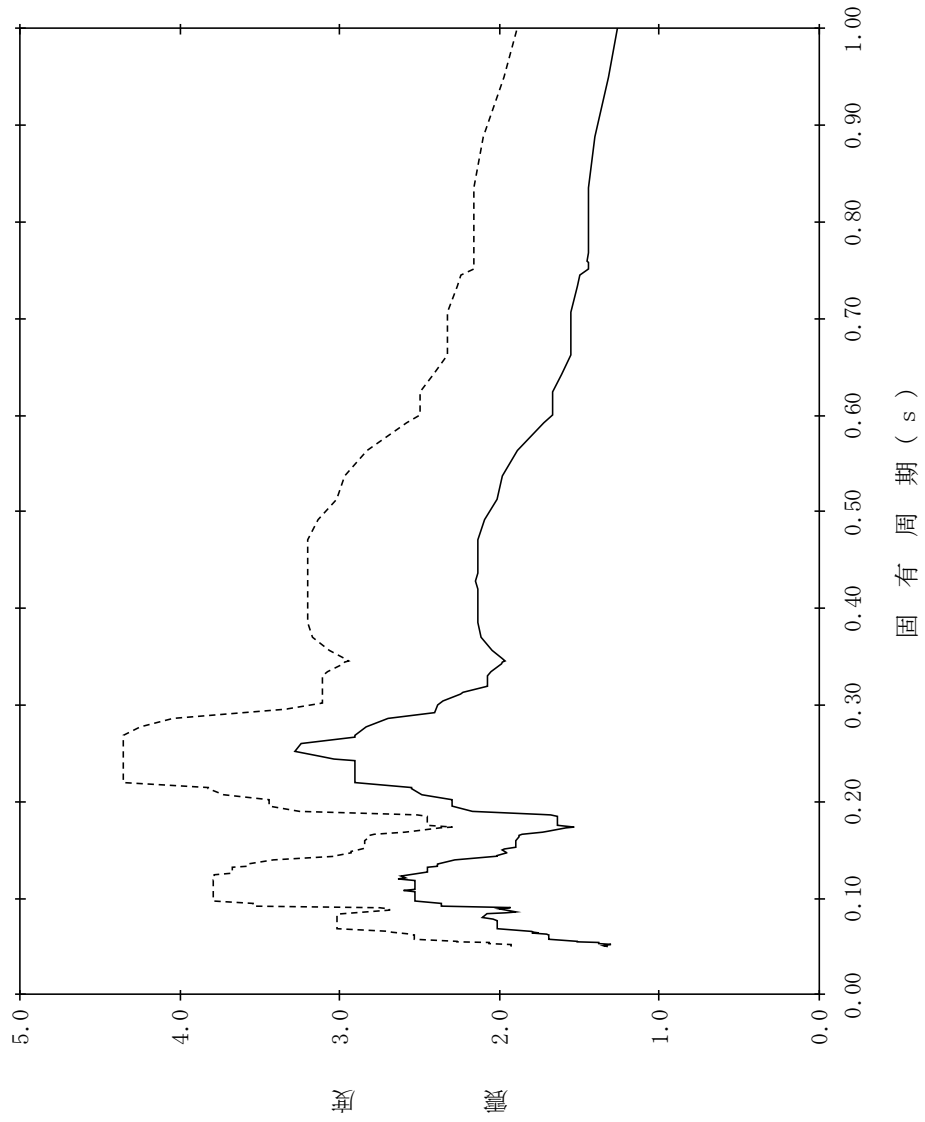


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR19】

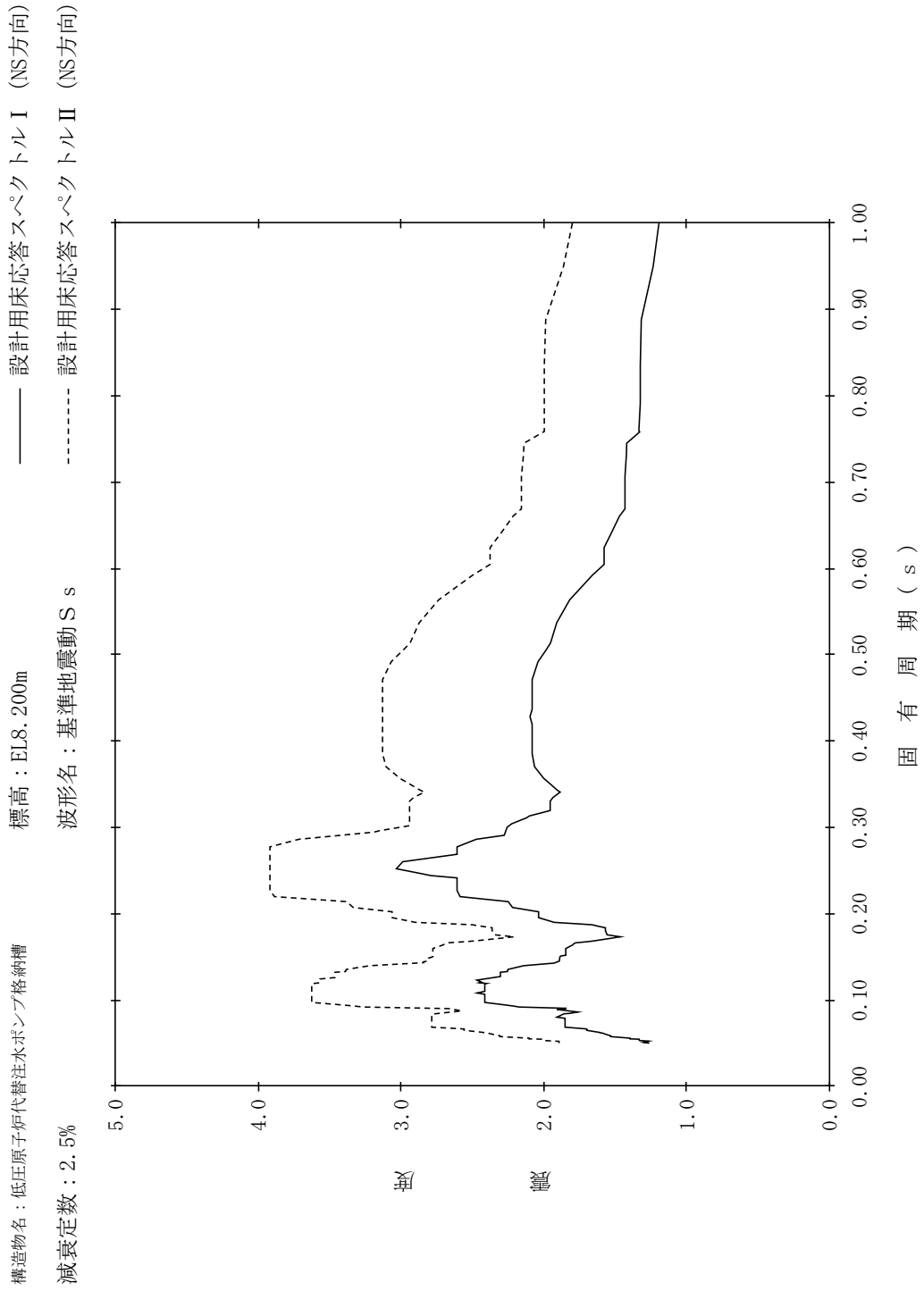


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR20】

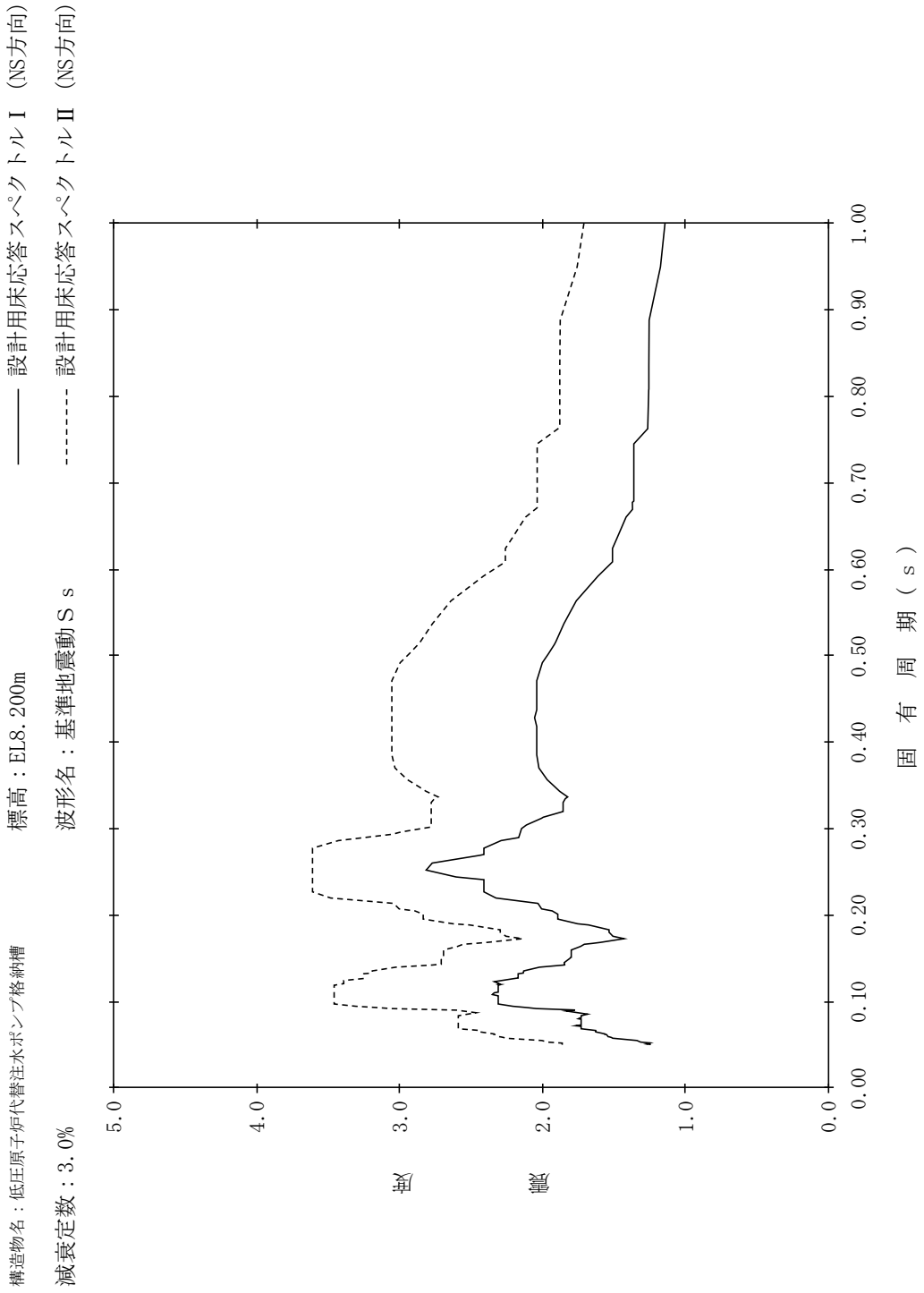
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL8.200m
 減衰定数：2.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



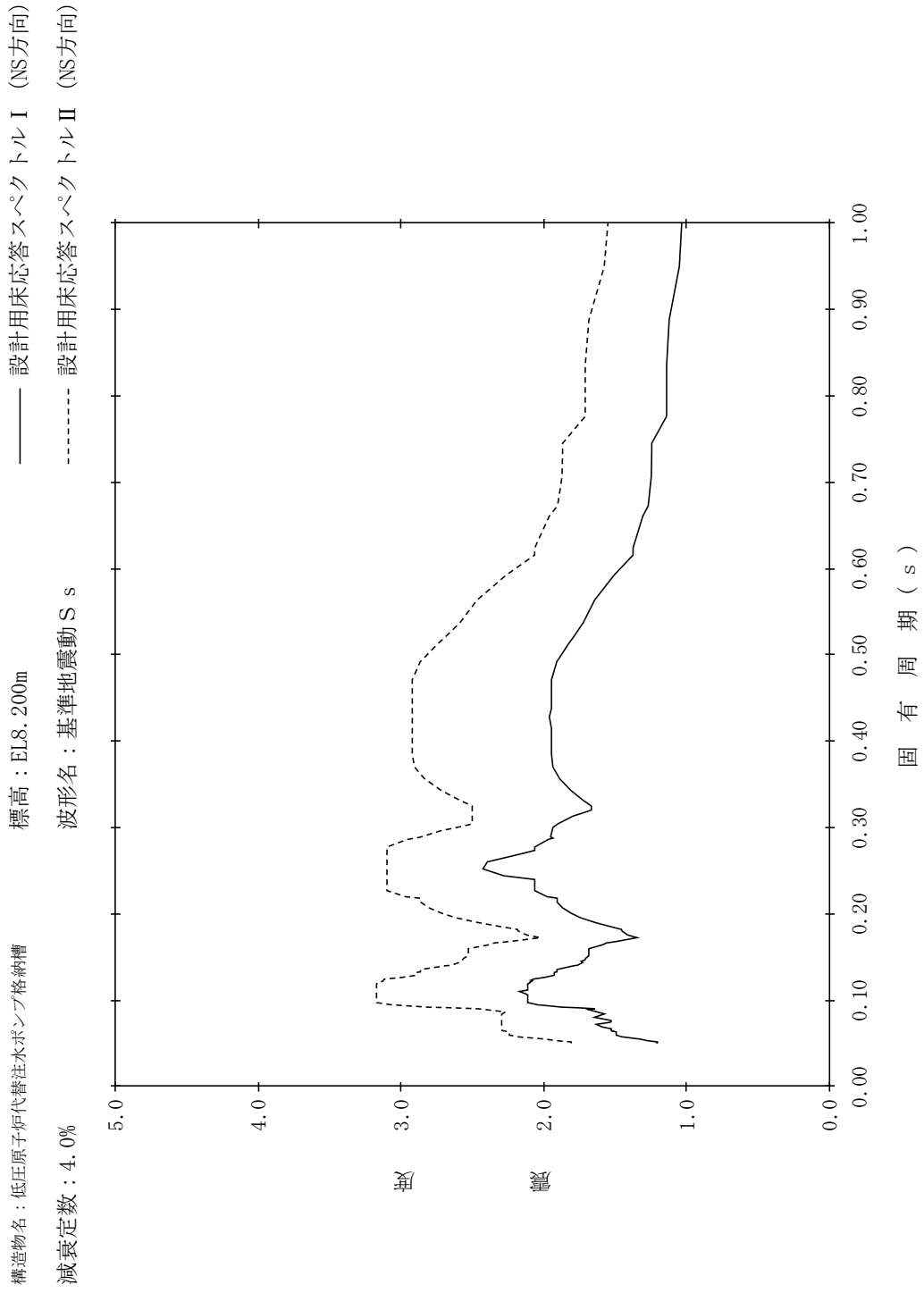
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR21】



【NS2-FLSR-SsNS-FLSR22】

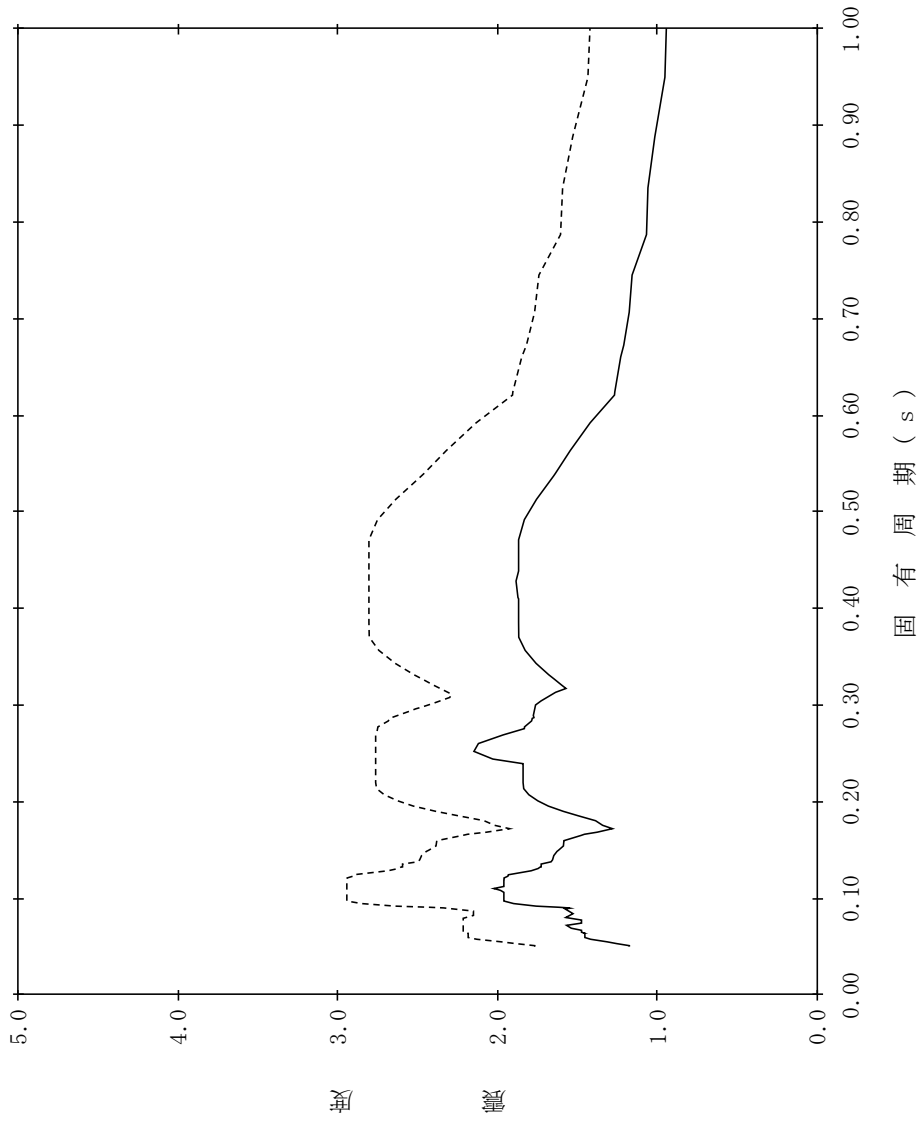


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR23】



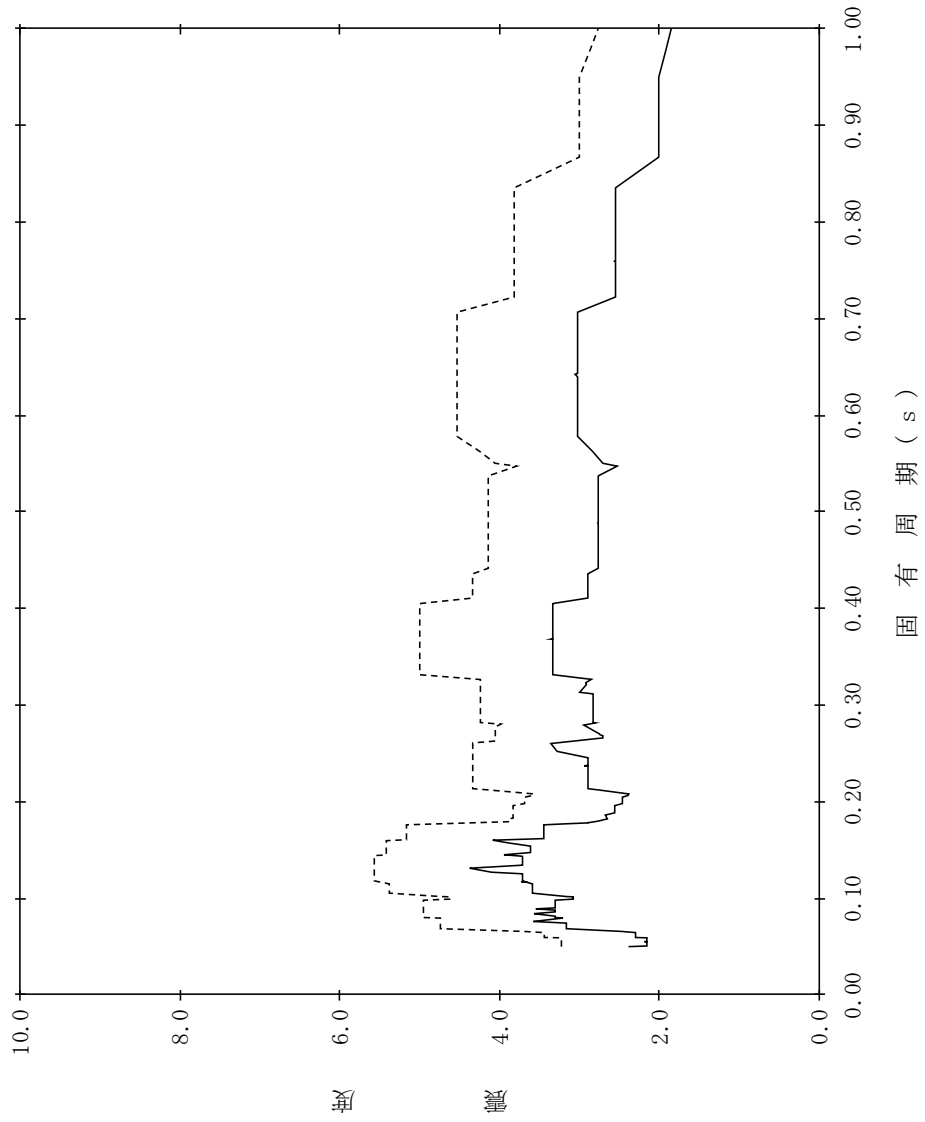
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR24】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL8.200m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

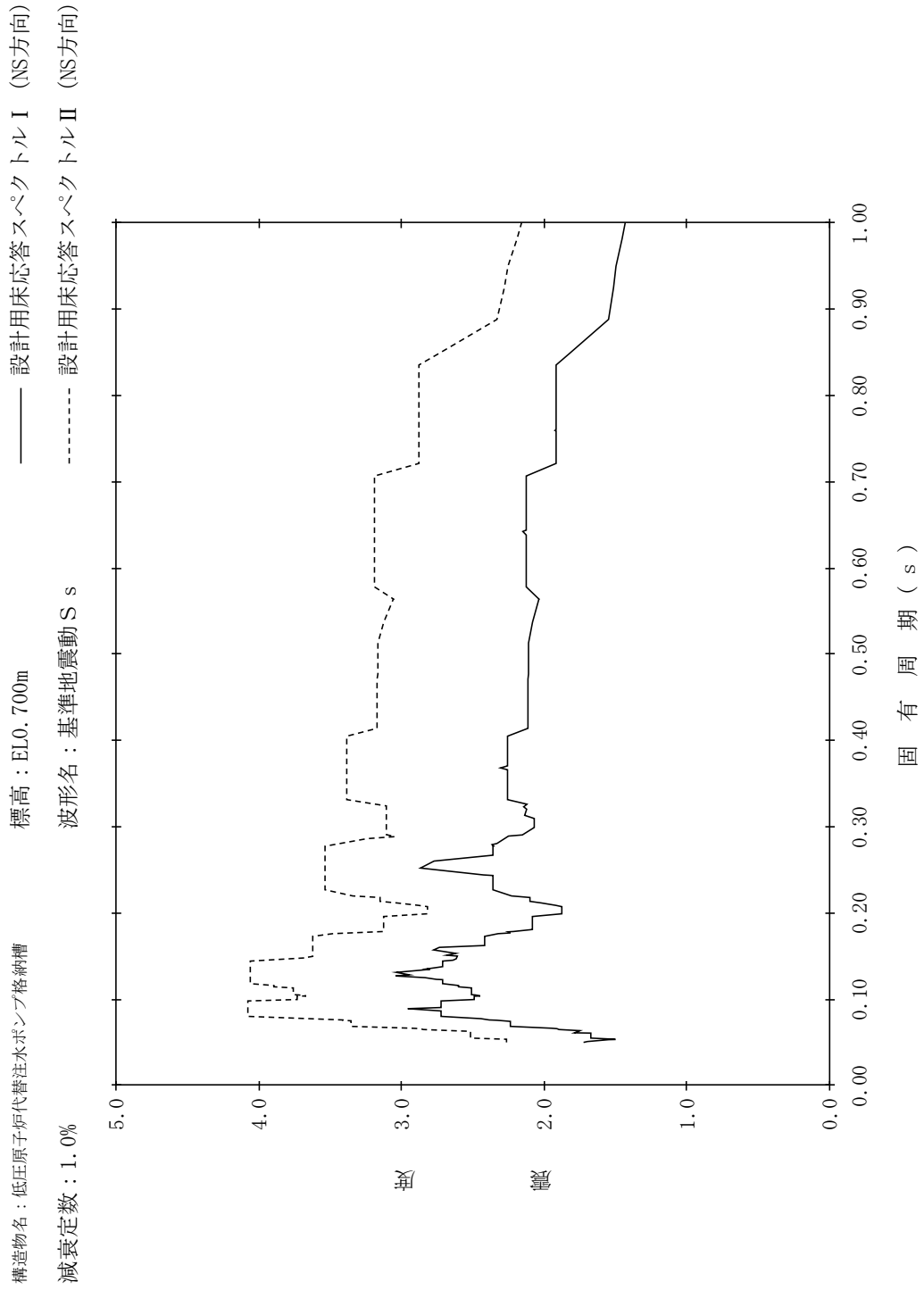


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR25】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL0.700m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

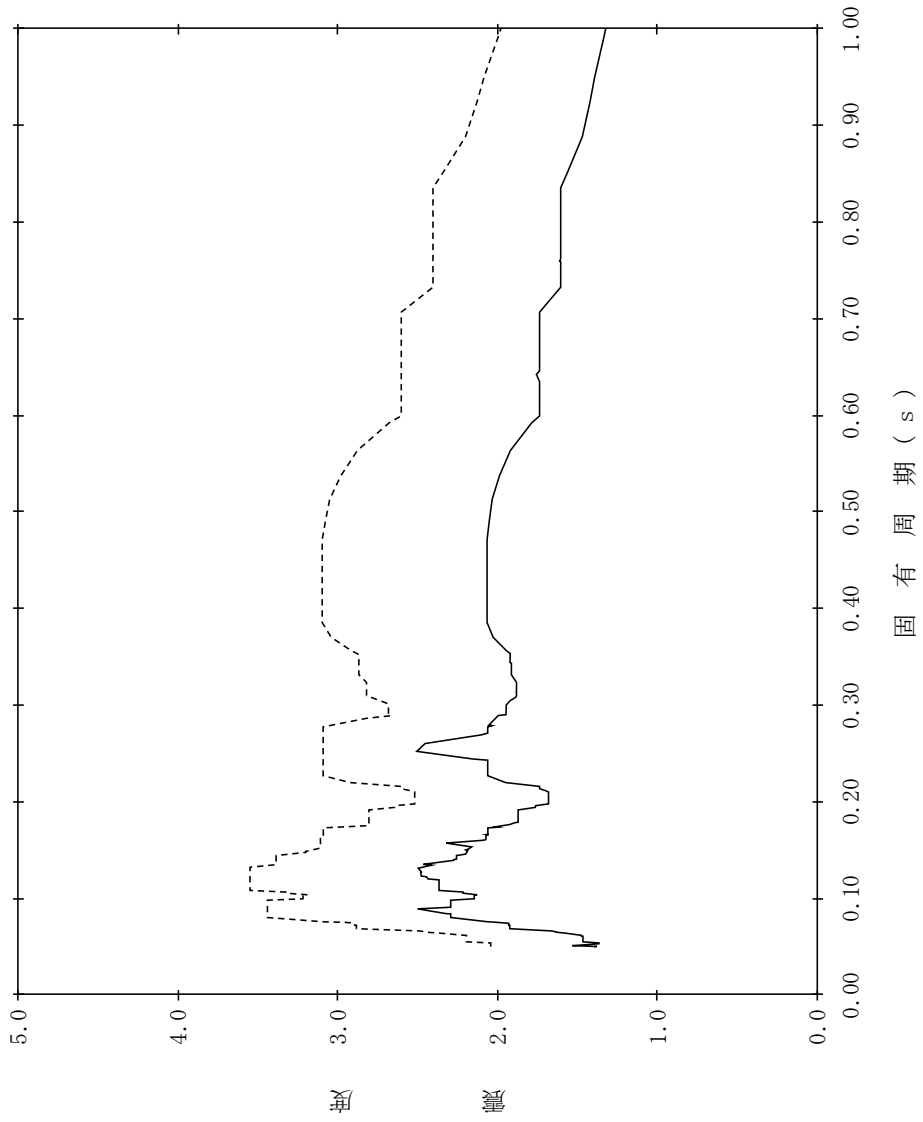


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR26】



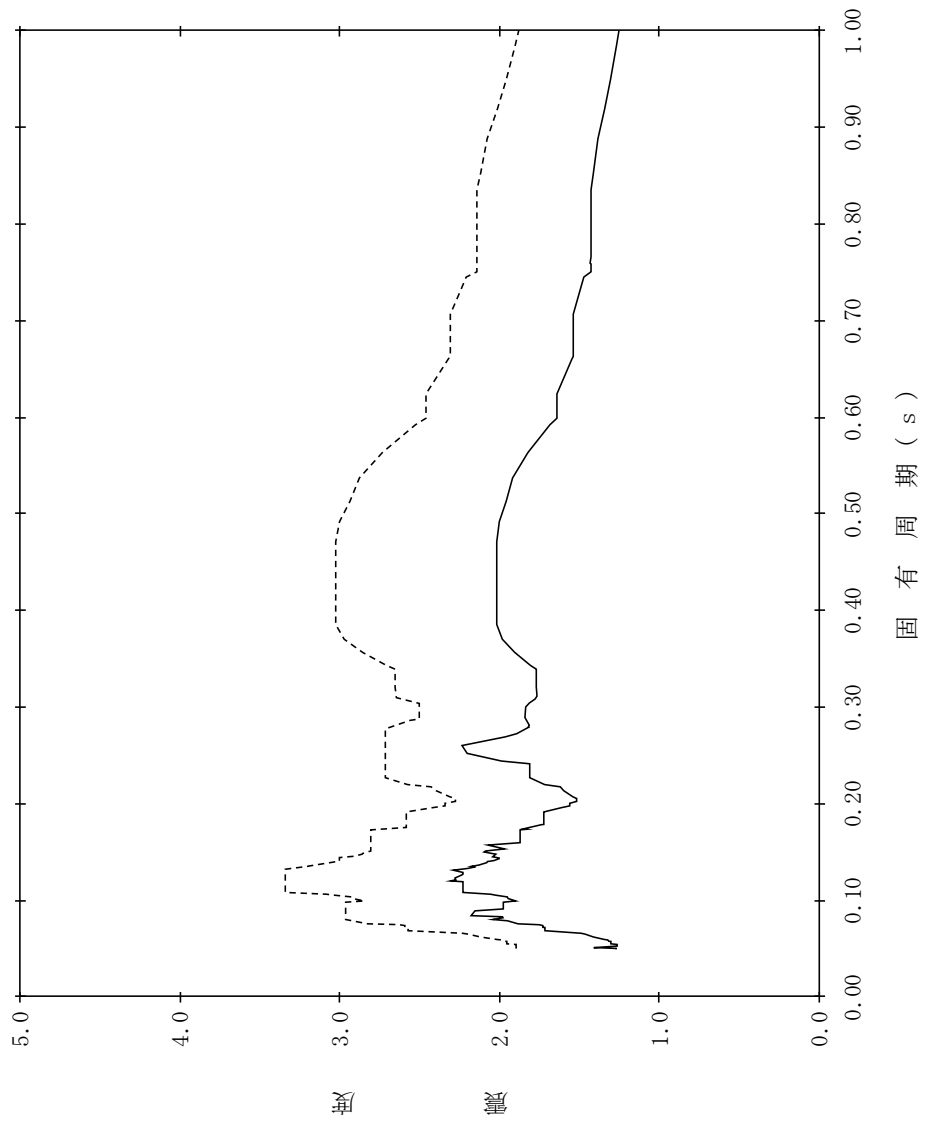
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR27】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL0.700m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

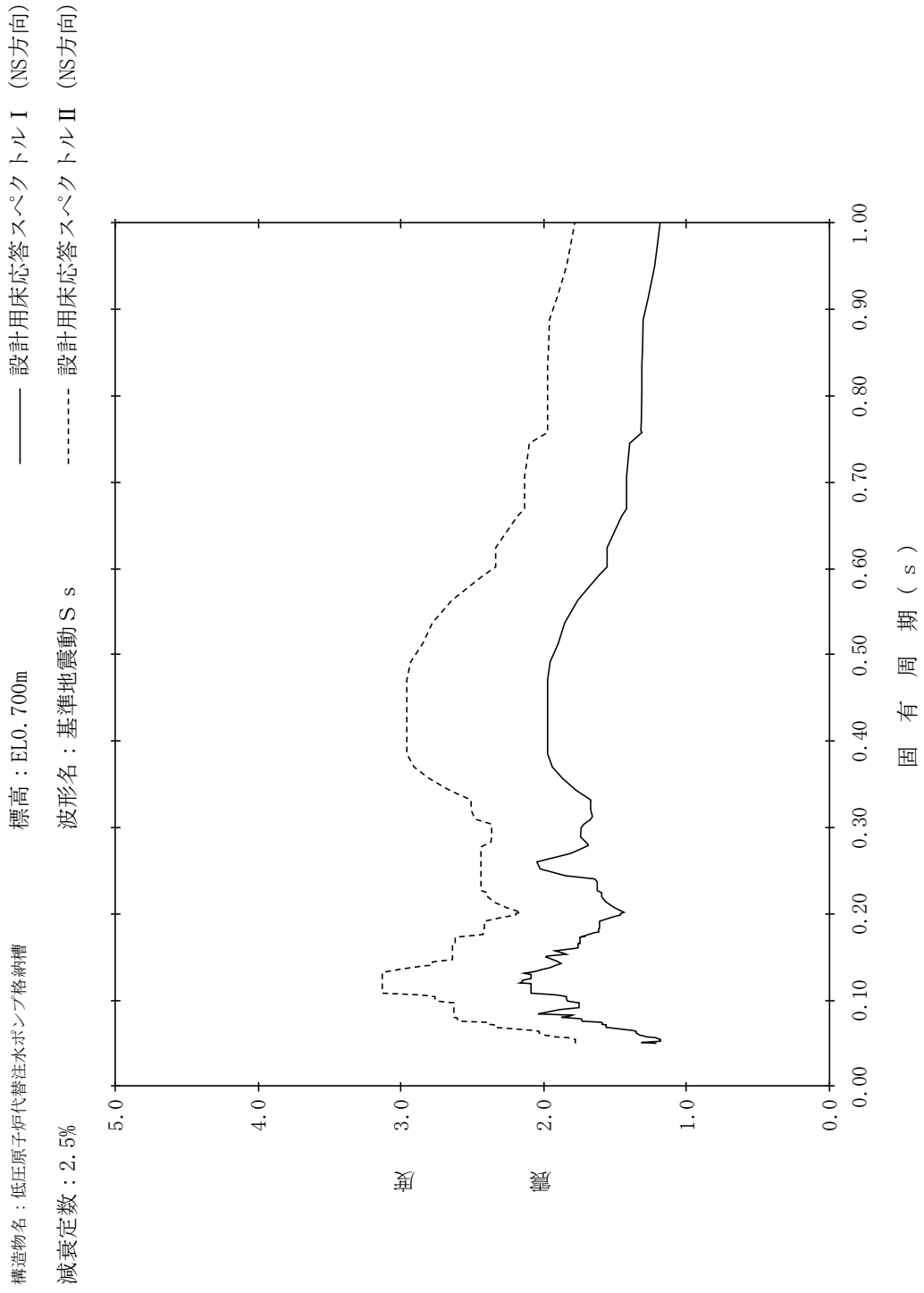


【NS2-FLSR-SsNS-FLSR28】

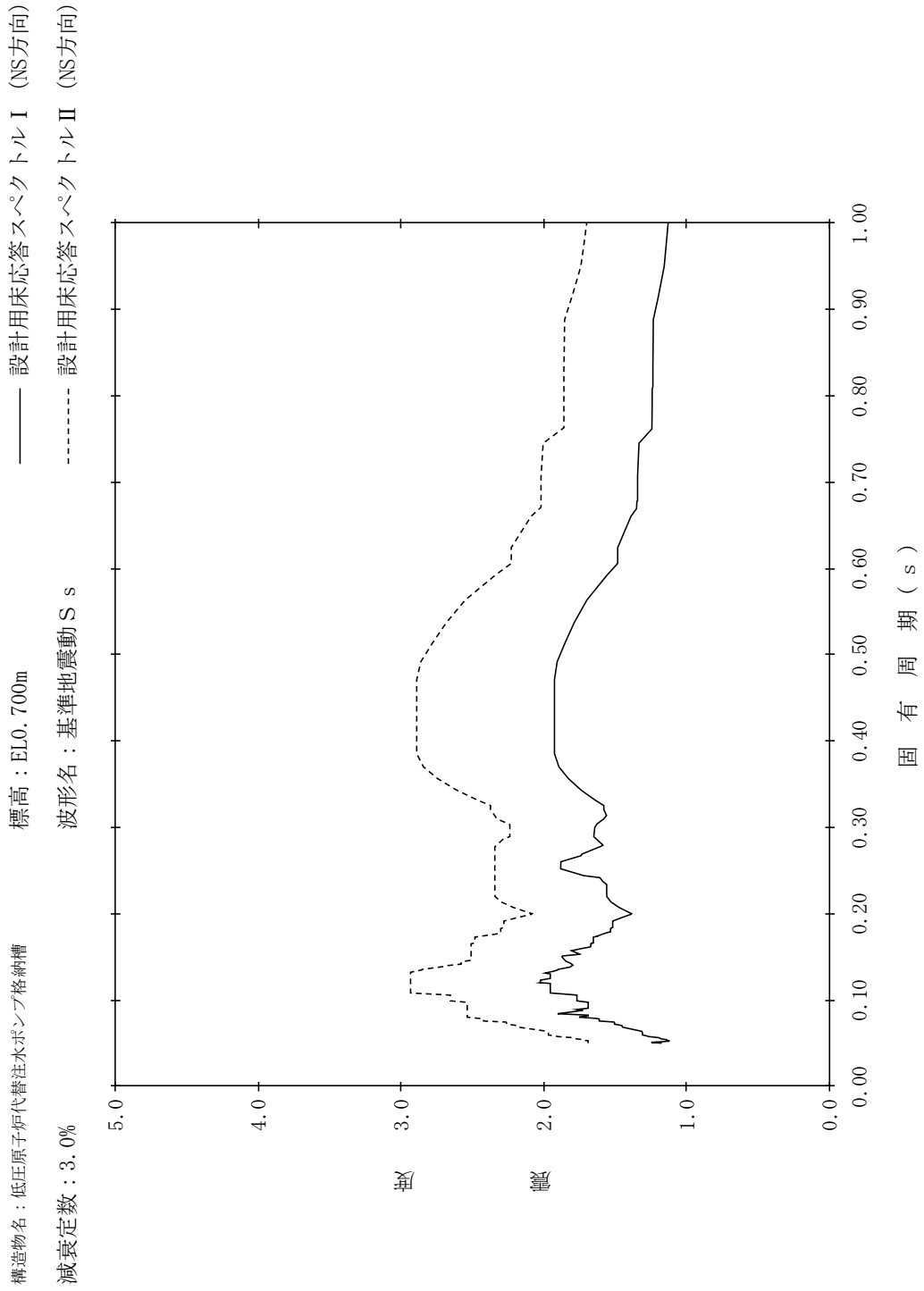
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL0.700m
 減衰定数：2.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



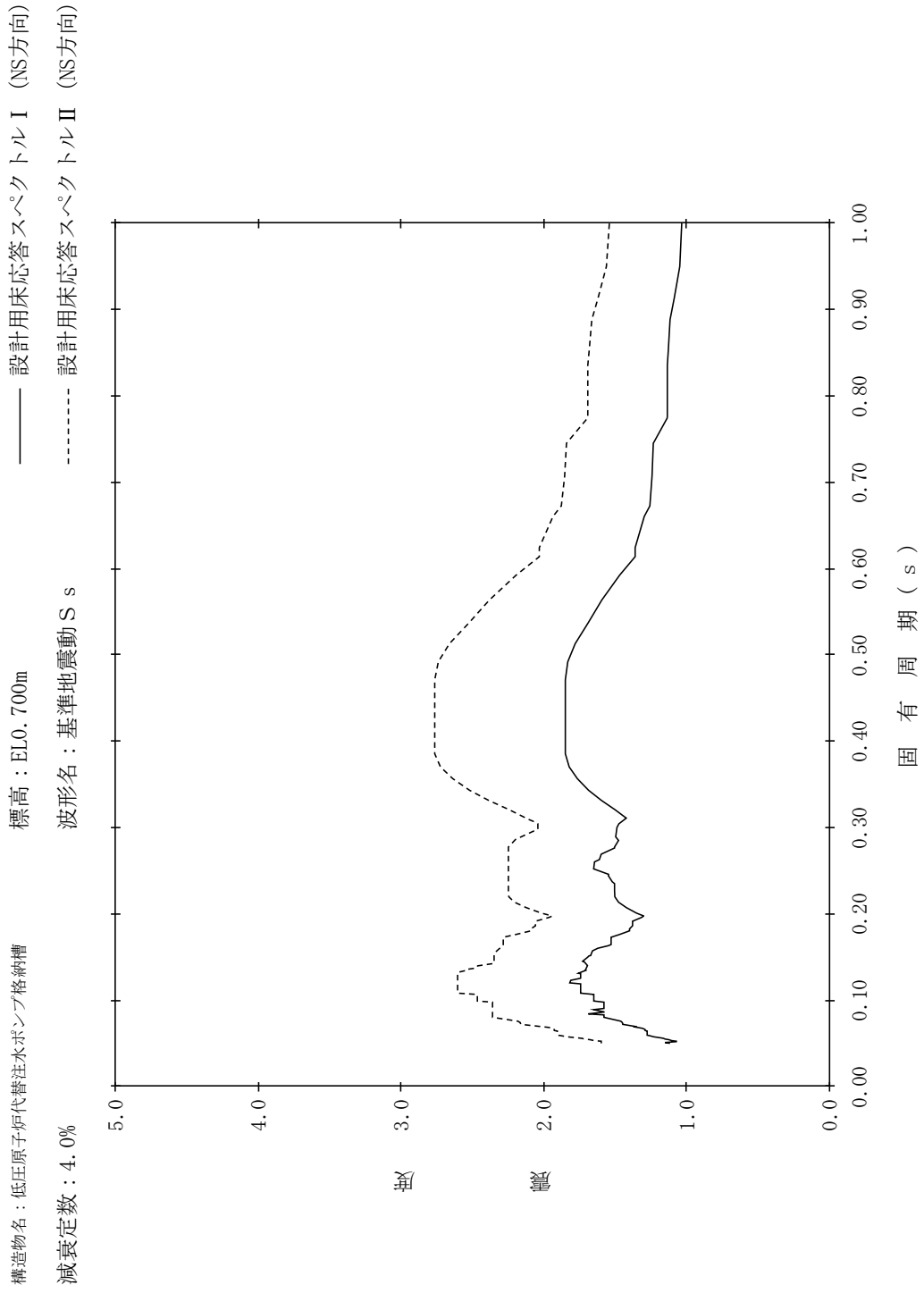
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR29】



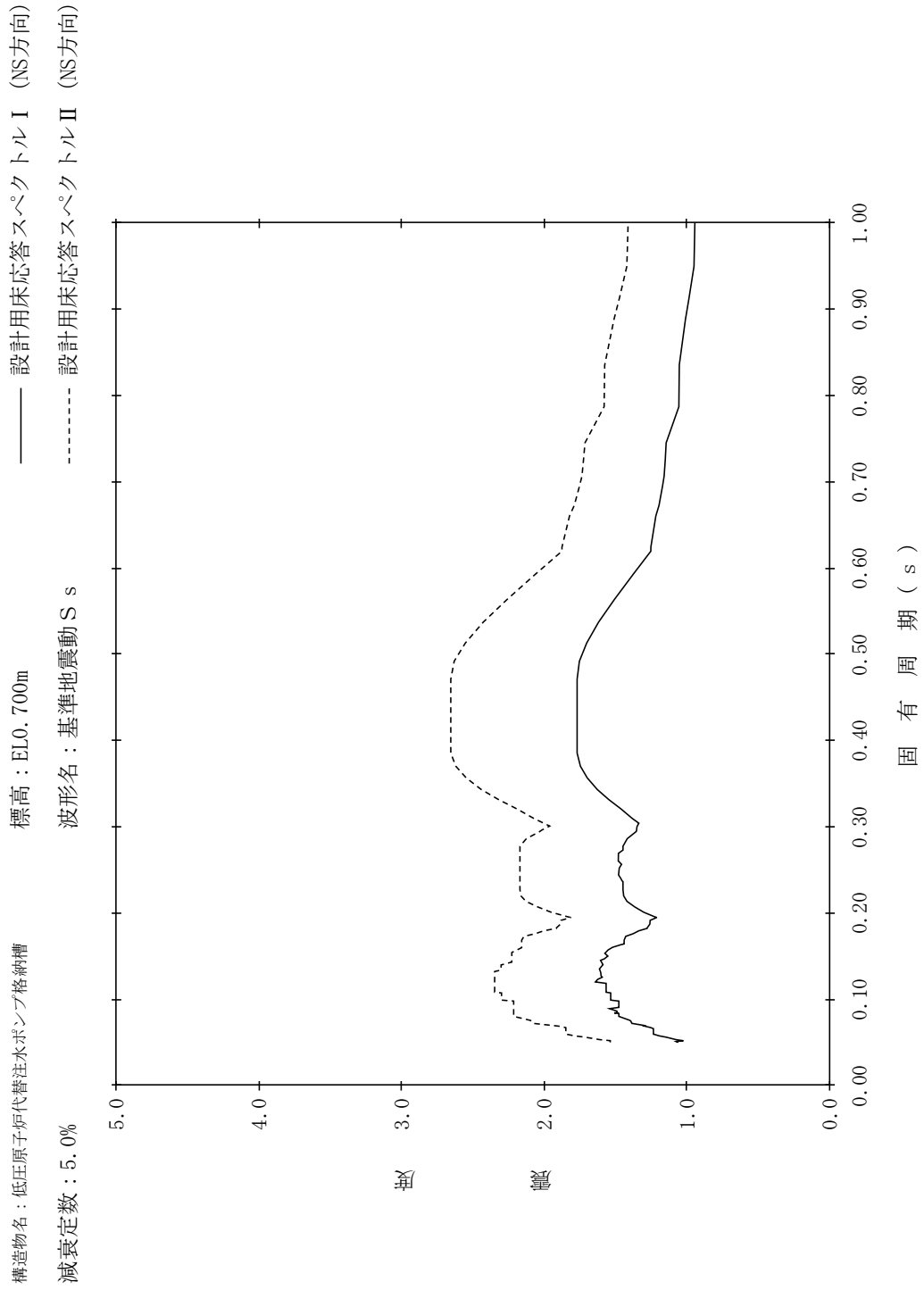
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR30】



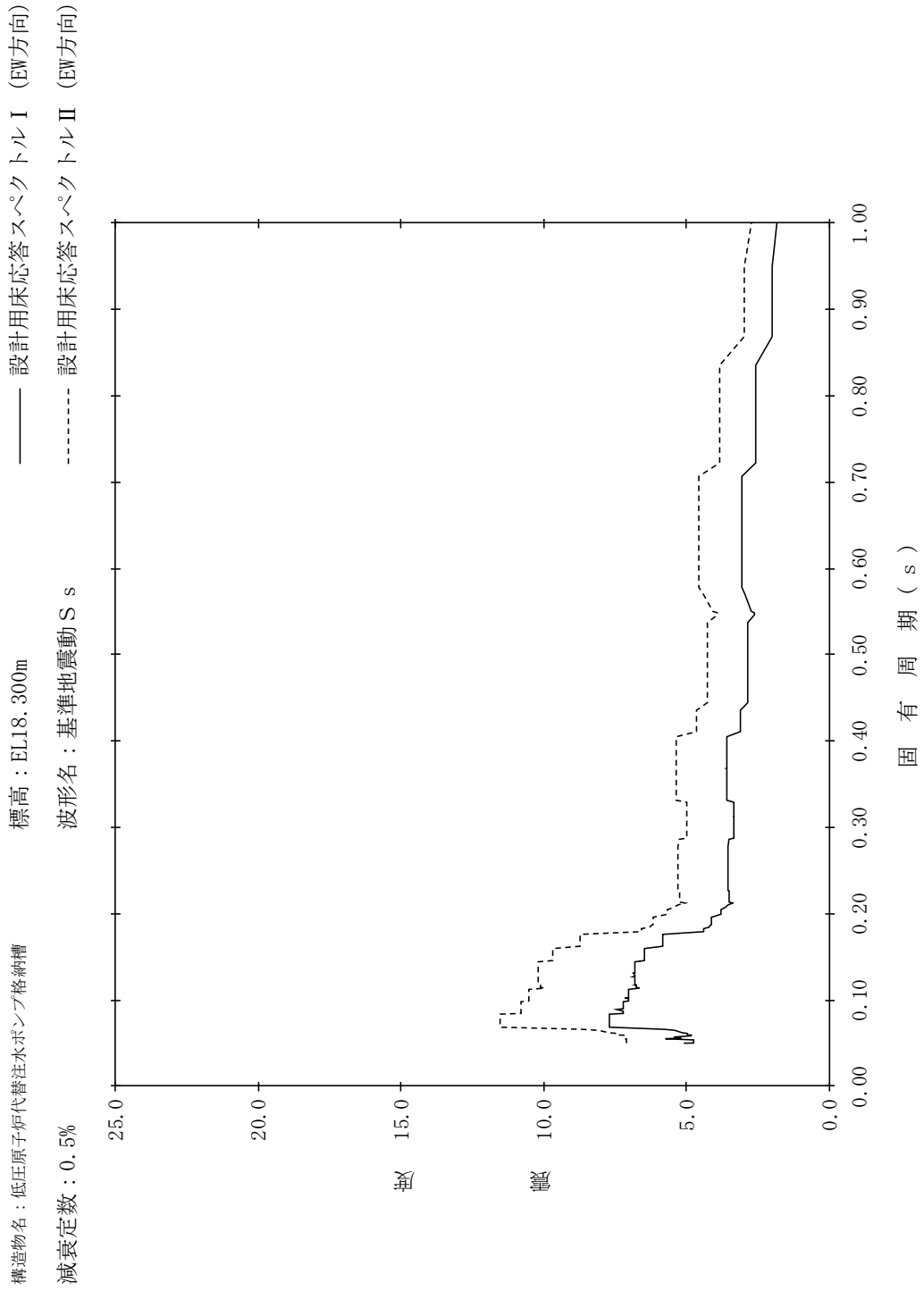
【NS2-FLSR-SsNS-FLSR31】



【NS2-FLSR-SsNS-FLSR32】

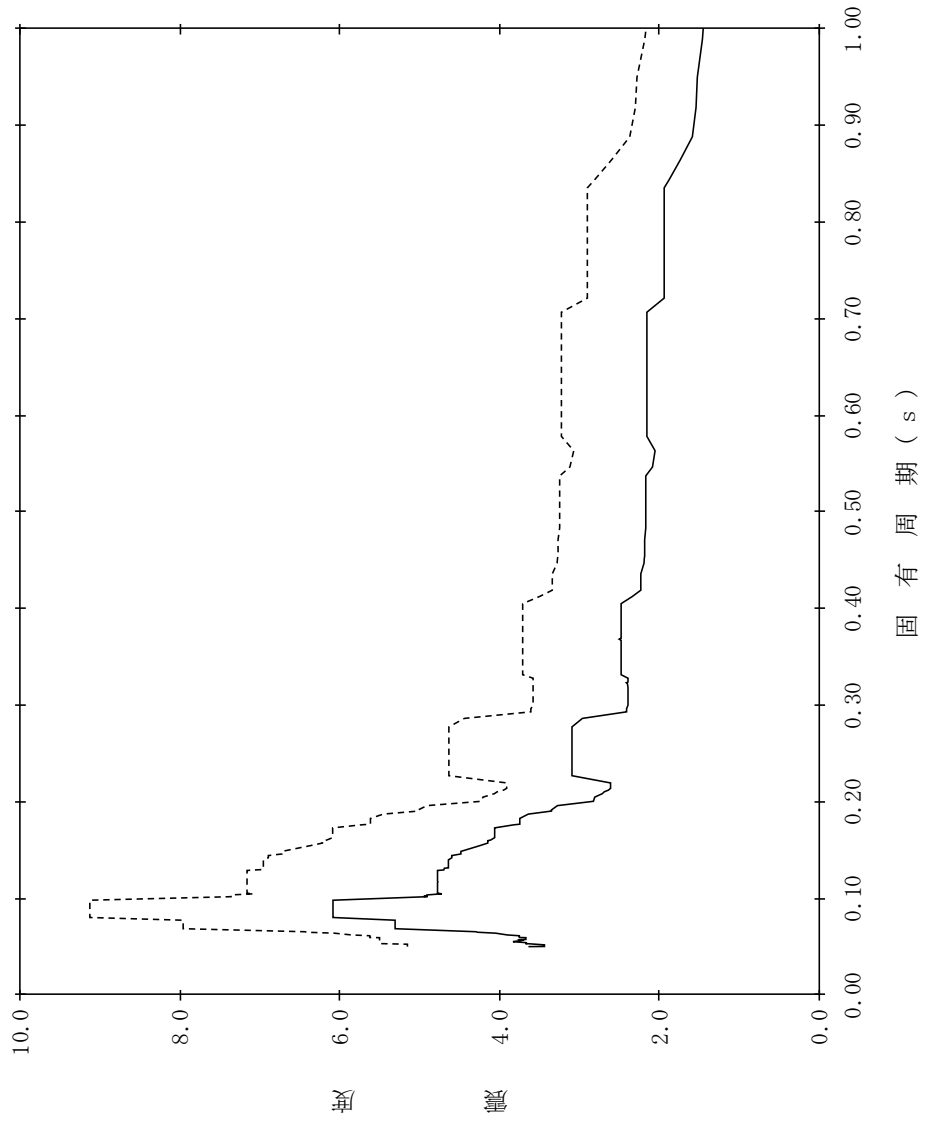


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR1】

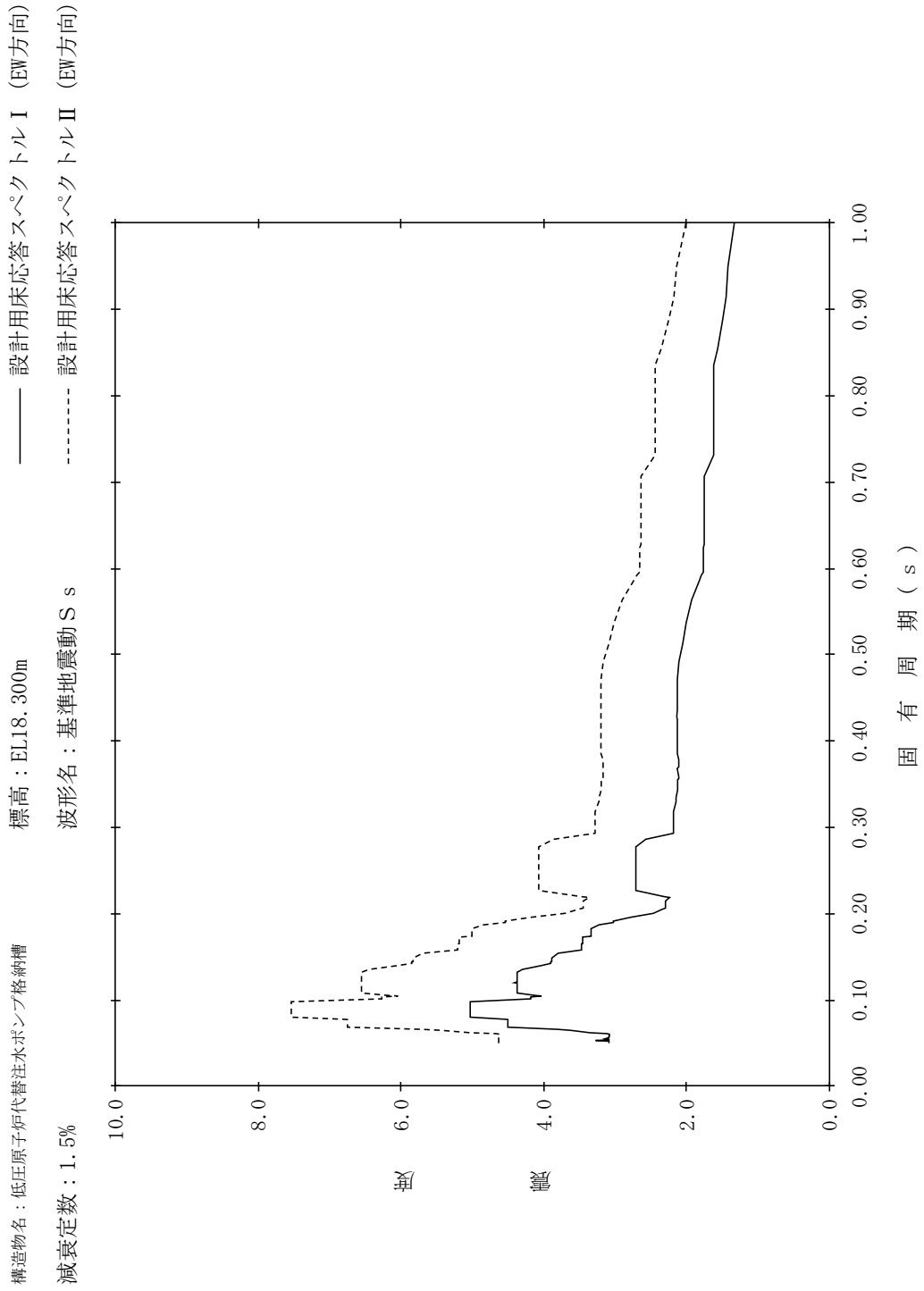


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR2】

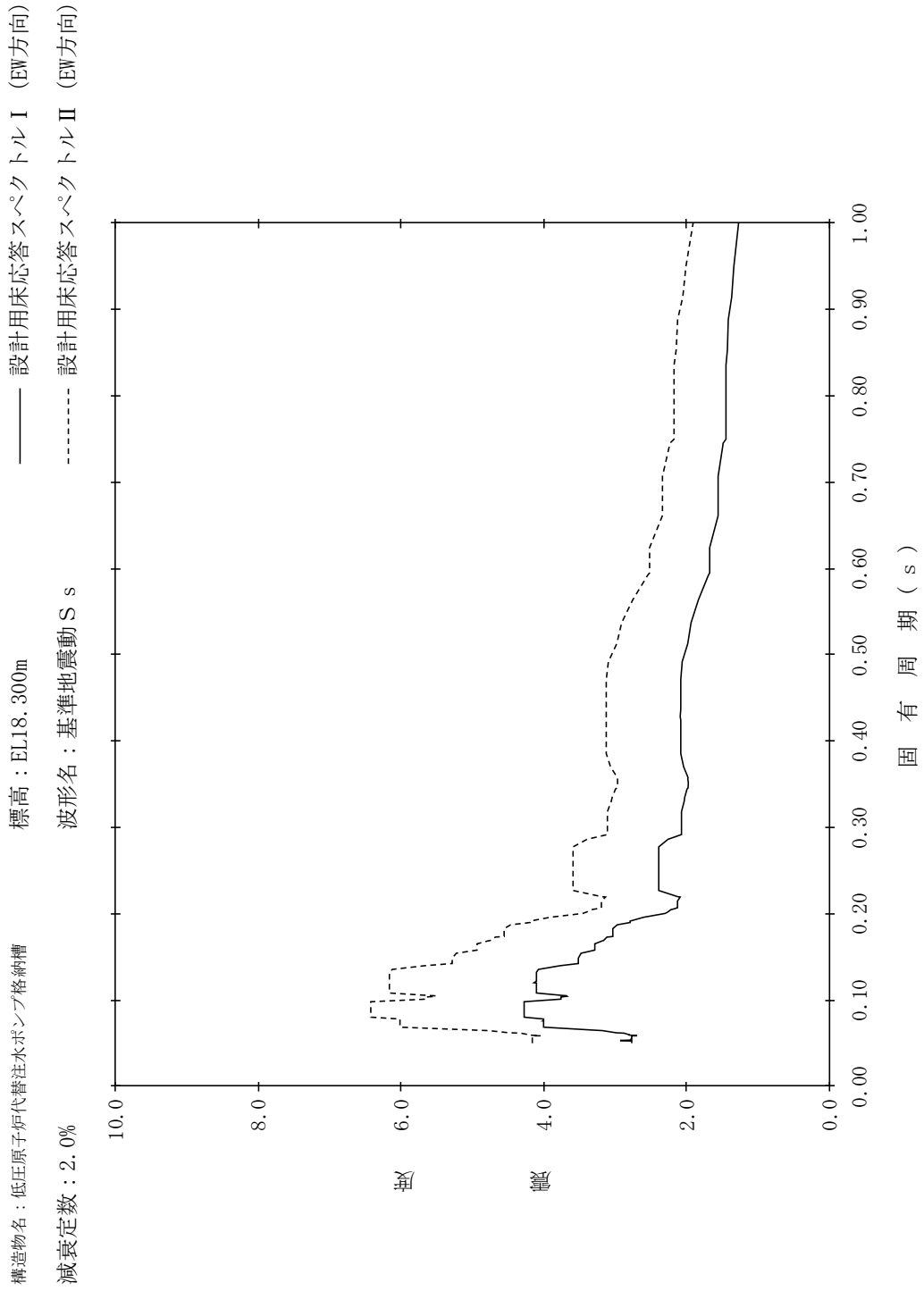
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 ———— 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 - - - - - 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



【NS2-FLSR-SsEW-FLSR3】

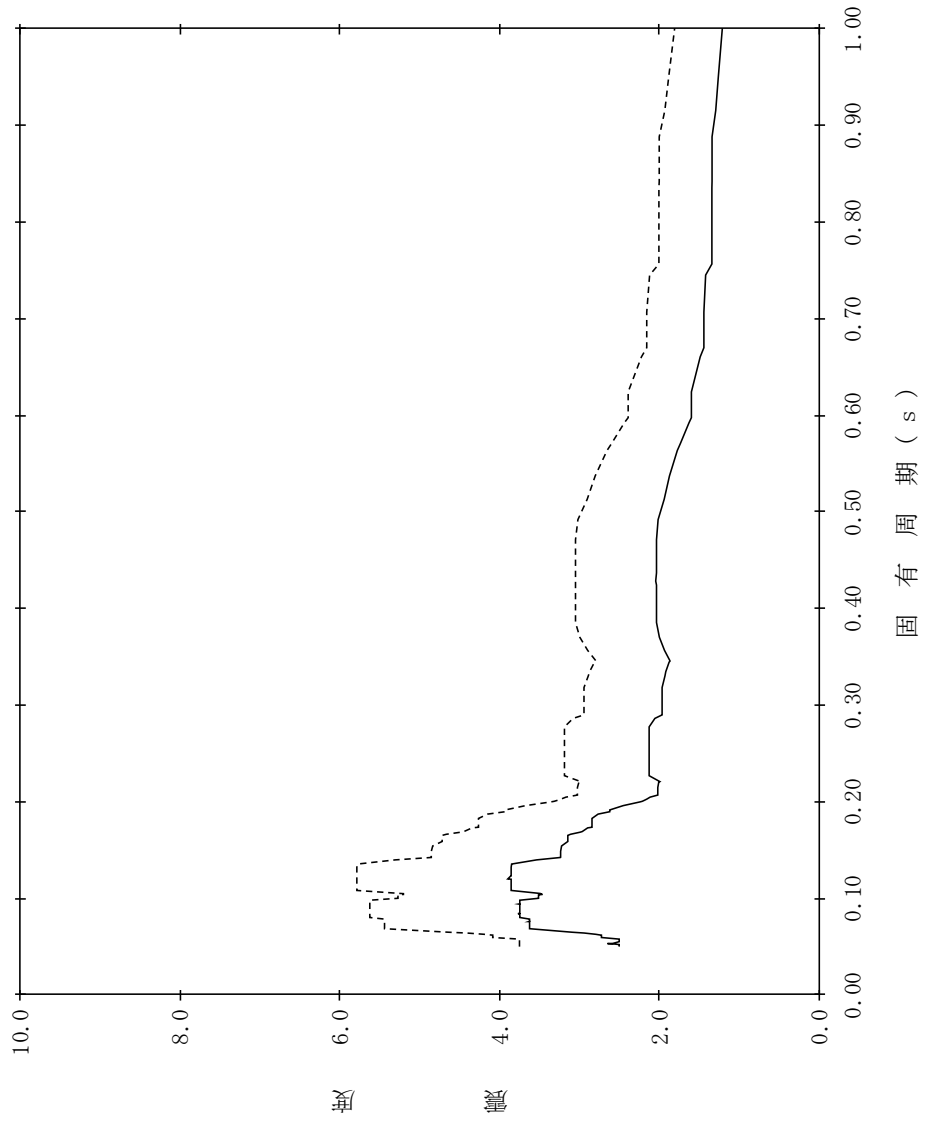


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR4】



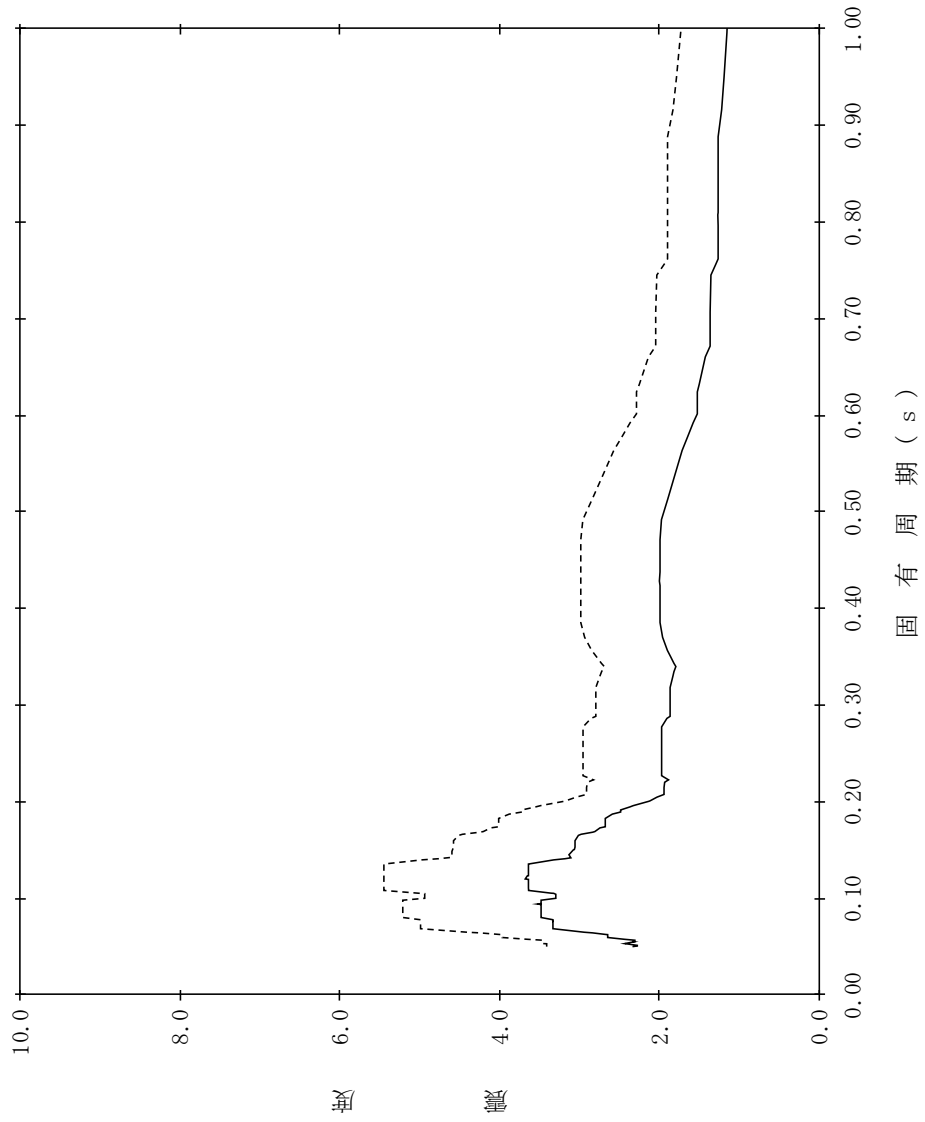
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR5】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

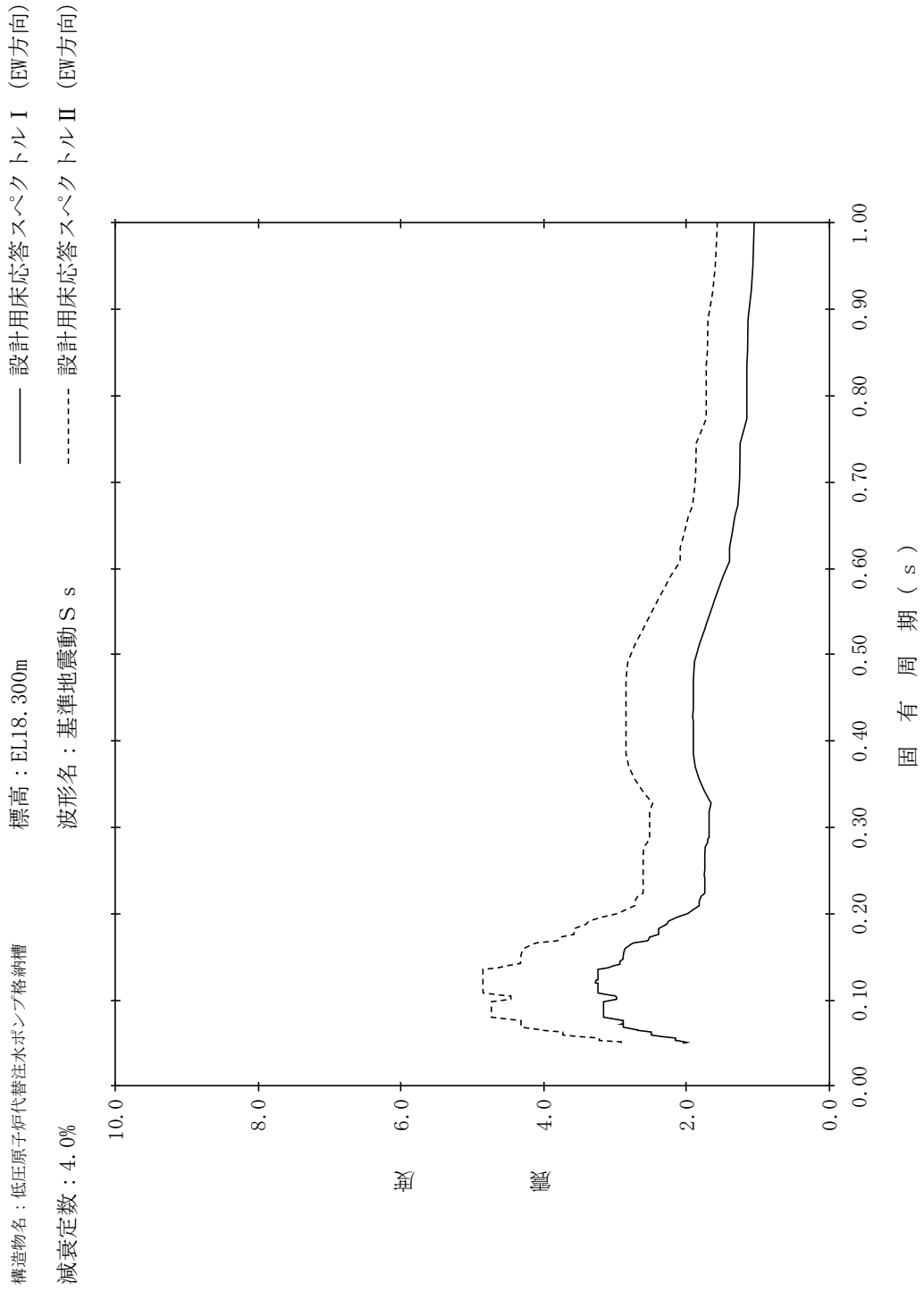


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR6】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

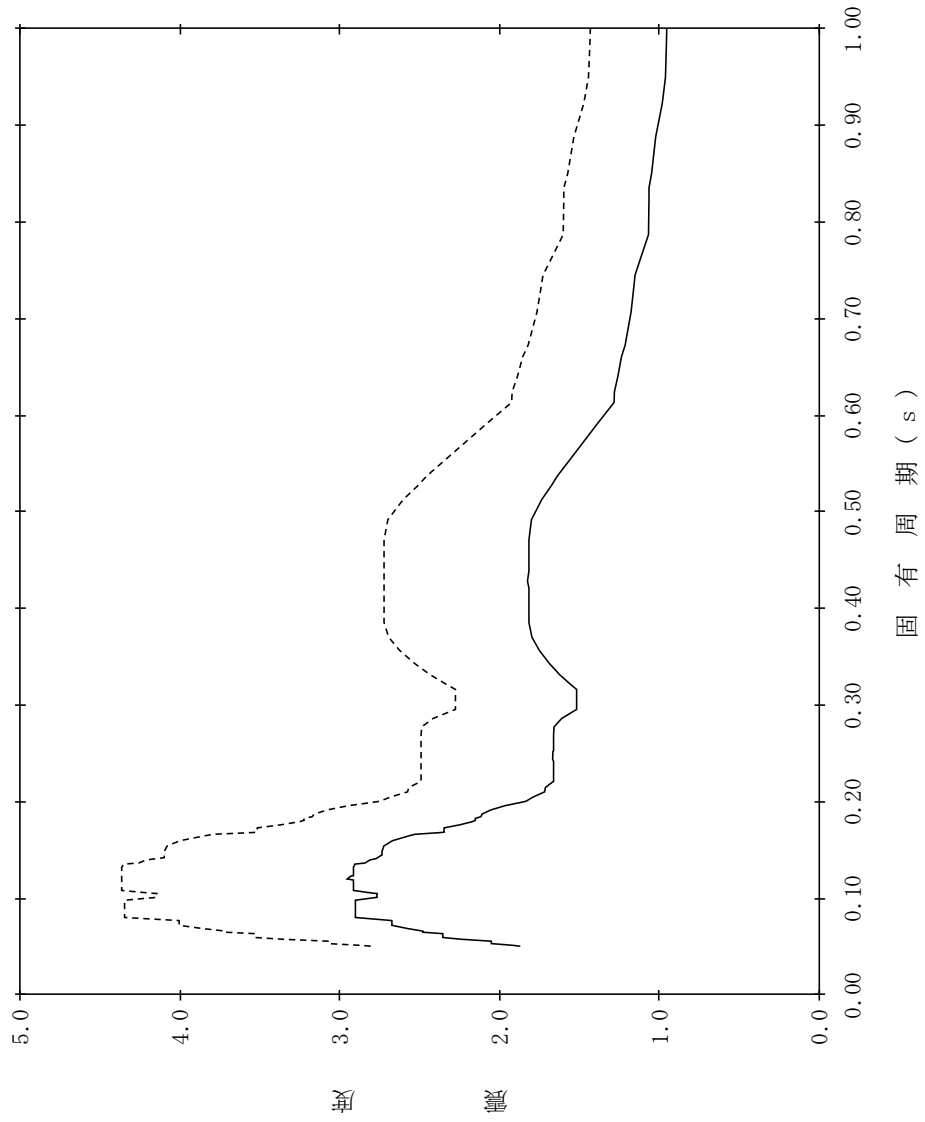


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR7】



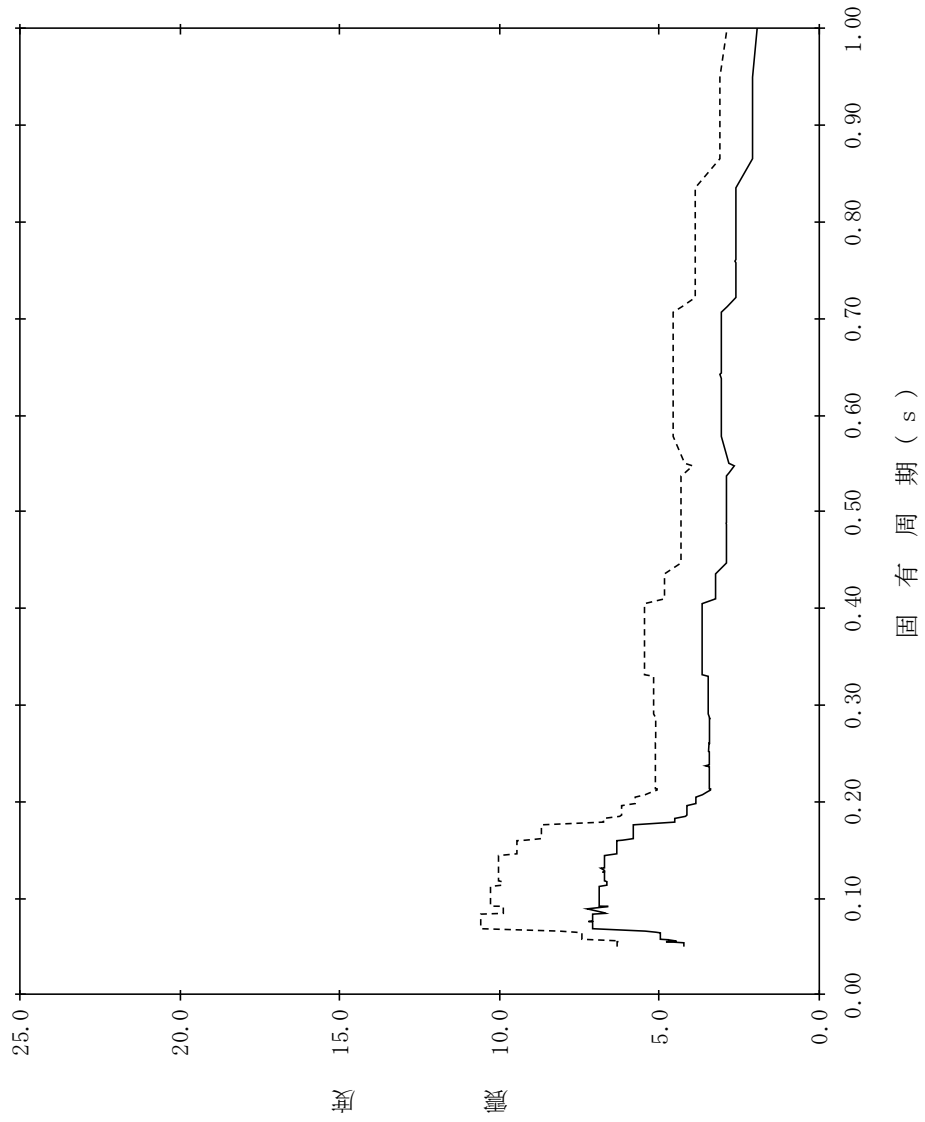
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR8】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：5.0%
 波形式：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



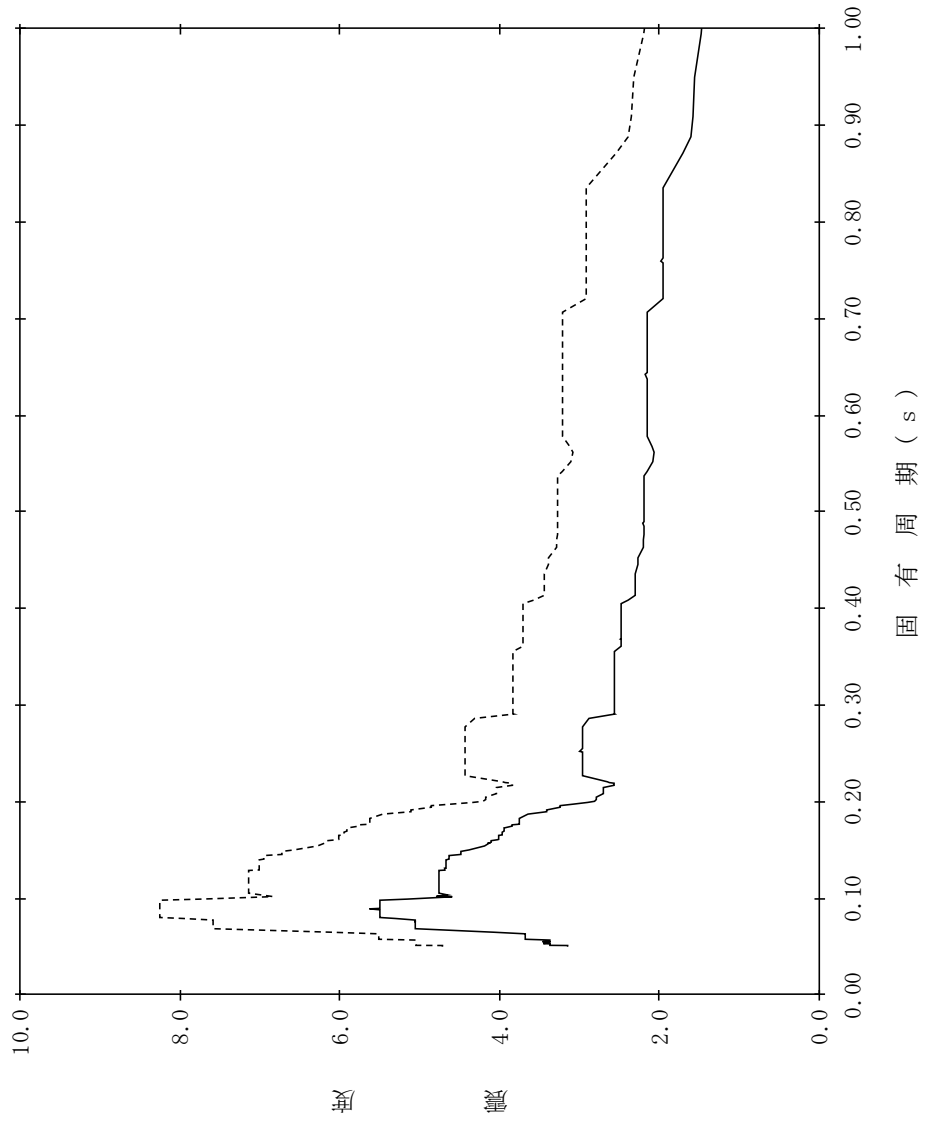
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR9】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

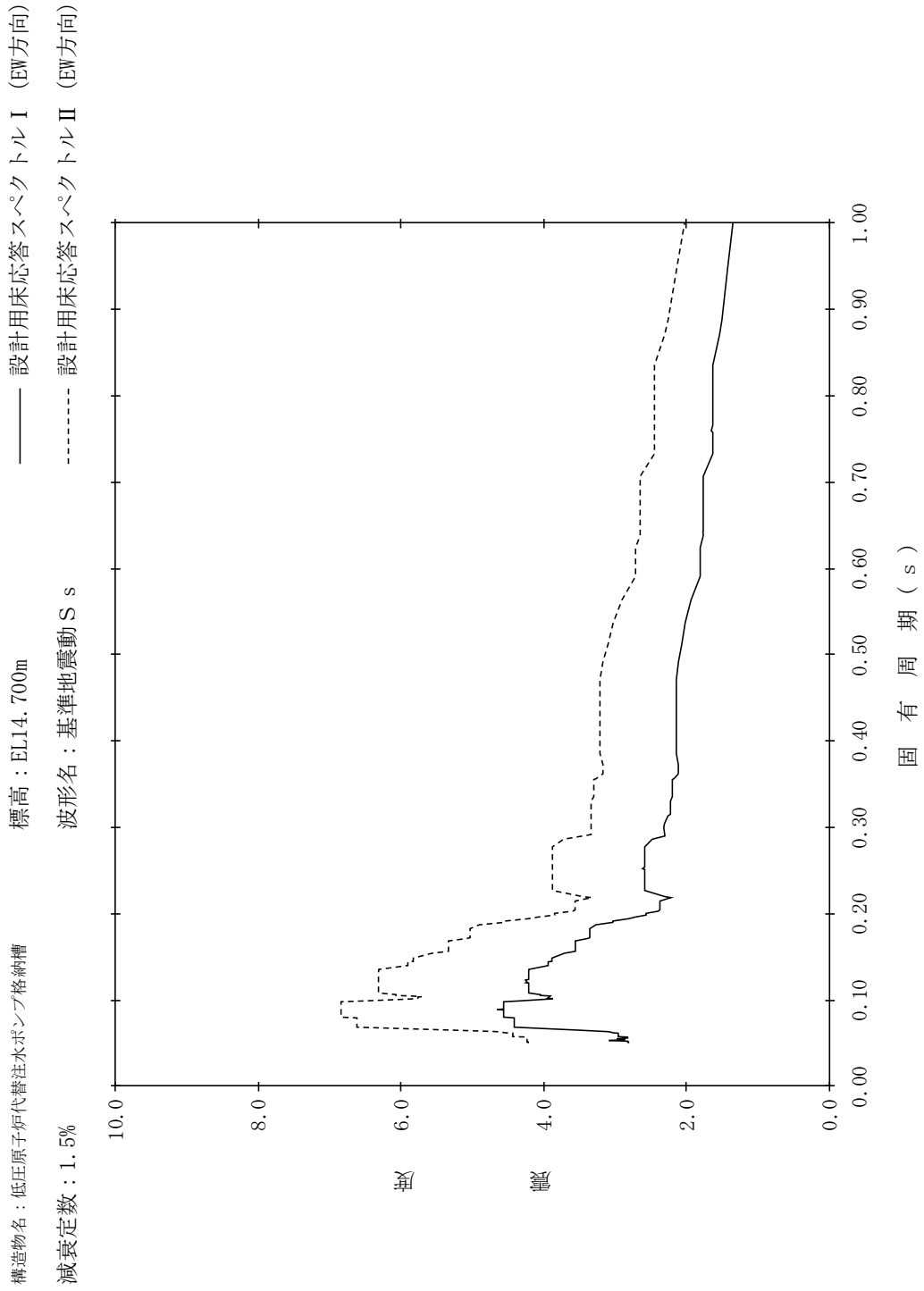


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR10】

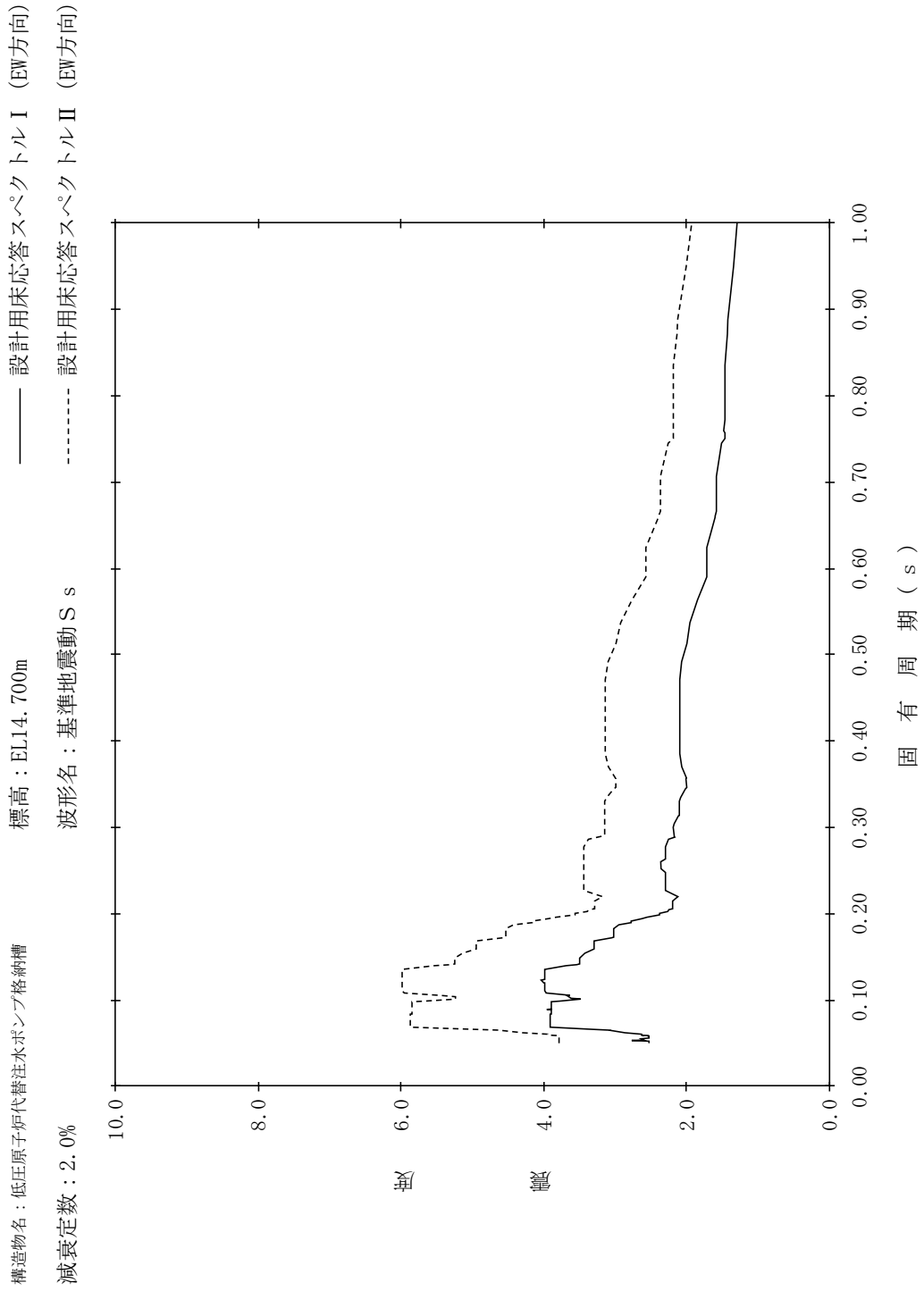
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



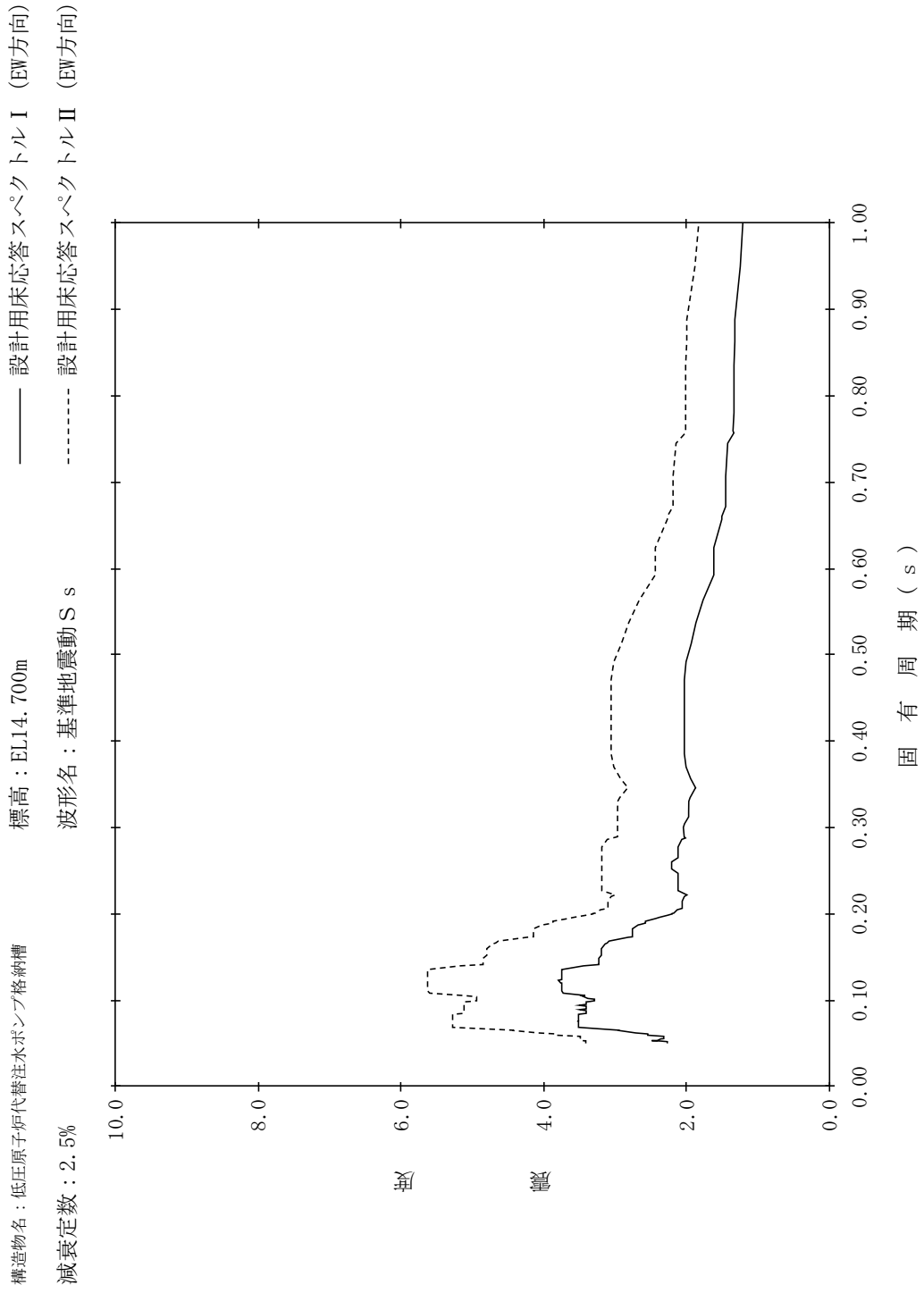
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR11】



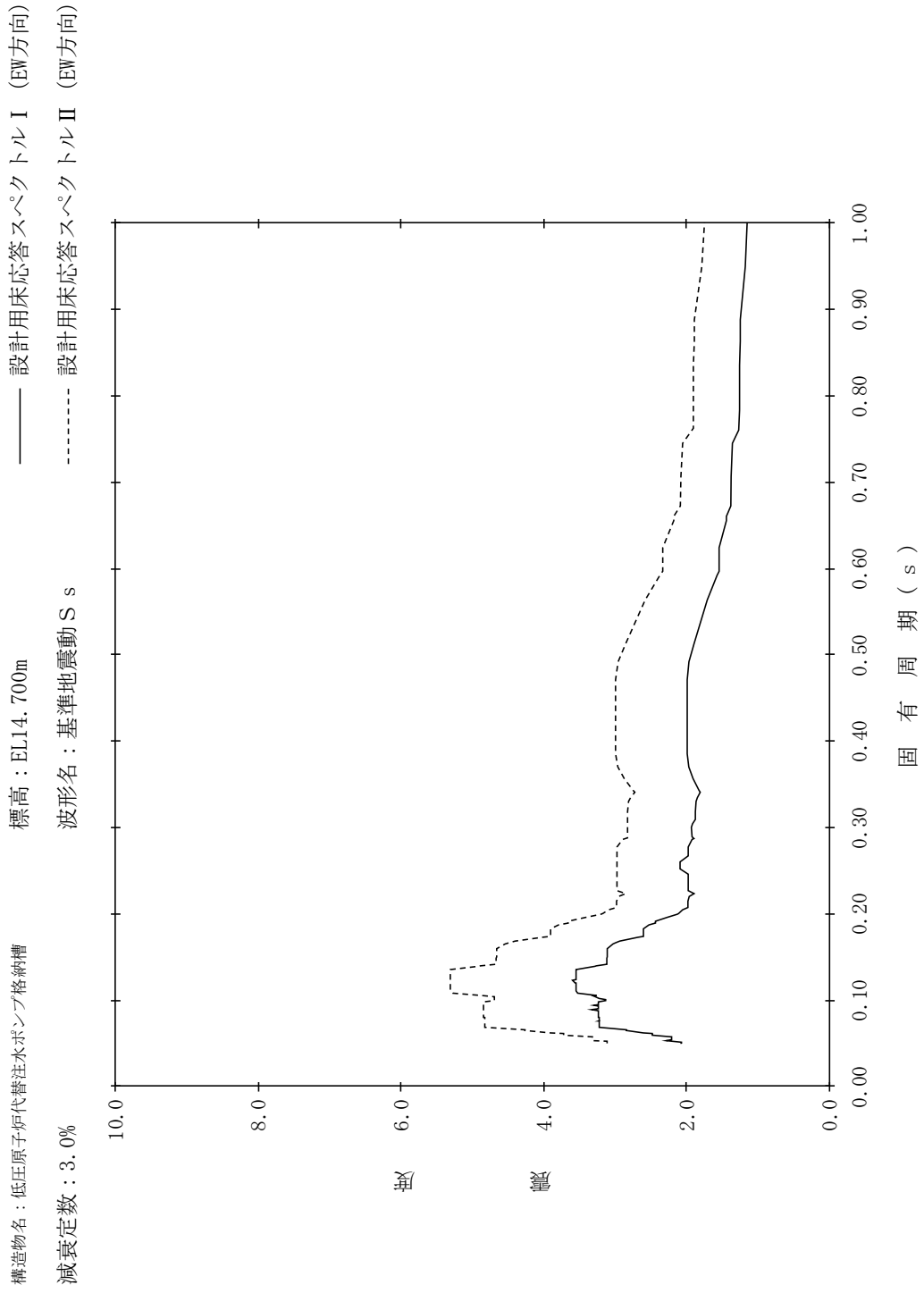
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR12】



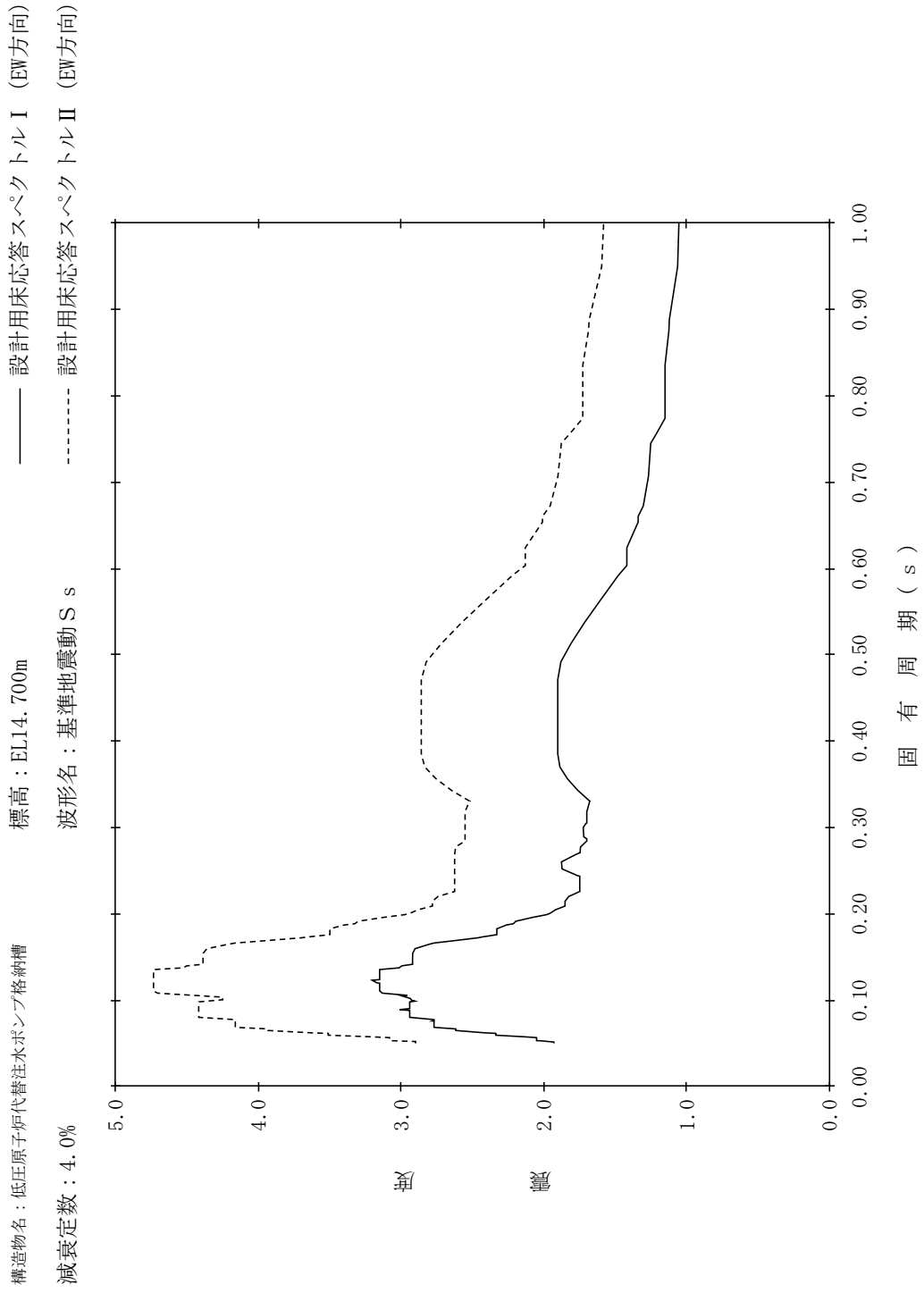
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR13】



【NS2-FLSR-SsEW-FLSR14】

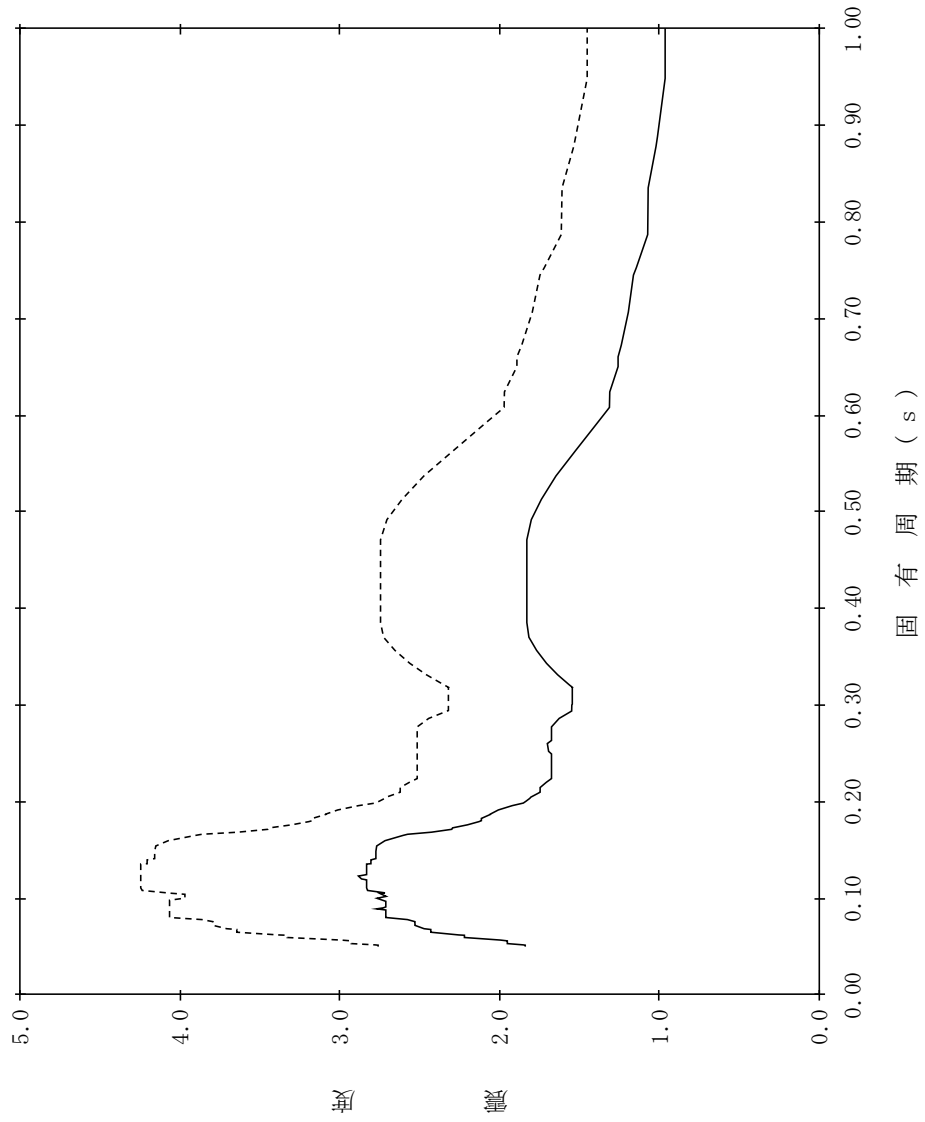


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR15】

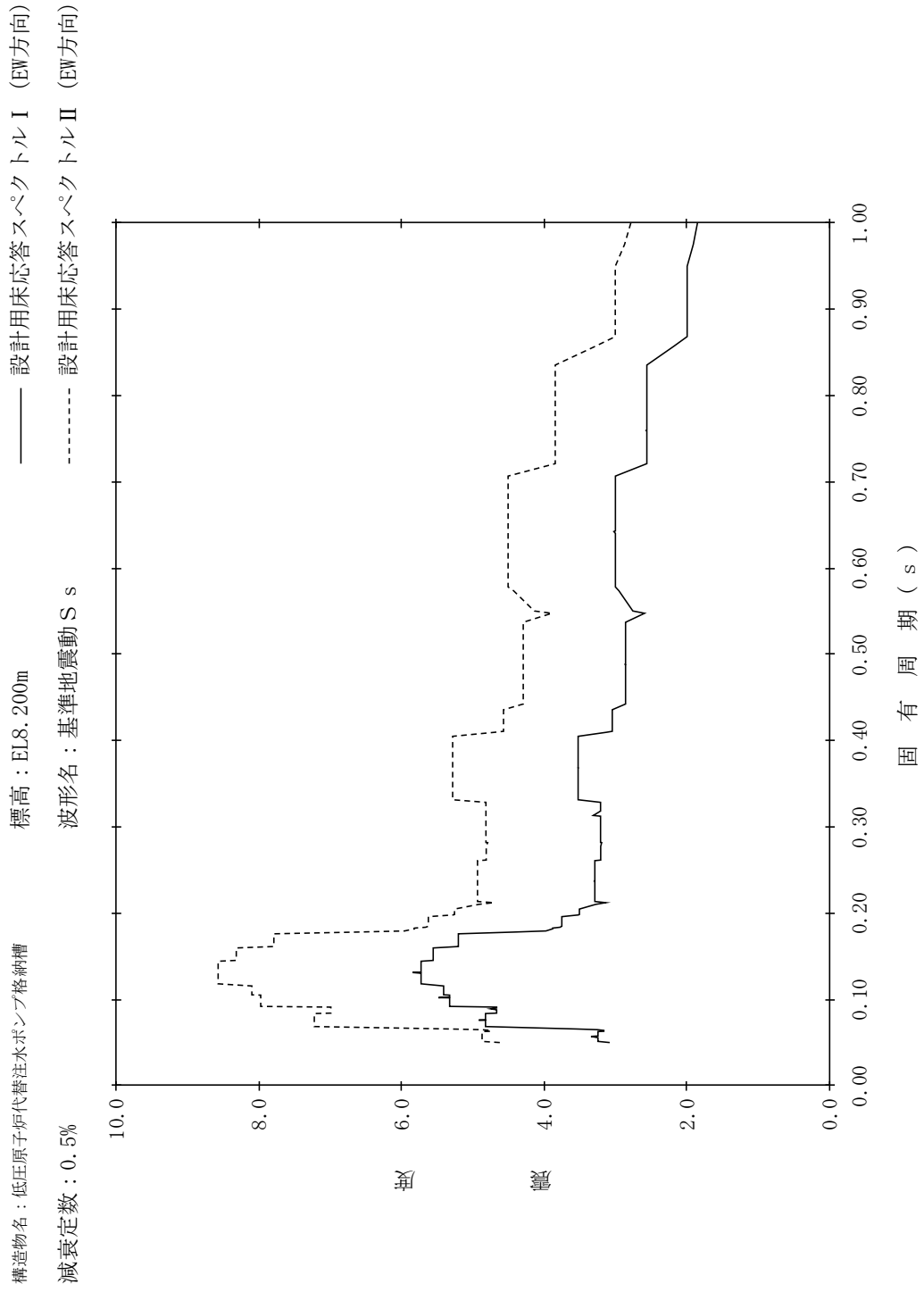


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR16】

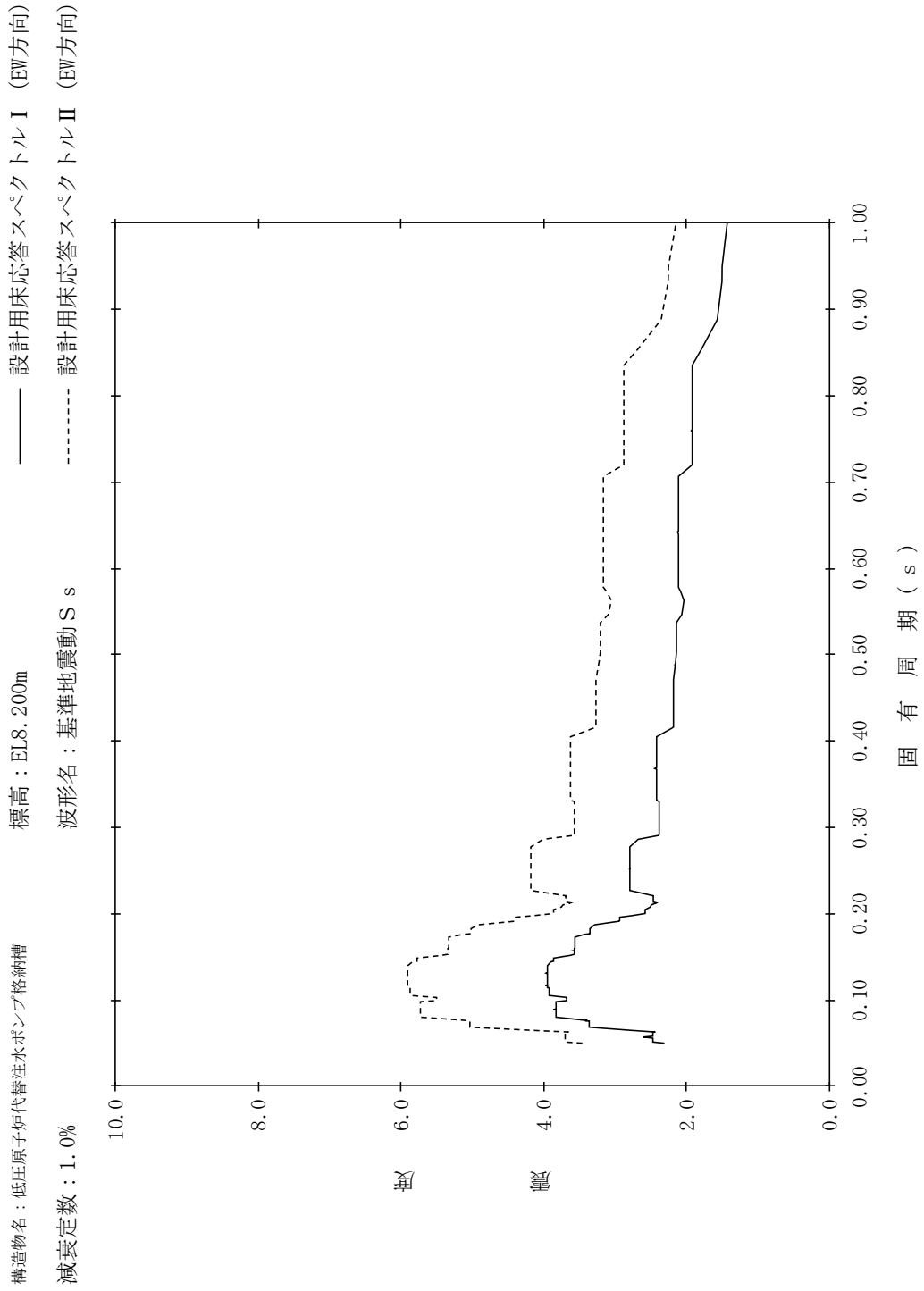
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



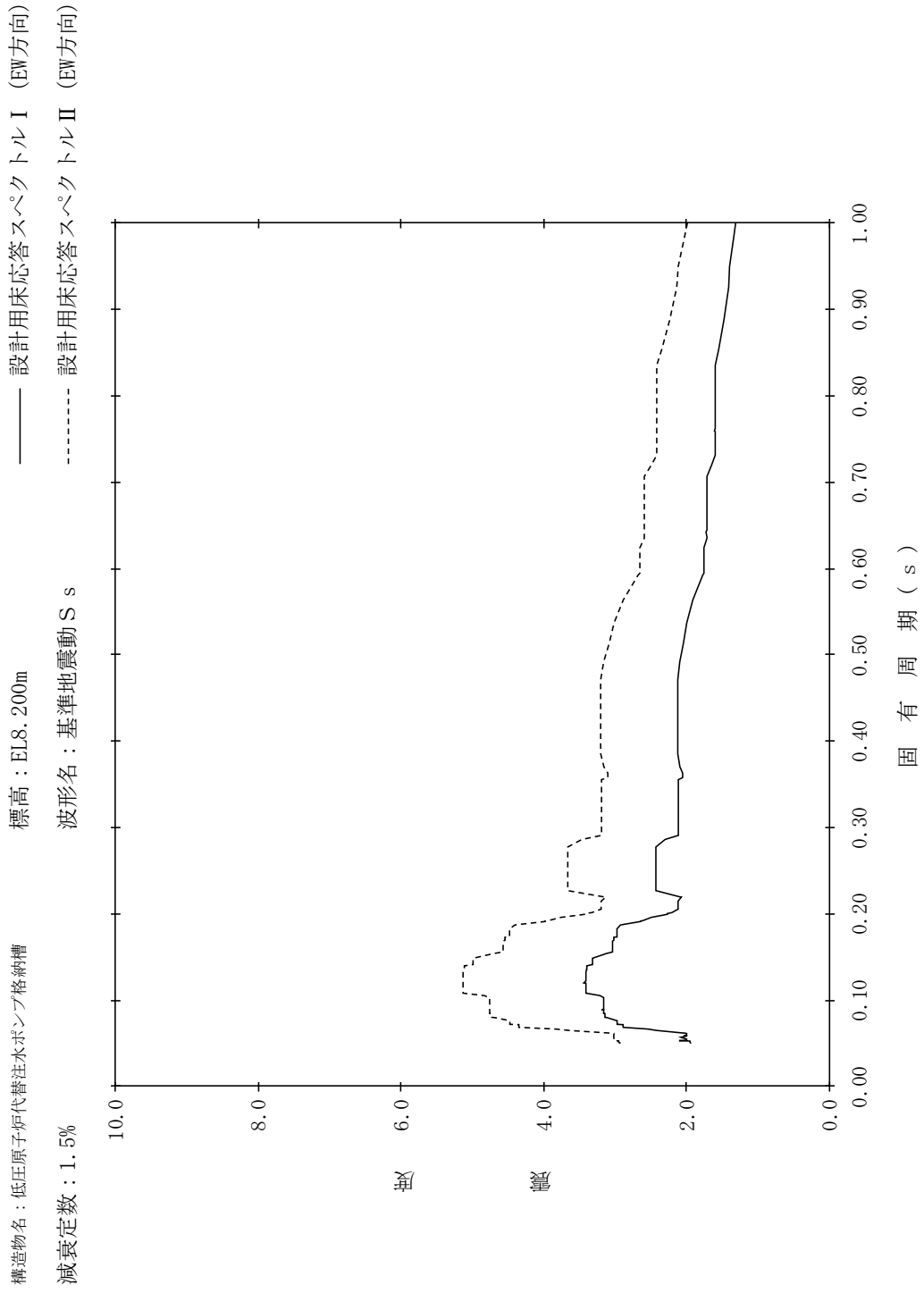
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR17】



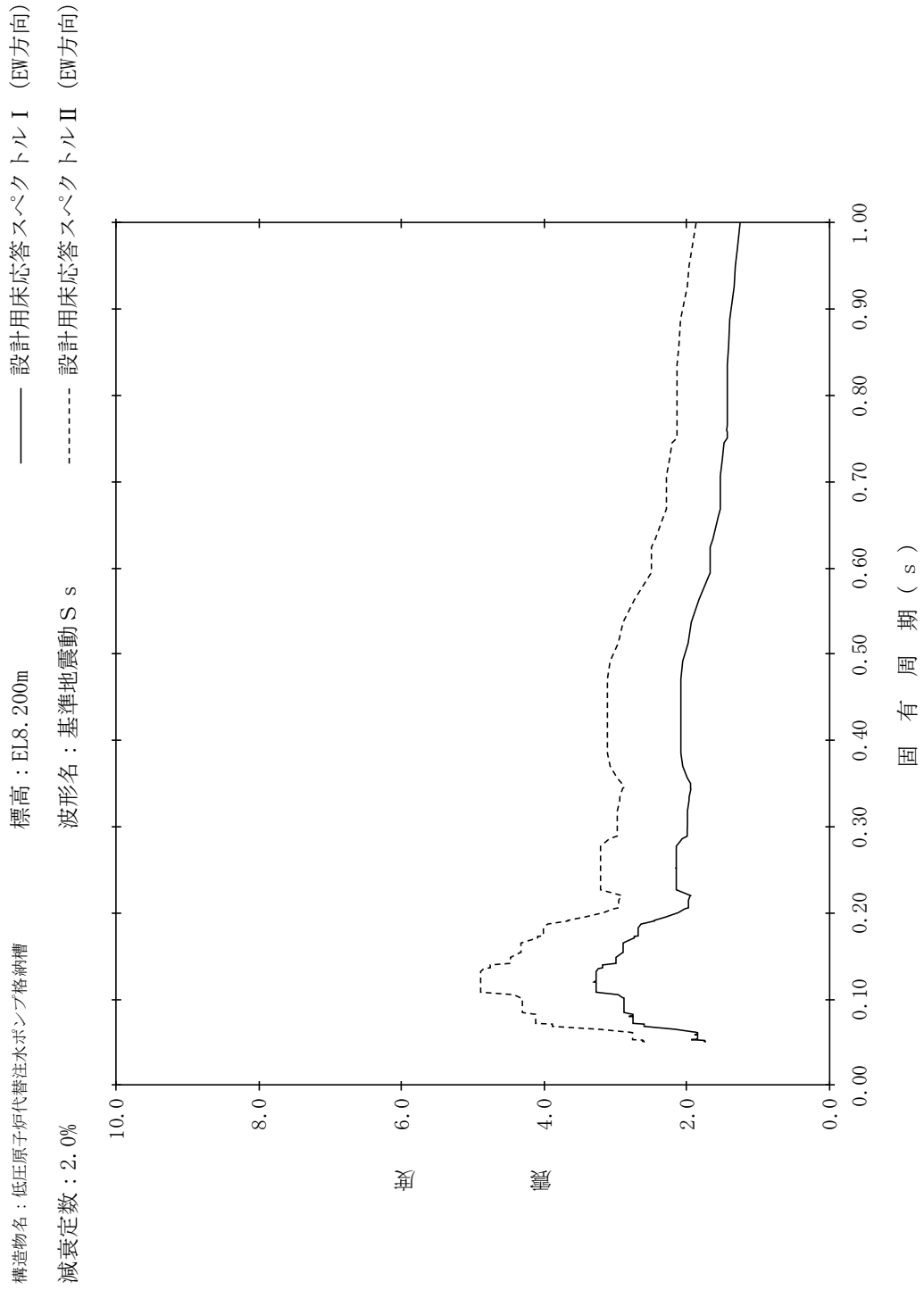
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR18】



【NS2-FLSR-SsEW-FLSR19】

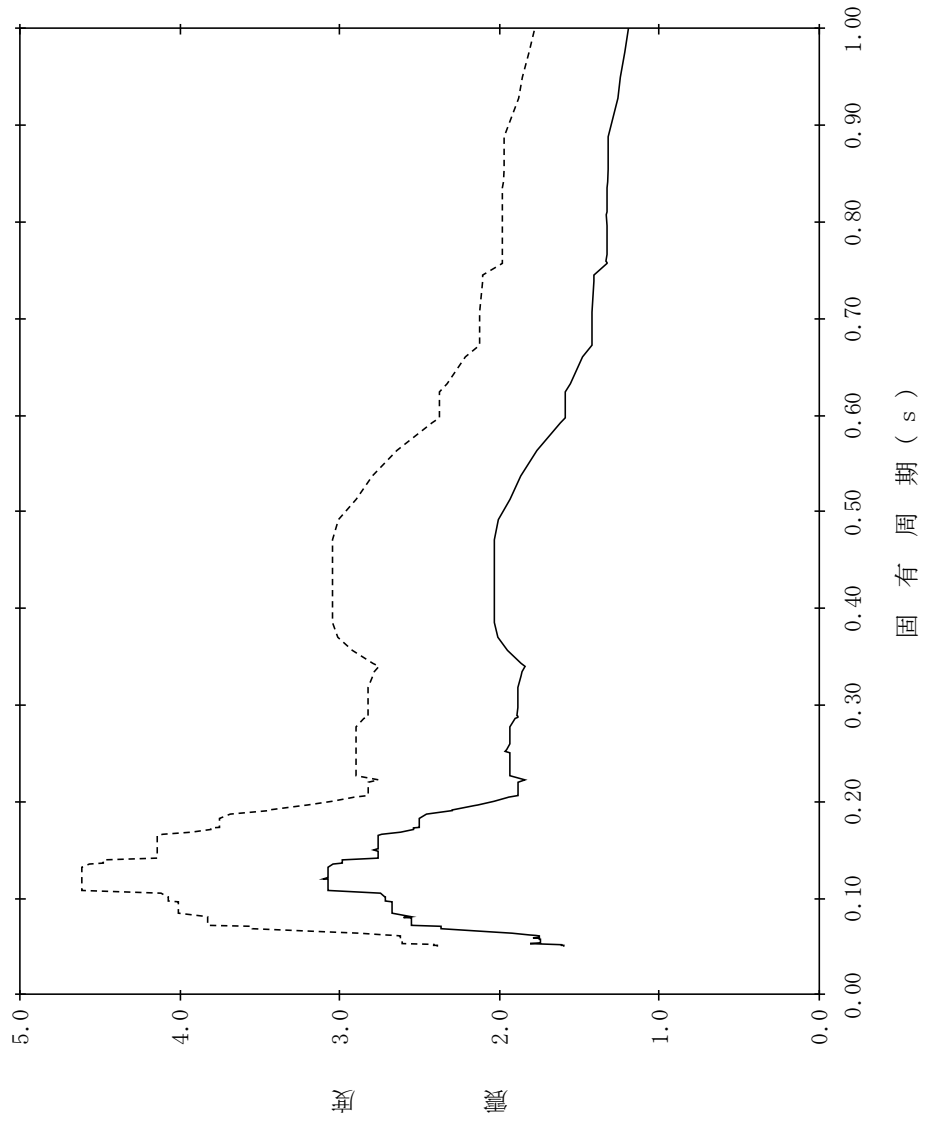


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR20】

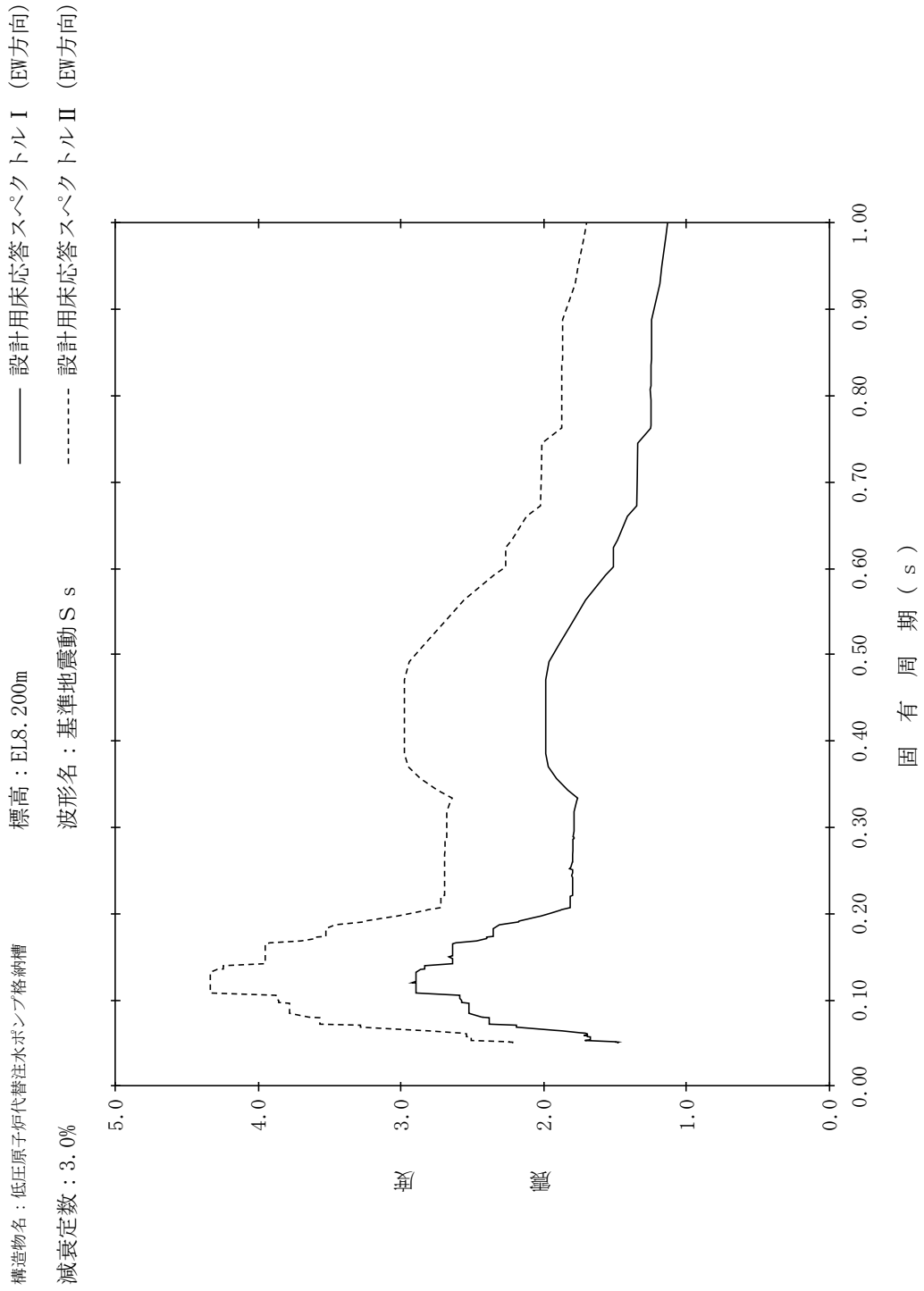


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR21】

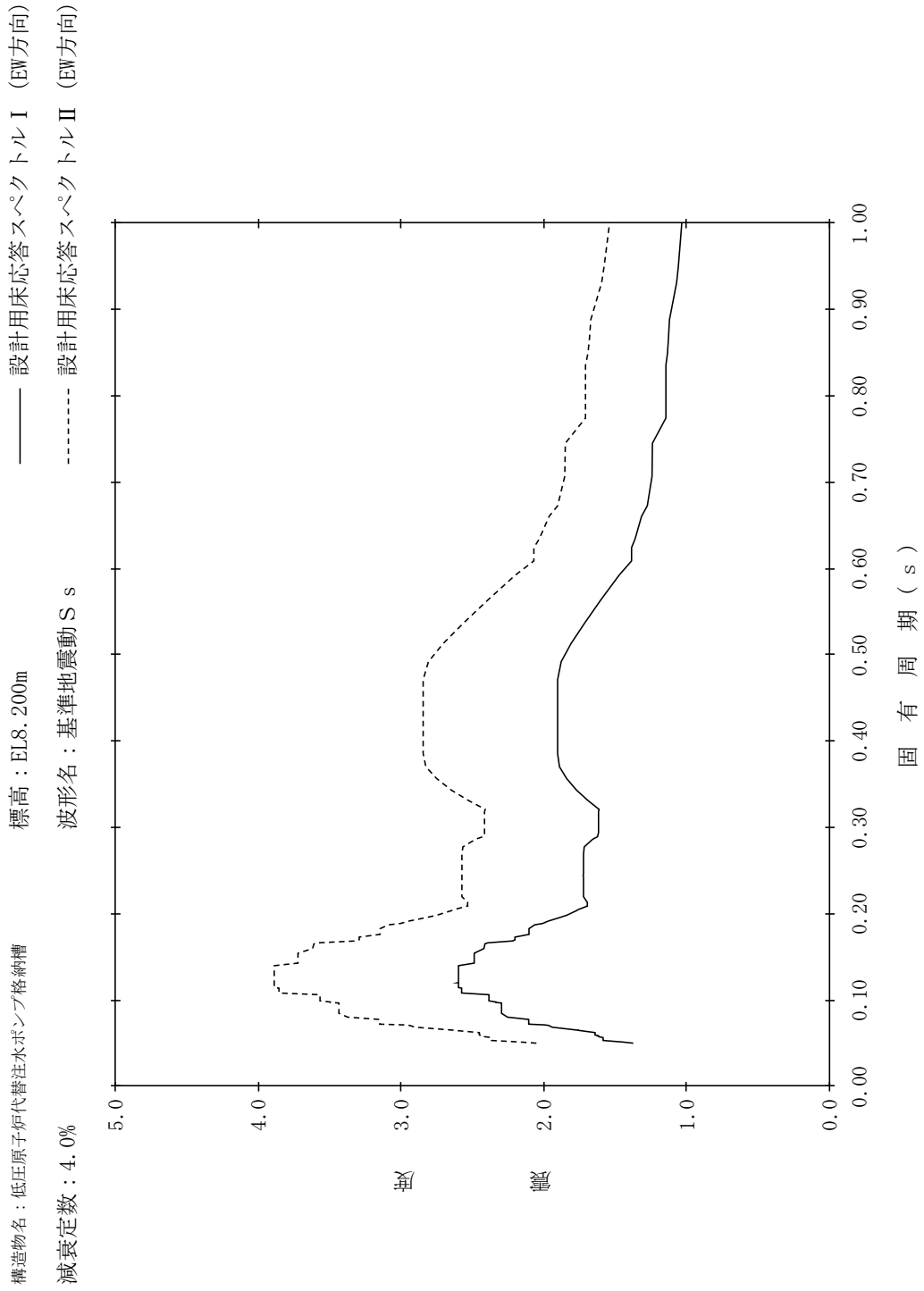
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL8.200m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



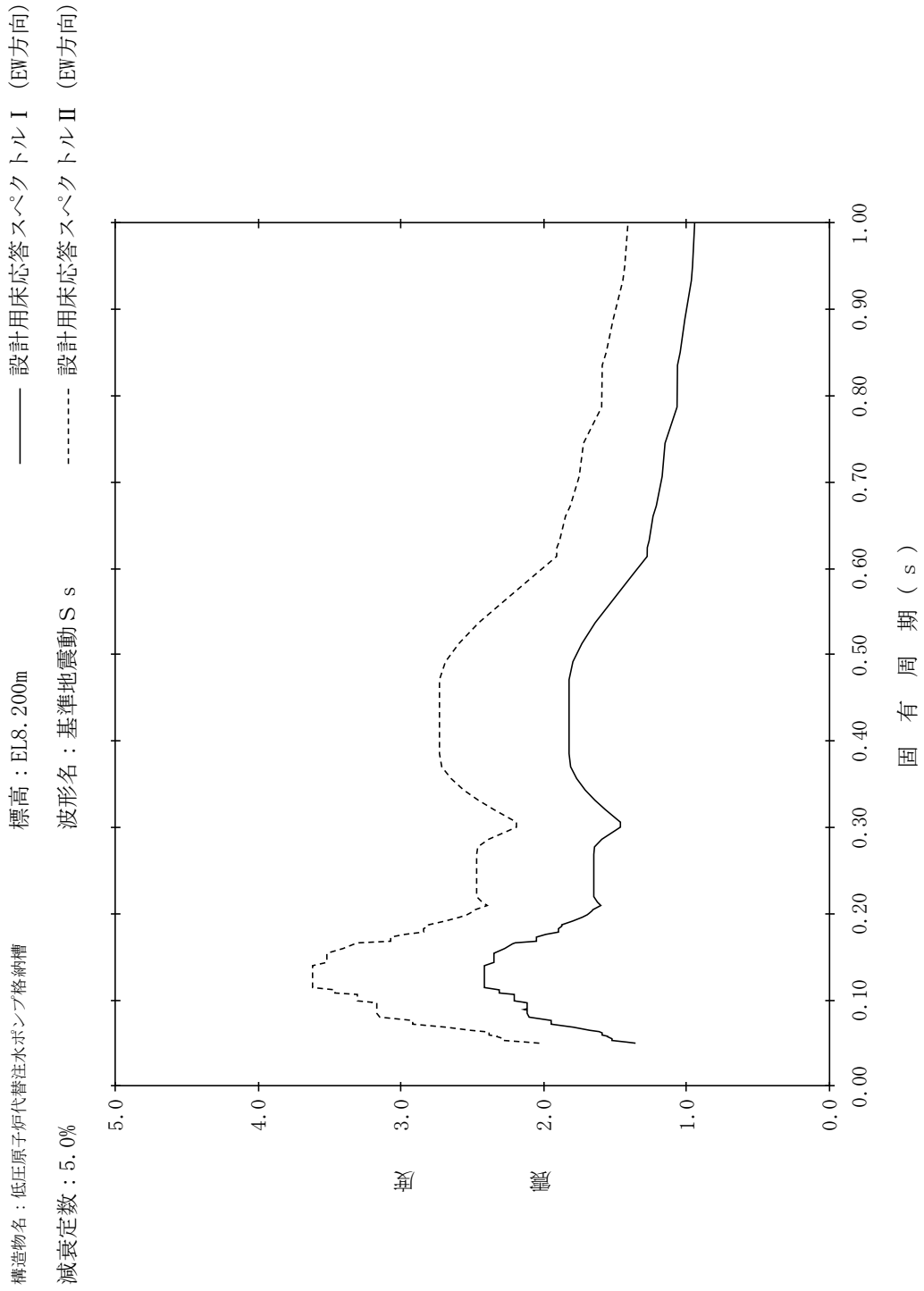
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR22】



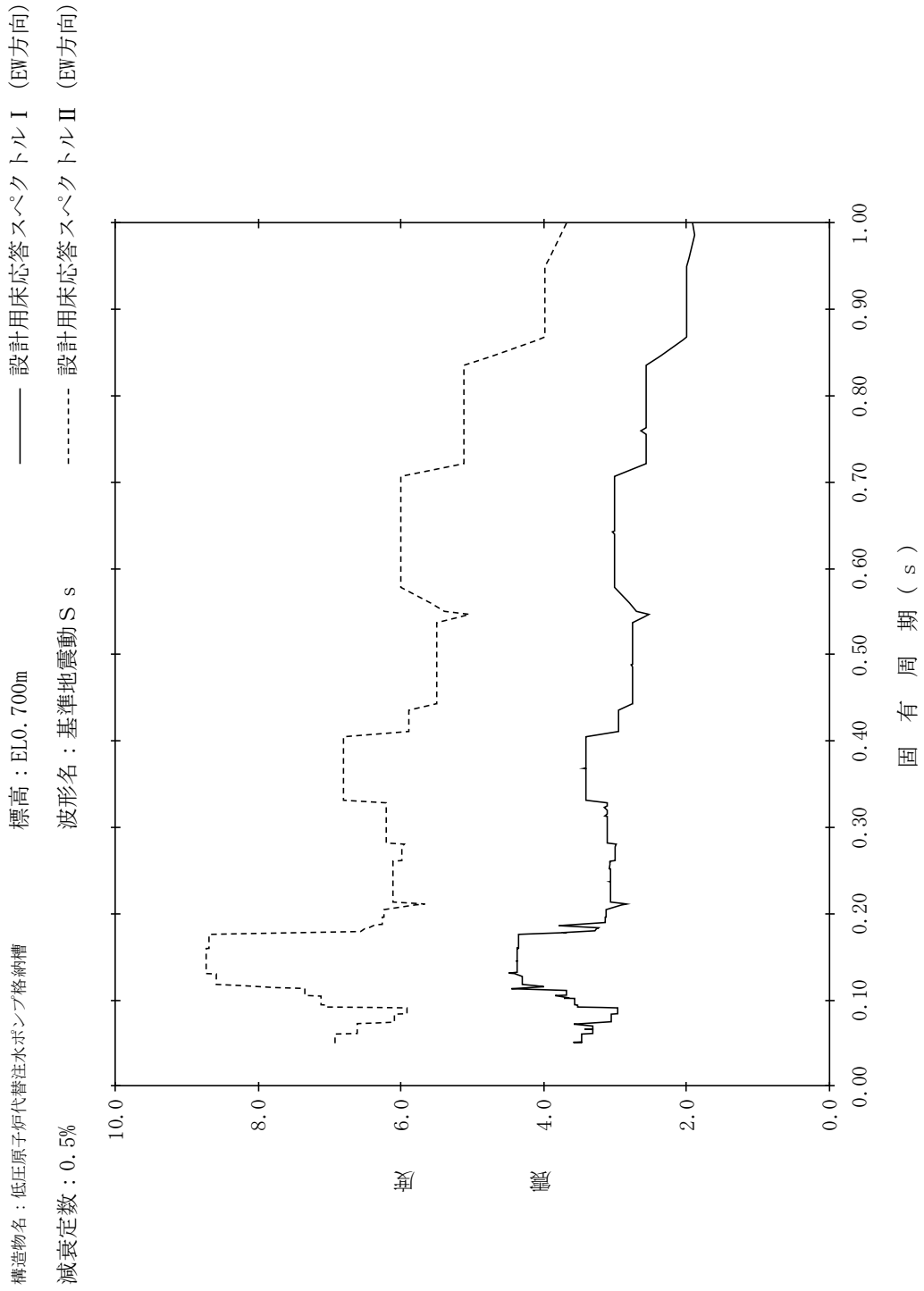
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR23】



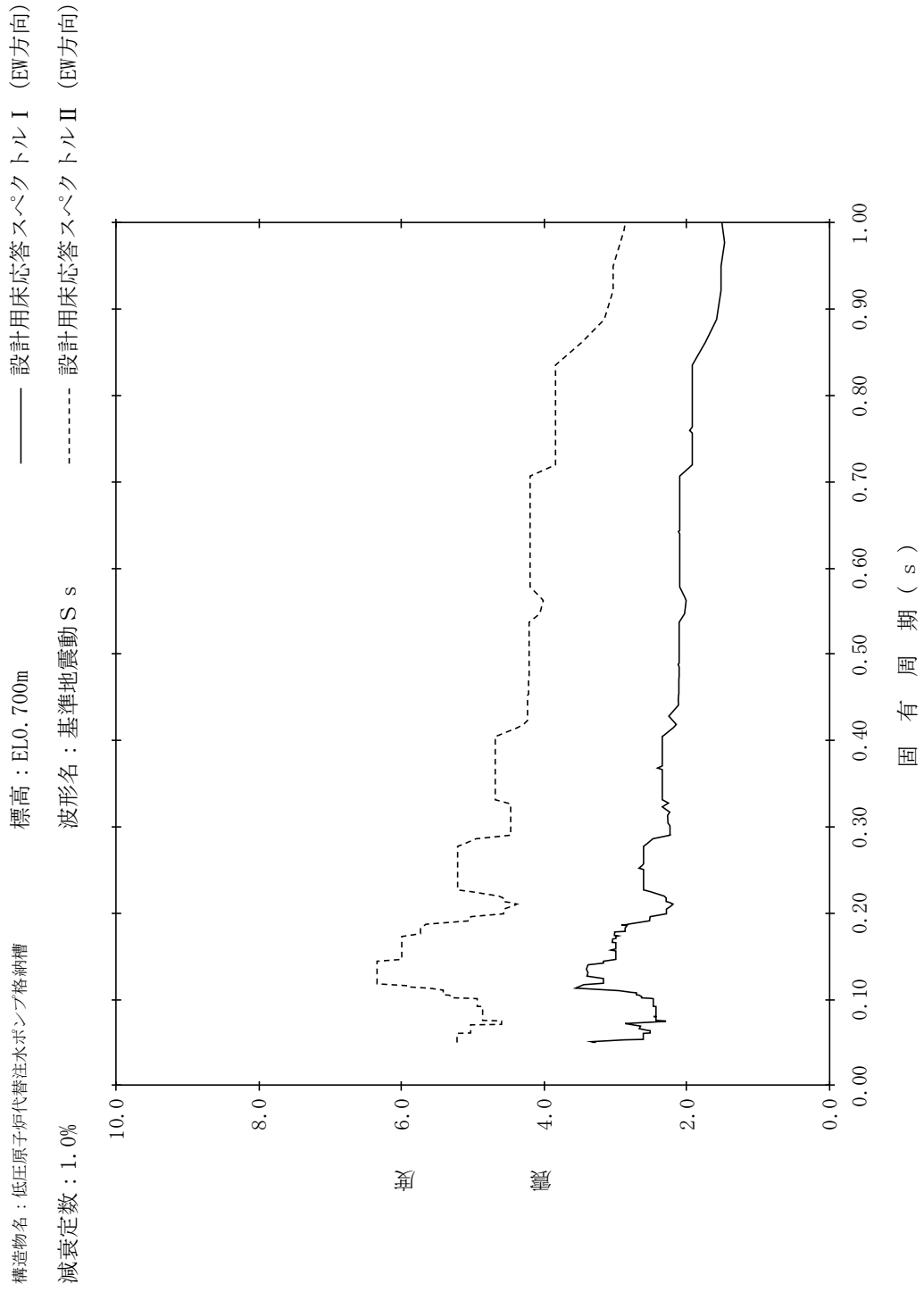
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR24】



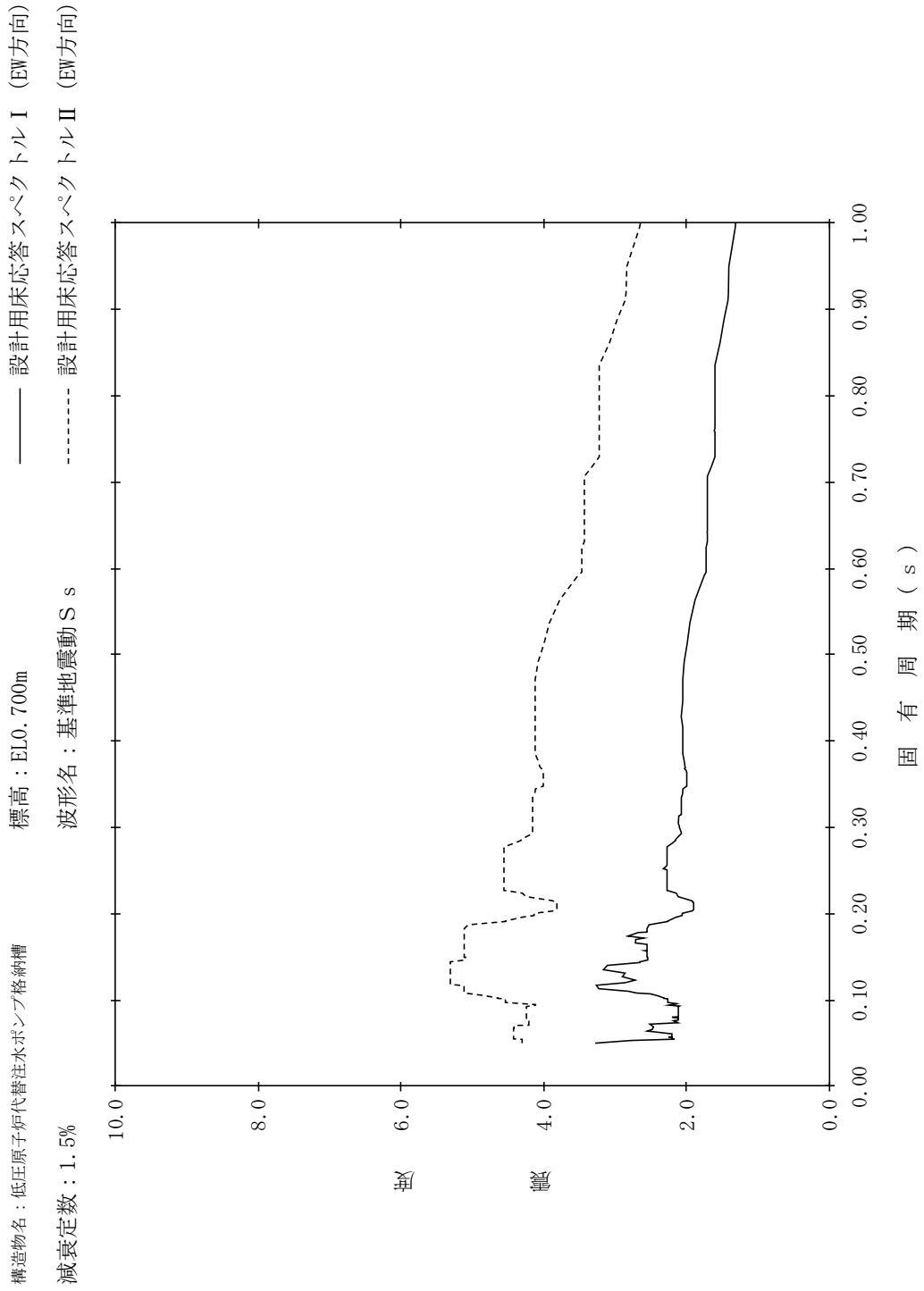
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR25】



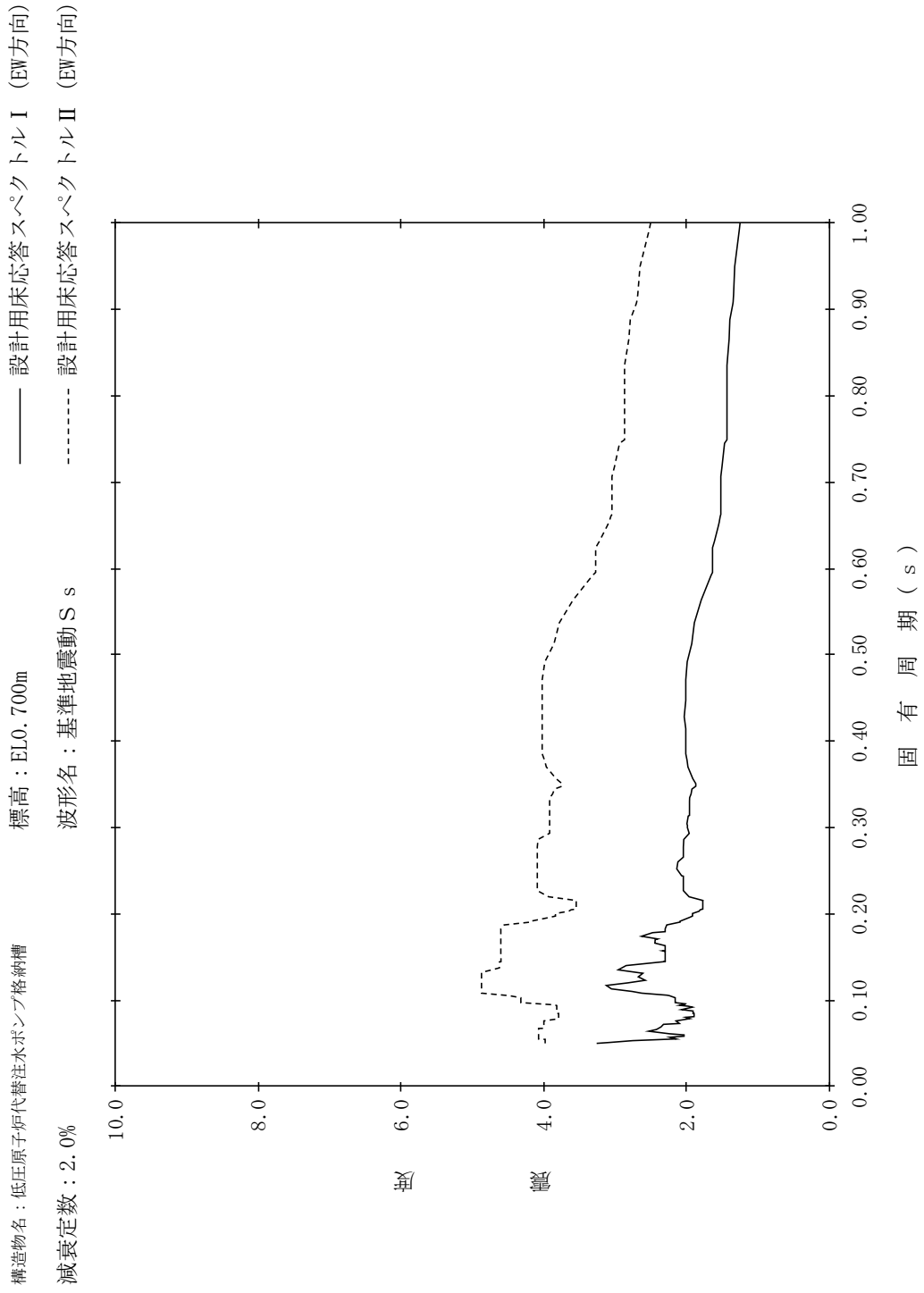
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR26】



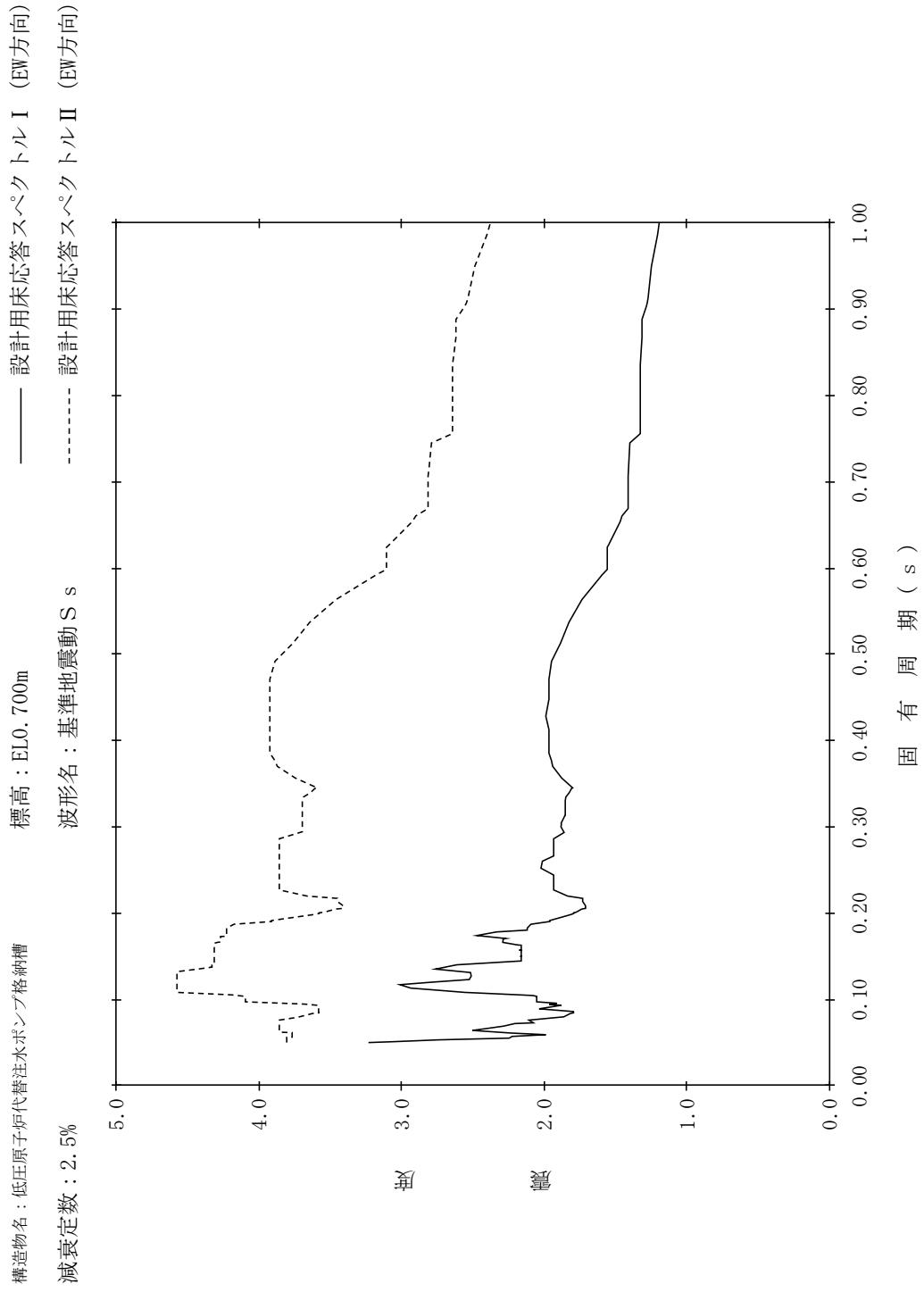
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR27】



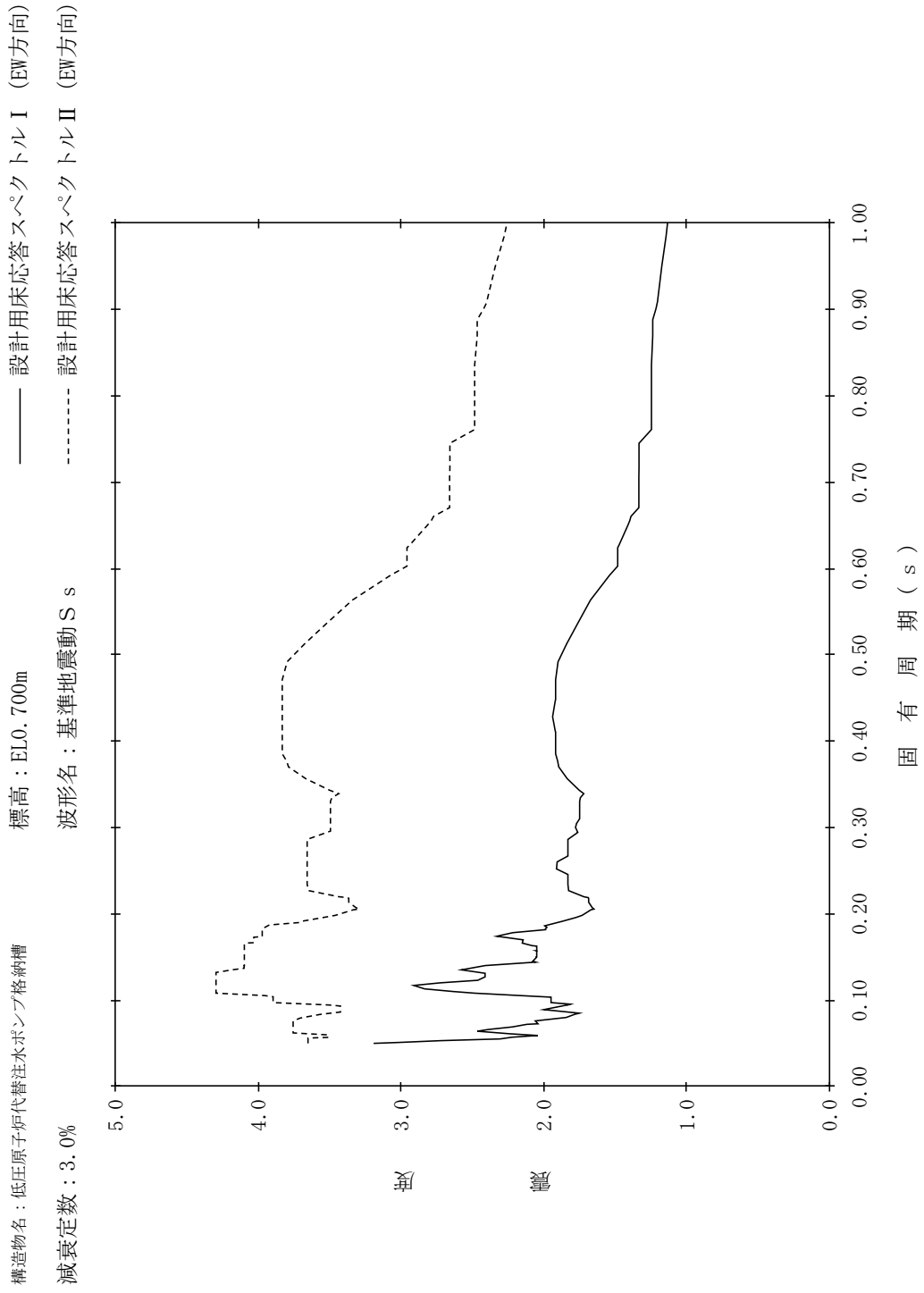
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR28】



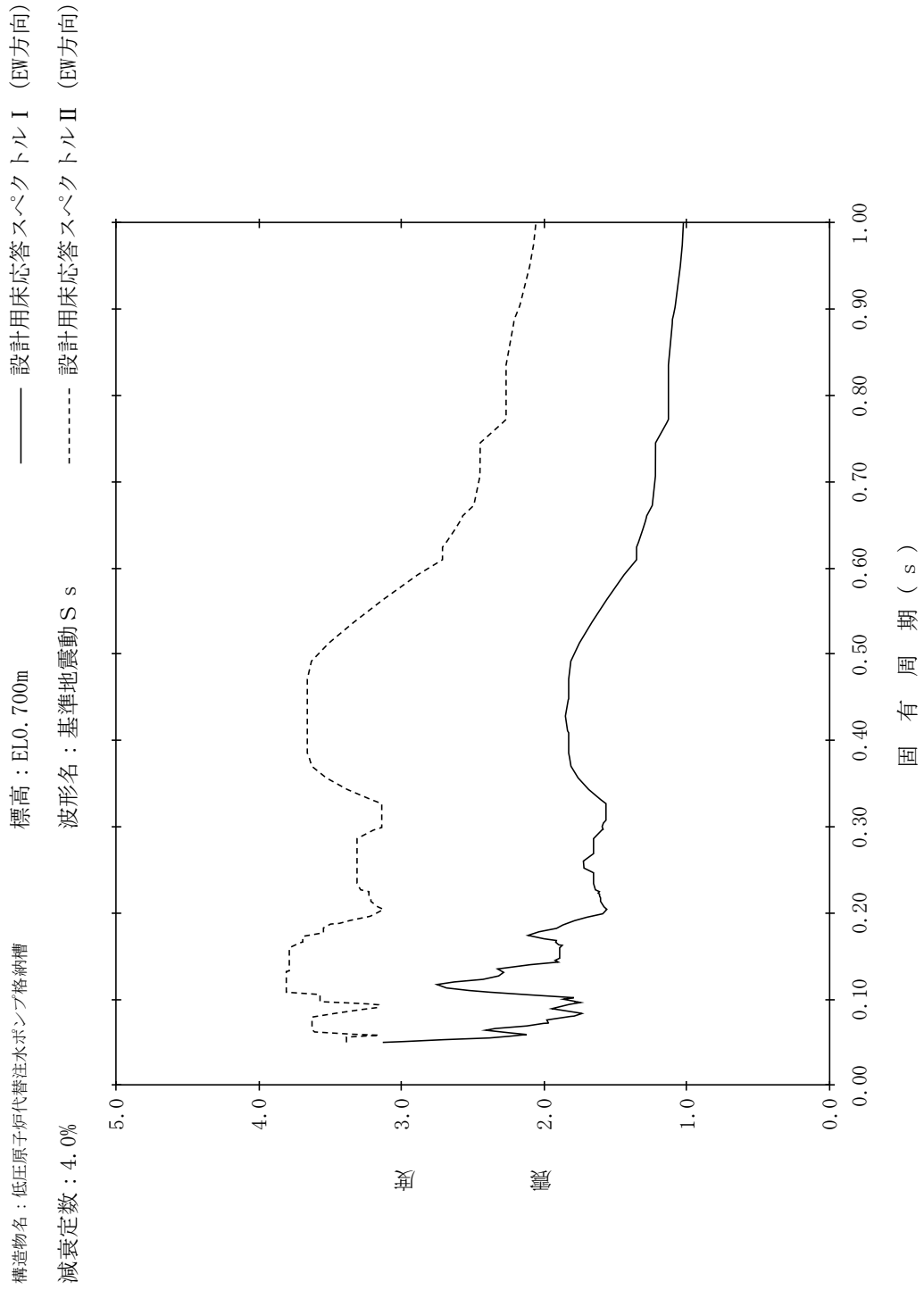
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR29】



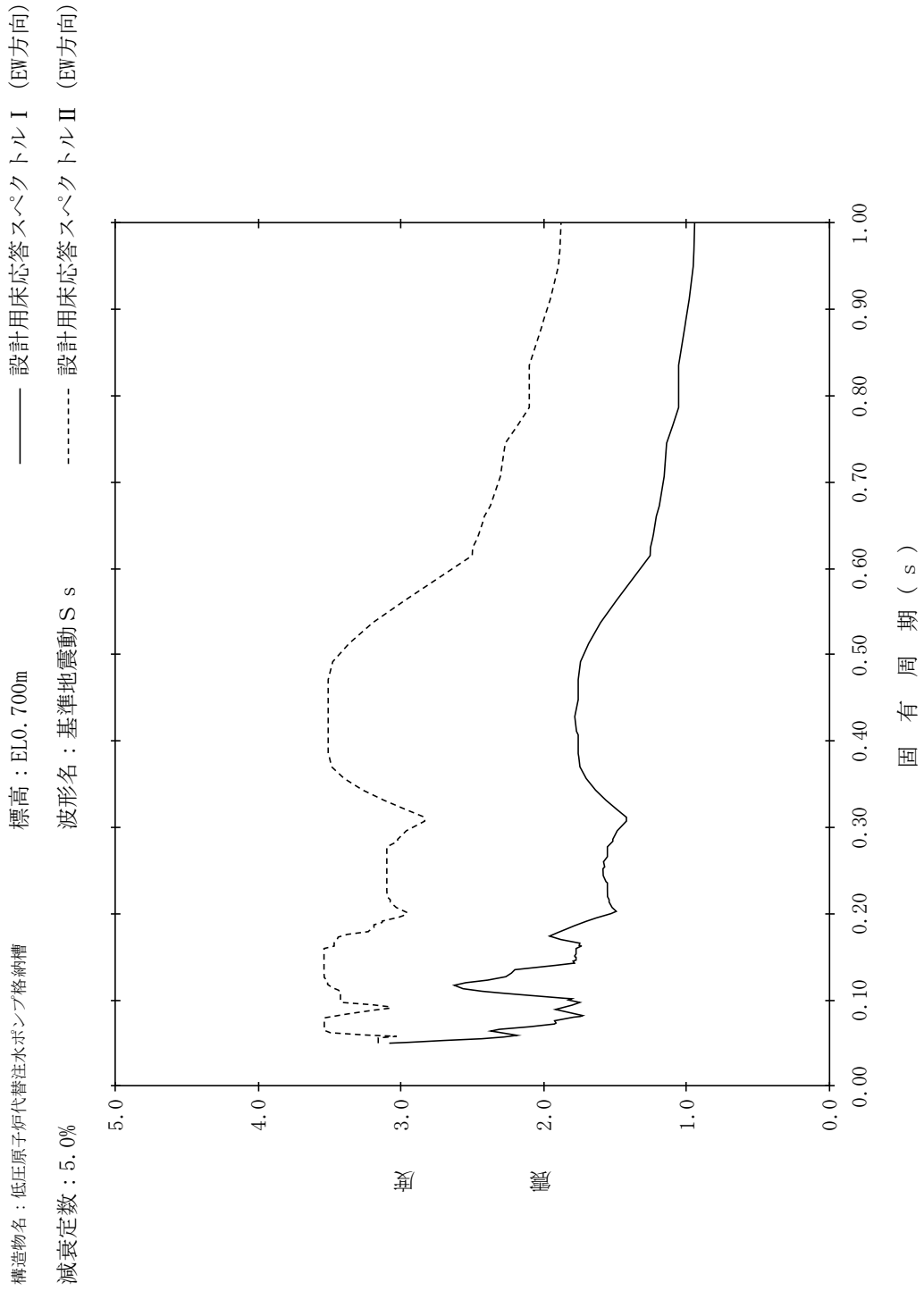
【NS2-FLSR-SsEW-FLSR30】



【NS2-FLSR-SsEW-FLSR31】

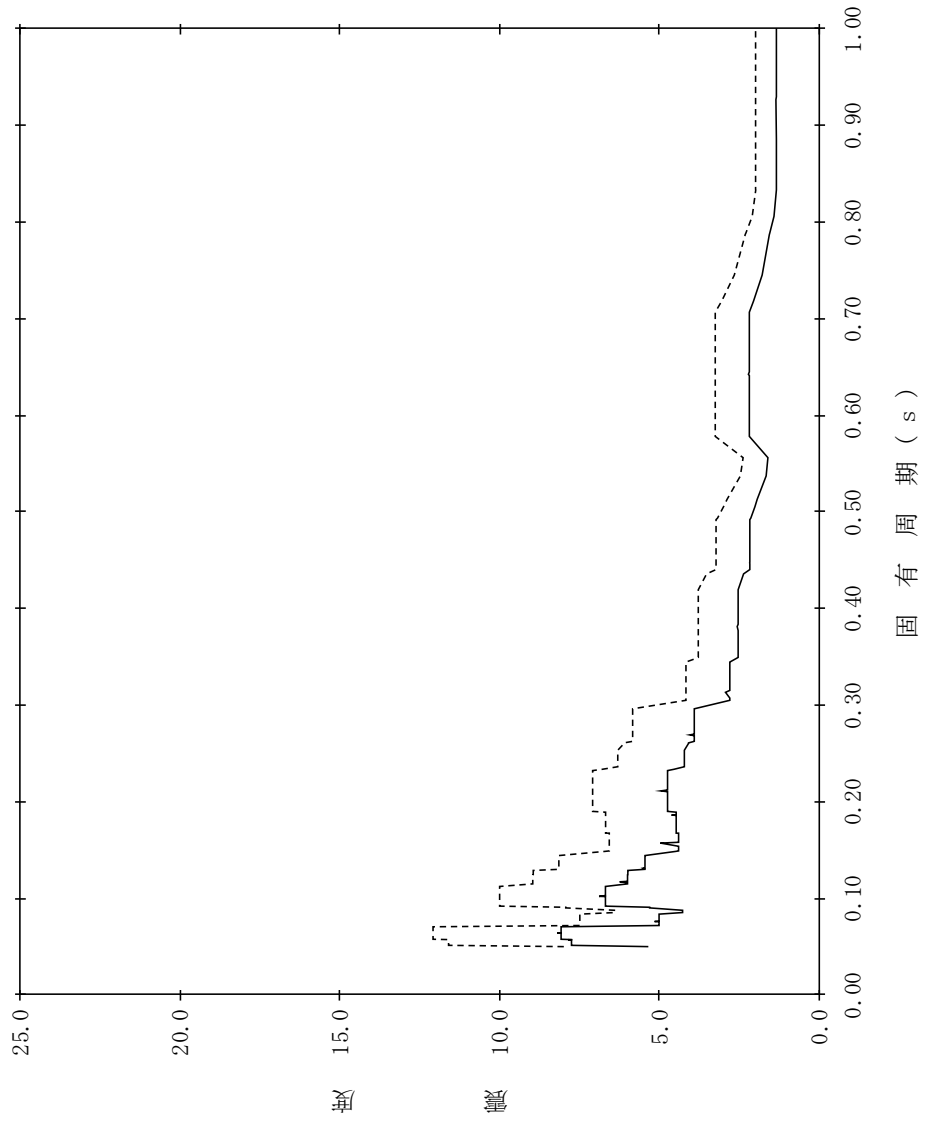


【NS2-FLSR-SsEW-FLSR32】



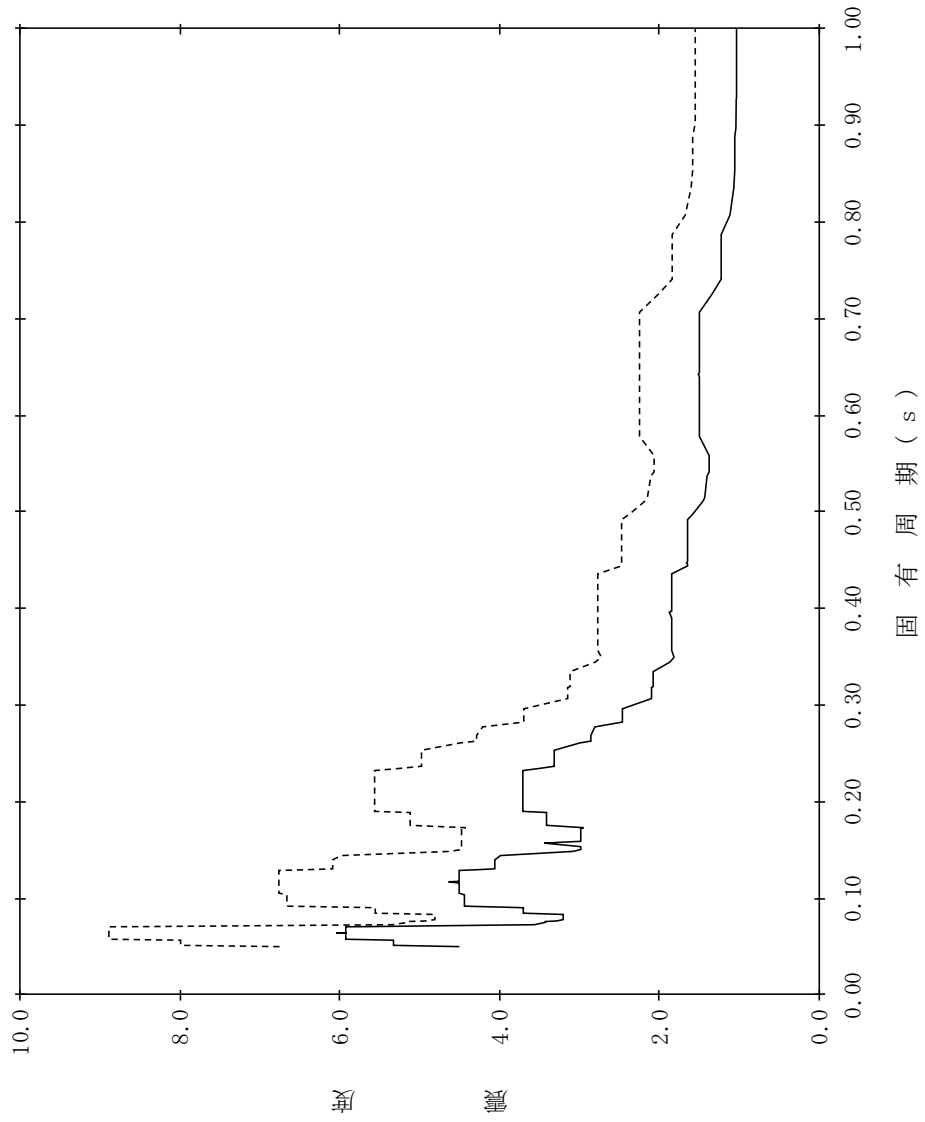
【NS2-FLSR-SsV-FLSR1】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



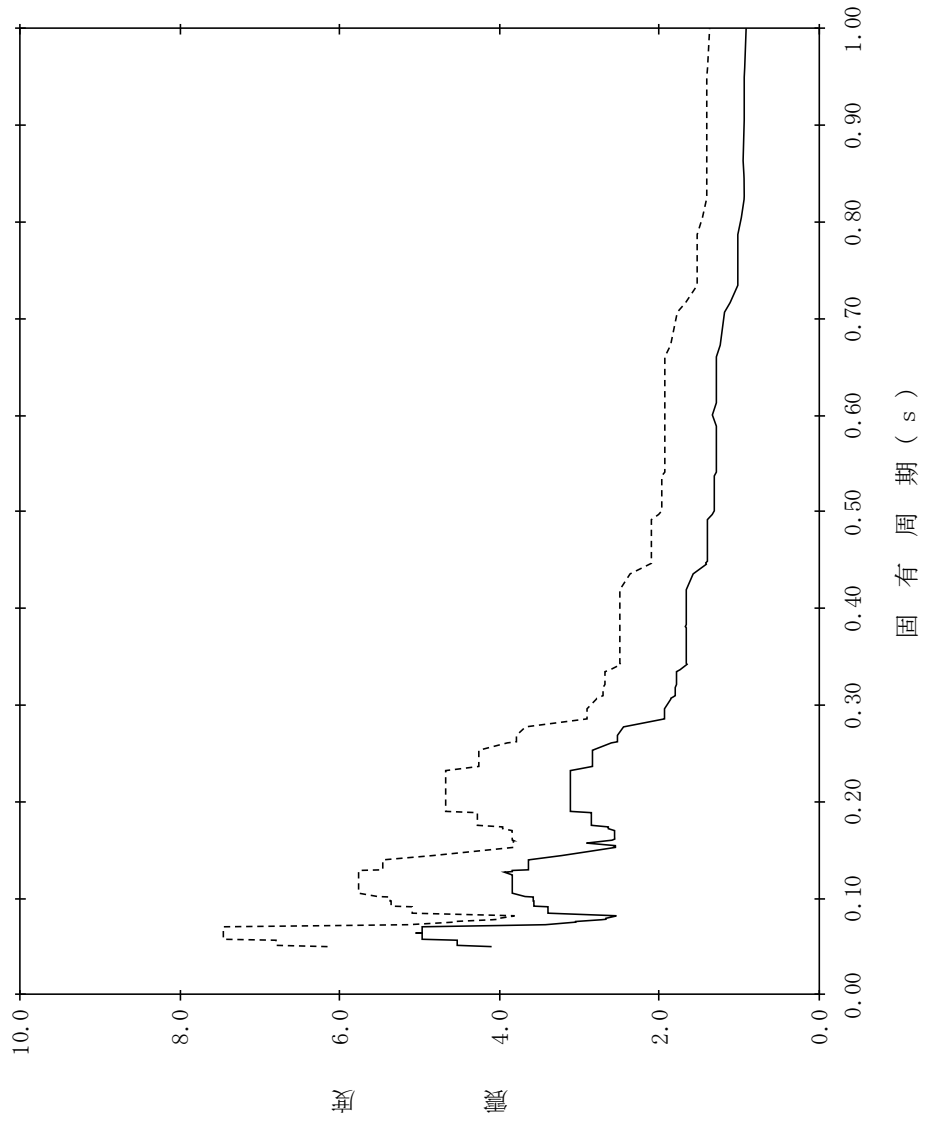
【NS2-FLSR-SsV-FLSR2】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

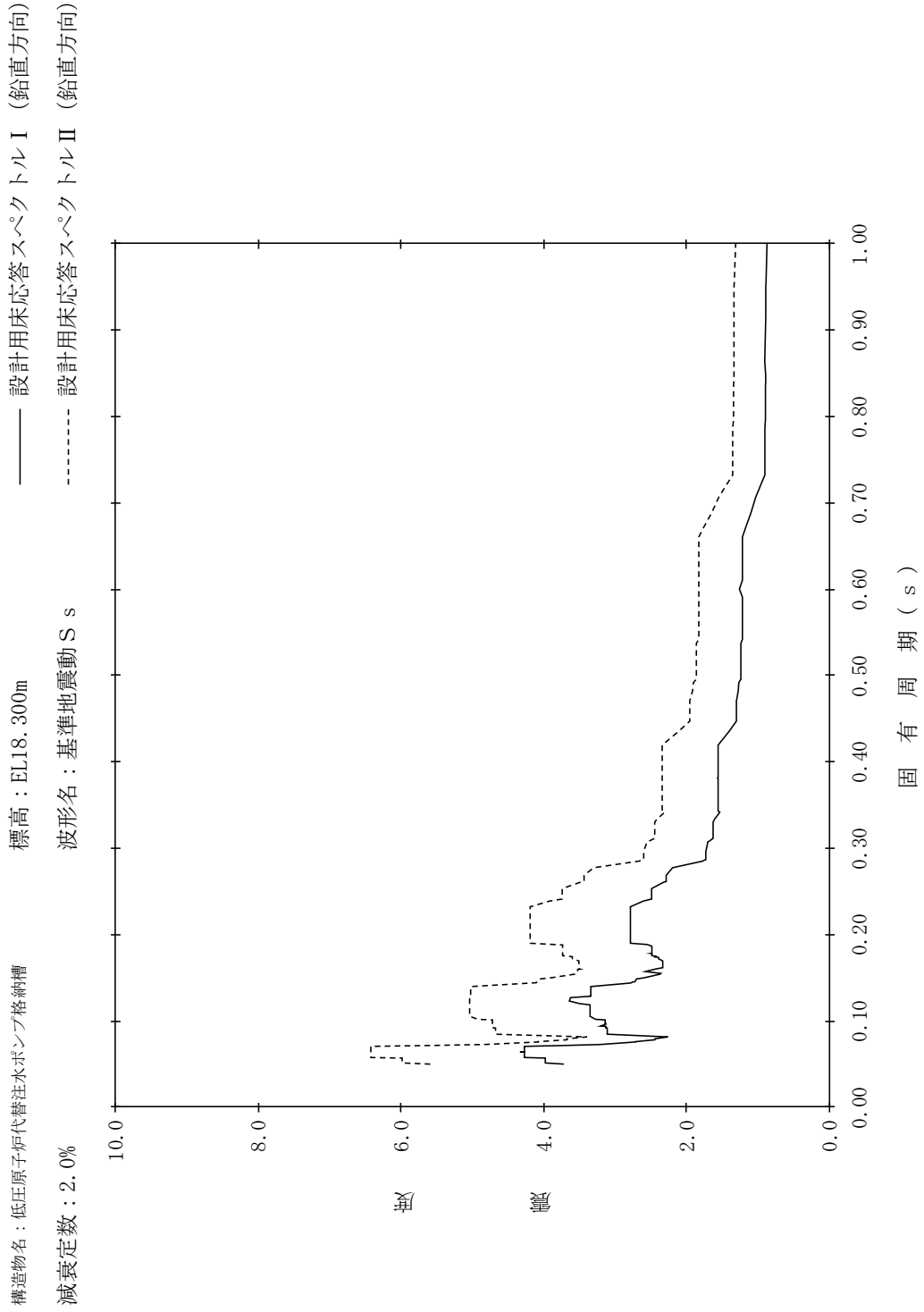


【NS2-FLSR-SsV-FLSR3】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

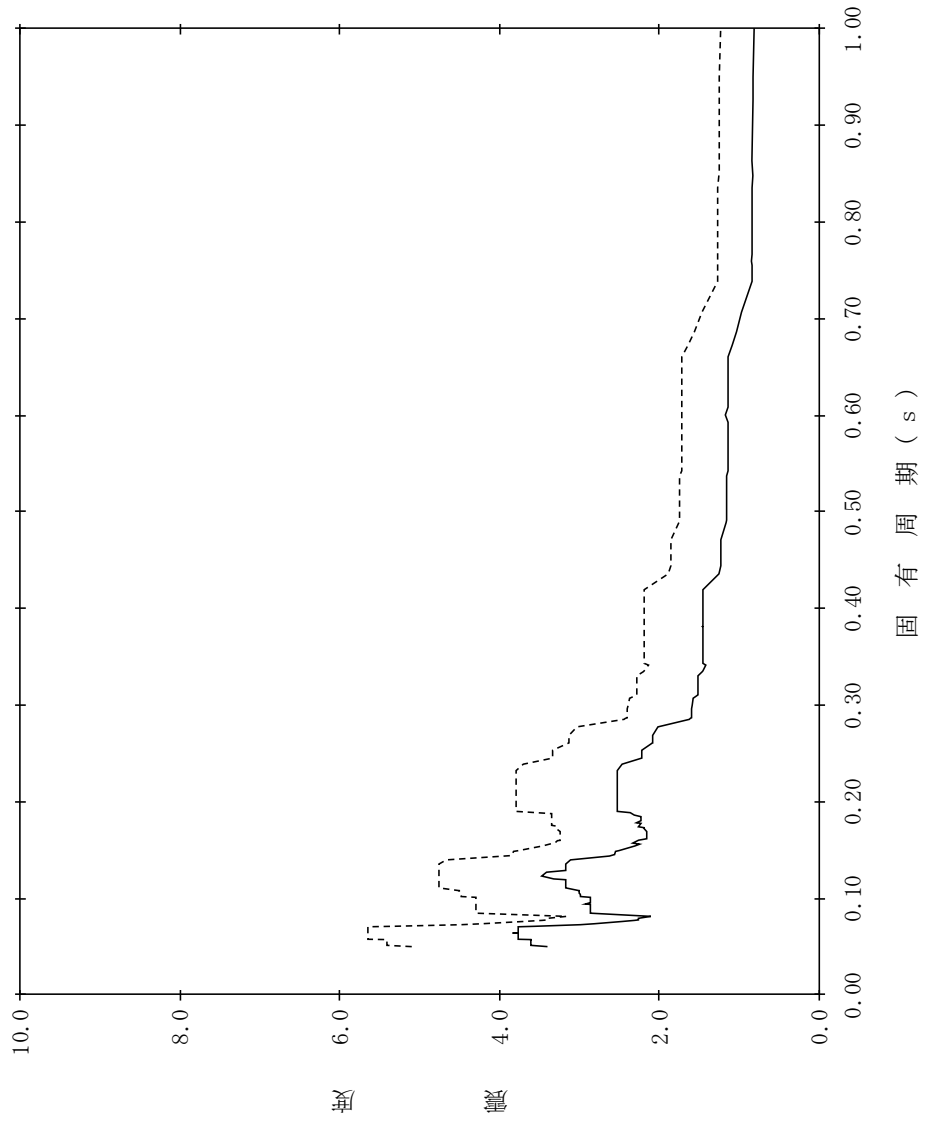


【NS2-FLSR-SsV-FLSR4】



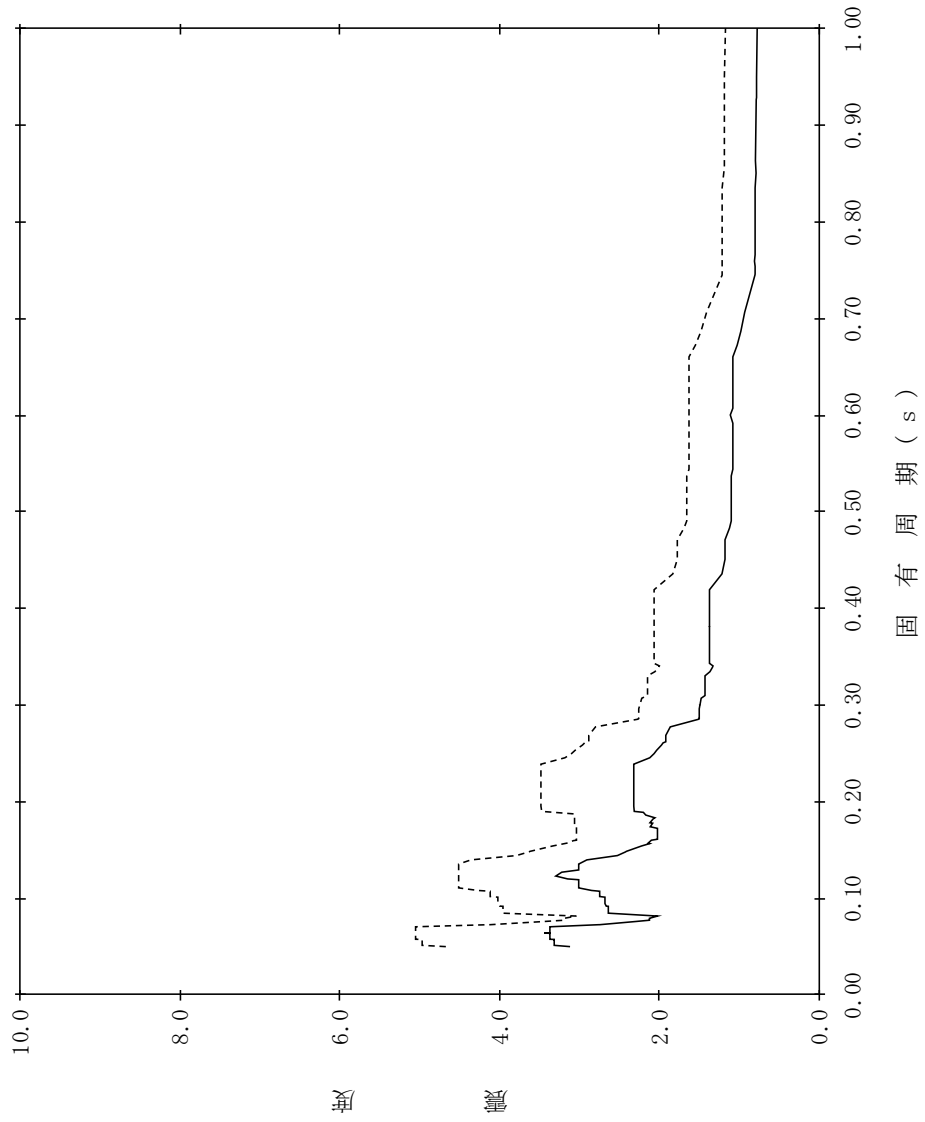
【NS2-FLSR-SsV-FLSR5】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 ———— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 - - - - - 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



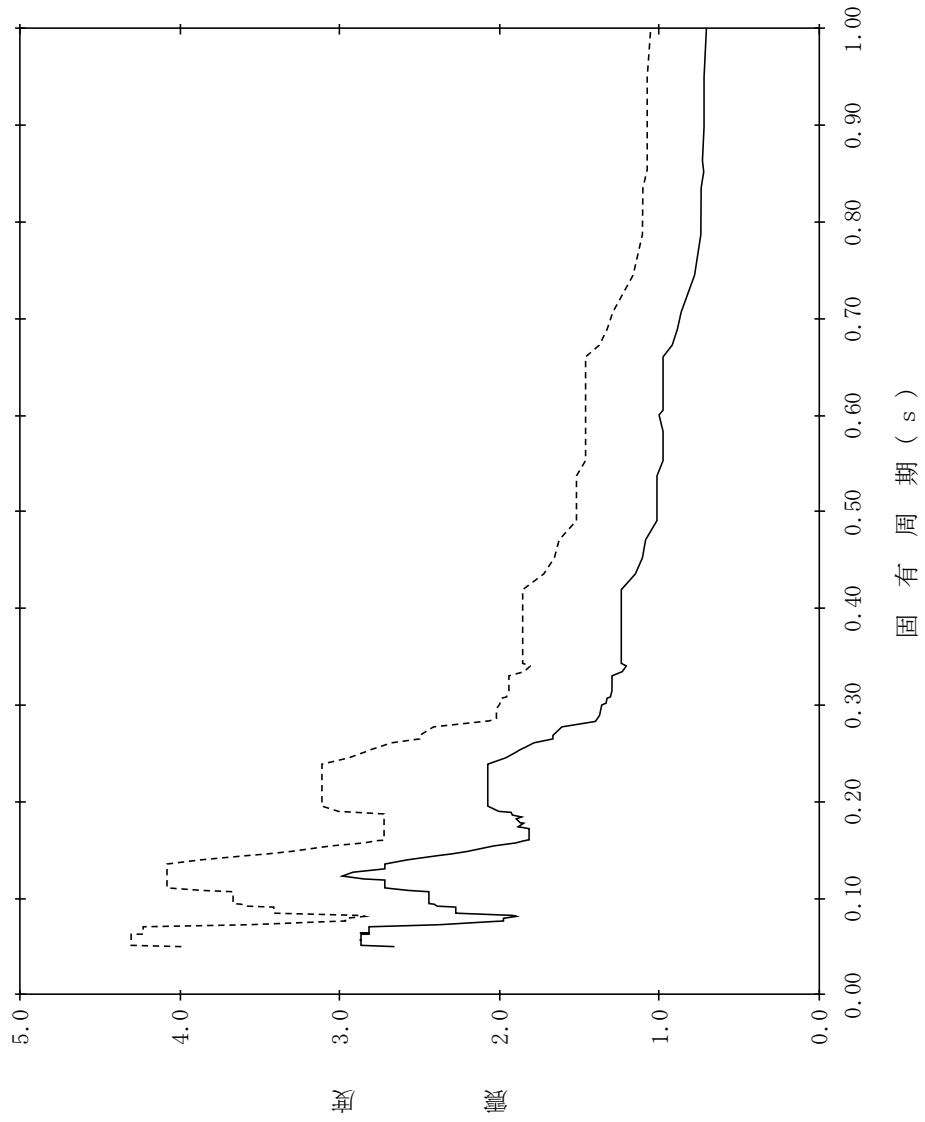
【NS2-FLSR-SsV-FLSR6】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



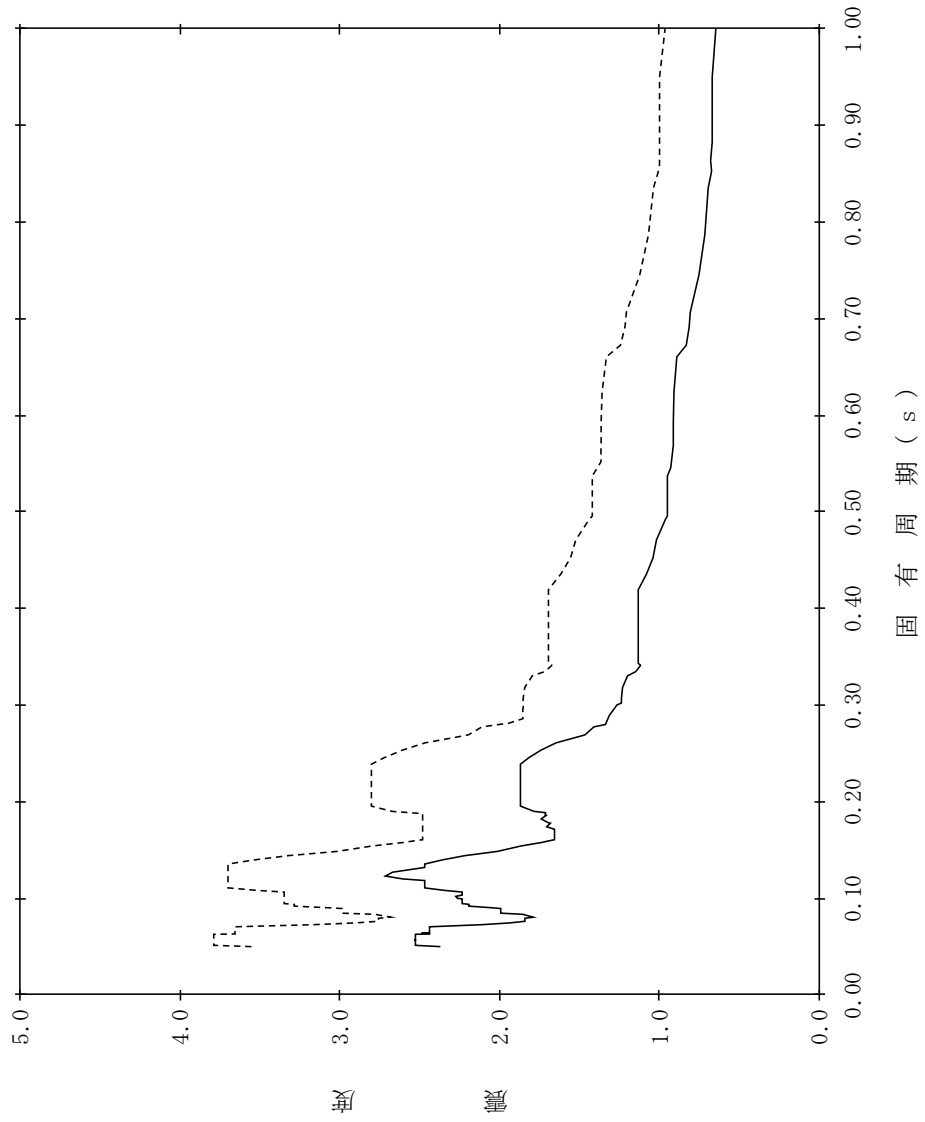
【NS2-FLSR-SsV-FLSR7】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

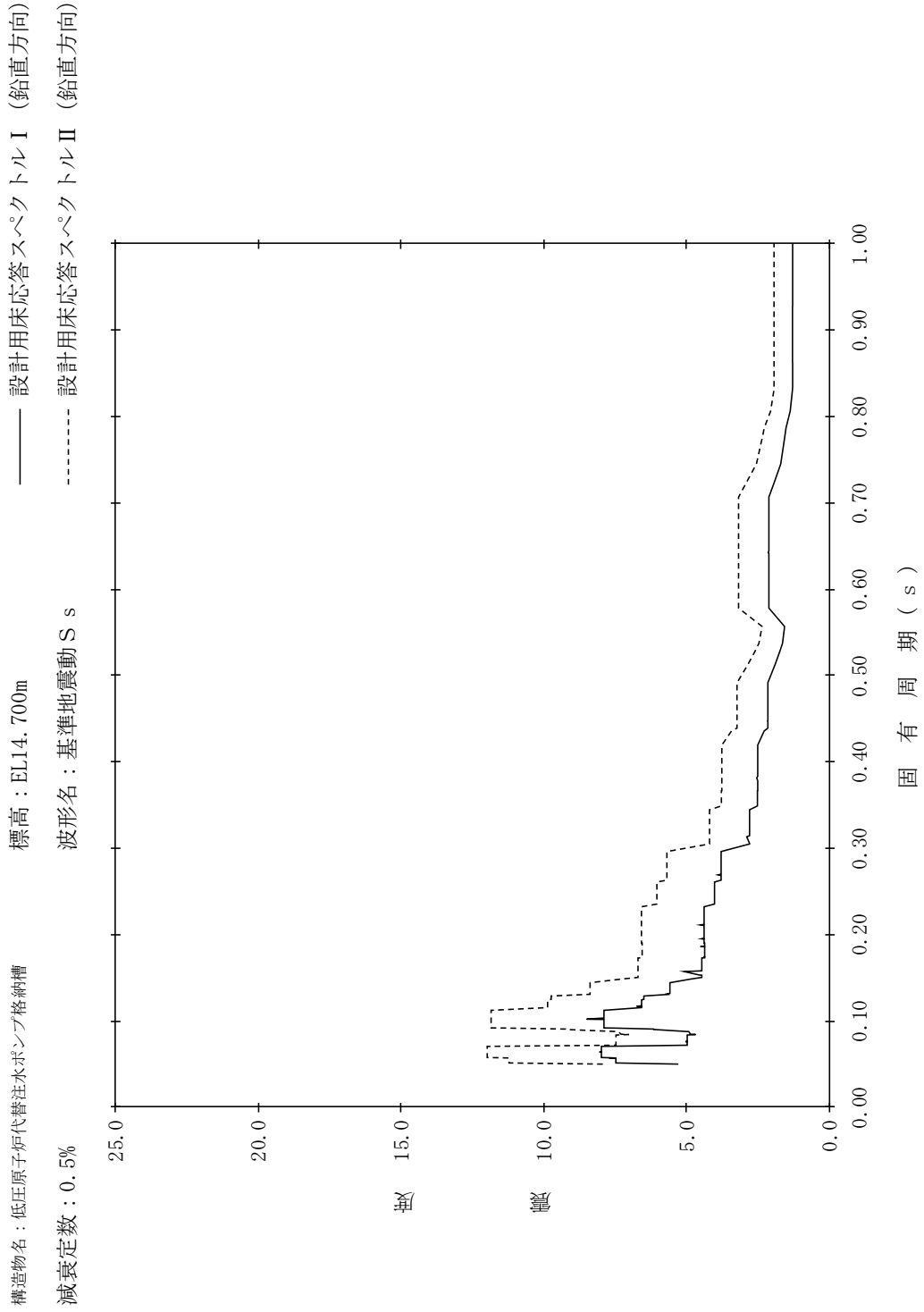


【NS2-FLSR-SsV-FLSR8】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL18.300m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

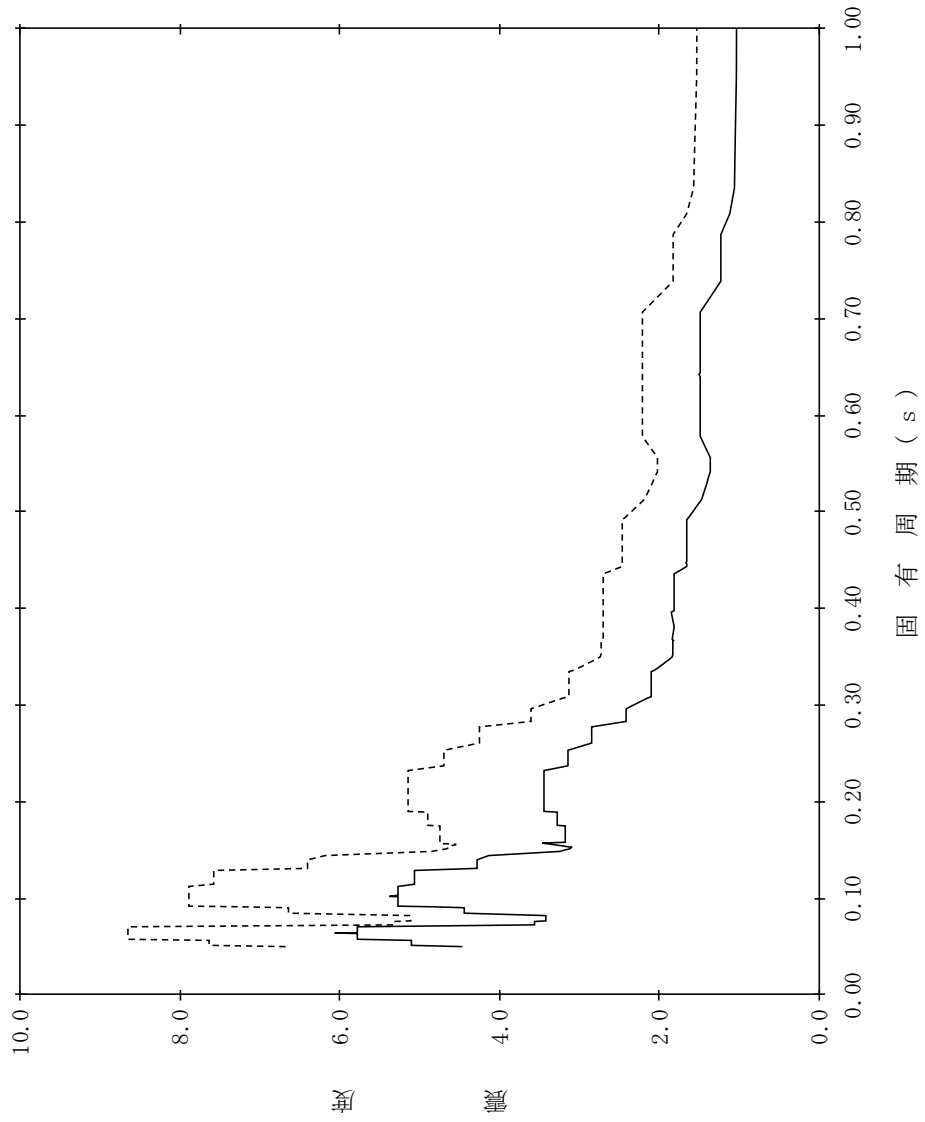


【NS2-FLSR-SsV-FLSR9】

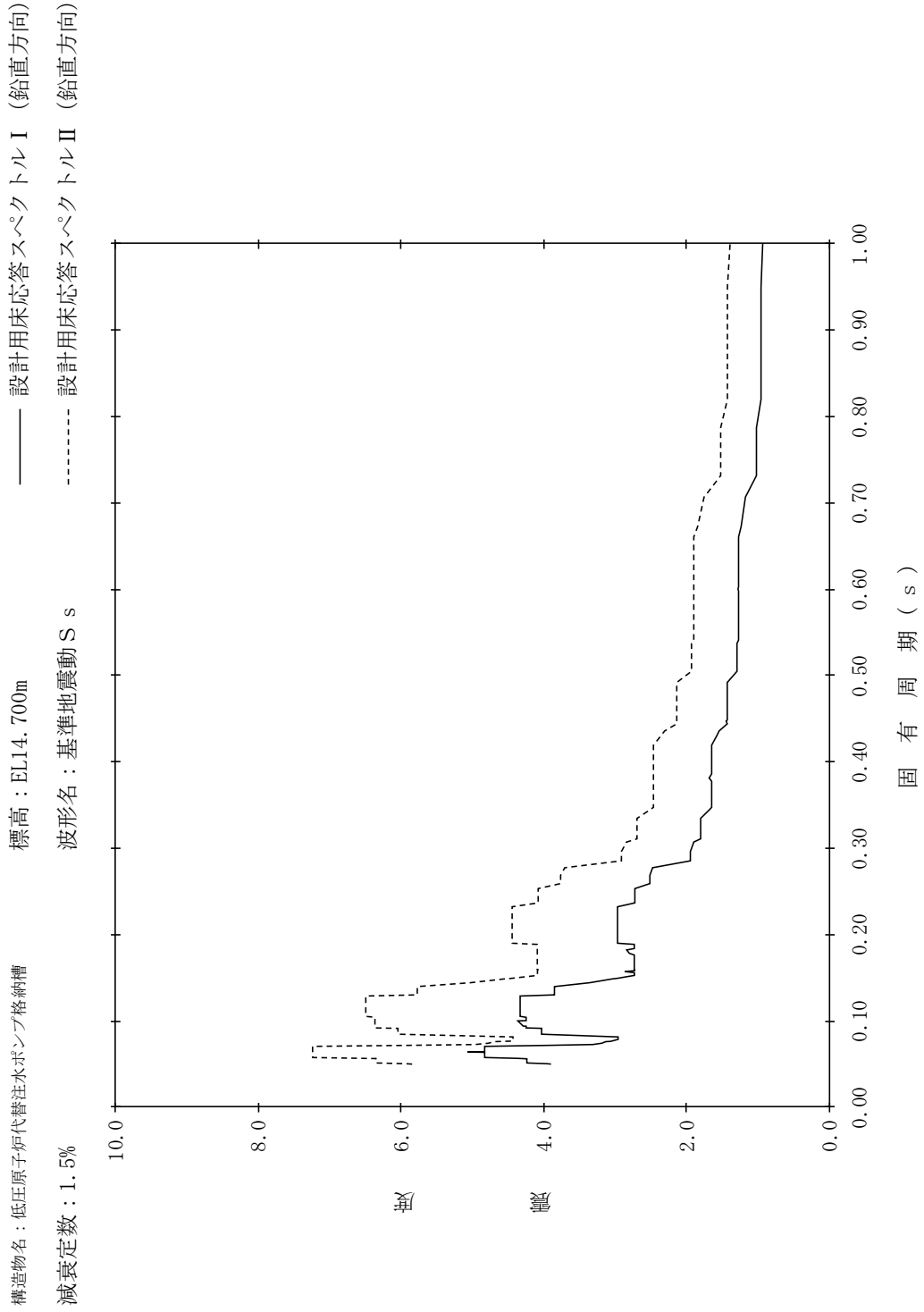


【NS2-FLSR-SsV-FLSR10】

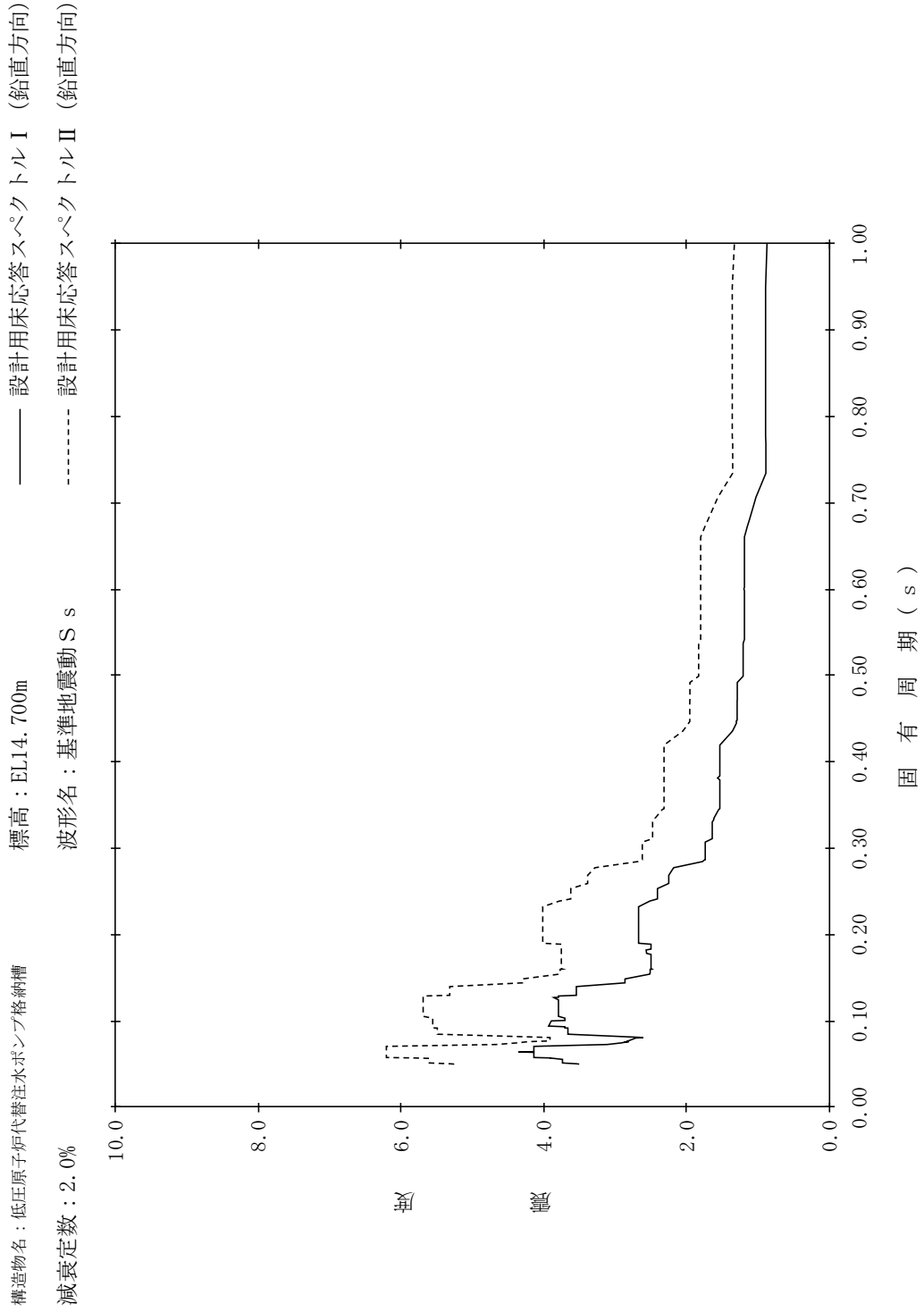
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



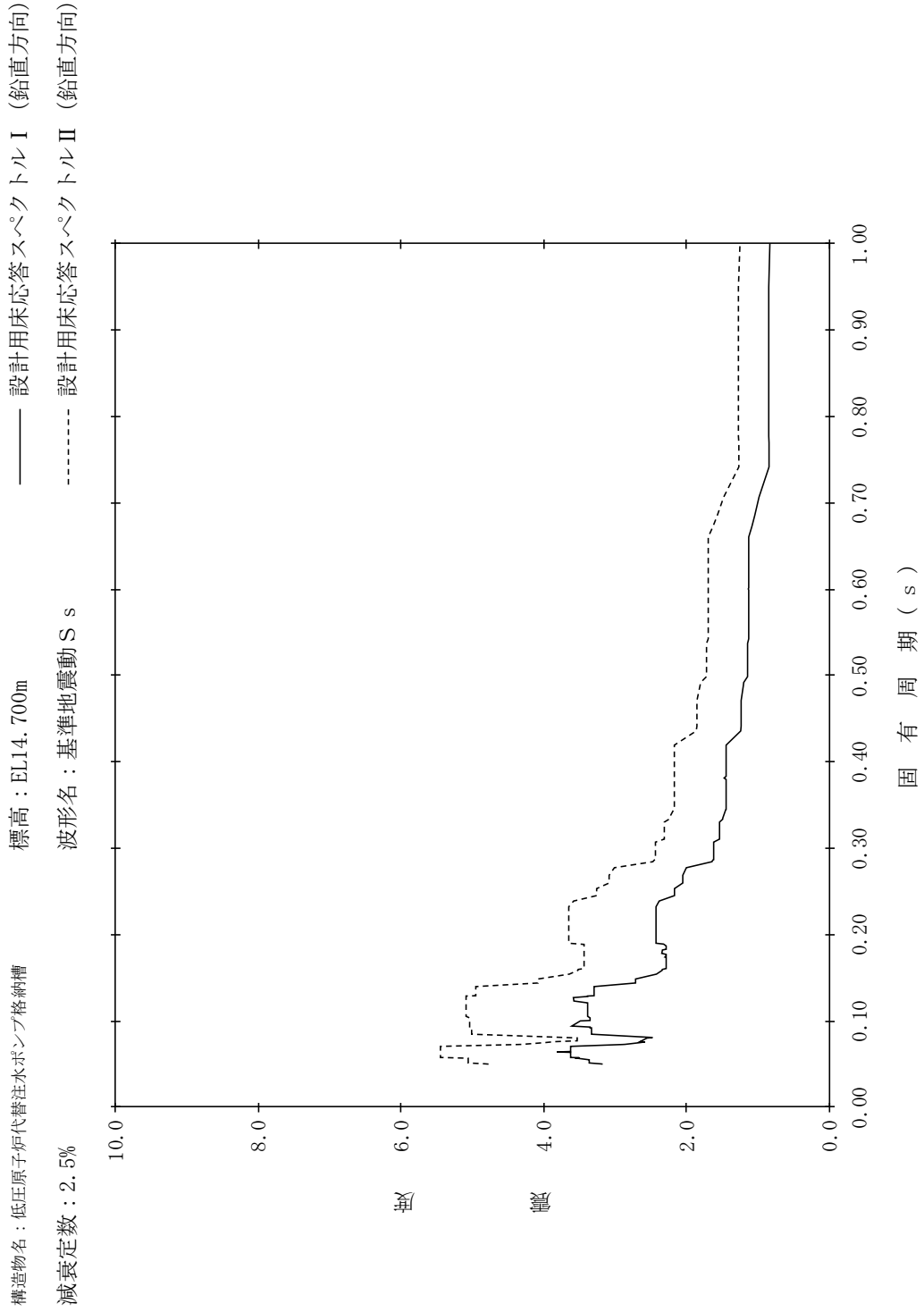
【NS2-FLSR-SsV-FLSR11】



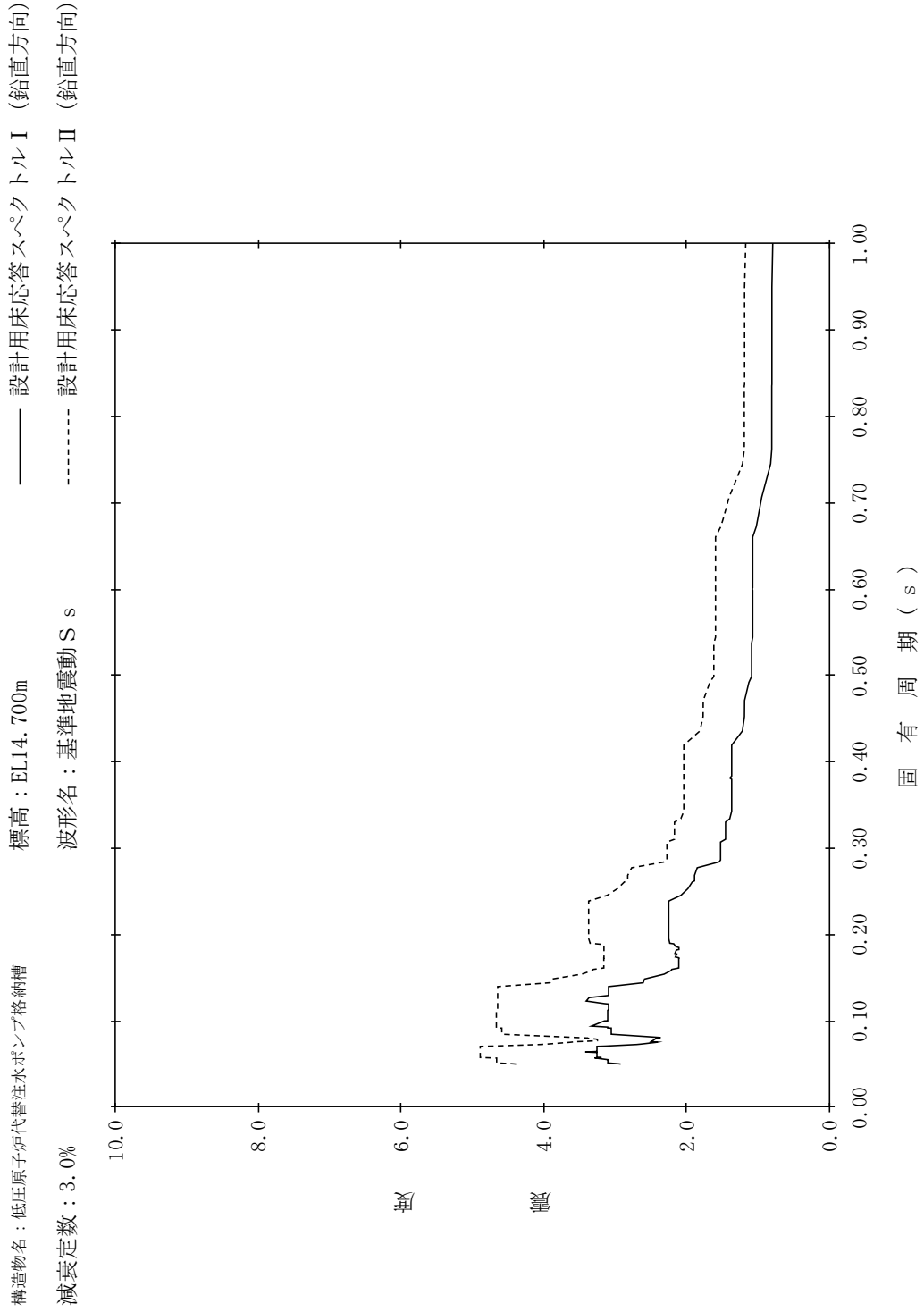
【NS2-FLSR-SsV-FLSR12】



【NS2-FLSR-SsV-FLSR13】

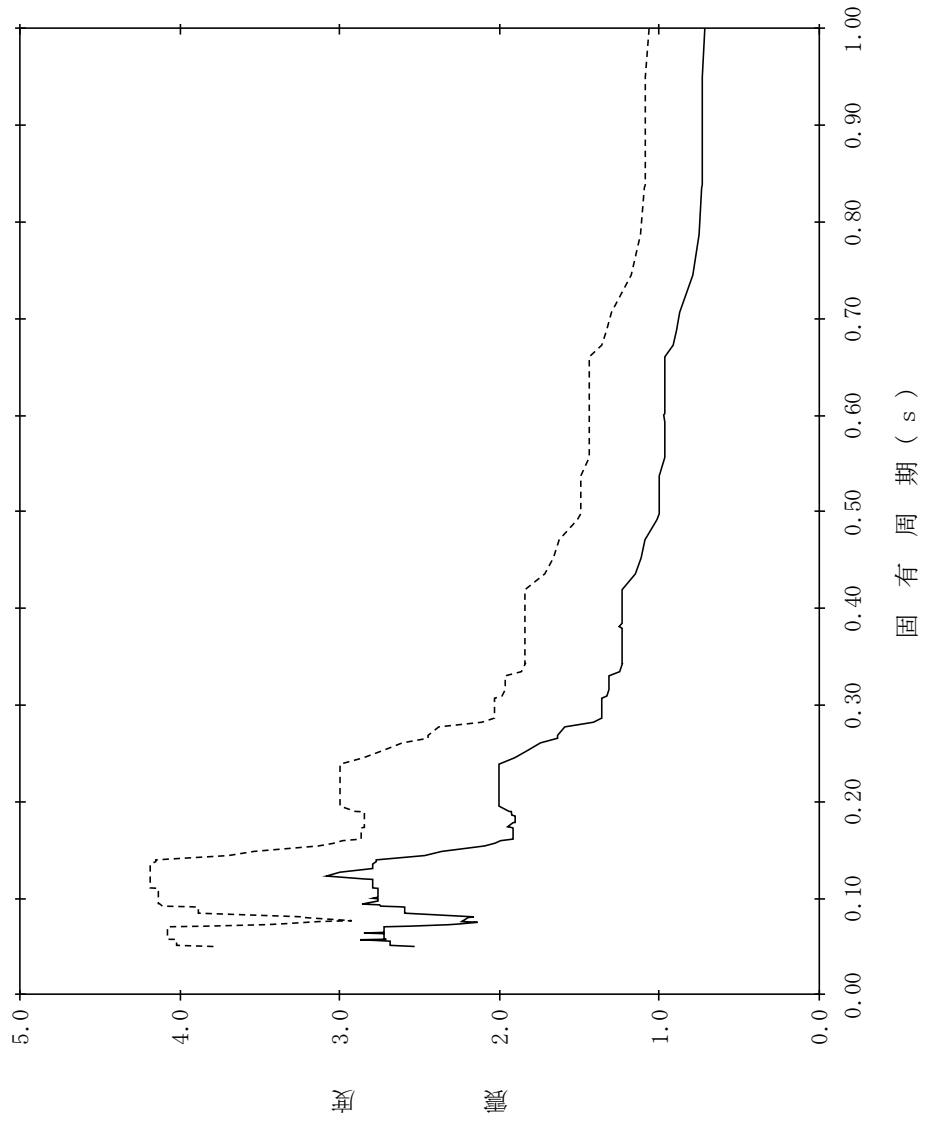


【NS2-FLSR-SsV-FLSR14】



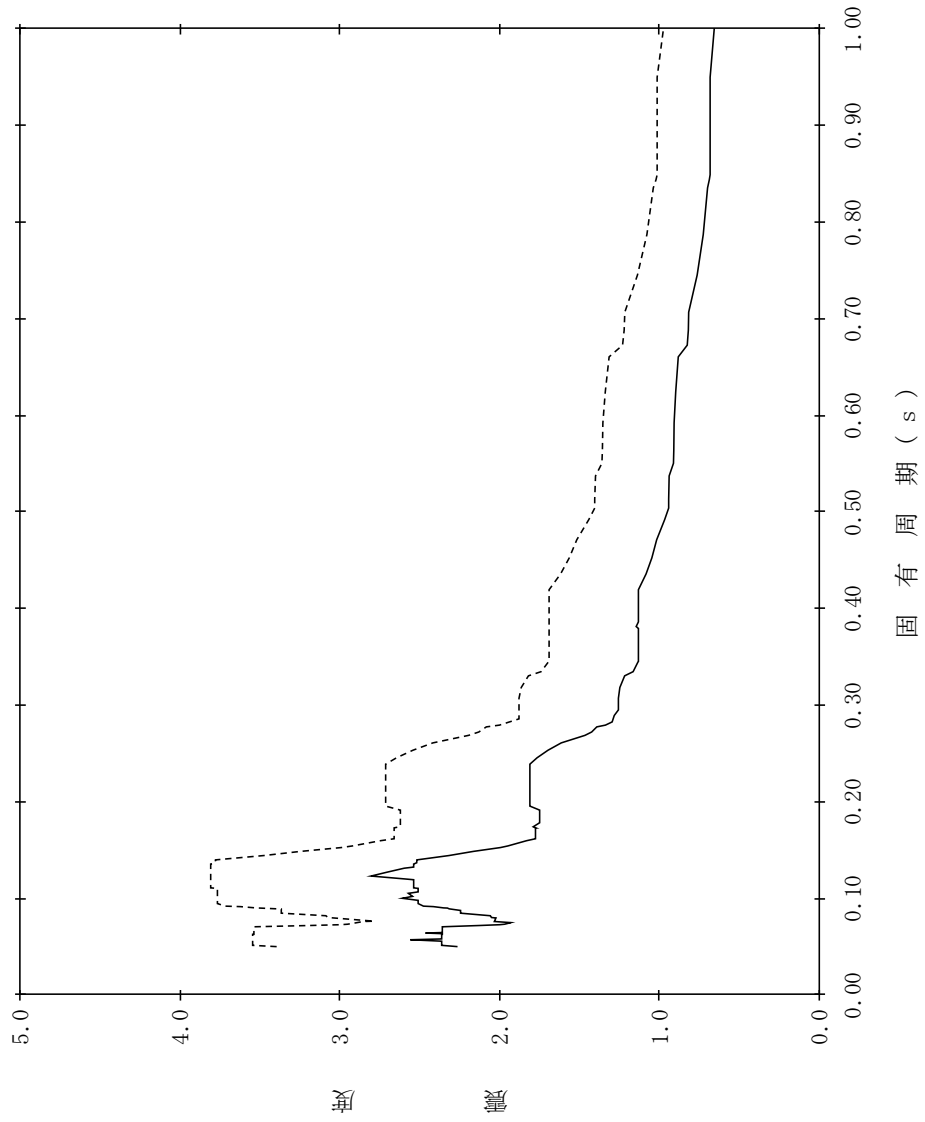
【NS2-FLSR-SsV-FLSR15】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

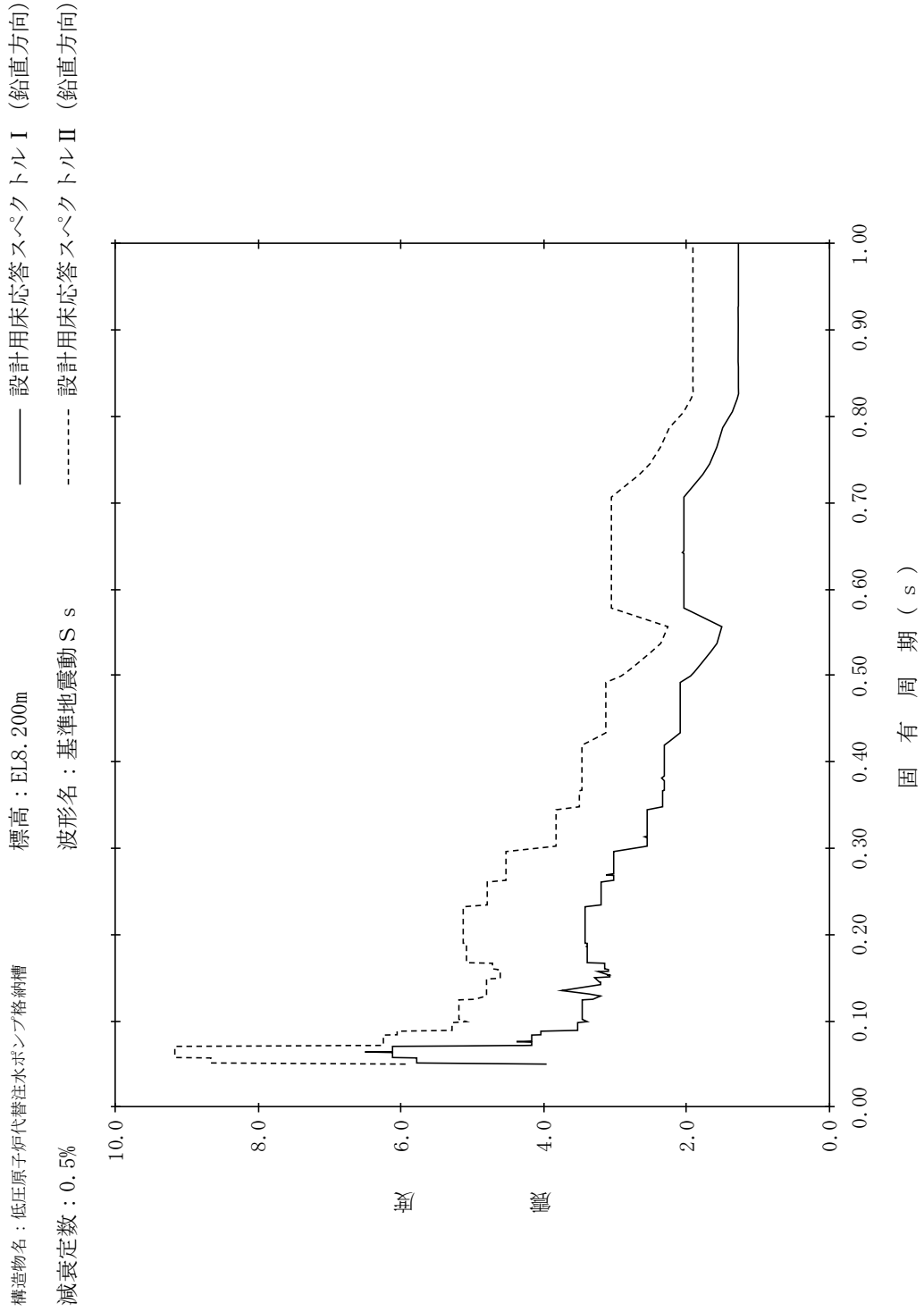


【NS2-FLSR-SsV-FLSR16】

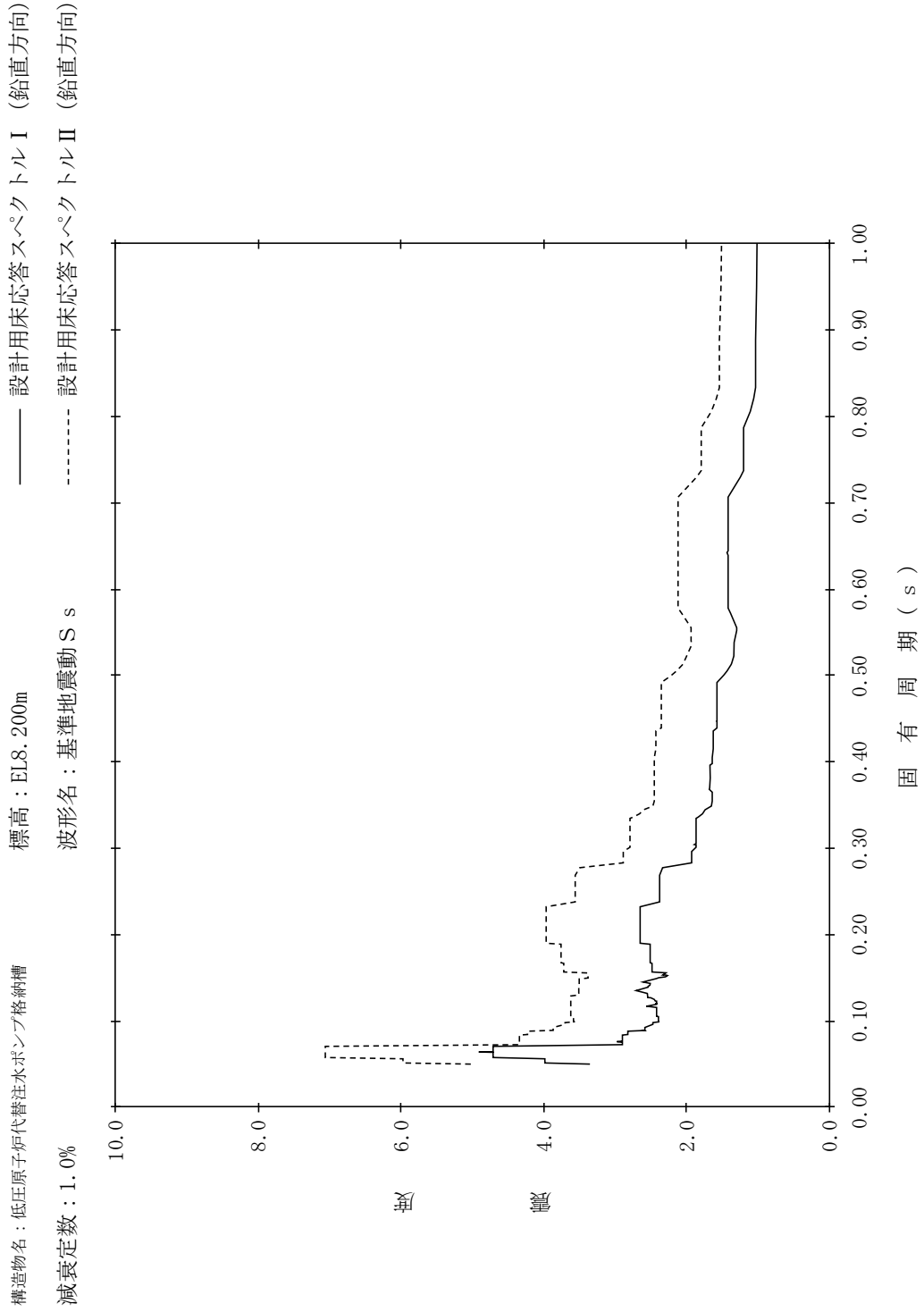
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL14.700m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-FLSR-SsV-FLSR17】

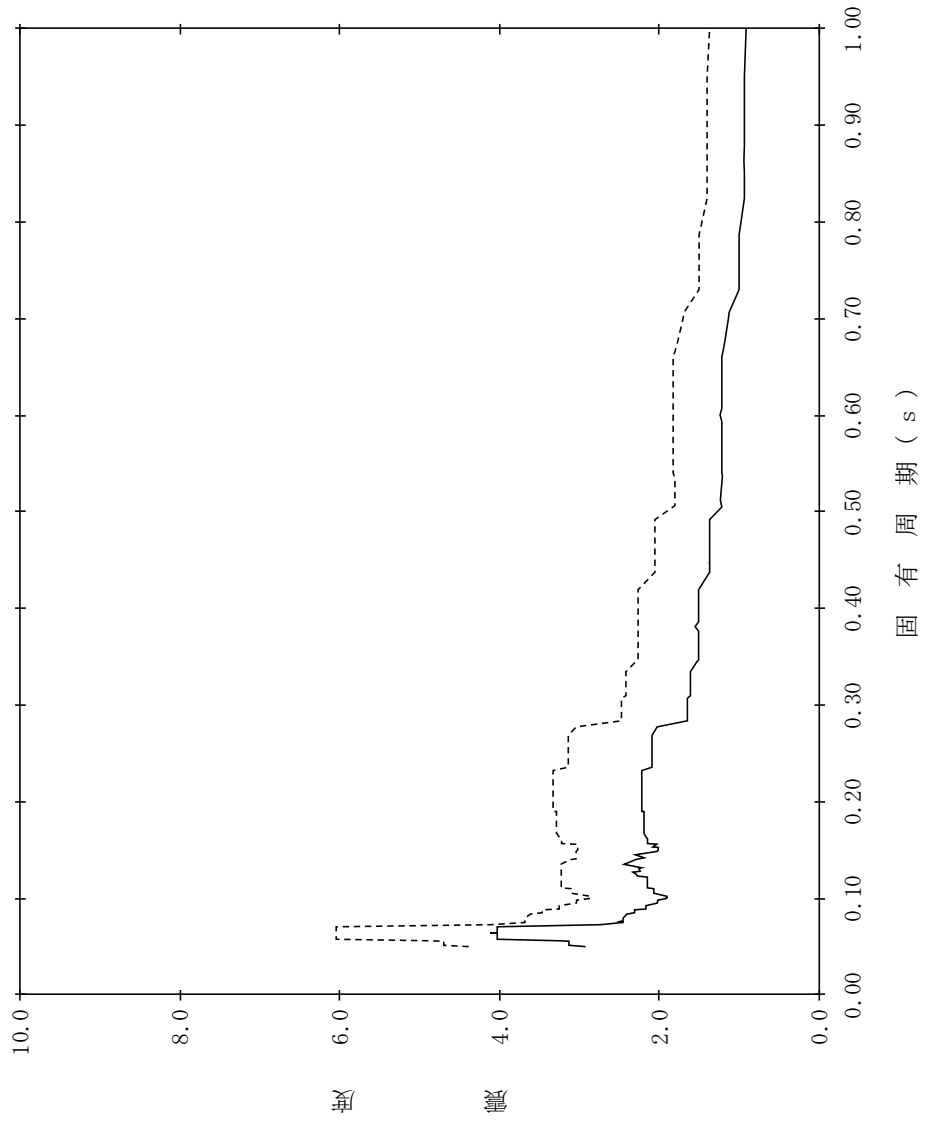


【NS2-FLSR-SsV-FLSR18】

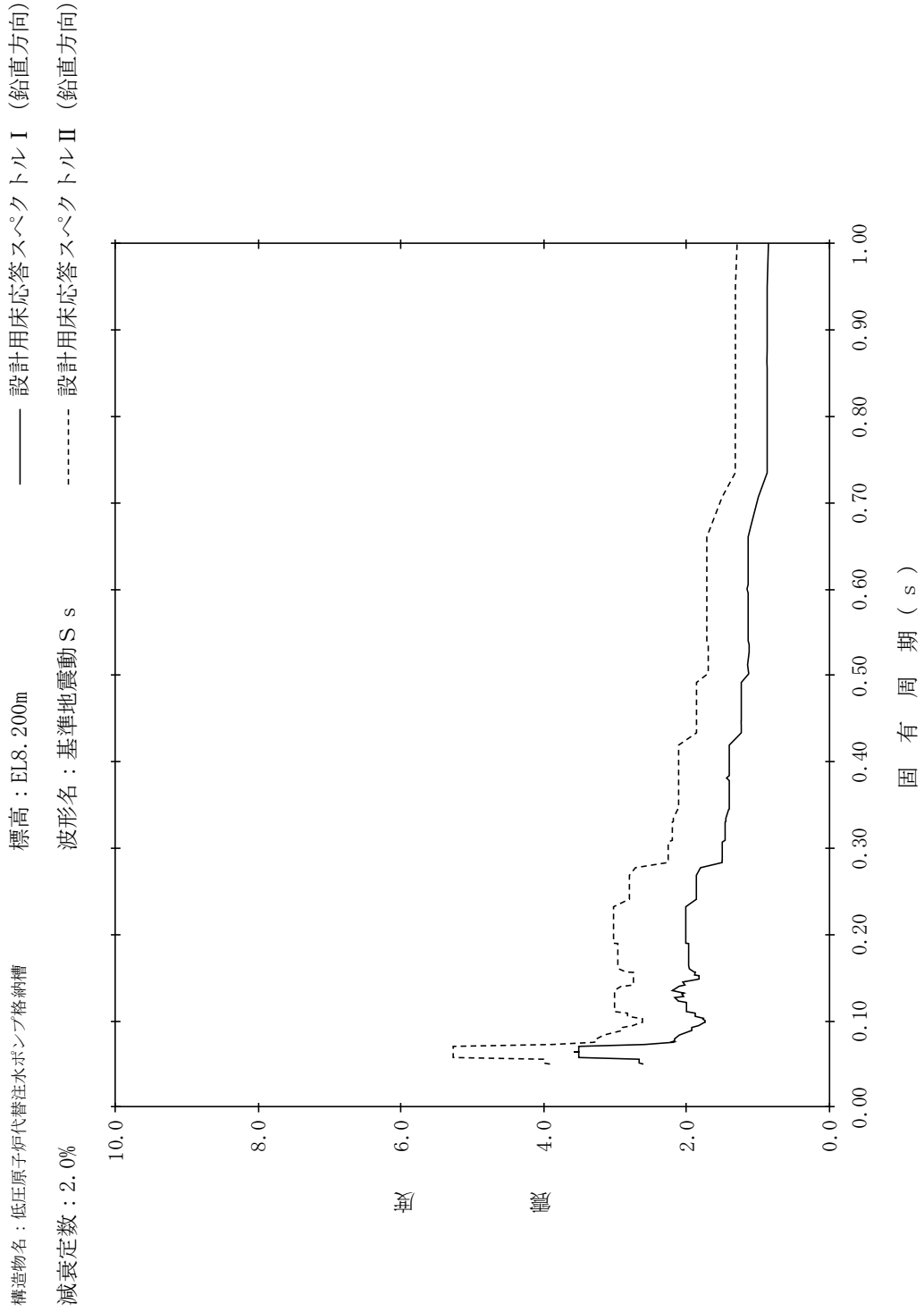


【NS2-FLSR-SsV-FLSR19】

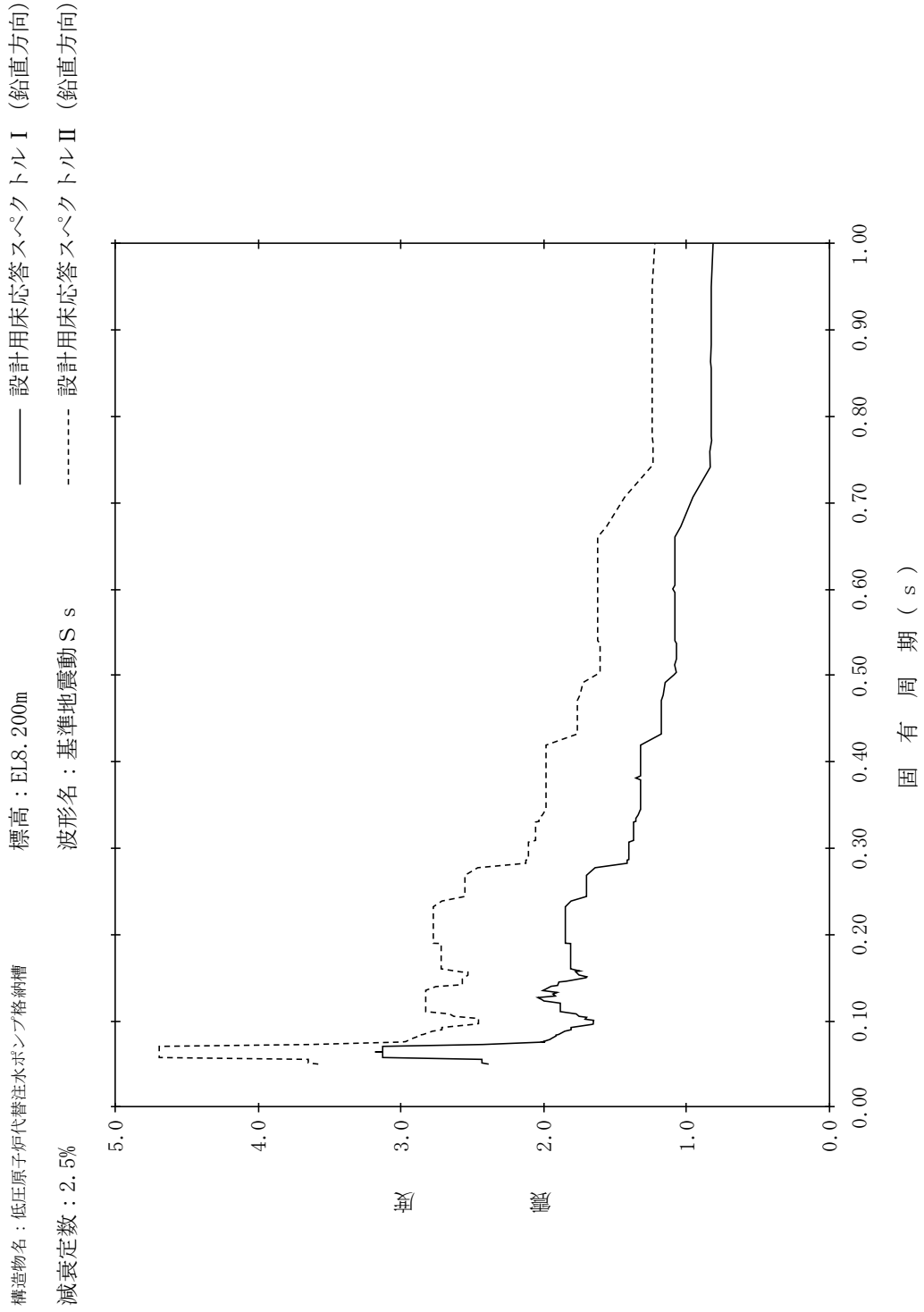
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL8.200m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-FLSR-SsV-FLSR20】

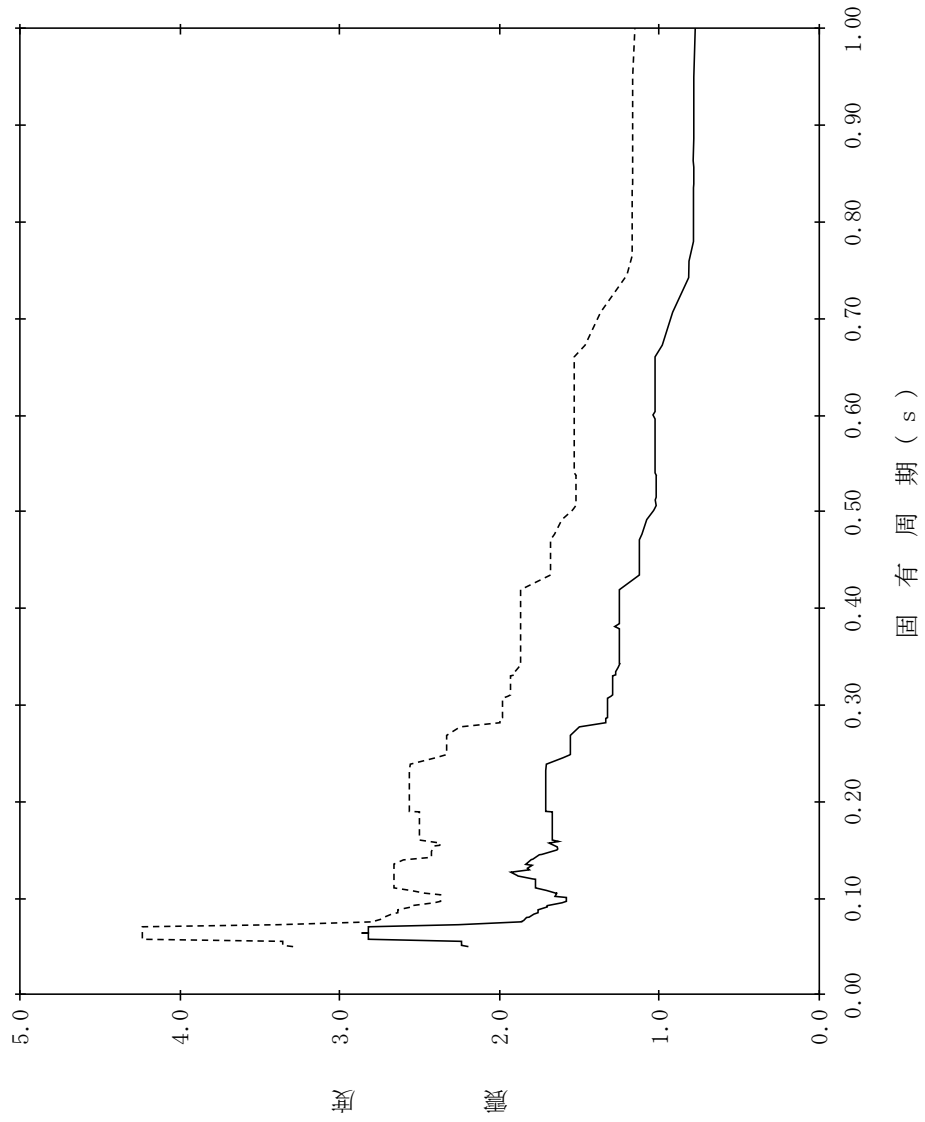


【NS2-FLSR-SsV-FLSR21】



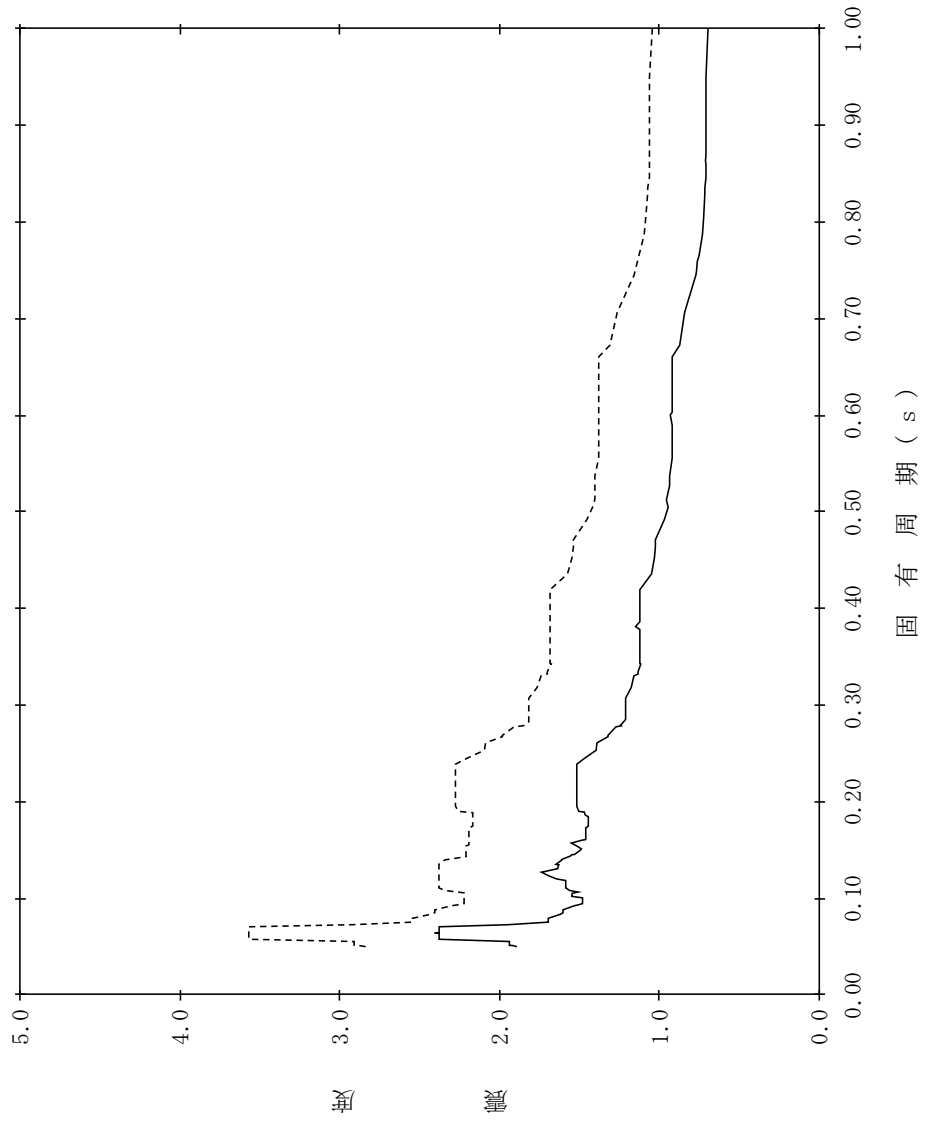
【NS2-FLSR-SsV-FLSR22】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL8.200m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

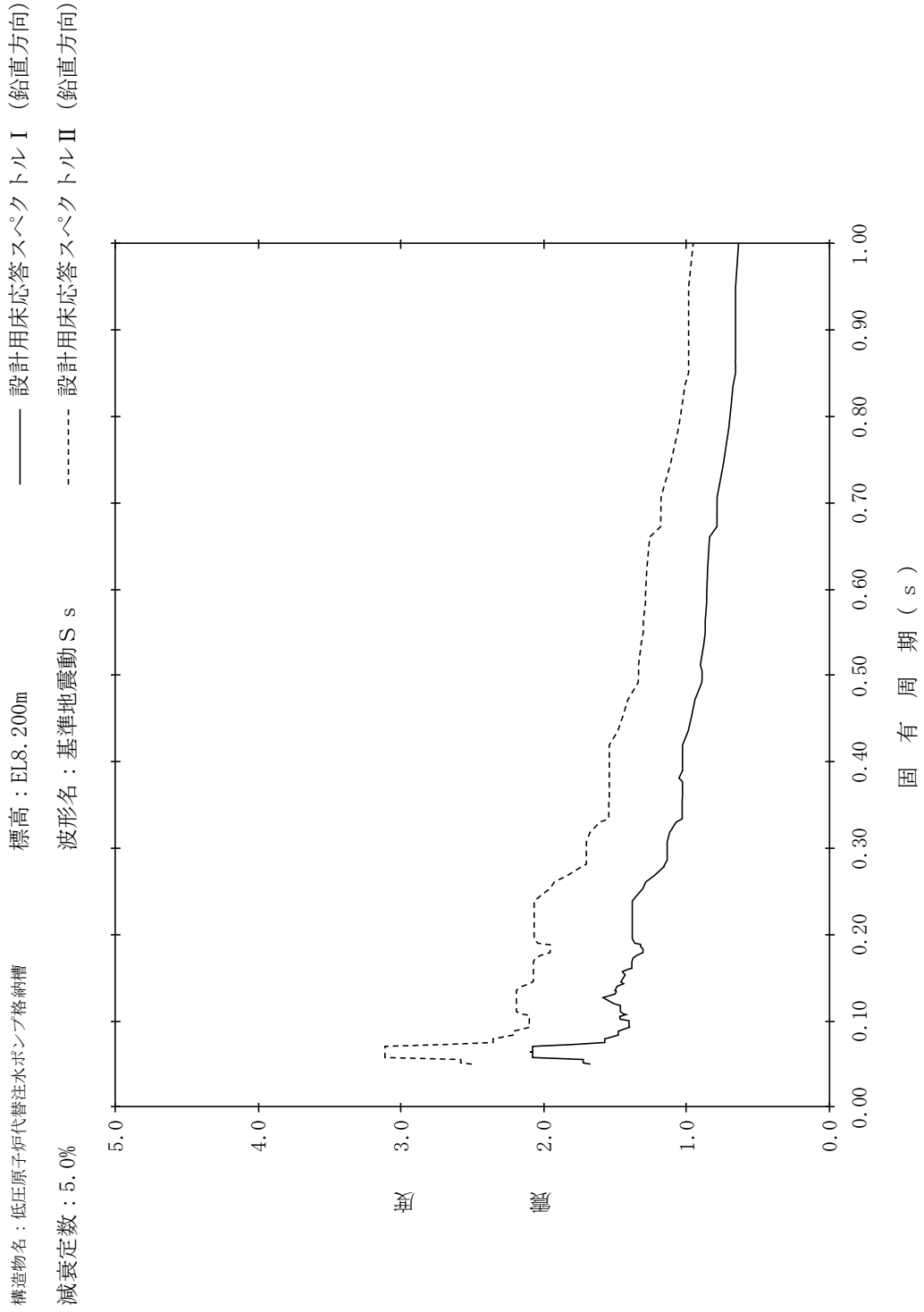


【NS2-FLSR-SsV-FLSR23】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL8.200m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

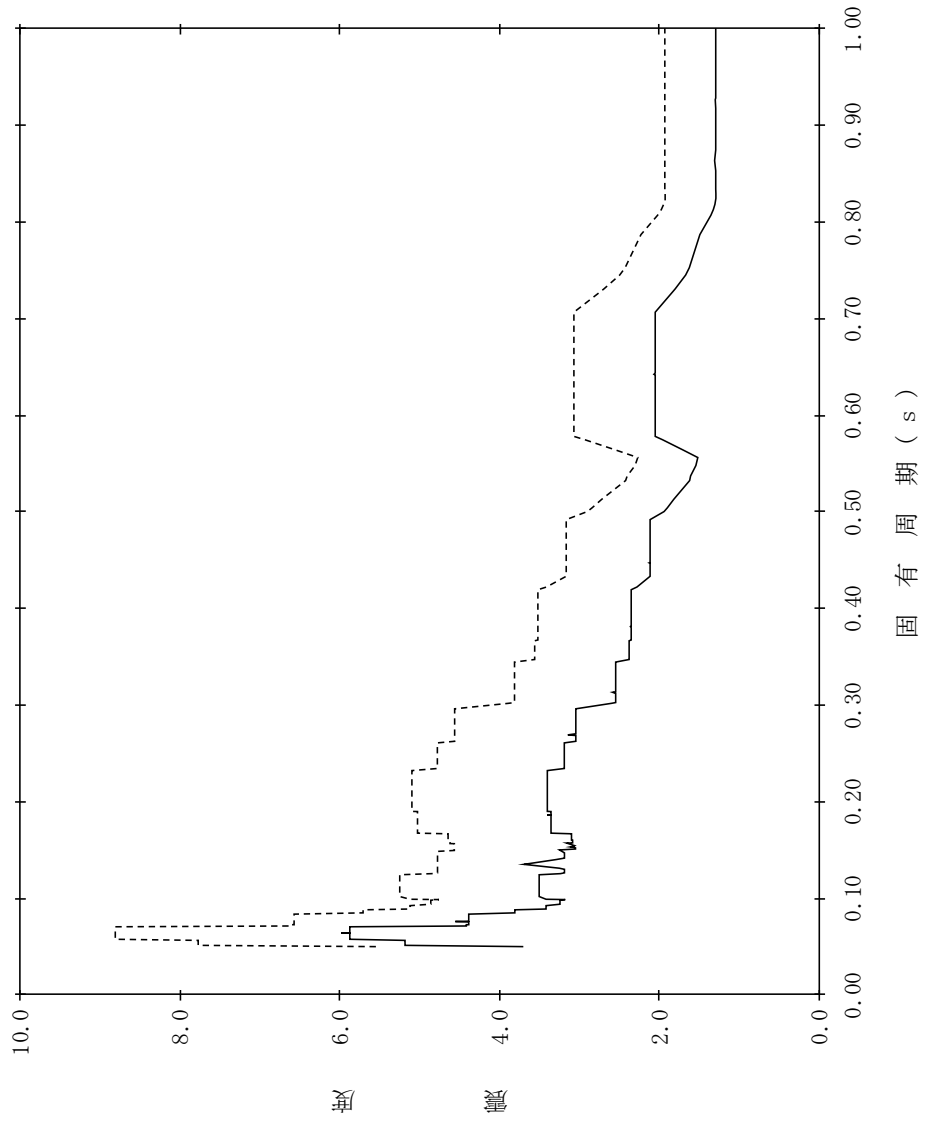


【NS2-FLSR-SsV-FLSR24】



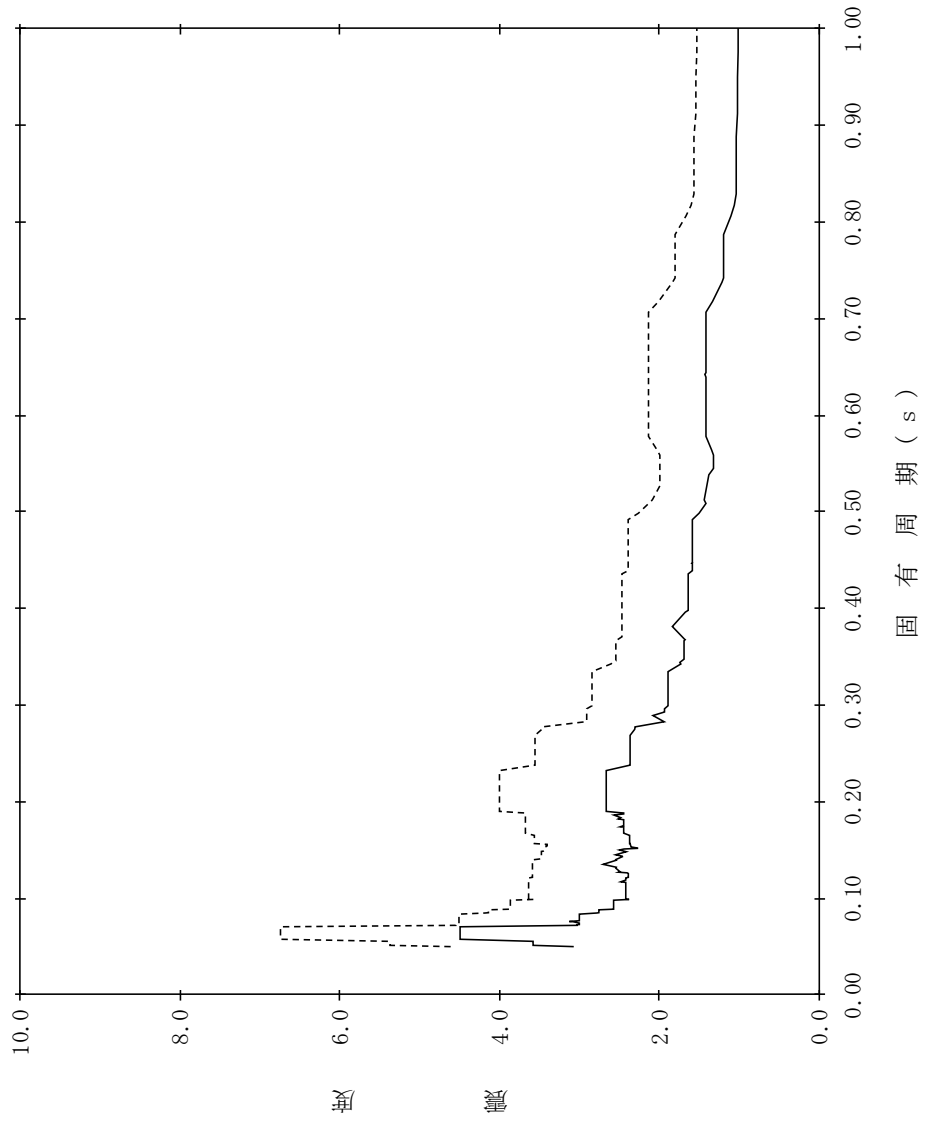
【NS2-FLSR-SsV-FLSR25】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL0.700m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

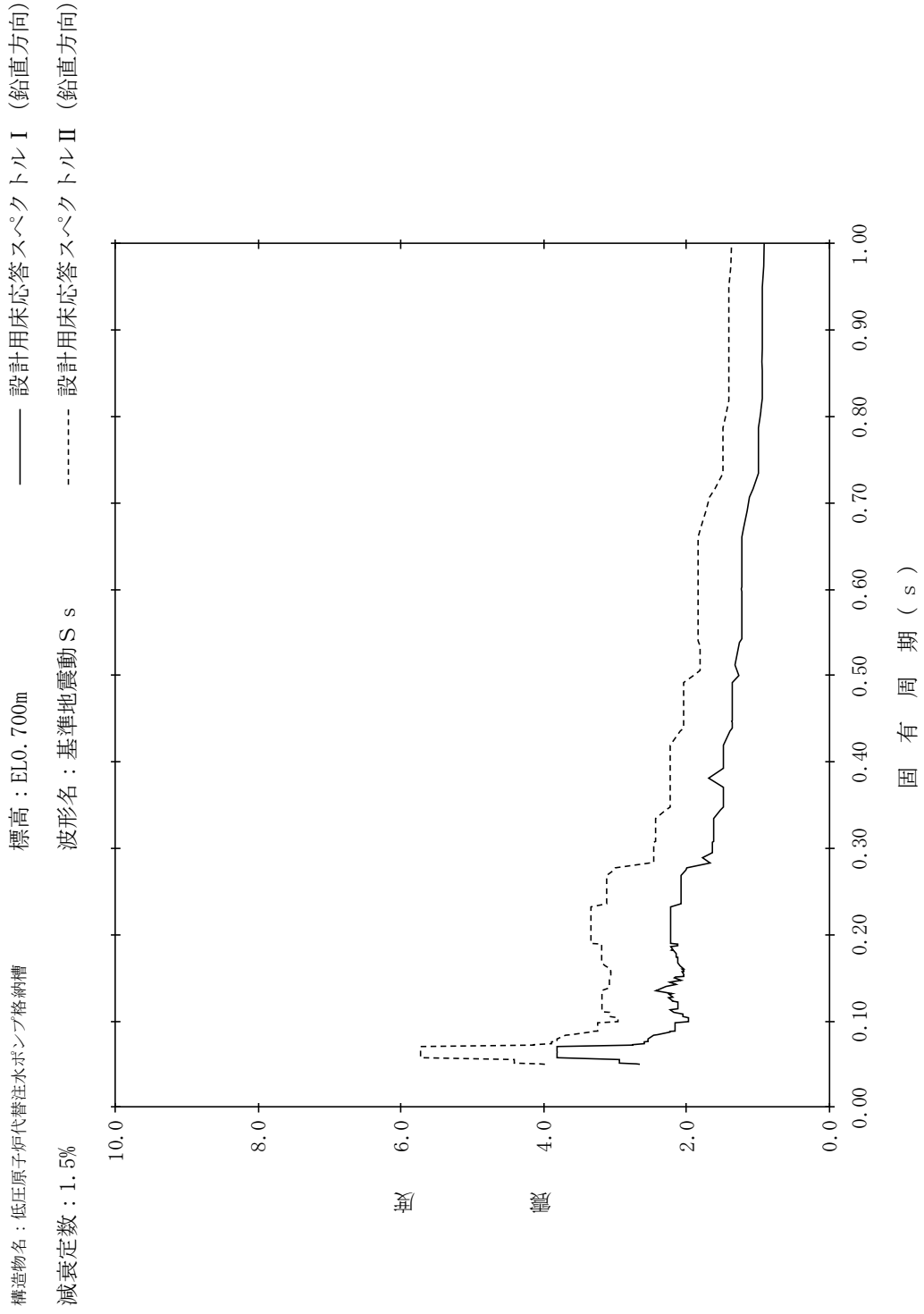


【NS2-FLSR-SsV-FLSR26】

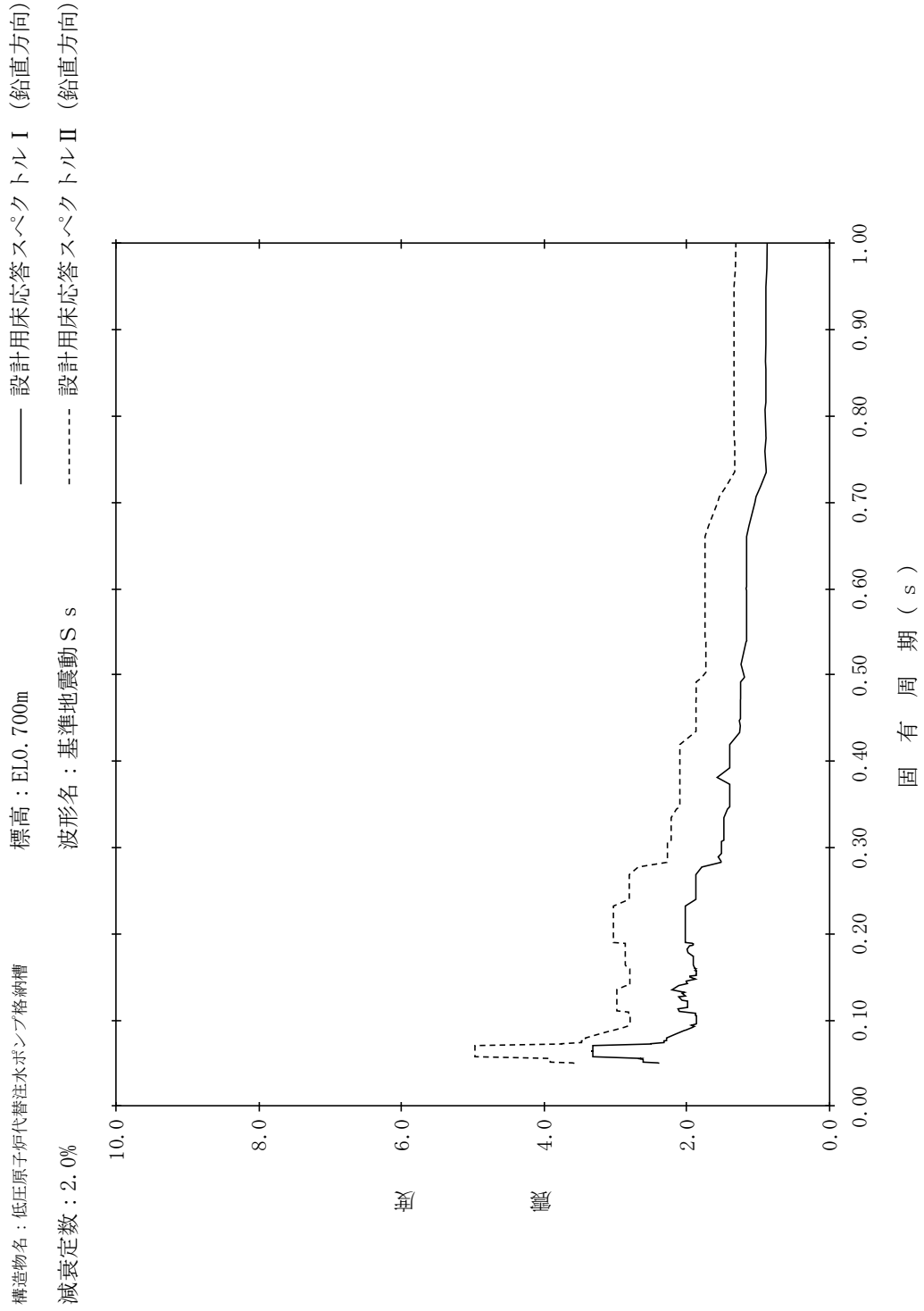
構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL0.700m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



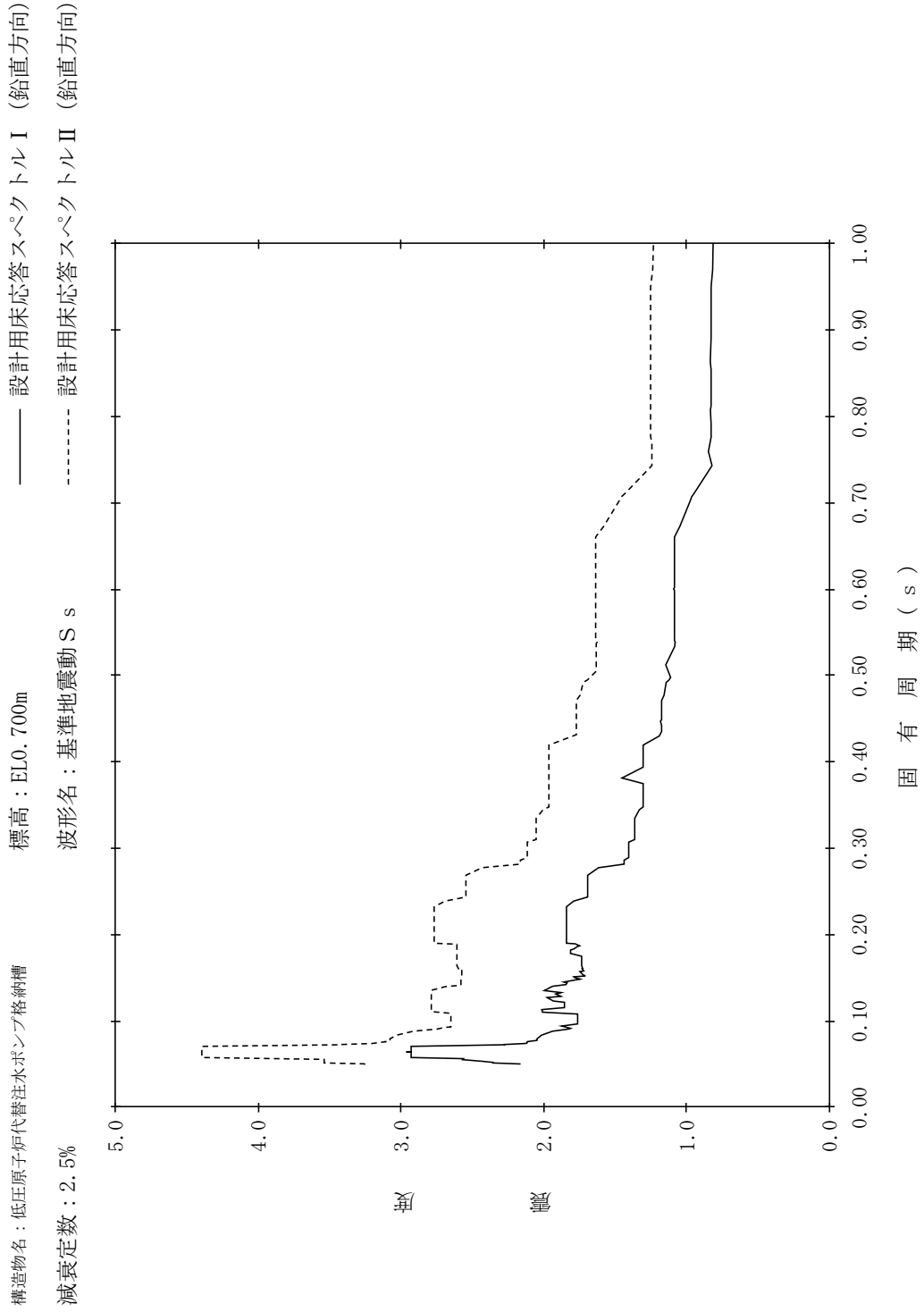
【NS2-FLSR-SsV-FLSR27】



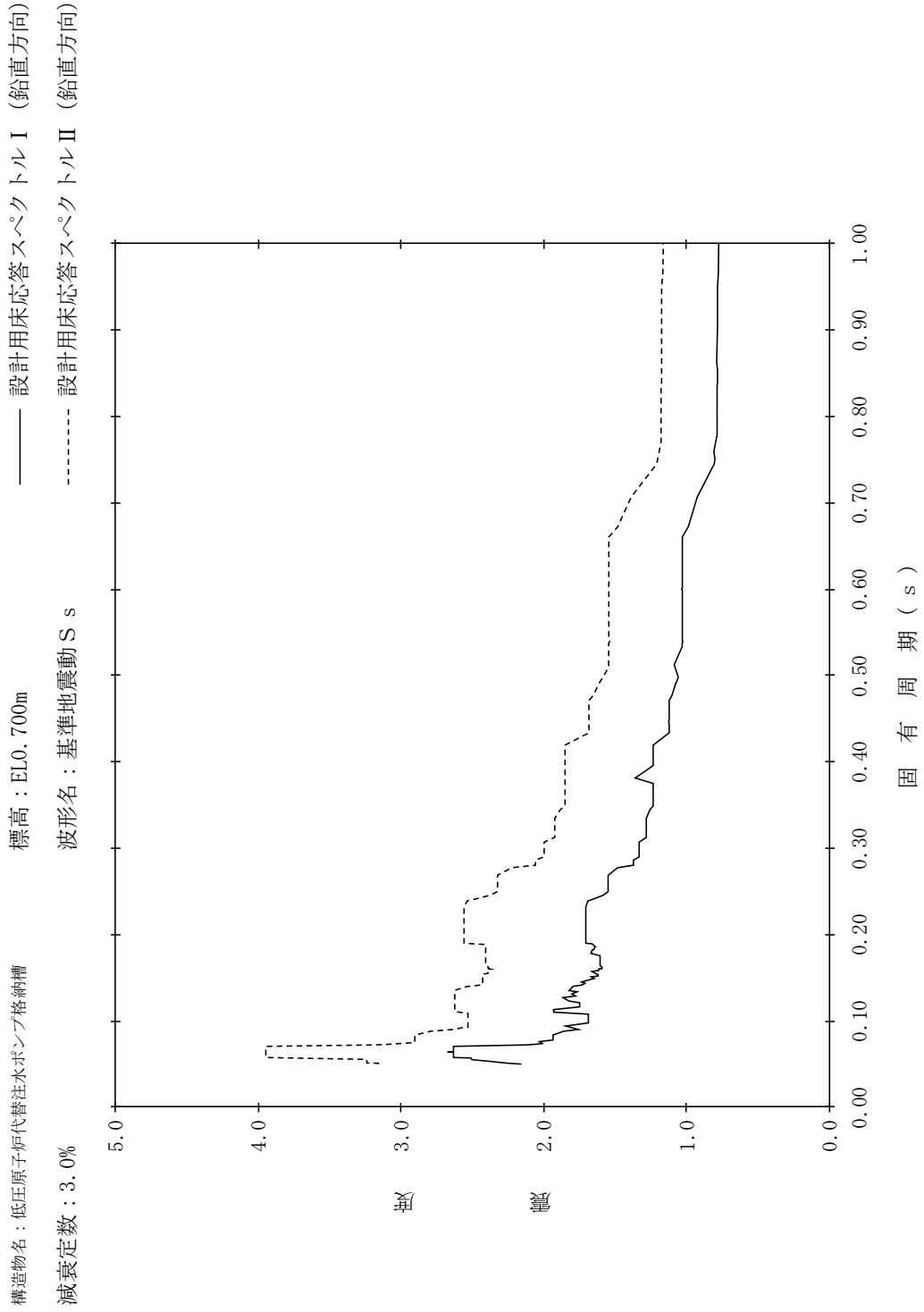
【NS2-FLSR-SsV-FLSR28】



【NS2-FLSR-SsV-FLSR29】

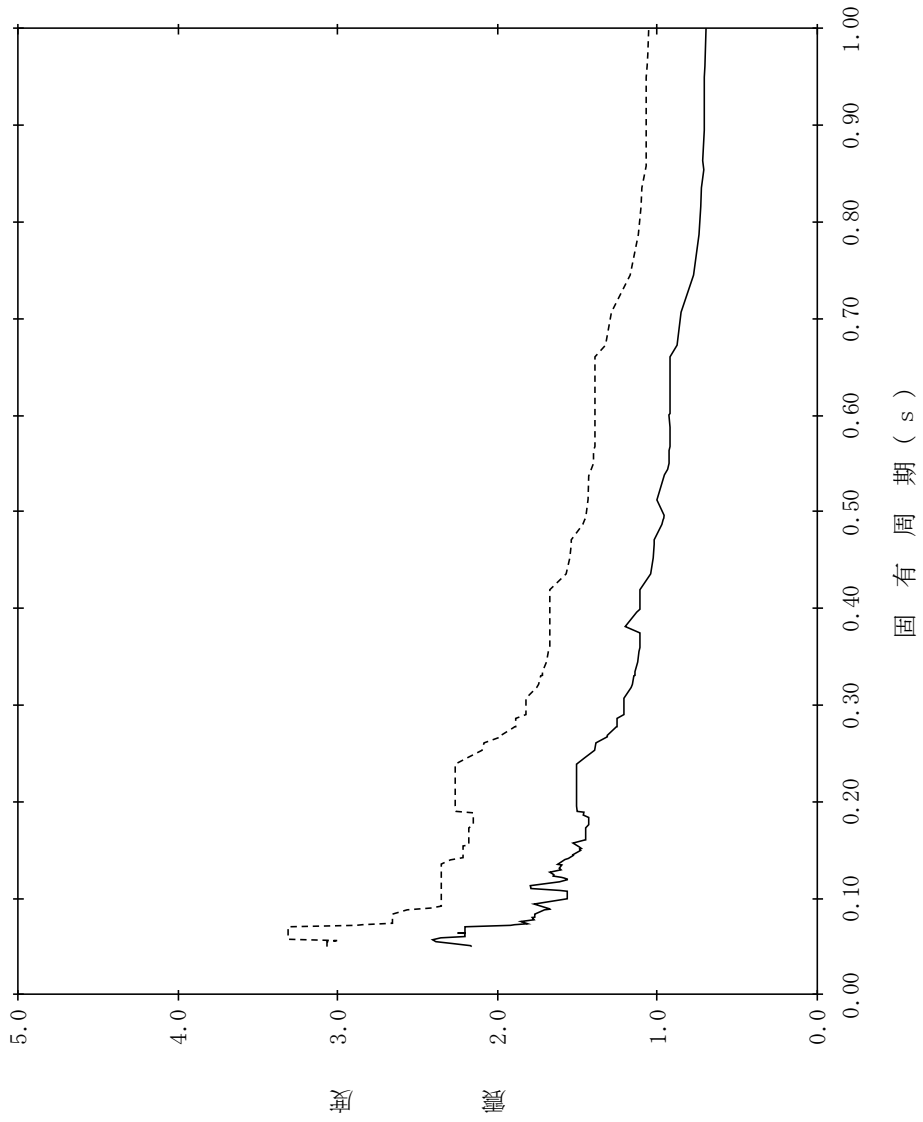


【NS2-FLSR-SsV-FLSR30】



【NS2-FLSR-SsV-FLSR31】

構造物名：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽
 標高：EL0.700m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-FLSR-SsV-FLSR32】

